子ども発達支援に関する調査

報　告　書

平成３０年１０月

名　古　屋　市

目　　次

Ⅰ　調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
　１　調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
１－１　調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
１－２　調査の設計・回収結果等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
１－３　報告書の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
１－４　地域療育センターの管轄と施設位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
Ⅱ　調査結果（未就学児アンケート）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
　１　回答者の属性（フェース項目）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
１－１　子どもの年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
１－２　子どもの性別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
１－３　兄弟・姉妹の状況（平成３０年４月１日現在）・・・・・・・・・・・・・・・3
１－４　名古屋市での居住歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
１－５　居住区（支所）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
１－６　父親・母親との同居状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
１－７　父親の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
１－８　母親の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
１－９　調査票の記入者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　２　調査結果（未就学児）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
２－１　地域療育センターの利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
２－２　地域療育センター初診待機期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
２－３　障害児通所支援等の利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
２－４　利用負担額について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
２－５　児童発達支援センター利用満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
２－６　児童発達支援指定事業所利用満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
２－７　障害児通所支援等　今後の利用希望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
２－８　発達障害の診断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
２－９　診断を受けた機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
２－１０　医療的ケア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
２－１１　発達の遅れに気づいた時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
２－１２　発達の遅れに気づいたきっかけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
２－１３　発達の遅れに気づいたときの相談相手・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
２－１４　発達の遅れに気づいたときに困ったこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
２－１５　発達の遅れに気づいたときに感じたこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
２－１６　利用している教育・保育施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
２－１７　過去に利用した教育・保育施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
２－１８　療育グループの利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
２－１９　療育グループへの要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49

２－２０　いこいの家の利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
２－２１　ハビリテーションの利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
２－２２　ハビリテーション利用の詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
２－２３　ハビリテーションへの要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
２－２４　地域療育センターの評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
２－２５　就学前の発達支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・67
２－２６　就学に向けての不安・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69

Ⅲ　調査結果（就学児アンケート）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
１　回答者の属性（フェース項目）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
１－１　子どもの年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
１－２　子どもの性別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
１－３　兄弟・姉妹の状況（平成３０年４月１日現在）・・・・・・・・・・・・・・・・・71
１－４　名古屋市での居住歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72
１－５　居住区（支所）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72
１－６　父親・母親との同居状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
１－７　父親の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
１－８　母親の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74
１－９　調査票の記入者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74
２　調査結果（就学児）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
２－１　地域療育センターの利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
２－２　地域療育センター初診待機期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77
２－３　障害児通所支援等の利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・78
２－４　利用負担額について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82
２－５　放課後等デイサービス利用満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83
２－６　障害児通所支援等　今後の利用希望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・85
２－７　発達障害の診断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87
２－８　診断を受けた機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88
２－９　医療的ケア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・89
２－１０　医療的ケアが必要なことによって困ったこと・・・・・・・・・・・・・・・・・90
２－１１　通っている学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・92
２－１２　放課後事業利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
２－１３　ハビリテーションの利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・98
２－１４　ハビリテーション利用の詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
２－１５　ハビリテーションへの要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100
２－１６　発達の遅れに気づいた時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・103
２－１７　発達の遅れに気づいたきっかけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104
２－１８　発達の遅れに気づいたときの相談相手・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
２－１９　発達の遅れに気づいたときに困ったこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・107
２－２０　発達の遅れに気づいたときに感じたこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・108

２－２１　就学前に利用していた教育・保育施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・109
２－２２　児童発達支援センターの利用経験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・110
２－２３　児童発達支援センターへの要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・113
２－２４　児童発達支援指定事業所の利用経験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・115
２－２５　療育グループの利用経験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・117
２－２６　療育グループへの要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
２－２７　いこいの家の利用経験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・122
２－２８　子どもの発達促進に効果のあった事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・124
２－２９　保護者の支援に役立った事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・126
２－３０　地域療育センターの評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・127
２－３１　就学前の発達支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・129
２－３２　希望する就学後の支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・131

Ⅳ　資料編 ・・133
１　資料（未就学児アンケート）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・133
１－１　単純集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・133
１－２　調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・149
２　資料（就学児アンケート）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・165
２－１　単純集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・165
２－２　調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・182

Ⅰ　調査概要

１　調査概要

１－１　調査の目的

本調査は、本市の子ども発達支援施策に関する将来的な方針を検討する上での基礎資料の収集を目的とする。

１－２　調査の設計・回収結果等

①調査対象　名古屋市内に居住する平成３０年３月１日時点で障害児通所支援給付の認定を受けている子どもの保護者

②標 本 数　4,438 人（未就学児 940 人、就学児 3,498 人）

③抽出方法　名古屋市福祉総合システム（障害児支援システム）から抽出

④調査方法　郵送配布、郵送回収

⑤調査時期　平成３０年４月～５月

⑥回収結果　有効回収数 2,057 件（未就学児 505 件、就学児 1,552 件）

回　収　率　46.3％（未就学児 53.7％、就学児 44.4％）

⑦調査の委託　調査の実施・集計・分析は合同会社ＫＵＲＩＯに委託

１－３　報告書の見方

①比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出した。このため、合計が 100％にならないこともある。

②複数回答を前提とした質問では、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何％なのかという見方をする。このため、各項目の比率の合計は通常 100％を超える。

③本報告書中の文章、表、グラフ等の見出しの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。

④クロス集計の図表で表側となる設問に「無回答」がある場合は、これを表示していない。ただし、全体の件数に含めているため、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

⑤本報告書では、質問ごとに、単純集計表またはグラフ、フェース項目および他の質問とのクロス集計のうち特徴が見られるデータの集計表の順に記載している。

⑥未就学児と就学児に共通して尋ねた質問については、原則として未就学児の項に未就学児と就学児を合わせた集計表を掲載している。

１－４　地域療育センターの管轄と施設位置図

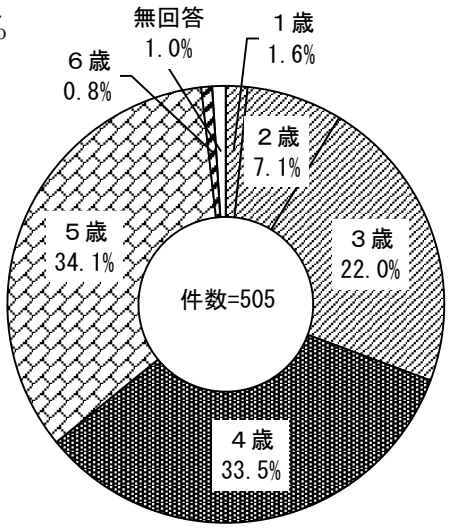
凡　　例	
―・-	区界
━━	地域療育センター管轄界
⊙	地域療育センター施設

Ⅱ　調査結果（未就学児アンケート）

１　回答者の属性（フェース項目）

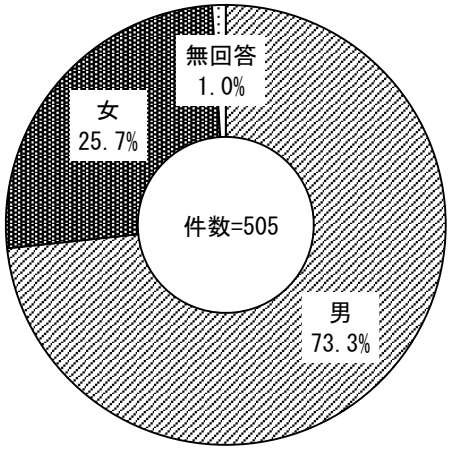
１－１　子どもの年齢

● 子どもの年齢は、「５歳」が 34.1%、「４歳」が 33.5%「３歳」が 22.0%となっている。



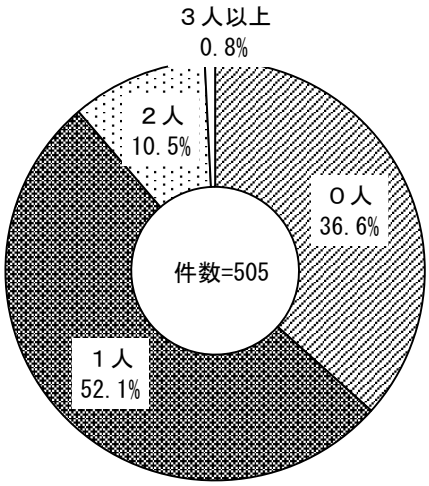
１－２　子どもの性別

● 子どもの性別は、「男」が 73.3%、「女」が 25.7%となっている。



１－３　兄弟・姉妹の状況（平成３０年４月１日現在）

● 兄弟、姉妹の状況は、「兄弟・姉妹がいない」が 36.6%、「兄弟・姉妹がいる」が 63.4%となっている。兄弟・姉妹数は、「１人」が 52.1%、「２人」が 10.5%となっている。



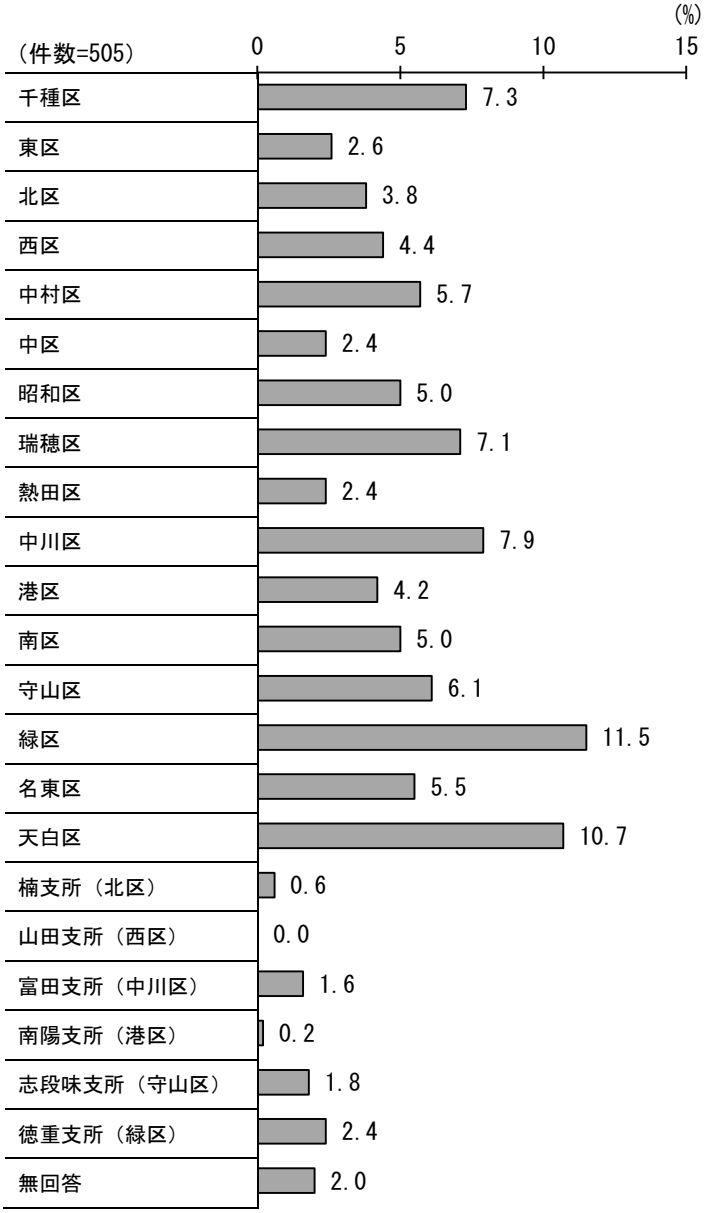
１－４　名古屋市での居住歴

● 名古屋市での居住歴は、「出生時から」が 82.2%で最も高くなっている。

件数	出生時から	0歳のときに転入	1歳のときに転入	2歳のときに転入	3歳のときに転入	4歳以上のときに転入	無回答
505	415	16	22	25	17	4	6
100.0	82.2	3.2	4.4	5.0	3.4	0.8	1.2

１－５　居住区（支所）

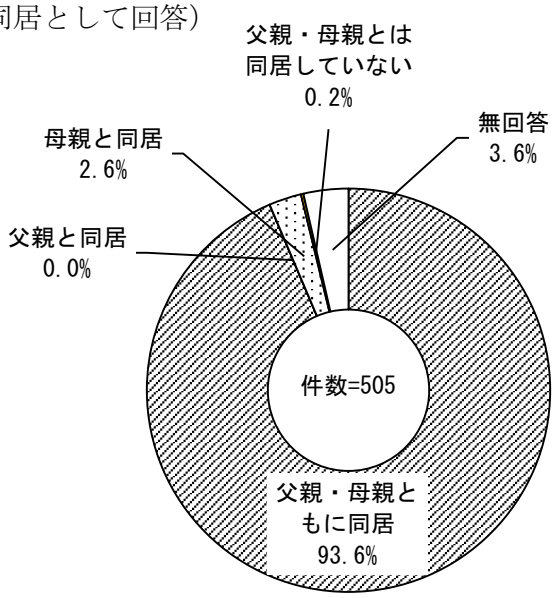
● 居住区については、「緑区」が 11.5%で最も高く、次いで「天白区」が 10.7%「中川区」が 7.9%、「千種区」が 7.3%、「瑞穂区」が 7.1%となっている。



１－６　父親・母親との同居状況

（入院や単身赴任等で一時的に同居していない方は同居として回答）

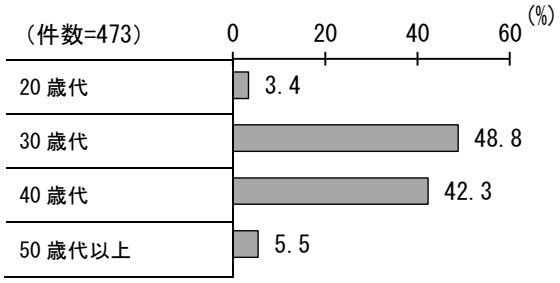
● 父親・母親との同居状況は、「父親・母親ともに同居」が 93.6%と最も高くなっている。



１－７　父親の状況

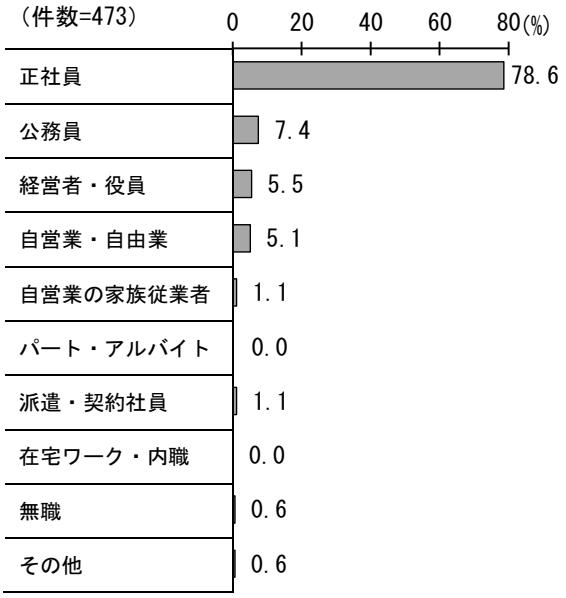
①父親の年齢

● 父親の年齢は、「30 歳代」が 48.8%で最も高く、次いで「40 歳代」が 42.3%となっている。平均年齢は、39.4 歳となっている。



②父親の就労形態・時期

● 父親の就労形態は、「正社員」が 78.6%と最も高く、次いで「公務員」が 7.4%、「経営者・役員」が 5.5%となっている。



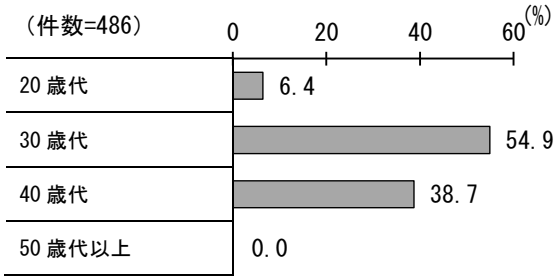
Ｆ６③現在の職業の勤務年数

件数	25年以上	20～24年	15～19年	10～14年	5～9年	4年以下	無回答
473 100.0	34 7.2	58 12.3	75 15.9	117 24.7	75 15.9	42 8.9	72 15.2

１－８　母親の状況

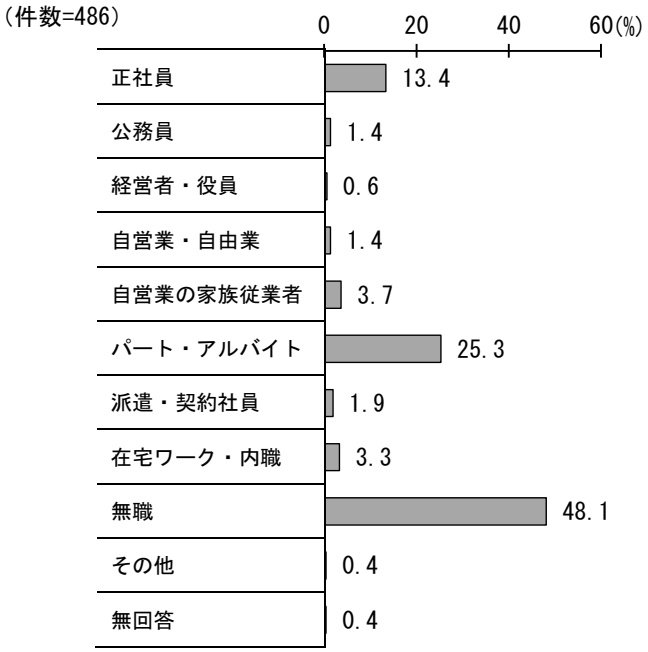
①母親の年齢

● 母親の年齢は、「30 歳代」が 54.9%で最も高く、次いで「40 歳代」が 38.7%となっている。平均年齢は、37.7 歳となっている。



②母親の就労形態・時期

● 母親の就労形態は、「無職」が 48.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が 25.3%、「正社員」が 13.4%となっている。

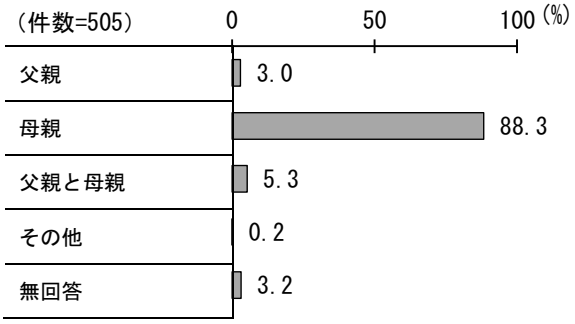


Ｆ７③現在の職業の勤務年数

件数	25年以上	20～24年	15～19年	10～14年	5～9年	4年以下	無回答
486	3	6	28	42	164	202	41
100.0	0.6	1.2	5.8	8.6	33.7	41.6	8.4

１－９　調査票の記入者

● 調査票の記入者は、「母親」が 88.3%で最も高くなっている。



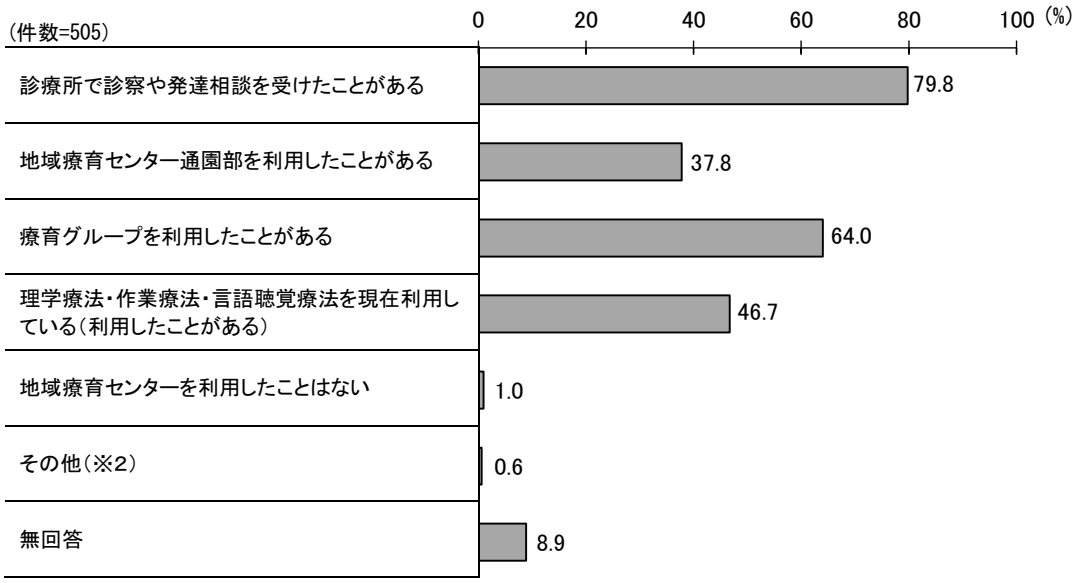
２　調査結果（未就学児）

２－１　地域療育センターの利用状況

問 1-1　お子さんはこれまでに地域療育センターを利用したことがありますか。（すべて）

● 子どもがこれまでに地域療育センターを利用したことがあるのは 89.5%（※１）となっている。利用状況をみると、「診療所で診察や発達相談を受けたことがある」が 79.8%と最も高く、次いで「療育グループを利用したことがある」（64.0%）、「理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）」（46.7%）、「地域療育センター通園部を利用したことがある」（37.8%）となっている。

また、「その他」「無回答」を除いた数に対する各質問の割合は、「診療所で診察や発達相談を受けたことがある」は 88.2%、「療育グループを利用したことがある」は 70.7%、「理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）」は 51.6%、「地域療育センター通園部を利用したことがある」は 41.8%となっている。



※１全体から「地域療育センターを利用したことはない」「その他（※２）」「無回答」を除いた割合

※２利用したことがあると利用したことがないの両方を選択された方

● 地域療育センターの対象エリア別で利用状況を見ると、すべての項目で割合の高いセンターと低いセンターで 10 ポイント以上の差がある。

問１－１　地域療育センターの利用状況

上段：実数 下段：%	件数	診療所で診察や発達相談を受けたことがある	地域療育センター通園部を利用したことがある	療育グループを利用したことがある	理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）	地域療育センターを利用したことはない	その他（※）	無回答
全体	505	403	191	323	236	5	3	45
	100.0	79.8	37.8	64.0	46.7	1.0	0.6	8.9
地域療育センターの対象エリア別								
中央療育センター	139	109	45	87	63	4	0	13
	100.0	78.4	32.4	62.6	45.3	2.9	0.0	9.4
東部地域療育センター	105	88	43	62	60	1	0	8
	100.0	83.8	41.0	59.0	57.1	1.0	0.0	7.6
西部地域療育センター	99	79	33	70	38	0	1	8
	100.0	79.8	33.3	70.7	38.4	0.0	1.0	8.1
南部地域療育センター	95	78	43	63	40	0	1	9
	100.0	82.1	45.3	66.3	42.1	0.0	1.1	9.5
北部地域療育センター	57	42	24	36	30	0	1	5
	100.0	73.7	42.1	63.2	52.6	0.0	1.8	8.8

※利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

● 未就学児と就学児を合わせた地域療育センターの対象エリア別の利用状況を見ると、すべての項目で割合の最も高いセンターと最も低いセンターで 10 ポイント以上の差がある。

問１－１　地域療育センターの利用状況

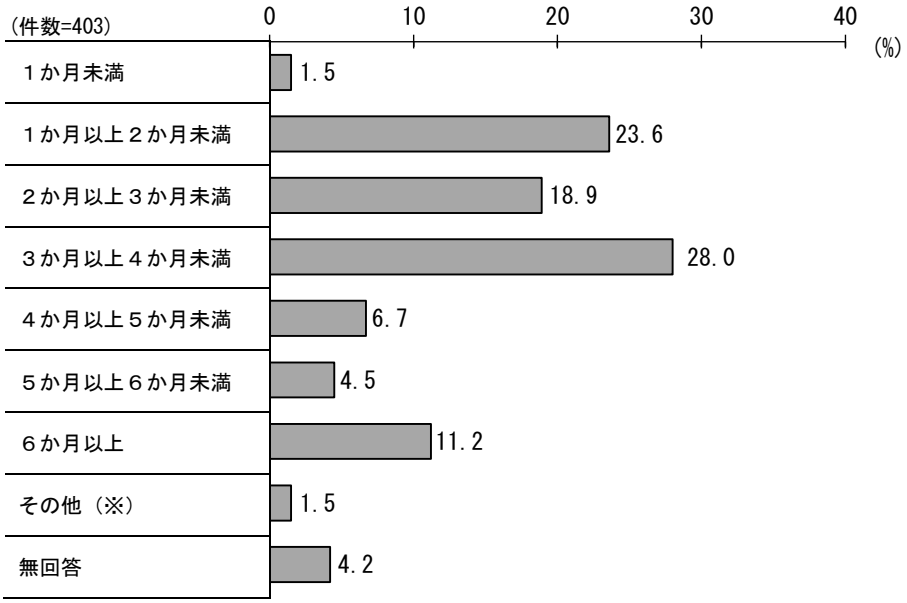
上段：実数 下段：%	件数	診療所で診察や発達相談を受けたことがある	地域療育センター通園部を利用したことがある	療育グループを利用したことがある	理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）	地域療育センターを利用したことはない	その他（※）	無回答
全体	2057	1531	747	1195	957	85	31	164
	100.0	74.4	36.3	58.1	46.5	4.1	2.0	22.0
地域療育センターの対象エリア別								
中央療育センター	452	340	154	256	209	20	5	37
	100.0	75.2	34.1	56.6	46.2	4.4	1.1	8.2
東部地域療育センター	495	377	152	277	247	19	9	38
	100.0	76.2	30.7	56.0	49.9	3.8	1.8	7.7
西部地域療育センター	423	297	129	248	166	22	7	35
	100.0	70.2	30.5	58.6	39.2	5.2	1.7	8.3
南部地域療育センター	359	293	173	230	188	8	3	24
	100.0	81.6	48.2	64.1	52.4	2.2	0.8	6.7
北部地域療育センター	262	178	115	153	121	7	6	25
	100.0	67.9	43.9	58.4	46.2	2.7	2.3	9.5

※利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

２－２　地域療育センター初診待機期間

問 1-2　初めて地域療育センターの診療所で診察や発達相談を受けたとき、申し込んでから利用できるまでの期間はどの程度でしたか。（数値記入）
【問 1-1 で１に○をつけた方（地域療育センターの診療所で診察や発達相談を受けたことがある方）におたずねしています。】

● 地域療育センター初診待機期間については、「3 か月以上 4 か月未満」が 28.0％と最も高く、次いで「1 か月以上 2 か月未満」（23.6％）、「2 か月以上 3 か月未満」（18.9％）となっている。



● 未就学児と就学児の就学区分別でみると、小学校以下では「３か月以上４か月未満」の割合が高く、中学校以上では「１か月以上２か月未満」の割合が高いなど年齢が低いほど待機期間が長い傾向がある。

問１－２　地域療育センター初診待機時間

上段：実数 下段：％	件数	1か月未満	1か月以上2か月未満	2か月以上3か月未満	3か月以上4か月未満	4か月以上5か月未満	5か月以上6か月未満	6か月以上	その他（※）	無回答
未就学児	403	6	95	76	113	27	18	45	6	17
	100.0	1.5	23.6	18.9	28.0	6.7	4.5	11.2	1.5	4.2
小学校	736	13	139	128	204	57	6	117	32	40
	100.0	1.8	18.9	17.4	27.7	7.7	0.8	15.9	4.4	5.4
中学校	197	3	53	41	43	8	1	26	11	11
	100.0	1.5	26.9	20.8	21.8	4.1	0.5	13.2	5.6	5.6
高校相当	167	6	42	26	35	7	3	12	8	28
	100.0	3.6	25.1	15.6	21.0	4.2	1.8	7.2	4.8	16.8

※数値以外を記入した方

● 地域療育センターの対象エリア別で見ると、「３か月以上４か月未満」の割合が高いセンターと「１か月以上２か月未満」の割合が高いセンターがあるなど、センターにより異なる傾向が見られる。

問１－２　地域療育センター初診待機時間

上段：実数 下段：％	件数	1か月未満	1か月以上2か月未満	2か月以上3か月未満	3か月以上4か月未満	4か月以上5か月未満	5か月以上6か月未満	6か月以上	その他（※）	無回答
全体	403	6	95	76	113	27	18	45	6	17
	100.0	1.5	23.6	18.9	28.0	6.7	4.5	11.2	1.5	4.2
地域療育センターの対象エリア別										
中央療育センター	109	3	30	24	25	7	4	10	0	6
	100.0	2.8	27.5	22.0	22.9	6.4	3.7	9.2	0.0	5.5
東部地域療育センター	88	2	15	14	27	8	4	14	2	2
	100.0	2.3	17.0	15.9	30.7	9.1	4.5	15.9	2.3	2.3
西部地域療育センター	79	1	15	13	26	3	6	10	0	5
	100.0	1.3	19.0	16.5	32.9	3.8	7.6	12.7	0.0	6.3
南部地域療育センター	78	0	22	13	19	7	3	7	3	4
	100.0	0.0	28.2	16.7	24.4	9.0	3.8	9.0	3.8	5.1
北部地域療育センター	42	0	9	12	15	2	1	3	0	0
	100.0	0.0	21.4	28.6	35.7	4.8	2.4	7.1	0.0	0.0

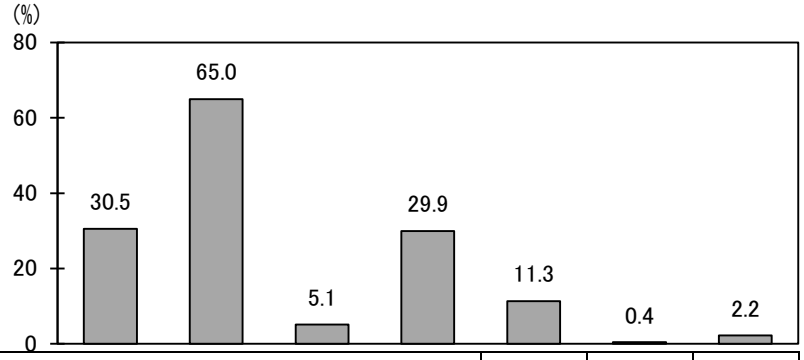
※数値以外を記入した方

２－３　障害児通所支援等の利用

問２　現在、お子さんは障害児通所支援等を利用していますか。（すべて）また、どの程度利用していますか。（数値記入）

● 現在、障害児通所支援等を「利用している」は 86.1%（※１）、「現在は利用していない」は 11.3%となっている。利用状況については、「児童発達支援指定事業所」が 65.0%と最も高く、次いで「児童発達支援センター（地域療育センター通園部）」（30.5%）、「障害児相談支援」（29.9%）となっている。

また、児童発達支援センターまたは児童発達支援指定事業所を利用しているうち、障害児相談支援を利用していない割合は 67.9%となっている。



上段：実数 下段：%	件数	現在、利用している	児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	児童発達支援指定事業所	保育所等訪問支援	障害児相談支援	現在は利用していない	その他（※２）	無回答
全体	505 100.0	435 86.1	154 30.5	328 65.0	26 5.1	151 29.9	57 11.3	2 0.4	11 2.2
Ｆ１　子どもの年齢									
１歳	8 100.0	7 87.5	1 12.5	6 75.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
２歳	36 100.0	34 94.4	16 44.4	26 72.2	0 0.0	10 27.8	1 2.8	0 0.0	1 2.8
３歳	111 100.0	88 79.3	36 32.4	61 55.0	9 8.1	25 22.5	22 19.8	0 0.0	1 0.9
４歳	169 100.0	140 82.8	49 29.0	103 60.9	8 4.7	51 30.2	20 11.8	1 0.6	8 4.7
５歳	172 100.0	157 91.3	45 26.2	126 73.3	9 5.2	62 36.0	13 7.6	1 0.6	1 0.6
６歳	4 100.0	4 100.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※１全体から「現在は利用していない」「その他（※２）」「無回答」を除いた割合

※２利用していないと利用しているの両方を選択した方

● 障害児相談支援を利用している方でみると、児童発達支援指定事業所を利用している方の割合が 77.5%と高くなっている。

児童発達支援センター・事業所を利用している方（問２）

上段：実数 下段：%	件数	児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	児童発達支援指定事業所
障害児相談支援	151 100.0	44 29.1	117 77.5

※ 児童発達支援センターは障害児相談支援事業所に指定されており、利用手続きと相談を一体的に行っているため、すべての対象者が障害児相談支援を利用しているが、回答者に障害児相談支援を利用したという認識がなく、利用したという回答が低くなっている可能性が高い。

● 地域療育センターの対象エリア別で見ると、児童発達支援センターの利用割合と児童発達支援指定事業所の利用割合についてセンターごとに異なる傾向が見られる。

問２ 障害児通所支援等の利用状況

上段：実数 下段：%	件数	現在、利用している	児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	児童発達支援指定事業所	保育所等訪問支援	障害児相談支援	現在は利用していない	その他（※）	無回答
全体	505 100.0	435 86.1	154 30.5	328 65.0	26 5.1	151 29.9	57 11.3	2 0.4	11 2.2
地域療育センターの対象エリア別									
中央療育センター	139 100.0	123 88.5	32 23.0	108 77.7	2 1.4	40 28.8	14 10.1	0 0.0	2 1.4
東部地域療育センター	105 100.0	88 83.8	40 38.1	59 56.2	9 8.6	33 31.4	13 12.4	1 1.0	3 2.9
西部地域療育センター	99 100.0	83 83.8	24 24.2	69 69.7	1 1.0	23 23.2	15 15.2	0 0.0	1 1.0
南部地域療育センター	95 100.0	85 89.5	38 40.0	52 54.7	11 11.6	35 36.8	6 6.3	1 1.1	3 3.2
北部地域療育センター	57 100.0	46 80.7	13 22.8	33 57.9	3 5.3	18 31.6	9 15.8	0 0.0	2 3.5

※利用していないと利用しているの両方を選択した方

● 利用頻度をみると、児童発達支援センター（地域療育センター通園部）では「月１６～２０回」（39.0%）、児童発達支援指定事業所では「月６～１０回」（32.0%）、障害児相談支援では「年２回」（47.0%）の割合が最も高くなっている。

問２　障害児通所支援等の利用頻度

上段：実数 下段：%	件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26回～	その他（※）	無回答
児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	154	33	12	23	60	18	2	0	6
	100.0	21.4	7.8	14.9	39.0	11.7	1.3	0.0	3.9
児童発達支援指定事業所	328	92	105	39	44	32	8	5	3
	100.0	28.0	32.0	11.9	13.4	9.8	2.4	1.5	0.9
保育所等訪問支援	26	11	1	0	5	3	0	1	5
	100.0	42.3	3.8	0.0	19.2	11.5	0.0	3.8	19.2

上段：実数 下段：%	件数	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回以上	その他（※）	無回答
障害児相談支援	151	41	71	12	10	8	4	5
	100.0	27.2	47.0	7.9	6.6	5.3	2.6	3.3

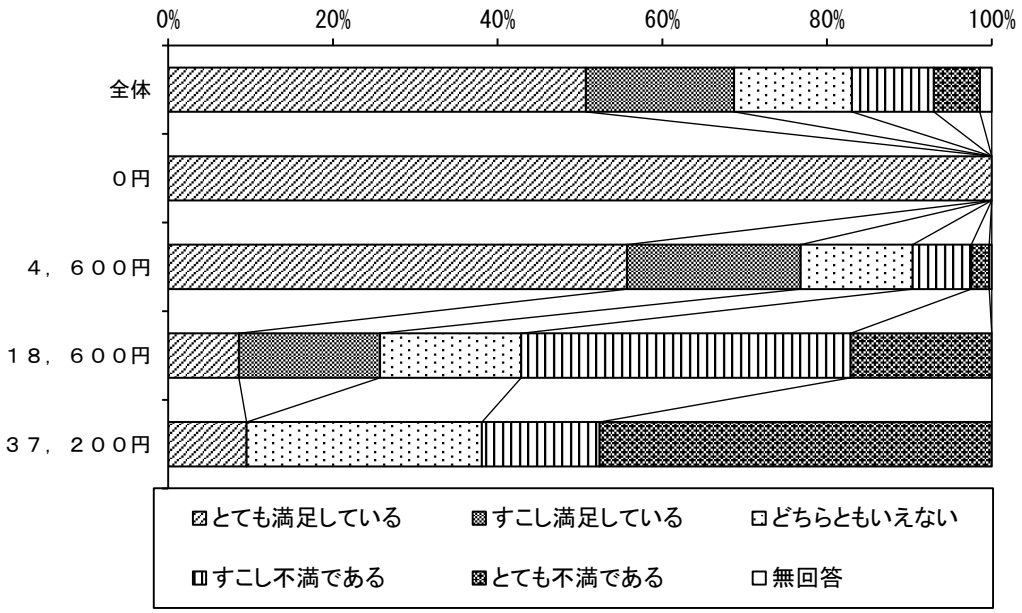
※数値以外で記入した方

２－４　利用負担額について

問３-1　児童発達支援センター（地域療育センター通園部）、児童発達指定事業所の利用者負担上限月額はいくらですか。（１つだけ）また、その月額に満足していますか。（１つだけ）
【問２で１または２あるいは両方に○をつけた方（児童発達支援センター《地域療育センター通園部》、児童発達支援指定事業所を利用しているお子さんの保護者の方）におたずねしています。】

● 利用負担額については、全体でみると、「とても満足している」と「少し満足している」を合わせた”満足している”が 68.7%に対して、「とても不満である」と「少し不満である」を合わせた”不満である”は 15.6%となっている。負担額別でみると、０円で”満足している”の割合（100.0%）が最も高く、37,200 円で”不満である”の割合（61.9%）が最も高くなっている。

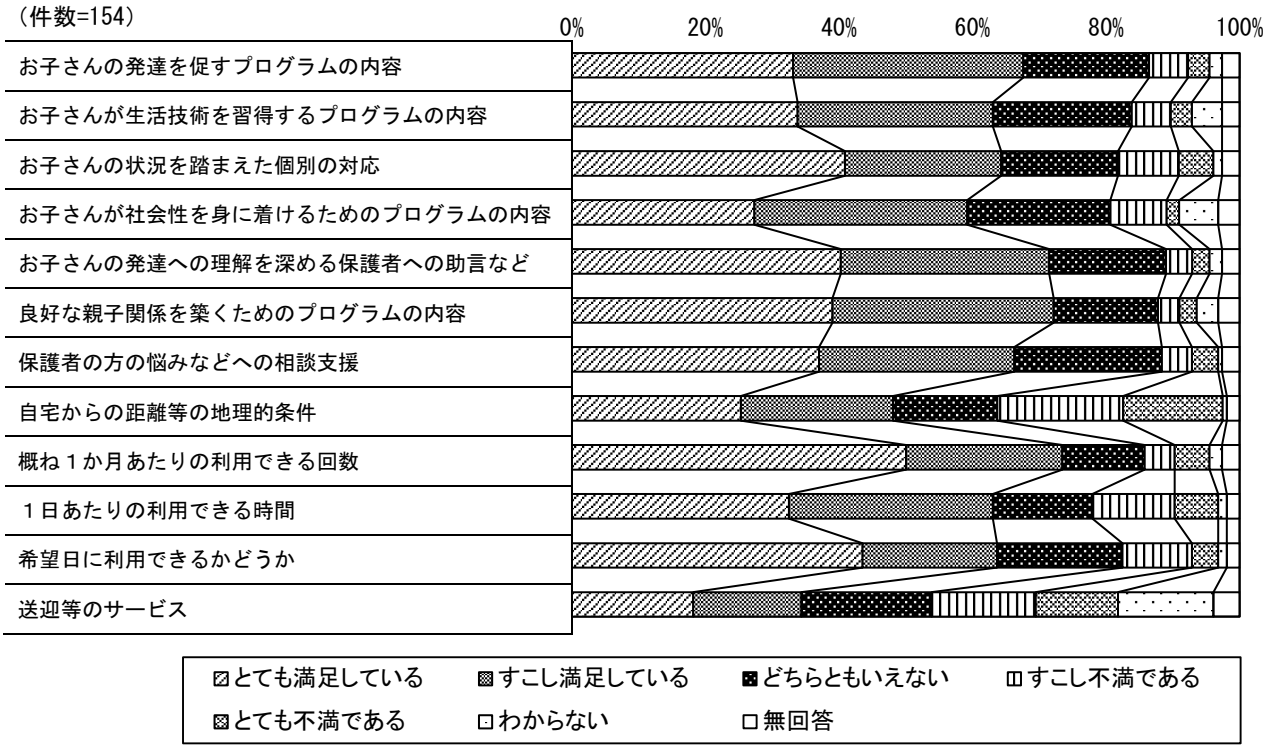
（件数=412）



２－５　児童発達支援センター利用満足度

問３-2　児童発達支援センター（地域療育センター通園部）の支援に満足していますか。（各問１つずつ）
【問２で１に〇をつけた方（児童発達支援センター《地域療育センター通園部》を利用しているお子さんの保護者の方）におたずねしています。】

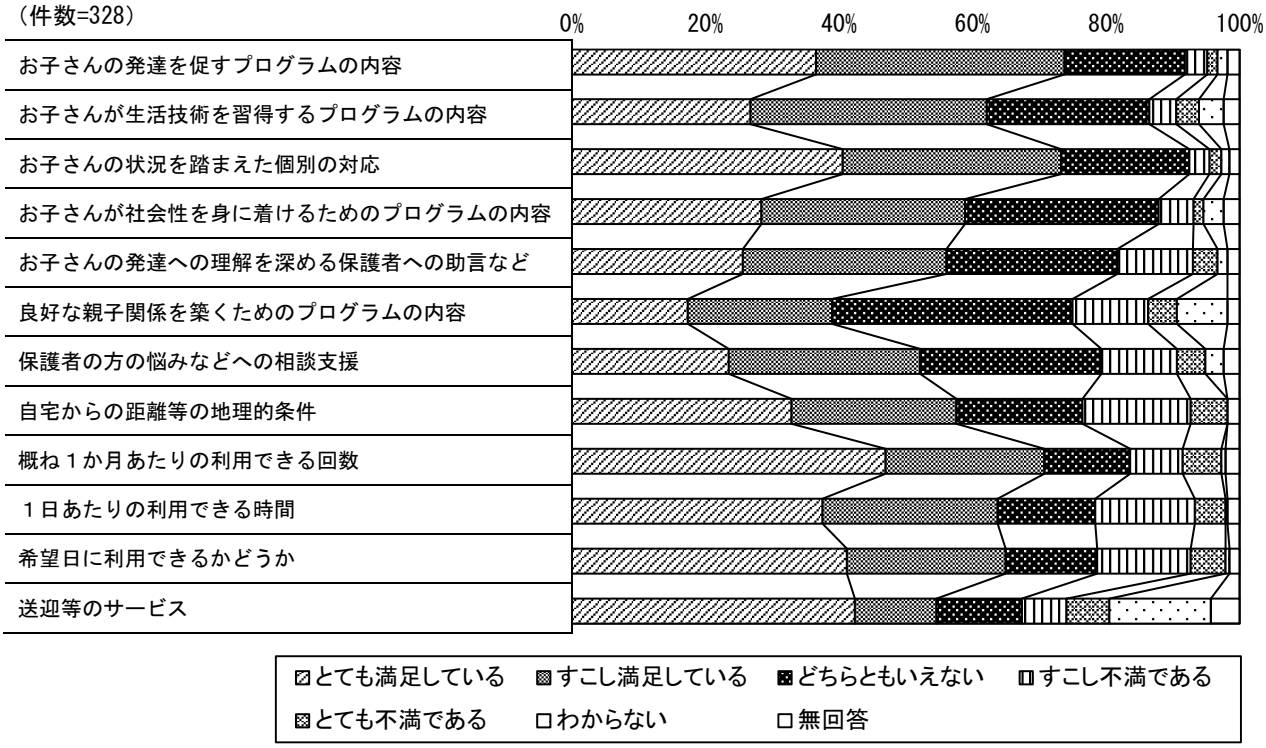
● 児童発達支援センターの利用満足度は、「とても満足している」と「少し満足している」を合わせた”満足している”の割合でみると、「概ね１か月あたりの利用できる回数」が 73.4%と最も高く、次いで「良好な親子関係を築くためのプログラムの内容」（72.1%）と「お子さんの発達への理解を深める保護者への助言など」（71.5%）となっており、「自宅からの距離等の地理的条件」（48.0%）と「送迎サービス」（34.4%）で５割を下回っている。



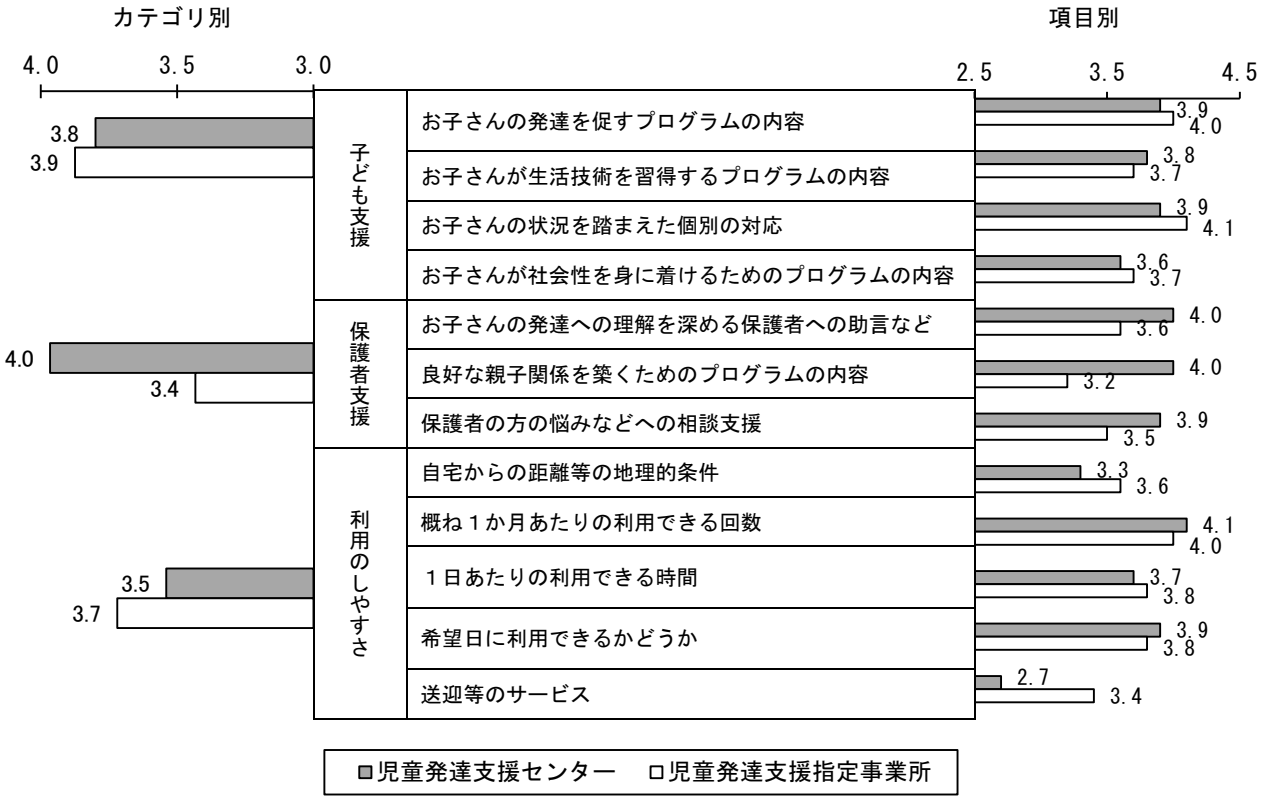
２－６　児童発達支援指定事業所利用満足度

問３-３　児童発達支援指定事業所の支援に満足していますか。（各問１つずつ）
【問２で２に○をつけた方（児童発達支援指定事業所を利用しているお子さんの保護者の方）におたずねしています。】

● 児童発達支援指定事業所の利用満足度は、「とても満足している」と「少し満足している」を合わせた”満足している”の割合でみると、「お子さんの発達を促すプログラムの内容」が 73.8%と最も高く、次いで「お子さんの状況を踏まえた個別の対応」（73.1%）、「概ね１か月あたりの利用できる回数」（70.8%）となっており、「良好な親子関係を築くためのプログラムの内容」（39.0%）で５割を下回っている。



● 問３－２と３－３を平均値で比較すると、項目別では「良好な親子関係を築くためのプログラムの内容」の満足度は 0.8 ポイント児童発達支援センターが高く、「送迎等のサービス」の満足度は 0.7 ポイント児童発達支援事業所が高くなっている。また、質問の内容を「子ども支援」、「保護者支援」、「利用のしやすさ」の３つのカテゴリにまとめてみると、「保護者支援」は児童発達支援センターの方が 0.6 ポイント高いのに対して、「子ども支援」（0.1 ポイント）、「利用のしやすさ」（0.2 ポイント）は児童発達支援指定事業所の方が高くなっている。

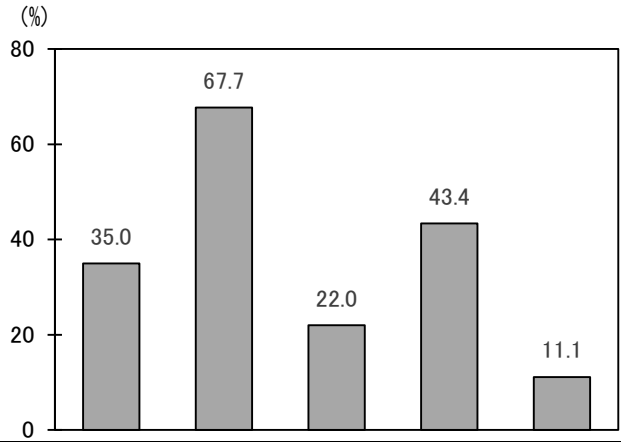


※ 平均値は、とても満足している＝５点、すこし満足している＝４点、どちらともいえない＝３点、すこし不満である＝２点、とても不満である＝１点として算出。

２－７　障害児通所支援等　今後の利用希望

問４　今後、障害児通所支援等の利用を希望しますか。（すべて）また、どの程度利用を希望しますか。（数値記入）

●　障害児通所支援等の今後の利用希望は、「児童発達支援指定事業所」が 67.7%と最も高く、次いで「障害児相談支援」（43.4%）、「児童発達支援センター（地域療育センター通園部）」（35.0%）の順となっている。



上段：実数 下段：%	件数	児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	児童発達支援指定事業所	保育所等訪問支援	障害児相談支援	無回答
全体	505 100.0	177 35.0	342 67.7	111 22.0	219 43.4	56 11.1
Ｆ１　子どもの年齢						
１歳	8 100.0	6 75.0	7 87.5	3 37.5	5 62.5	0 0.0
２歳	36 100.0	19 52.8	28 77.8	5 13.9	14 38.9	3 8.3
３歳	111 100.0	44 39.6	64 57.7	29 26.1	44 39.6	14 12.6
４歳	169 100.0	52 30.8	112 66.3	38 22.5	75 44.4	21 12.4
５歳	172 100.0	50 29.1	123 71.5	34 19.8	78 45.3	18 10.5
６歳	4 100.0	3 75.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

● 地域療育センターの対象エリア別で見ると、すべての項目で割合の最も高いセンターと最も低いセンターで 10 ポイント以上の差がある。

問４　障害児通所支援等の今後の利用希望

上段：実数 下段：%	件数	児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	児童発達支援指定事業所	保育所等訪問支援	障害児相談支援	無回答
全体	505 100.0	177 35.0	342 67.7	111 22.0	219 43.4	56 11.1
地域療育センターの対象エリア別						
中央療育センター	139 100.0	44 31.7	103 74.1	30 21.6	57 41.0	13 9.4
東部地域療育センター	105 100.0	39 37.1	66 62.9	23 21.9	45 42.9	10 9.5
西部地域療育センター	99 100.0	35 35.4	71 71.7	14 14.1	34 34.3	9 9.1
南部地域療育センター	95 100.0	42 44.2	61 64.2	26 27.4	51 53.7	11 11.6
北部地域療育センター	57 100.0	14 24.6	34 59.6	14 24.6	27 47.4	11 19.3

● 利用希望頻度をみると、児童発達支援センター（地域療育センター通園部）は「月１６～２０回」の割合が 37.9%、児童発達支援指定事業所は「月１～５回」(29.2%)、保育所等訪問支援は「月１～５回」(86.5%)、障害児相談支援では「年２回」(41.1%) が最も高くなっている。

問４　障害児通所支援等の利用希望頻度

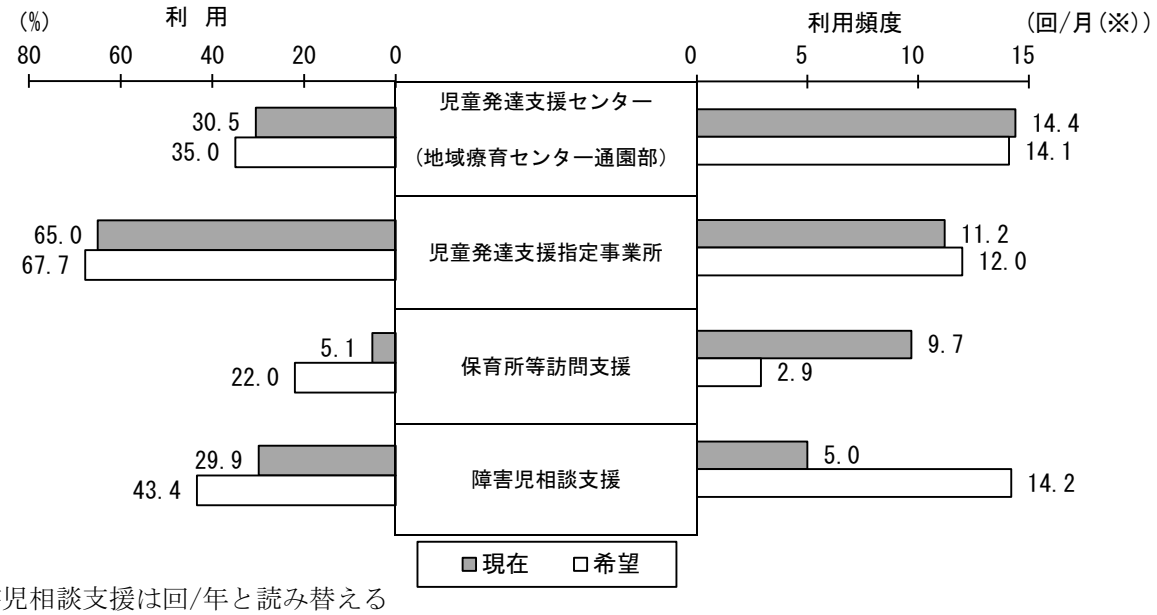
上段：実数 下段：%	件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26～回	その他（※）	無回答
児童発達支援センター (地域療育センター通園部)	177 100.0	50 28.2	13 7.3	17 9.6	67 37.9	27 15.3	2 1.1	0 0.0	1 0.6
児童発達支援指定事業所	342 100.0	100 29.2	97 28.4	40 11.7	42 12.3	39 11.4	18 5.3	5 1.5	1 0.3
保育所等訪問支援	111 100.0	96 86.5	2 1.8	1 0.9	5 4.5	1 0.9	0 0.0	2 1.8	4 3.6

問４　障害児通所支援等の利用希望頻度

上段：実数 下段：%	件数	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回以上	その他（※）	無回答
障害児相談支援	219 100.0	65 29.7	90 41.1	22 10.0	19 8.7	16 7.3	3 1.4	4 1.8

※数値以外を記入した方

● 問２（現在の利用と頻度）と比較すると、利用については、今後の利用希望が現在の利用をすべて上回り、「保育所等訪問支援」（16.9%差）で最も乖離がみられた。また、利用頻度については、「保育所等訪問支援」（6.8 回差）と「障害児相談支援」（9.2 回差）で乖離がみられた。



※障害児相談支援は回/年と読み替える

● 児童発達支援センターの現在の利用と利用希望（問２・問４）について対象エリア別に比較すると、利用希望が現在の利用を上回る傾向にあるが、東部地域療育センターのみ現在の利用と利用の希望に大きな差がない。

児童発達支援センターの現在の利用と利用希望

上段：実数 下段：%	現在の利用	利用希望
全体	154 30.5	177 35.0
地域療育センターの対象エリア別		
中央療育センター	32 23.0	44 31.7
東部地域療育センター	40 38.1	39 37.1
西部地域療育センター	24 24.2	35 35.4
南部地域療育センター	38 40.0	42 44.2
北部地域療育センター	13 22.8	14 24.6

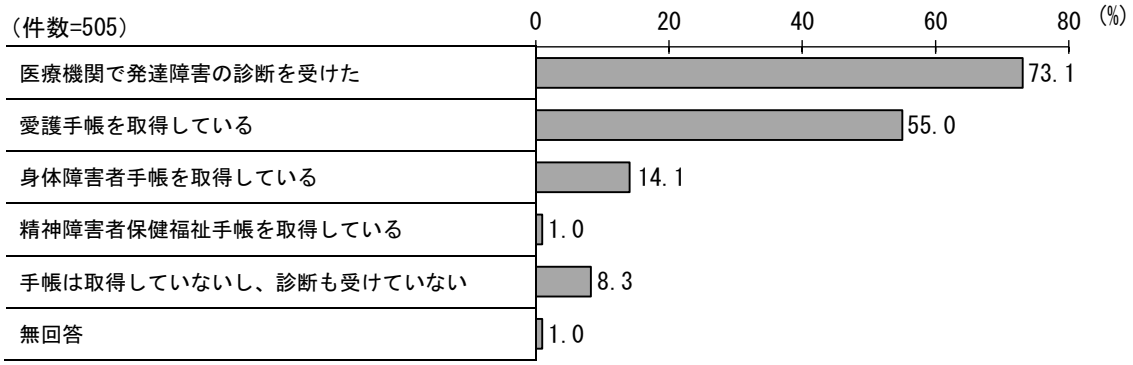
２－８　発達障害の診断

問５-1　お子さんは発達障害に関する診断を受けたことがありますか。（年齢）また、障害に関する手帳を取得していますか。（数値記入）（年齢）

● 発達障害の診断は、「医療機関で発達障害の診断を受けた」は 73.1％となっている。

障害者手帳の取得状況をみると、「愛護手帳」は 55.0％、「身体障害者手帳」は 14.1％、「精神障害者保健福祉手帳」は 1.0％となっている。

また、「手帳は取得していないし、診断も受けていない」は 8.3％となっている。



● 事項別でみると、いずれも「５歳」の割合が最も高く、「３歳」、「４歳」も合わせると９割近くとなっている。

問５－１　発達障害の診断

上段：実数 下段：％	件数	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	無回答
医療機関で発達障害の診断を受けた	369 100.0	5 1.4	22 6.0	72 19.5	121 32.8	144 39.0	2 0.5	3 0.8
愛護手帳を取得している	278 100.0	6 2.2	22 7.9	57 20.5	92 33.1	95 34.2	3 1.1	3 1.1
身体障害者手帳を取得している	71 100.0	2 2.8	8 11.3	18 25.4	17 23.9	23 32.4	0 0.0	3 4.2
精神障害者保健福祉手帳を取得している	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0

● 未就学児と就学児を合わせた年齢別でみると、中学校と高校相当では、全体と比較して「愛護手帳を取得している」の割合が高くなっている。

問５－１　発達障害の診断

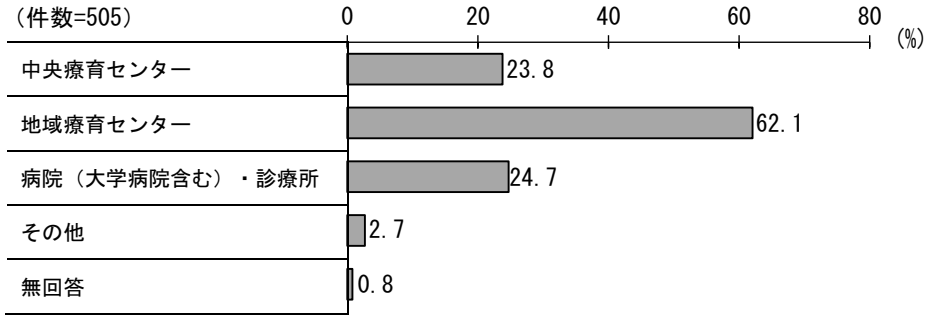
上段：実数 下段：％	件数	医療機関で発達障害の診断を受けた	愛護手帳を取得している	身体障害者手帳を取得している	精神障害者保健福祉手帳を取得している	手帳は取得していないし、診断も受けていない	その他（※）	無回答
全体	2057	1586	1289	307	101	80	2	25
	100.0	77.1	62.7	14.9	4.9	3.9	0.1	1.2
未就学児	505	369	278	71	5	42	0	5
	100.0	73.1	55.0	14.1	1.0	8.3	0.0	1.0
小学校	962	778	536	129	59	30	1	10
	100.0	80.9	55.7	13.4	6.1	3.1	0.1	1.0
中学校	273	215	216	39	15	5	0	2
	100.0	78.8	79.1	14.3	5.5	1.8	0.0	0.7
高校相当	274	194	229	59	18	3	1	8
	100.0	70.8	83.6	21.5	6.6	1.1	0.4	2.9

※利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

２－９　診断を受けた機関

問５-2　お子さんはどこで診断を受けましたか。（すべて）
【問５-1 で１に○をつけた方（医療機関で発達障害の診断を受けているお子さんの保護者の方）におたずねしています。】

● 診断を受けた機関については、「地域療育センター」が 62.1％と最も高く、次いで「病院（大学病院含む）・診療所」（24.7％）、「中央療育センター」（23.8％）の順となっている。



● 未就学児と就学児を合わせた年齢別でみると、未就学児では、全体と比較して「中央療育センター」（23.8％）の割合が低く、「地域療育センター」（62.1％）の割合が高くなっている。

問５－２　診断を受けた機関

上段：実数 下段：％	件数	中央療育センター	地域療育センター	病院（大学病院含む）・診療所	その他	無回答
全体	1586 100.0	516 32.5	785 49.5	512 32.3	56 3.5	12 0.8
未就学児と就学児を合わせた年齢別						
未就学児	369 100.0	88 23.8	229 62.1	91 24.7	10 2.7	3 0.8
小学校	778 100.0	272 35.0	365 46.9	259 33.3	27 3.5	6 0.8
中学校	215 100.0	75 34.9	93 43.3	75 34.9	10 4.7	1 0.5
高校相当	194 100.0	73 37.6	85 43.8	73 37.6	8 4.1	2 1.0

● 居住区別の状況を見ると、東区、中区、守山区では病院・診療所で診断を受けた割合が３０％以上と高くなっている（支所を除く）。

問５－２　発達障害と診断された機関

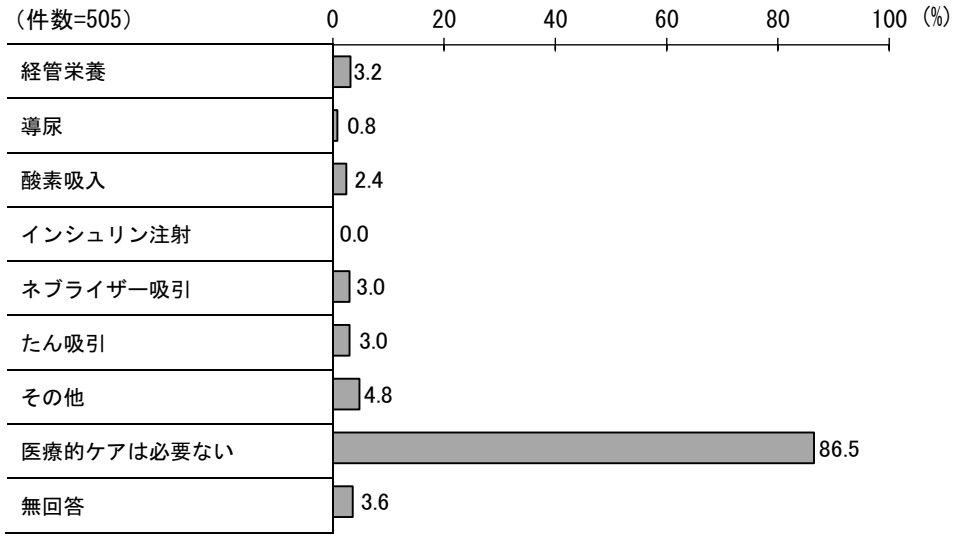
上段：実数 下段：％	件数	中央療育センター	地域療育センター	病院（大学病院含む）・診療所	その他	無回答
全体	369 100.0	88 23.8	229 62.1	91 24.7	10 2.7	3 0.8
Ｆ５　子どもの居住区（支所）						
千種区	28 100.0	2 7.1	22 78.6	7 25.0	0 0.0	1 3.6
東区	11 100.0	1 9.1	9 81.8	4 36.4	0 0.0	0 0.0
北区	15 100.0	0 0.0	14 93.3	4 26.7	0 0.0	0 0.0
西区	14 100.0	1 7.1	10 71.4	3 21.4	1 7.1	0 0.0
中村区	22 100.0	1 4.5	19 86.4	6 27.3	0 0.0	0 0.0
中区	8 100.0	6 75.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0
昭和区	13 100.0	12 92.3	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0
瑞穂区	26 100.0	23 88.5	0 0.0	5 19.2	2 7.7	0 0.0
熱田区	10 100.0	8 80.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0
中川区	35 100.0	0 0.0	31 88.6	8 22.9	0 0.0	0 0.0
港区	18 100.0	0 0.0	16 88.9	5 27.8	1 5.6	0 0.0
南区	18 100.0	0 0.0	16 88.9	3 16.7	0 0.0	1 5.6
守山区	23 100.0	2 8.7	16 69.6	7 30.4	0 0.0	0 0.0
緑区	39 100.0	1 2.6	31 79.5	6 15.4	1 2.6	1 2.6
名東区	22 100.0	0 0.0	18 81.8	6 27.3	0 0.0	0 0.0
天白区	35 100.0	30 85.7	1 2.9	10 28.6	2 5.7	0 0.0
楠支所（北区）	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
山田支所（西区）	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －
富田支所（中川区）	6 100.0	0 0.0	5 83.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0
南陽支所（港区）	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
志段味支所（守山区）	9 100.0	0 0.0	8 88.9	2 22.2	1 11.1	0 0.0
徳重支所（緑区）	7 100.0	0 0.0	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0

※中区、昭和区、瑞穂区、熱田区、天白区は中央療育センター管轄

２－１０　医療的ケア

問６　お子さんは現在、生活する上で何らかの医療的なケアが必要ですか。（すべて）

● 医療的ケアについては、「医療的ケアは必要ない」が 86.5%、「医療的ケアは必要ある」が 9.9%（※）となっている。



※全体から「医療的ケアは必要ない」「無回答」を除いた割合

● 年齢別でみると、年齢が低いほど医療的ケアが必要な子どもの割合が高い傾向がみられる。

問６　医療的ケア

上段：実数 下段：%	件数	経管栄養	導尿	酸素吸入	インシュリン注射	ネブライザー吸引	たん吸引	その他	医療的ケアは必要ない	無回答
全体	505	16	4	12	0	15	15	24	437	18
	100.0	3.2	0.8	2.4	0.0	3.0	3.0	4.8	86.5	3.6
Ｆ１　子どもの年齢										
１歳	8	1	0	1	0	0	1	0	6	0
	100.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	75.0	0.0
２歳	36	4	1	3	0	1	2	3	29	0
	100.0	11.1	2.8	8.3	0.0	2.8	5.6	8.3	80.6	0.0
３歳	111	7	1	3	0	9	6	8	93	4
	100.0	6.3	0.9	2.7	0.0	8.1	5.4	7.2	83.8	3.6
４歳	169	2	0	2	0	3	4	6	150	7
	100.0	1.2	0.0	1.2	0.0	1.8	2.4	3.6	88.8	4.1
５歳	172	2	1	3	0	2	2	7	152	6
	100.0	1.2	0.6	1.7	0.0	1.2	1.2	4.1	88.4	3.5
６歳	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

● 医療的ケアの有無で「障害児通所支援の利用状況」をみると、医療的ケア有りでは「児童発達支援センター（地域療育センター通園部）」（40.4%）を利用している割合が高くなっている。

問２　医療的ケアの有無による障害児通所支援等の利用状況

上段：実数 下段：%	件数	児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	児童発達支援指定事業所	保育所等訪問支援	障害児相談支援	現在は利用していない	その他（※）	無回答
全体	505	154	328	26	151	57	2	11
	100.0	30.5	65.0	5.1	29.9	11.3	0.4	2.2
医療的ケア								
有り	52	21	31	0	13	5	1	0
	100.0	40.4	59.6	0.0	25.0	9.6	1.9	0.0
無し	435	128	288	26	135	51	1	7
	100.0	29.4	66.2	6.0	31.0	11.7	0.2	1.6

※利用していないと利用しているの両方を選択した方

● 医療的ケアの有無で「発達の遅れに気づいたとき困ったこと」をみると、医療的ケア有りでは、全体と比較して「子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった」(52.0%)、「発達支援が利用できる施設等が利用できるまでに時間がかかった」（44.0%）の割合が高くなっている。

問７－４　発達の遅れに気づいたとき困ったこと

上段：実数 下段：%	件数	子どもの発達についてよくわからなかった	子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった	子どもの発達支援施策についての情報が少なかった	子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった	子どもの発達について診察ができる医療機関がどこにあるか分からなかった	子どもの発達について相談できる施設などが利用可能な地域になかった	子どもの発達について診察ができる医療機関が利用可能な地域になかった	発達支援が利用できる施設等が利用可能な地域になかった	子どもの発達について相談できる施設の利用までに時間がかかった	子どもの発達についての診察を受けるまでに時間がかかった	発達支援が利用できる施設等が利用できるまでに時間がかかった	その他	無回答
全体	400	172	168	183	151	138	17	14	15	162	197	123	56	20
	100.0	43.0	42.0	45.8	37.8	34.5	4.3	3.5	3.8	40.5	49.3	30.8	14.0	5.0
問６　医療的ケアの有無														
有り	25	10	13	10	11	9	2	0	2	11	15	11	7	0
	100.0	40.0	52.0	40.0	44.0	36.0	8.0	0.0	8.0	44.0	60.0	44.0	28.0	0.0
無し	363	153	151	168	136	125	12	12	11	146	177	108	49	19
	100.0	42.1	41.6	46.3	37.5	34.4	3.3	3.3	3.0	40.2	48.8	29.8	13.5	5.2

● 医療的ケアの有無で「発達の遅れに気づいたとき感じたこと」をみると、医療的ケア有りでは、全体と比較して「子どもの発達について知識がないことが不安だった」(40.0%)、「子どもの発達のために何をしたらいいか分からなかった」(76.0%)、「障害児や障害者の福祉制度について知りたいと思った」(52.0%)、「自分の子育てに問題があったのかと感じた」(56.0%)の割合が高くなっている。

問７－５　発達の遅れに気づいたときに感じたこと

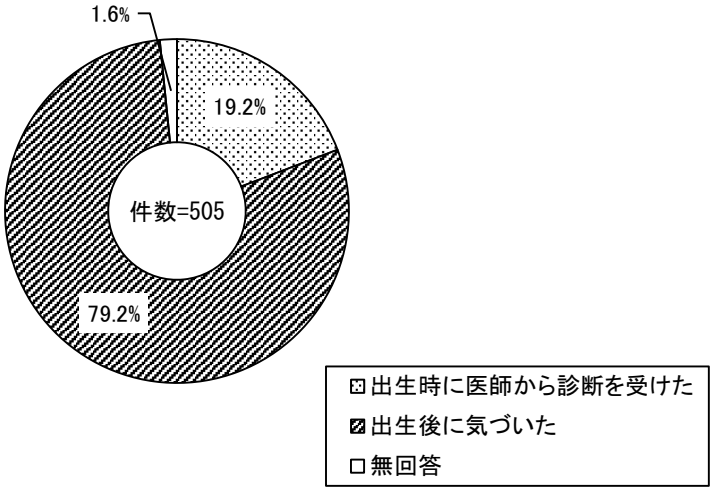
上段：実数 下段：%	件数	子どもの発達について知識がないことが不安だった	同じくらいの年齢の子どもとの違いが気になった	子どもの発達が遅れていると思いたくなかった	子どもに障害があるのではと心配になった	子どもの発達のために何をしたらいいか分からなかった	子どもにどう関わればいいか分からなかった	発達に遅れのある子どもの支援制度について知りたいと思った	障害児や障害者の福祉制度について知りたいと思った	誰（どこ）に相談すればいいか分からなかった
全体	400	124	322	165	263	271	180	216	144	137
	100.0	31.0	80.5	41.3	65.8	67.8	45.0	54.0	36.0	34.3
問６　医療的ケアの有無										
有り	25	10	20	8	18	19	13	13	13	7
	100.0	40.0	80.0	32.0	72.0	76.0	52.0	52.0	52.0	28.0
無し	363	107	291	151	237	244	161	199	126	126
	100.0	29.5	80.2	41.6	65.3	67.2	44.4	54.8	34.7	34.7

子どもの小学校就学のことが気になった	子どもの幼稚園や保育所の入園のことが気になった	子どもの将来のことが不安だった	自分の子育てに問題があったのかと感じた	子どもには個人差があるので気にする必要はないと思った	診察を受けるまでの期間が不安だった	できるだけ早く、専門機関で治療や訓練を受けなければと思った	その他	あてはまるものはない	無回答
198	229	298	185	27	189	247	36	2	15
49.5	57.3	74.5	46.3	6.8	47.3	61.8	9.0	0.5	3.8
11	14	22	14	1	12	15	6	0	0
44.0	56.0	88.0	56.0	4.0	48.0	60.0	24.0	0.0	0.0
180	207	267	164	24	173	224	29	2	15
49.6	57.0	73.6	45.2	6.6	47.7	61.7	8.0	0.6	4.1

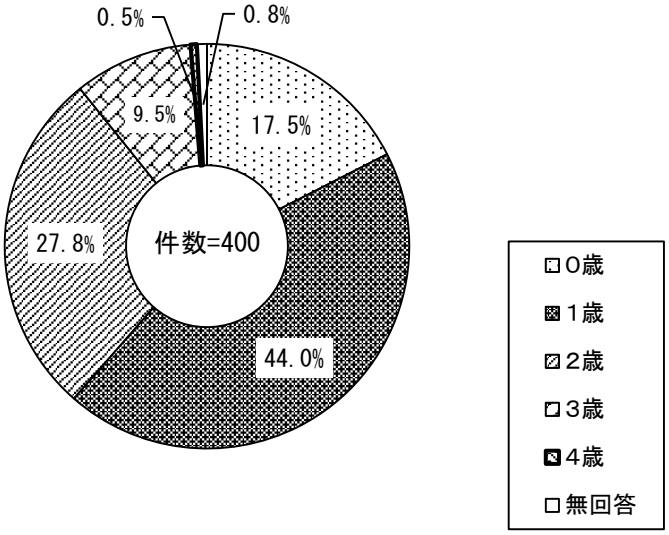
２－１１　発達の遅れに気づいた時期

問 7-1　お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたのはいつですか。（１つだけ）（数値記入）

● 発達の遅れに気づいた時期については、「出生時に医師から診断を受けた」が 19.2%、「出生後に気づいた」が 79.2%となっている。



● 出生後に気づいた時期は、「１歳」が 44.0%と最も高く、次いで「２歳」(27.8%)、「０歳」(17.5%)の順となっている。



● 未就学児と就学児を合わせた年齢別でみると、未就学児では、全体と比較して「３歳未満」(89.3%）の割合が高くなっている。

問７－１　発達の遅れに気づいた時期

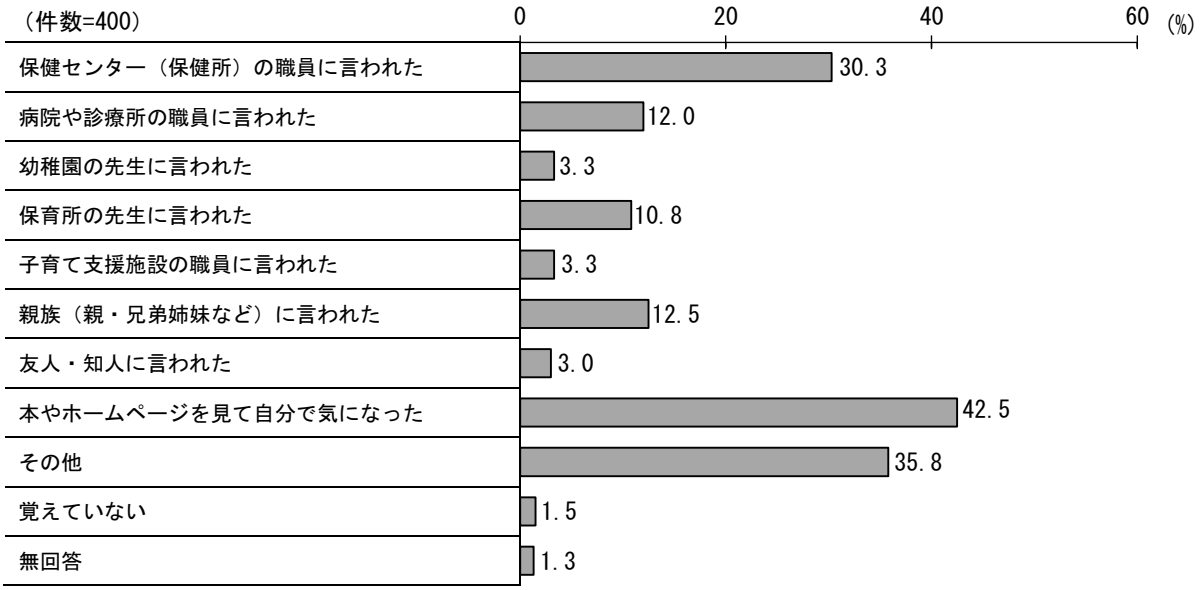
上段：実数 下段：%	件数	3歳未満	3歳以上6歳未満	6歳以上9歳未満	9歳以上12歳未満	12歳以上	その他（※）	無回答
全体	1642	1124	350	67	28	4	15	54
	100.0	68.5	21.3	4.1	1.7	0.2	0.9	3.3
未就学児と就学児を合わせた年齢別								
未就学児	400	357	40	0	0	0	0	3
	100.0	89.3	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
小学校	816	516	211	48	7	0	8	26
	100.0	63.2	25.9	5.9	0.9	0.0	1.0	3.2
中学校	221	128	53	11	11	3	4	11
	100.0	57.9	24.0	5.0	5.0	1.4	1.8	5.0
高校相当	205	123	46	8	10	1	3	14
	100.0	60.0	22.4	3.9	4.9	0.5	1.5	6.8

※数値以外を記入した方

２－１２　発達の遅れに気づいたきっかけ

問 7-2　お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づくきっかけはどのようなことでしたか。（すべて）
【問 7-1 で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねしています。

● 発達の遅れに気づいたきっかけは、「本やホームページを見て自分で気になった」が 42.5%と最も高く、次いで「保健センター（保健所）の職員に言われた」が 30.3%となっている。「その他」は、他の子どもや兄弟姉妹と比べて自分で気になったなどと回答した保護者が多くなっている。



● 未就学児と就学児を合わせた年齢別でみると、未就学児では、全体と比較して「本やホームページを見て自分で気になった」（42.5%）の割合が高くなっている。

問７－２　発達の遅れに気づいたきっかけ

上段：実数 下段：%	件数	保健センター（保健所）の職員に言われた	病院や診療所の職員に言われた	幼稚園の先生に言われた	保育所の先生に言われた	学校の先生に言われた	子育て支援施設の職員に言われた	親族（親・兄弟姉妹など）に言われた	友人・知人に言われた	本やホームページを見て自分で気になった	その他	覚えていない	無回答
全体	1642	485	226	88	177	39	29	184	52	505	557	22	21
	100.0	29.5	13.8	5.4	10.8	2.4	1.8	11.2	3.2	30.8	33.9	1.3	1.3
未就学児と就学児を合わせた年齢別													
未就学児	400	121	48	13	43	－	13	50	12	170	143	6	5
	100.0	30.3	12.0	3.3	10.8	－	3.3	12.5	3.0	42.5	35.8	1.5	1.3
小学校	816	237	116	45	93	18	12	92	24	229	270	9	12
	100.0	29.0	14.2	5.5	11.4	2.2	1.5	11.3	2.9	28.1	33.1	1.1	1.5
中学校	221	68	30	21	25	9	3	24	7	61	71	6	2
	100.0	30.8	13.6	9.5	11.3	4.1	1.4	10.9	3.2	27.6	32.1	2.7	0.9
高校相当	205	59	32	9	16	12	1	18	9	45	73	1	2
	100.0	28.8	15.6	4.4	7.8	5.9	0.5	8.8	4.4	22.0	35.6	0.5	1.0

● 未就学児と就学児を合わせた数を居住区別の状況で見ると、多くの項目で最も割合の高い区と最も低い区で 10 ポイント以上の差があるなど区によるばらつきが大きいが、「本やホームページを見て自分で気になった」が最も差が大きく 18.8 ポイントの差がある（支所を除く）。

問７－２　発達の遅れに気づいたきっかけ

上段：実数 下段：％	件数	保健センター（保健所）の職員に言われた	病院や診療所の職員に言われた	幼稚園の先生に言われた	保育所の先生に言われた	学校の先生に言われた	子育て支援施設の職員に言われた	親族（親・兄弟姉妹など）に言われた	友人・知人に言われた	本やホームページを見て自分で気になった	その他	覚えていない	無回答
全体	1642	485	226	88	177	39	29	184	52	505	557	22	21
	100.0	29.5	13.8	5.4	10.8	2.4	1.8	11.2	3.2	30.8	33.9	1.3	1.3
Ｆ５　子どもの居住区（支所）													
千種区	106	25	13	11	14	4	3	12	3	35	36	1	0
	100.0	23.6	12.3	10.4	13.2	3.8	2.8	11.3	2.8	33.0	34.0	0.9	0.0
東区	43	11	2	3	4	4	1	9	4	11	19	0	0
	100.0	25.6	4.7	7.0	9.3	9.3	2.3	20.9	9.3	25.6	44.2	0.0	0.0
北区	76	28	11	2	4	1	0	5	2	28	32	0	1
	100.0	36.8	14.5	2.6	5.3	1.3	0.0	6.6	2.6	36.8	42.1	0.0	1.3
西区	62	15	11	1	7	3	1	6	1	16	23	2	3
	100.0	24.2	17.7	1.6	11.3	4.8	1.6	9.7	1.6	25.8	37.1	3.2	4.8
中村区	95	33	12	5	11	2	1	8	3	27	31	1	0
	100.0	34.7	12.6	5.3	11.6	2.1	1.1	8.4	3.2	28.4	32.6	1.1	0.0
中区	39	11	8	3	1	0	0	10	1	11	14	0	0
	100.0	28.2	20.5	7.7	2.6	0.0	0.0	25.6	2.6	28.2	35.9	0.0	0.0
昭和区	70	19	14	6	4	1	1	4	0	26	25	0	0
	100.0	27.1	20.0	8.6	5.7	1.4	1.4	5.7	0.0	37.1	35.7	0.0	0.0
瑞穂区	87	20	14	4	12	1	1	7	5	24	27	1	3
	100.0	23.0	16.1	4.6	13.8	1.1	1.1	8.0	5.7	27.6	31.0	1.1	3.4
熱田区	48	13	7	3	8	1	2	3	2	13	20	0	2
	100.0	27.1	14.6	6.3	16.7	2.1	4.2	6.3	4.2	27.1	41.7	0.0	4.2
中川区	132	38	20	4	18	4	4	22	3	33	39	1	2
	100.0	28.8	15.2	3.0	13.6	3.0	3.0	16.7	2.3	25.0	29.5	0.8	1.5
港区	93	35	11	1	16	3	0	5	1	17	36	3	2
	100.0	37.6	11.8	1.1	17.2	3.2	0.0	5.4	1.1	18.3	38.7	3.2	2.2
南区	78	22	16	3	9	2	4	9	3	22	27	2	0
	100.0	28.2	20.5	3.8	11.5	2.6	5.1	11.5	3.8	28.2	34.6	2.6	0.0
守山区	127	40	14	5	16	2	4	18	3	44	41	0	1
	100.0	31.5	11.0	3.9	12.6	1.6	3.1	14.2	2.4	34.6	32.3	0.0	0.8
緑区	180	64	33	8	15	5	4	23	4	53	57	4	3
	100.0	35.6	18.3	4.4	8.3	2.8	2.2	12.8	2.2	29.4	31.7	2.2	1.7
名東区	144	37	17	9	11	2	1	17	5	53	43	2	3
	100.0	25.7	11.8	6.3	7.6	1.4	0.7	11.8	3.5	36.8	29.9	1.4	2.1
天白区	124	33	11	10	15	0	1	12	5	41	41	3	1
	100.0	26.6	8.9	8.1	12.1	0.0	0.8	9.7	4.0	33.1	33.1	2.4	0.8
楠支所（北区）	18	8	0	1	0	0	0	4	3	7	4	1	0
	100.0	44.4	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	22.2	16.7	38.9	22.2	5.6	0.0
山田支所（西区）	8	4	3	1	0	0	0	0	1	2	3	0	0
	100.0	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	37.5	0.0	0.0
富田支所（中川）	27	13	2	1	2	1	0	1	1	9	6	0	0
	100.0	48.1	7.4	3.7	7.4	3.7	0.0	3.7	3.7	33.3	22.2	0.0	0.0
南陽支所（港区）	5	2	0	0	0	0	0	2	0	3	2	0	0
	100.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
志段味支所（守山	25	4	0	0	1	0	0	1	0	11	13	0	0
	100.0	16.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	44.0	52.0	0.0	0.0
徳重支所（緑区）	36	6	4	3	7	1	1	6	0	12	13	0	0
	100.0	16.7	11.1	8.3	19.4	2.8	2.8	16.7	0.0	33.3	36.1	0.0	0.0

● 気づいた年齢別でみると、０歳では、「病院や診療所の職員に言われた」（35.7%）の割合が高いのに対して、１歳以上では「保健センター（保健所）の職員に言われた」が高くなっている。

問７－２　発達の遅れに気づいたきっかけ

上段：実数 下段：%	件数	保健センター（保健所）の職員に言われた	病院や診療所の職員に言われた	幼稚園の先生に言われた	保育所の先生に言われた	子育て支援施設の職員に言われた	親族（親・兄弟姉妹など）に言われた	友人・知人に言われた	本やホームページを見て自分で気になった	その他	覚えていない	無回答
全体	400	121	48	13	43	13	50	12	170	143	6	5
	100.0	30.3	12.0	3.3	10.8	3.3	12.5	3.0	42.5	35.8	1.5	1.3

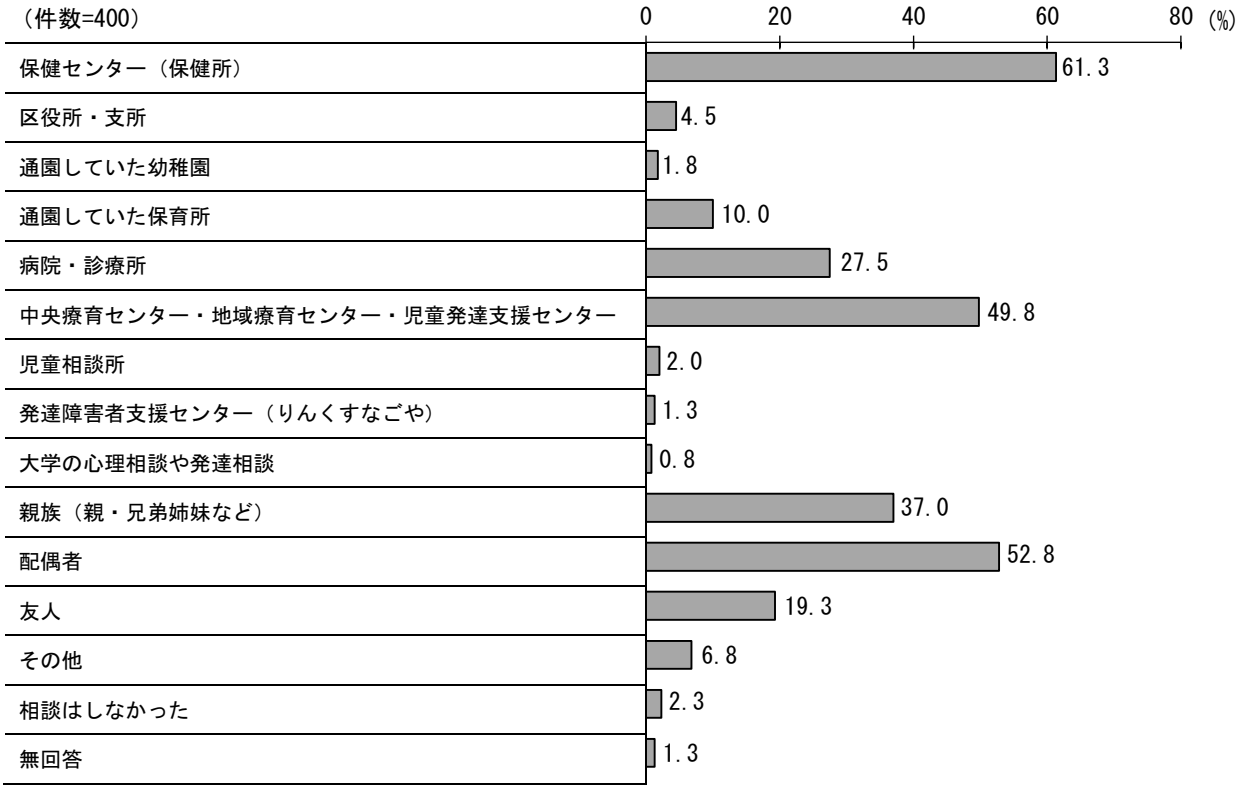
問７－１　気づいた年齢別

０歳	70	11	25	0	2	1	6	0	22	35	0	1
	100.0	15.7	35.7	0.0	2.9	1.4	8.6	0.0	31.4	50.0	0.0	1.4
１歳	176	67	13	2	17	5	24	4	87	60	3	1
	100.0	38.1	7.4	1.1	9.7	2.8	13.6	2.3	49.4	34.1	1.7	0.6
２歳	111	34	9	6	15	4	13	5	53	35	2	2
	100.0	30.6	8.1	5.4	13.5	3.6	11.7	4.5	47.7	31.5	1.8	1.8
３歳	38	9	1	5	8	2	6	3	7	9	1	1
	100.0	23.7	2.6	13.2	21.1	5.3	15.8	7.9	18.4	23.7	2.6	2.6
４歳	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
５歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

２-１３　発達の遅れに気づいたときの相談相手

問 7-3　お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、誰（どこ）に相談しましたか。（すべて）
【問 7-1 で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねしています。

● 発達の遅れに気づいたときの相談相手は、「保健センター（保健所）」が 61.3%と最も高く、次いで「配偶者」(52.8%)、「中央療育センター・地域療育センター・児童発達支援センター」(49.8%)の順になっている。



● 気づいた年齢別でみると、０歳では「保健センター（保健所）」（38.6%）の割合が低く、「病院・診療所」（67.1%）の割合が高くなっている。また、「中央療育センター・地域療育センター・児童発達支援センター」は、年齢に比例して割合が高くなっている。

問７－３　発達の遅れに気づいたときの相談相手

上段：実数 下段：%	件数	保健センター（保健所）	区役所・支所	通園していた幼稚園	通園していた保育所	病院・診療所	中央療育センター・地域療育センター・児童発達支援センター	児童相談所	発達障害者支援センター（りんくすなごや）	大学の心理相談や発達相談	親族（親・兄弟姉妹など）	配偶者	友人	その他	相談はしなかった	無回答
全体	400	245	18	7	40	110	199	8	5	3	148	211	77	27	9	5
	100.0	61.3	4.5	1.8	10.0	27.5	49.8	2.0	1.3	0.8	37.0	52.8	19.3	6.8	2.3	1.3

問７－１　気づいた年齢別

０歳	70	27	2	0	3	47	24	4	1	0	23	37	10	9	3	0
	100.0	38.6	2.9	0.0	4.3	67.1	34.3	5.7	1.4	0.0	32.9	52.9	14.3	12.9	4.3	0.0
１歳	176	128	8	1	18	36	89	1	2	0	71	103	37	11	2	3
	100.0	72.7	4.5	0.6	10.2	20.5	50.6	0.6	1.1	0.0	40.3	58.5	21.0	6.3	1.1	1.7
２歳	111	70	6	1	14	18	58	2	2	2	40	51	21	6	4	0
	100.0	63.1	5.4	0.9	12.6	16.2	52.3	1.8	1.8	1.8	36.0	45.9	18.9	5.4	3.6	0.0
３歳	38	18	1	5	5	7	24	0	0	1	12	16	6	1	0	2
	100.0	47.4	2.6	13.2	13.2	18.4	63.2	0.0	0.0	2.6	31.6	42.1	15.8	2.6	0.0	5.3
４歳	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	2	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	100	50.0	0.0	0.0	0.0
５歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

● 未就学児と就学児を合わせた年齢別でみると、未就学児では、「保健センター（保健所）」（61.3％）、「配偶者」（52.8％）、「親族（親・兄弟姉妹など）」（37.0％）の割合が高くなっているが、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にある。

問７－３　発達の遅れに気づいたときの相談相手

上段：実数 下段：％	件数	保健センター（保健所）	区役所・支所	通園していた幼稚園	通園していた保育所	病院・診療所	中央療育センター・地域療育センター・児童発達支援センター	児童相談所	発達障害者支援センター（りんくすなごや）	大学の心理相談や発達相談	親族（親・兄弟姉妹など）	配偶者	友人	その他	相談はしなかった	無回答
全体	1642	762	65	69	170	501	794	78	25	23	494	667	236	112	32	79
	100.0	46.4	4.0	4.2	10.4	30.5	48.4	4.8	1.5	1.4	30.1	40.6	14.4	6.8	1.9	4.8
未就学児と就学児を合わせた年齢別																
未就学児	400	245	18	7	40	110	199	8	5	3	148	211	77	27	9	5
	100.0	61.3	4.5	1.8	10.0	27.5	49.8	2.0	1.3	0.8	37.0	52.8	19.3	6.8	2.3	1.3
小学校	816	364	38	39	99	255	408	30	12	10	246	324	108	59	12	39
	100.0	44.6	4.7	4.8	12.1	31.3	50.0	3.7	1.5	1.2	30.1	39.7	13.2	7.2	1.5	4.8
中学校	221	78	3	10	19	70	95	16	4	3	52	74	26	13	6	18
	100.0	35.3	1.4	4.5	8.6	31.7	43.0	7.2	1.8	1.4	23.5	33.5	11.8	5.9	2.7	8.1
高校相当	205	75	6	13	12	66	92	24	4	7	48	58	25	13	5	17
	100.0	36.6	2.9	6.3	5.9	32.2	44.9	11.7	2.0	3.4	23.4	28.3	12.2	6.3	2.4	8.3

● 未就学児と就学児を合わせた数を居住区別の状況で見ると、保健センター（保健所）、病院・医療機関で最も割合の高い区と最も割合の低い区の差が 20 ポイント以上ある（支所を除く）。

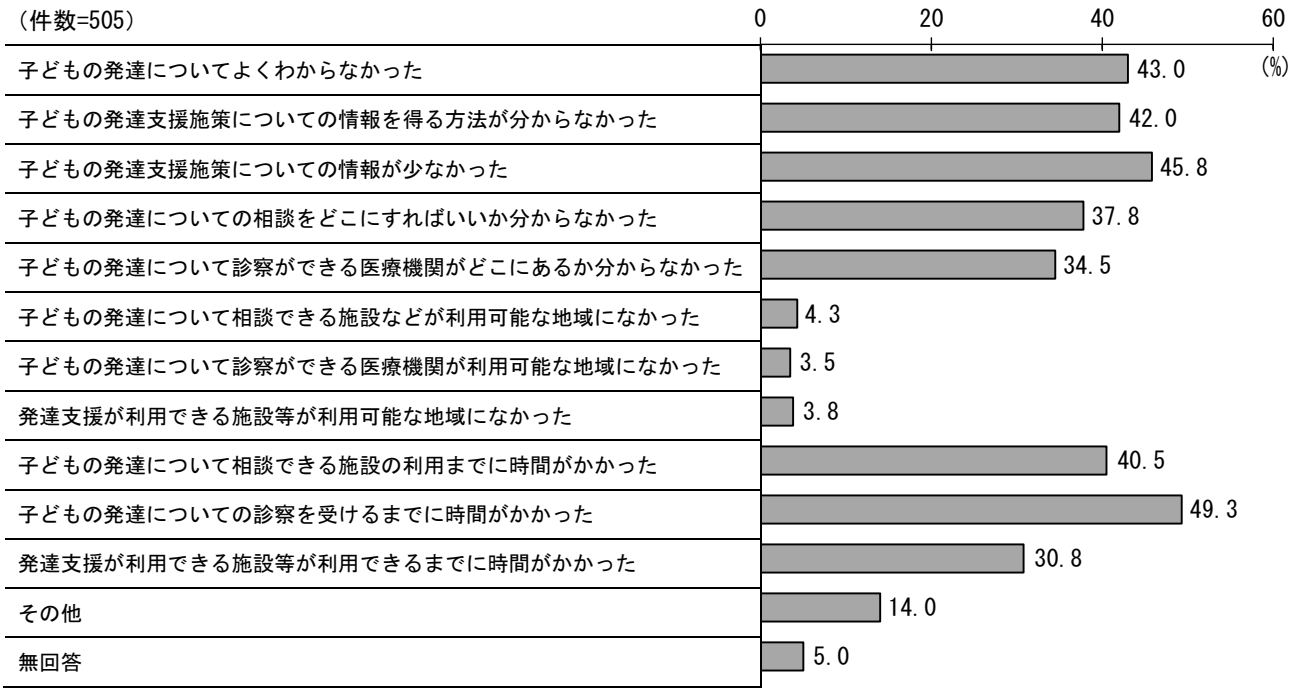
問７－３　発達の遅れに気づいたときの相談相手

上段：実数 下段：％	件数	保健センター（保健所）	区役所・支所	通園していた幼稚園	通園していた保育所	病院・診療所	中央療育センター・地域療育センター・児童発達支援センター	児童相談所	発達障害者支援センター（りんくすなごや）	大学の心理相談や発達相談	親族（親・兄弟姉妹など）	配偶者	友人	その他	相談はしなかった	無回答
全体	1642	762	65	69	170	501	794	78	25	23	494	667	236	112	32	79
	100.0	46.4	4.0	4.2	10.4	30.5	48.4	4.8	1.5	1.4	30.1	40.6	14.4	6.8	1.9	4.8
Ｆ５　子どもの居住区（支所）																
千種区	106	40	5	9	12	28	49	10	3	2	34	50	27	5	1	4
	100.0	37.7	4.7	8.5	11.3	26.4	46.2	9.4	2.8	1.9	32.1	47.2	25.5	4.7	0.9	3.8
東区	43	18	1	5	2	15	25	2	2	2	13	16	6	2	1	0
	100.0	41.9	2.3	11.6	4.7	34.9	58.1	4.7	4.7	4.7	30.2	37.2	14.0	4.7	2.3	0.0
北区	76	33	3	2	9	25	32	6	1	2	20	32	14	9	2	4
	100.0	43.4	3.9	2.6	11.8	32.9	42.1	7.9	1.3	2.6	26.3	42.1	18.4	11.8	2.6	5.3
西区	62	24	1	1	7	18	30	1	2	0	19	22	6	7	0	5
	100.0	38.7	1.6	1.6	11.3	29.0	48.4	1.6	3.2	0.0	30.6	35.5	9.7	11.3	0.0	8.1
中村区	95	44	3	5	12	29	51	5	0	1	36	39	17	3	4	3
	100.0	46.3	3.2	5.3	12.6	30.5	53.7	5.3	0.0	1.1	37.9	41.1	17.9	3.2	4.2	3.2
中区	39	21	1	2	2	15	22	0	0	0	19	16	3	2	0	0
	100.0	53.8	2.6	5.1	5.1	38.5	56.4	0.0	0.0	0.0	48.7	41.0	7.7	5.1	0.0	0.0
昭和区	70	39	3	4	5	29	37	1	0	1	25	40	8	4	1	3
	100.0	55.7	4.3	5.7	7.1	41.4	52.9	1.4	0.0	1.4	35.7	57.1	11.4	5.7	1.4	4.3
瑞穂区	87	43	2	4	10	27	38	3	0	2	26	44	15	8	2	5
	100.0	49.4	2.3	4.6	11.5	31.0	43.7	3.4	0.0	2.3	29.9	50.6	17.2	9.2	2.3	5.7
熱田区	48	29	3	0	2	11	23	1	4	0	11	18	6	3	1	3
	100.0	60.4	6.3	0.0	4.2	22.9	47.9	2.1	8.3	0.0	22.9	37.5	12.5	6.3	2.1	6.3
中川区	132	51	3	3	15	38	70	3	3	0	46	60	22	5	2	9
	100.0	38.6	2.3	2.3	11.4	28.8	53.0	2.3	2.3	0.0	34.8	45.5	16.7	3.8	1.5	6.8
港区	93	39	3	0	10	19	50	3	0	1	20	30	8	9	1	9
	100.0	41.9	3.2	0.0	10.8	20.4	53.8	3.2	0.0	1.1	21.5	32.3	8.6	9.7	1.1	9.7
南区	78	33	2	1	7	29	38	6	1	1	25	27	7	5	1	4
	100.0	42.3	2.6	1.3	9.0	37.2	48.7	7.7	1.3	1.3	32.1	34.6	9.0	6.4	1.3	5.1
守山区	127	55	5	7	16	33	53	10	0	3	35	48	17	8	3	6
	100.0	43.3	3.9	5.5	12.6	26.0	41.7	7.9	0.0	2.4	27.6	37.8	13.4	6.3	2.4	4.7
緑区	180	80	10	7	19	50	85	6	2	2	46	62	28	12	3	10
	100.0	44.4	5.6	3.9	10.6	27.8	47.2	3.3	1.1	1.1	25.6	34.4	15.6	6.7	1.7	5.6
名東区	144	77	8	7	17	54	74	6	3	2	40	67	23	7	1	4
	100.0	53.5	5.6	4.9	11.8	37.5	51.4	4.2	2.1	1.4	27.8	46.5	16.0	4.9	0.7	2.8
天白区	124	58	5	5	9	42	61	6	2	1	41	49	15	11	4	7
	100.0	46.8	4.0	4.0	7.3	33.9	49.2	4.8	1.6	0.8	33.1	39.5	12.1	8.9	3.2	5.6
楠支所（北区）	18	7	2	1	1	4	8	1	0	0	3	6	2	3	2	1
	100.0	38.9	11.1	5.6	5.6	22.2	44.4	5.6	0.0	0.0	16.7	33.3	11.1	16.7	11.1	5.6
山田支所（西区）	8	4	0	0	0	5	4	0	0	0	1	1	0	1	0	0
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	62.5	50.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
富田支所（中川区）	27	16	2	1	4	3	13	3	0	0	8	6	2	2	1	0
	100.0	59.3	7.4	3.7	14.8	11.1	48.1	11.1	0.0	0.0	29.6	22.2	7.4	7.4	3.7	0.0
南陽支所（港区）	5	3	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	25	17	1	1	4	5	9	1	3	1	8	12	5	2	0	0
	100.0	68.0	4.0	4.0	16.0	20.0	36.0	4.0	12.0	4.0	32.0	48.0	20.0	8.0	0.0	0.0
徳重支所（緑区）	36	21	0	1	6	11	17	1	0	2	14	17	5	1	0	1
	100.0	58.3	0.0	2.8	16.7	30.6	47.2	2.8	0.0	5.6	38.9	47.2	13.9	2.8	0.0	2.8

２－１４　発達の遅れに気づいたときに困ったこと

問 7-4　お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、どのようなことに困りましたか。（すべて）
【問 7-1 で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねしています。

● 発達の遅れに気づいたときに困ったことは、「子どもの発達についての診察を受けるまでに時間がかかった」が 49.3%と最も高く、「子どもの発達支援施策についての情報が少なかった」(45.8%)、「子どもの発達についてよくわからなかった」(43.0%)、「子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった」(42.0%)、「子どもの発達について相談できる施設の利用までに時間がかかった」(40.5%) でいずれも４割を超えている。



● 気づいた年齢別で見ると、「子どもの発達支援施策についての情報が少なかった」「子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった」の割合は年齢とともに高くなっている。

問７－４　発達の遅れに気づいたとき困ったこと

上段：実数 下段：％	件数	子どもの発達についてよくわからなかった	子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった	子どもの発達支援施策についての情報が少なかった	子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった	子どもの発達について診察ができる医療機関がどこにあるか分からなかった	子どもの発達について相談できる施設などが利用可能な地域になかった	子どもの発達について診察ができる医療機関が利用可能な地域になかった	発達支援が利用できる施設等が利用可能な地域になかった	子どもの発達について相談できる施設の利用までに時間がかかった	子どもの発達についての診察を受けるまでに時間がかかった	発達支援が利用できる施設等が利用できるまでに時間がかかった	その他	無回答
全体	400	172	168	183	151	138	17	14	15	162	197	123	56	20
	100.0	43.0	42.0	45.8	37.8	34.5	4.3	3.5	3.8	40.5	49.3	30.8	14.0	5.0

問７－１　気づいた年齢別

０歳	70	28	28	29	23	20	0	1	3	24	24	23	12	6
	100.0	40.0	40.0	41.4	32.9	28.6	0.0	1.4	4.3	34.3	34.3	32.9	17.1	8.6
１歳	176	70	71	74	65	57	9	9	6	77	93	51	26	9
	100.0	39.8	40.3	42.0	36.9	32.4	5.1	5.1	3.4	43.8	52.8	29.0	14.8	5.1
２歳	111	53	52	58	45	47	6	4	5	39	58	37	13	3
	100.0	47.7	46.8	52.3	40.5	42.3	5.4	3.6	4.5	35.1	52.3	33.3	11.7	2.7
３歳	38	18	15	20	16	13	2	0	1	19	19	11	4	2
	100.0	47.4	39.5	52.6	42.1	34.2	5.3	0.0	2.6	50.0	50.0	28.9	10.5	5.3
４歳	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0

● 未就学児と就学児を合わせた就学区分別でみると、“利用や診察までに時間がかかった”の割合は年齢が低くなるほど高い傾向にある。

問７－４　発達の遅れに気づいたときに困ったこと

上段：実数 下段：％	件数	子どもの発達についてよくわからなかった	子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった	子どもの発達支援施策についての情報が少なかった	子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった	子どもの発達について診察ができる医療機関がどこにあるか分からなかった	子どもの発達について相談できる施設などが利用可能な地域になかった	子どもの発達について診察ができる医療機関が利用可能な地域になかった	発達支援が利用できる施設等が利用可能な地域になかった	子どもの発達について相談できる施設の利用までに時間がかかった	子どもの発達についての診察を受けるまでに時間がかかった	発達支援が利用できる施設等が利用できるまでに時間がかかった	その他	無回答
全体	1642	723	656	699	643	519	68	68	53	533	664	397	233	108
	100.0	44.0	40.0	42.6	39.2	31.6	4.1	4.1	3.2	32.5	40.4	24.2	14.2	6.6

未就学児と就学児を合わせた年齢別

未就学児	400	172	168	183	151	138	17	14	15	162	197	123	56	20
	100.0	43.0	42.0	45.8	37.8	34.5	4.3	3.5	3.8	40.5	49.3	30.8	14.0	5.0
小学校	816	362	312	346	311	253	26	28	21	273	355	202	112	53
	100.0	44.4	38.2	42.4	38.1	31.0	3.2	3.4	2.6	33.5	43.5	24.8	13.7	6.5
中学校	221	104	90	94	100	73	13	15	10	59	62	41	29	17
	100.0	47.1	40.7	42.5	45.2	33.0	5.9	6.8	4.5	26.7	28.1	18.6	13.1	7.7
高校相当	205	85	86	76	81	55	12	11	7	39	50	31	36	18
	100.0	41.5	42.0	37.1	39.5	26.8	5.9	5.4	3.4	19.0	24.4	15.1	17.6	8.8

● 未就学児と就学児を合わせた居住区別の状況でみると、北区と名東区では、全体と比較して”利用や診察までに時間がかかった”の割合が高くなっている。

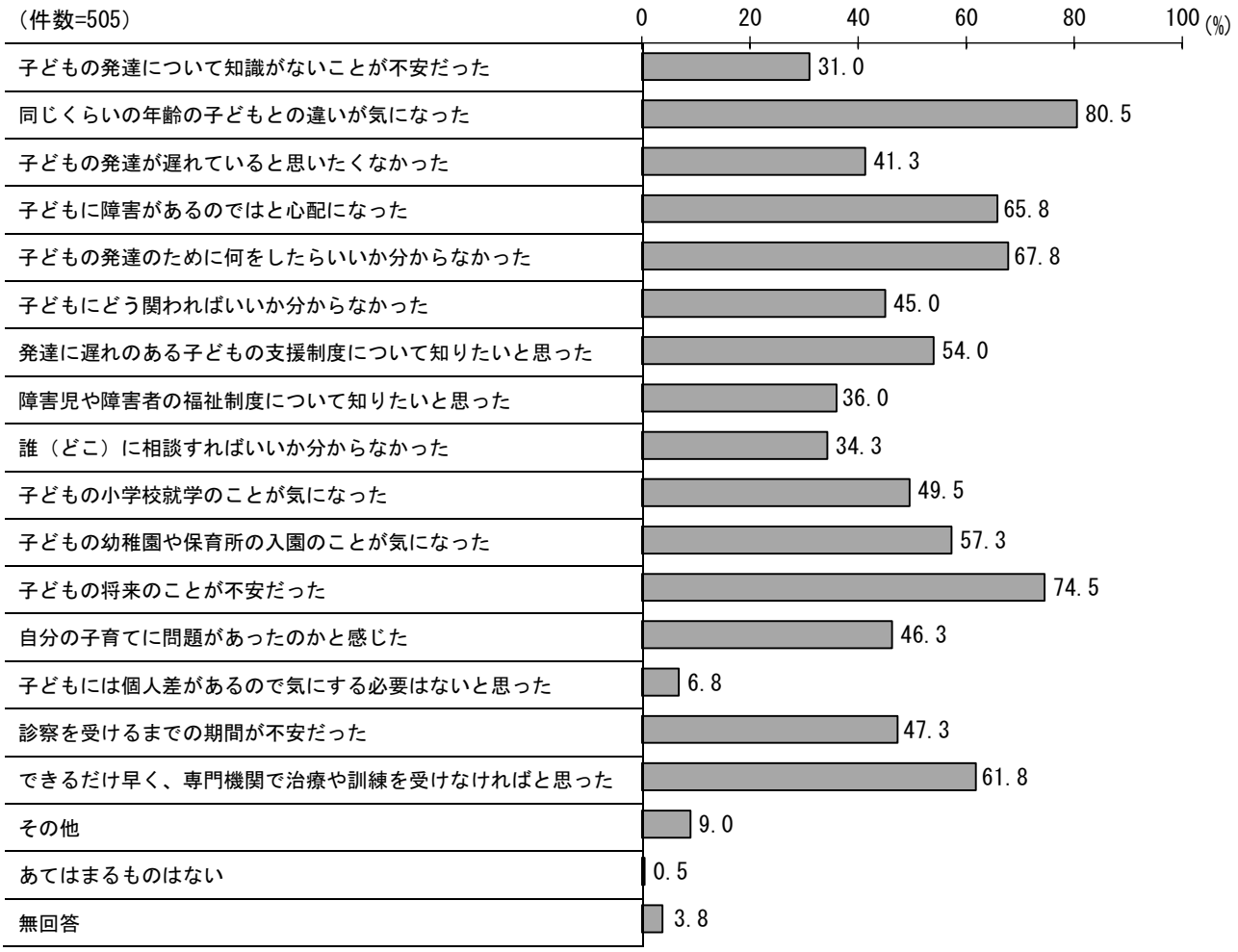
問７－４　発達の遅れに気づいたときに困ったこと

上段：実数 下段：％	件数	子どもの発達についてよくわからなかった	子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった	子どもの発達支援施策についての情報が少なかった	子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった	子どもの発達について診察ができる医療機関がどこにあるか分からなかった	子どもの発達について相談できる施設などが利用可能な地域になかった	子どもの発達について診察ができる医療機関が利用可能な地域になかった	発達支援が利用できる施設等が利用可能な地域になかった	子どもの発達について相談できる施設の利用までに時間がかかった	子どもの発達についての診察を受けるまでに時間がかかった	発達支援が利用できる施設等が利用できるまでに時間がかかった	その他	無回答
全体	1642	723	656	699	643	519	68	68	53	533	664	397	233	108
	100.0	44.0	40.0	42.6	39.2	31.6	4.1	4.1	3.2	32.5	40.4	24.2	14.2	6.6
Ｆ５　子どもの居住区（支所）														
千種区	106	54	41	41	34	24	3	4	1	34	51	28	15	11
	100.0	50.9	38.7	38.7	32.1	22.6	2.8	3.8	0.9	32.1	48.1	26.4	14.2	10.4
東区	43	21	18	23	22	8	1	2	1	13	16	9	5	0
	100.0	48.8	41.9	53.5	51.2	18.6	2.3	4.7	2.3	30.2	37.2	20.9	11.6	0.0
北区	76	36	36	39	41	37	6	4	6	35	35	23	12	4
	100.0	47.4	47.4	51.3	53.9	48.7	7.9	5.3	7.9	46.1	46.1	30.3	15.8	5.3
西区	62	25	22	22	23	23	3	5	4	10	14	11	6	5
	100.0	40.3	35.5	35.5	37.1	37.1	4.8	8.1	6.5	16.1	22.6	17.7	9.7	8.1
中村区	95	38	40	41	37	34	5	5	2	40	37	23	9	5
	100.0	40.0	42.1	43.2	38.9	35.8	5.3	5.3	2.1	42.1	38.9	24.2	9.5	5.3
中区	39	17	16	18	17	11	1	2	0	13	14	9	5	1
	100.0	43.6	41.0	46.2	43.6	28.2	2.6	5.1	0.0	33.3	35.9	23.1	12.8	2.6
昭和区	70	36	28	31	18	20	1	3	1	21	32	16	17	4
	100.0	51.4	40.0	44.3	25.7	28.6	1.4	4.3	1.4	30.0	45.7	22.9	24.3	5.7
瑞穂区	87	35	41	50	36	21	4	4	4	25	33	22	13	4
	100.0	40.2	47.1	57.5	41.4	24.1	4.6	4.6	4.6	28.7	37.9	25.3	14.9	4.6
熱田区	48	19	15	22	20	15	0	1	0	11	14	14	11	4
	100.0	39.6	31.3	45.8	41.7	31.3	0.0	2.1	0.0	22.9	29.2	29.2	22.9	8.3
中川区	132	62	54	54	49	50	3	6	4	51	54	38	14	14
	100.0	47.0	40.9	40.9	37.1	37.9	2.3	4.5	3.0	38.6	40.9	28.8	10.6	10.6
港区	93	38	35	32	36	22	2	2	1	27	30	13	16	11
	100.0	40.9	37.6	34.4	38.7	23.7	2.2	2.2	1.1	29.0	32.3	14.0	17.2	11.8
南区	78	32	25	29	28	19	2	1	0	24	36	22	10	3
	100.0	41.0	32.1	37.2	35.9	24.4	2.6	1.3	0.0	30.8	46.2	28.2	12.8	3.8
守山区	127	49	55	49	56	45	8	7	5	31	50	29	23	8
	100.0	38.6	43.3	38.6	44.1	35.4	6.3	5.5	3.9	24.4	39.4	22.8	18.1	6.3
緑区	180	77	69	79	69	55	11	8	10	58	75	35	32	10
	100.0	42.8	38.3	43.9	38.3	30.6	6.1	4.4	5.6	32.2	41.7	19.4	17.8	5.6
名東区	144	68	57	68	65	58	7	6	9	61	74	44	15	4
	100.0	47.2	39.6	47.2	45.1	40.3	4.9	4.2	6.3	42.4	51.4	30.6	10.4	2.8
天白区	124	50	51	57	42	36	4	4	2	39	50	36	14	9
	100.0	40.3	41.1	46.0	33.9	29.0	3.2	3.2	1.6	31.5	40.3	29.0	11.3	7.3
楠支所（北区）	18	7	7	4	6	2	0	0	0	4	8	4	1	3
	100.0	38.9	38.9	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	44.4	22.2	5.6	16.7
山田支所（西区）	8	4	3	1	2	2	0	1	0	1	2	0	0	1
	100.0	50.0	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5
富田支所（中川区）	27	11	10	10	13	8	0	1	0	6	8	1	1	3
	100.0	40.7	37.0	37.0	48.1	29.6	0.0	3.7	0.0	22.2	29.6	3.7	3.7	11.1
南陽支所（港区）	5	1	3	3	1	2	1	1	1	1	2	0	0	0
	100.0	20.0	60.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	25	10	12	9	11	10	2	1	2	10	15	10	4	1
	100.0	40.0	48.0	36.0	44.0	40.0	8.0	4.0	8.0	40.0	60.0	40.0	16.0	4.0
徳重支所（緑区）	36	20	14	13	11	11	2	0	0	12	10	7	5	1
	100.0	55.6	38.9	36.1	30.6	30.6	5.6	0.0	0.0	33.3	27.8	19.4	13.9	2.8

２－１５　発達の遅れに気づいたときに感じたこと

問 7-5　お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、どのようなことを感じましたか。（すべて）
【問 7-1 で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねしています。

● 発達の遅れに気づいたときに感じたことは、「同じくらいの年齢の子どもとの違いが気になった」が 80.5%と最も高く、次いで「子どもの将来のことが不安だった」(74.5%) となっている。また、「子どもの発達のために何をしたらいいか分からなかった」(67.8%)、「子どもに障害があるのではと心配になった」(65.8%)、「できるだけ早く、専門機関で治療や訓練を受けなければと思った」(61.8%) はいずれも６割を超えている。



● 気づいた年齢別（問７－１）でみると、０歳では「障害児や障害者の福祉制度について知りたいと思った」(51.4%) の割合が高く、３歳では「子どもの小学校就学のことが気になった」(63.2%) の割合が高くなっている。

問７－５　発達の遅れに気づいたときに感じたこと

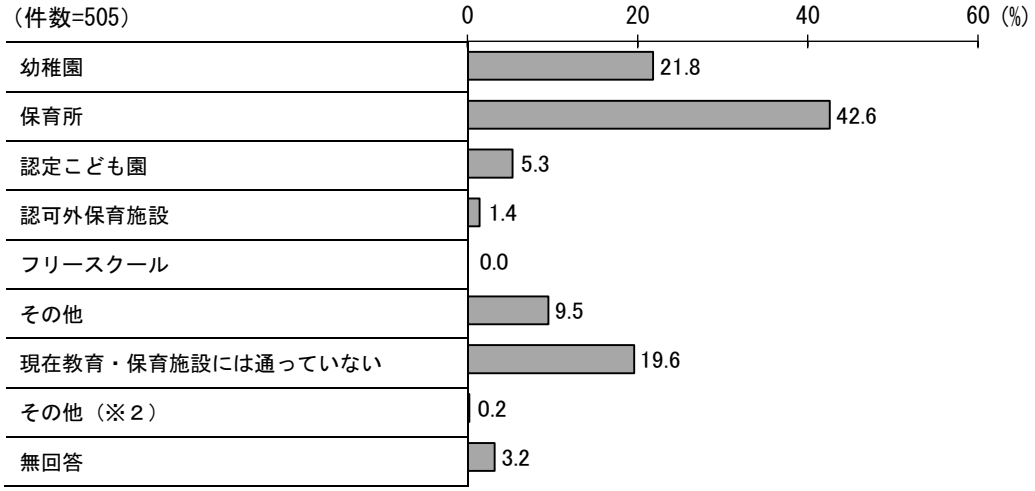
上段：実数 下段：%	件数	子どもの発達について知識がないことが不安だった	同じくらいの年齢の子どもとの違いが気になった	子どもの発達が遅れていると思いたくなかった	子どもに障害があるのではと心配になった	子どもの発達のために何をしたらいいか分からなかった	子どもにどう関わればいいか分からなかった	発達に遅れのある子どもの支援制度について知りたいと思った	障害児や障害者の福祉制度について知りたいと思った	誰（どこ）に相談すればいいか分からなかった
全体	400	124	322	165	263	271	180	216	144	137
	100.0	31.0	80.5	41.3	65.8	67.8	45.0	54.0	36.0	34.3
０歳	70	21	53	25	43	43	25	38	36	23
	100.0	30.0	75.7	35.7	61.4	61.4	35.7	54.3	51.4	32.9
１歳	176	48	144	70	123	118	82	91	55	59
	100.0	27.3	81.8	39.8	69.9	67.0	46.6	51.7	31.3	33.5
２歳	111	38	95	52	78	83	50	68	39	41
	100.0	34.2	85.6	46.8	70.3	74.8	45.0	61.3	35.1	36.9
３歳	38	13	26	15	16	23	19	17	12	13
	100.0	34.2	68.4	39.5	42.1	60.5	50.0	44.7	31.6	34.2
４歳	2	1	2	1	1	1	2	0	0	0
	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0

子どもの小学校就学のことが気になった	子どもの幼稚園や保育所の入園のことが気になった	子どもの将来のことが不安だった	自分の子育てに問題があったのかと感じた	子どもには個人差があるので気にする必要はないと思った	診察を受けるまでの期間が不安だった	できるだけ早く、専門機関で治療や訓練を受けなければと思った	その他	あてはまるものはない	無回答
198	229	298	185	27	189	247	36	2	15
49.5	57.3	74.5	46.3	6.8	47.3	61.8	9.0	0.5	3.8
27	34	52	24	5	27	48	6	2	2
38.6	48.6	74.3	34.3	7.1	38.6	68.6	8.6	2.9	2.9
82	107	128	81	13	88	108	11	0	10
46.6	60.8	72.7	46.0	7.4	50.0	61.4	6.3	0.0	5.7
62	71	84	59	6	54	65	13	0	2
55.9	64.0	75.7	53.2	5.4	48.6	58.6	11.7	0.0	1.8
24	15	30	17	3	18	23	6	0	1
63.2	39.5	78.9	44.7	7.9	47.4	60.5	15.8	0.0	2.6
1	0	1	2	0	0	1	0	0	0
50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

２－１６　利用している教育・保育施設

問８　お子さんが現在教育・保育施設に通っていますか。（すべて）また、通った年齢を記入してください。（数値記入）

● 利用している教育・保育施設については、通っているが 23.0%（※１）、「現在教育・保育施設には通っていない」が 19.6%、となっている。利用している施設の種類は、「保育所」が 42.6%、「幼稚園」が 21.8%などとなっている。



● 年齢別に見ると、年齢が高くなるほど、「現在教育・保育施設には通っていない」の割合は低くなる傾向がある。

問８　利用している教育・保育施設

上段：実数 下段：%	件数	幼稚園	保育所	認定こども園	認可外保育施設	フリースクール	その他	現在教育・保育施設には通っていない	その他（※２）	無回答
全体	505	110	215	27	7	0	48	99	1	16
	100.0	21.8	42.6	5.3	1.4	0.0	9.5	19.6	0.2	3.2
Ｆ１　子どもの年齢										
１歳	8	0	0	1	0	0	1	5	0	1
	100.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	62.5	0.0	12.5
２歳	36	0	6	3	2	0	7	18	0	0
	100.0	0.0	16.7	8.3	5.6	0.0	19.4	50.0	0.0	0.0
３歳	111	19	47	7	0	0	14	22	0	5
	100.0	17.1	42.3	6.3	0.0	0.0	12.6	19.8	0.0	4.5
４歳	169	51	73	7	1	0	14	24	0	7
	100.0	30.2	43.2	4.1	0.6	0.0	8.3	14.2	0.0	4.1
５歳	172	35	88	9	3	0	12	28	1	2
	100.0	20.3	51.2	5.2	1.7	0.0	7.0	16.3	0.6	1.2
６歳	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※１全体から「現在教育・保育施設には通っていない」「その他（※２）」「無回答」を除いた割合

※２通っていると通っていないの両方を選択した方

● 居住区別に見ると、ほとんどの区で保育所を利用している割合が高いが、中村区のみ幼稚園を利用している割合が高い。

問８　利用している教育・保育施設

上段：実数 下段：％	件数	幼稚園	保育所	認定こども園	認可外保育施設	フリースクール	その他	現在教育・保育施設には通っていない	その他（※）	無回答
全体	505	110	215	27	7	0	48	99	1	16
	100.0	21.8	42.6	5.3	1.4	0.0	9.5	19.6	0.2	3.2
Ｆ５　子どもの居住区（支所）										
千種区	37	13	17	0	0	0	4	4	0	0
	100.0	35.1	45.9	0.0	0.0	0.0	10.8	10.8	0.0	0.0
東区	13	5	6	1	0	0	1	2	0	0
	100.0	38.5	46.2	7.7	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0
北区	19	6	7	2	0	0	1	3	0	0
	100.0	31.6	36.8	10.5	0.0	0.0	5.3	15.8	0.0	0.0
西区	22	7	9	1	1	0	1	4	0	1
	100.0	31.8	40.9	4.5	4.5	0.0	4.5	18.2	0.0	4.5
中村区	29	12	10	0	0	0	2	4	0	1
	100.0	41.4	34.5	0.0	0.0	0.0	6.9	13.8	0.0	3.4
中区	12	2	7	1	0	0	2	2	0	0
	100.0	16.7	58.3	8.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
昭和区	25	4	12	1	0	0	3	5	1	0
	100.0	16.0	48.0	4.0	0.0	0.0	12.0	20.0	4.0	0.0
瑞穂区	36	5	17	4	0	0	3	7	0	2
	100.0	13.9	47.2	11.1	0.0	0.0	8.3	19.4	0.0	5.6
熱田区	12	0	6	0	0	0	3	3	0	0
	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
中川区	40	6	18	4	1	0	5	6	0	1
	100.0	15.0	45.0	10.0	2.5	0.0	12.5	15.0	0.0	2.5
港区	21	3	9	1	0	0	4	4	0	0
	100.0	14.3	42.9	4.8	0.0	0.0	19.0	19.0	0.0	0.0
南区	25	4	10	0	0	0	2	7	0	3
	100.0	16.0	40.0	0.0	0.0	0.0	8.0	28.0	0.0	12.0
守山区	31	3	13	2	1	0	2	9	0	1
	100.0	9.7	41.9	6.5	3.2	0.0	6.5	29.0	0.0	3.2
緑区	58	9	24	3	0	0	7	14	0	2
	100.0	15.5	41.4	5.2	0.0	0.0	12.1	24.1	0.0	3.4
名東区	28	6	11	1	0	0	3	6	0	1
	100.0	21.4	39.3	3.6	0.0	0.0	10.7	21.4	0.0	3.6
天白区	54	16	22	4	1	0	1	9	0	2
	100.0	29.6	40.7	7.4	1.9	0.0	1.9	16.7	0.0	3.7
楠支所（北区）	3	0	2	0	0	0	0	1	0	0
	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
山田支所（西区）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
富田支所（中川区）	8	4	2	1	0	0	0	1	0	0
	100.0	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
南陽支所（港区）	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	9	1	4	0	0	0	1	2	0	1
	100.0	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1
徳重支所（緑区）	12	0	7	0	1	0	0	4	0	0
	100.0	0.0	58.3	0.0	8.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

※通っていると通っていないの両方を選択した方

● 事業の利用の組み合わせ（事業の利用スタイル）を分類すると、児童発達支援事業所と保育所の組み合わせが最も多く 29.3%を占める。これを年齢別でみると５歳の割合が 48.0%と最も高く、次いで４歳（28.4%）、３歳（19.6%）の順になっている。

Ｆ１　子どもの年齢

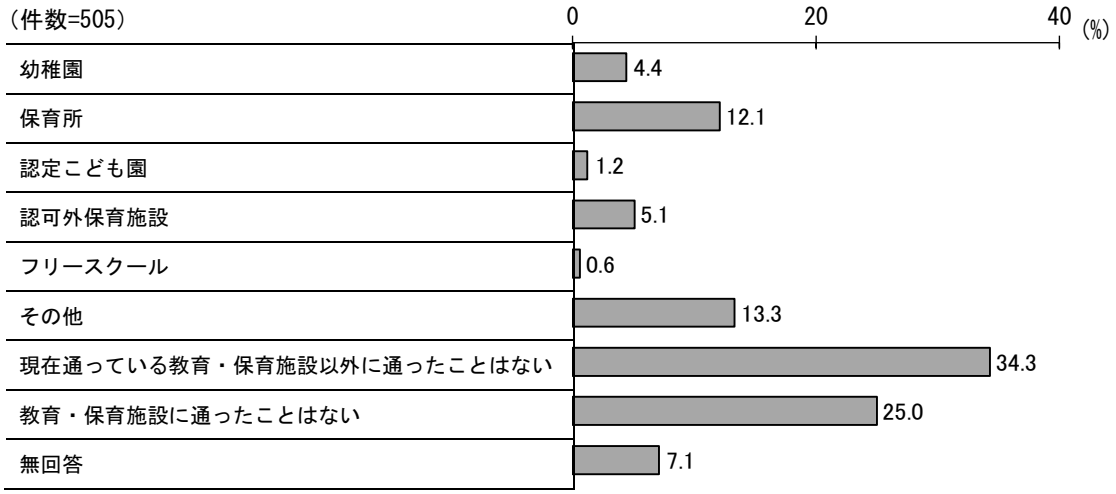
上段：実数 下段：%	件数	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	無回答	構成比
全体	505	8	36	111	169	172	4	5	
	100.0	1.6	7.1	22.0	33.5	34.1	0.8	1.0	100.0
事業の利用スタイル（問２・問８）									
児童発達支援センターのみ	68	0	8	18	20	21	0	1	
	100.0	0.0	11.8	26.5	29.4	30.9	0.0	1.5	13.5
児童発達支援事業所のみ	44	5	13	8	6	12	0	0	
	100.0	11.4	29.5	18.2	13.6	27.3	0.0	0.0	8.7
児童発達支援センター・事業所併用	52	1	8	12	14	15	0	2	
	100.0	1.9	15.4	23.1	26.9	28.8	0.0	3.8	10.3
児童発達支援センター＋幼稚園	10	0	0	2	3	3	2	0	
	100.0	0.0	0.0	20.0	30.0	30.0	20.0	0.0	2.0
児童発達支援センター＋保育所	7	0	0	1	5	1	0	0	
	100.0	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	1.4
児童発達支援センター・事業所併用＋幼稚園	10	0	0	3	4	1	1	1	
	100.0	0.0	0.0	30.0	40.0	10.0	10.0	10.0	2.0
児童発達支援センター・事業所併用＋保育所	9	0	0	0	4	5	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	44.4	55.6	0.0	0.0	1.8
幼稚園のみ	24	0	0	5	11	8	0	0	
	99.9	0.0	0.0	20.8	45.8	33.3	0.0	0.0	4.8
保育所のみ	49	0	1	17	22	9	0	0	
	100.0	0.0	2.0	34.7	44.9	18.4	0.0	0.0	9.7
児童発達支援事業所＋幼稚園	64	0	0	9	33	21	0	1	
	100.0	0.0	0.0	14.1	51.6	32.8	0.0	1.6	12.7
児童発達支援事業所＋保育所	148	0	5	29	42	71	1	0	
	100.0	0.0	3.4	19.6	28.4	48.0	0.7	0.0	29.3

※表にある以外の事業の利用スタイルとしては、認定こども園のみが７件、認可外保育所のみが１件、その他の教育・保育施設のみが２件、現在は利用していない・無回答が６件となっている。

２－１７　過去に利用した教育・保育施設

問９　現在通っている施設のほかに、お子さんがこれまで通ったことのある教育・保育施設はありますか。（すべて）また、通った年齢を記入してください。（数値記入）

● 過去に利用した教育・保育施設については、「現在通っている教育・保育施設以外に通ったことはない」が 34.3%、「教育・保育施設に通ったことはない」が 25.0%、過去に通っていた施設があるは 33.6%（※）となっている。過去に通っていた施設の種類は、「保育所」が 12.1%、「認可外保育施設」が 5.1%、「その他」が 13.3%などとなっている。「その他」は事業所内保育施設、地域型保育事業所のほか、障害児通所支援の施設を利用したことのある保護者が選択していると思われる。



※全体から「現在通っている教育・保育施設以外に通ったことはない」「教育・保育施設に通ったことはない」「無回答」を除いた割合

● 現在、児童発達支援センターを利用している子どものうち過去に幼稚園、保育所、認定こども園を利用していた子どもは14.3%である。また、幼稚園から幼稚園に変わった子どもは15.5%、保育所から保育所に変わった子どもは16.7%存在する。

問９　過去に利用した教育・保育施設

過去に利用していた施設

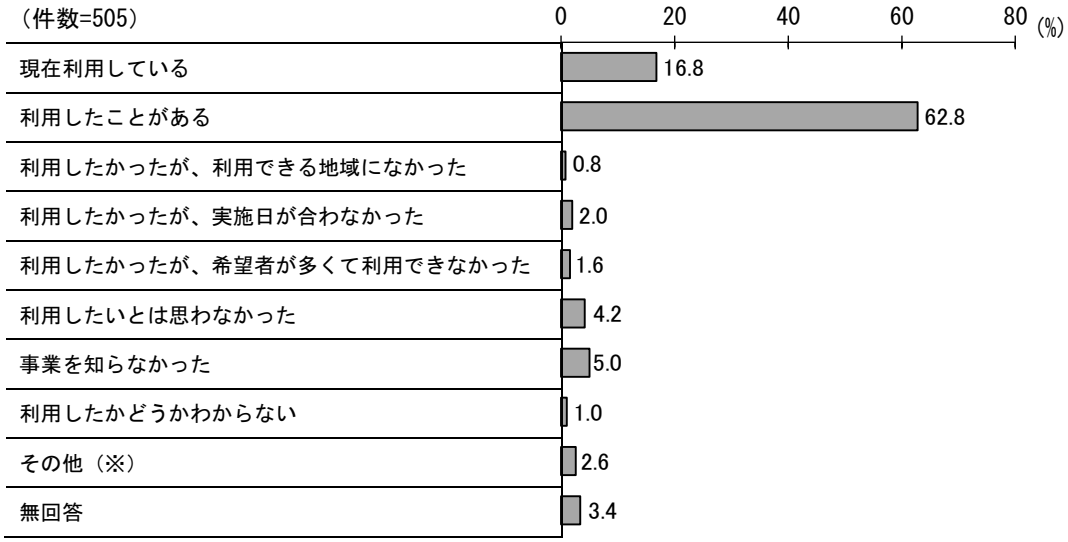
現在、利用している施設

上段：実数 下段：%	件数	幼稚園	保育所	認定こども園	認可外保育施設	フリースクール	その他
児童発達支援センター	154 100.0	4 2.6	16 10.4	2 1.3	1 0.6	0 0.0	13 8.4
児童発達支援指定事業所	328 100.0	13 4.0	45 13.7	6 1.8	24 7.3	2 0.6	37 11.3
幼稚園	110 100.0	17 15.5	9 8.2	1 0.9	8 7.3	0 0.0	11 10.0
保育所	215 100.0	2 0.9	36 16.7	3 1.4	15 7.0	3 1.4	41 19.1
認定こども園	27 100.0	1 3.7	3 11.1	4 14.8	2 7.4	1 3.7	2 7.4
認可外保育施設	7 100.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0	5 71.4	0 0.0	0 0.0
フリースクール	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －
その他	49 100.0	1 2.0	6 12.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 30.6

２－１８　療育グループの利用

問 10-1　お子さんはこれまでに療育グループ事業を利用したことはありますか。（１つだけ）利用したことがある場合は年齢を記入してください。（数値記入）

● 療育グループの利用については、「現在利用している」と「利用したことがある」を合わせた”利用したことがある”の割合が 79.6%、「利用したかったが、利用できる地域になかった」「利用したかったが、実施日が合わなかった」「利用したかったが、希望者が多くて利用できなかった」を合わせた”利用したかったが利用できなかった”の割合が 4.4%となっている。



※複数選択した方

● 居住区別の状況を見ると、「現在利用している」と「利用したことがある」の割合は最も高い守山区で 93.5%、最も低い熱田区で 58.3%と 30 ポイント以上の差があるが、多くの区で７割から８割程度の割合となっている。

問１０－１　療育グループの利用

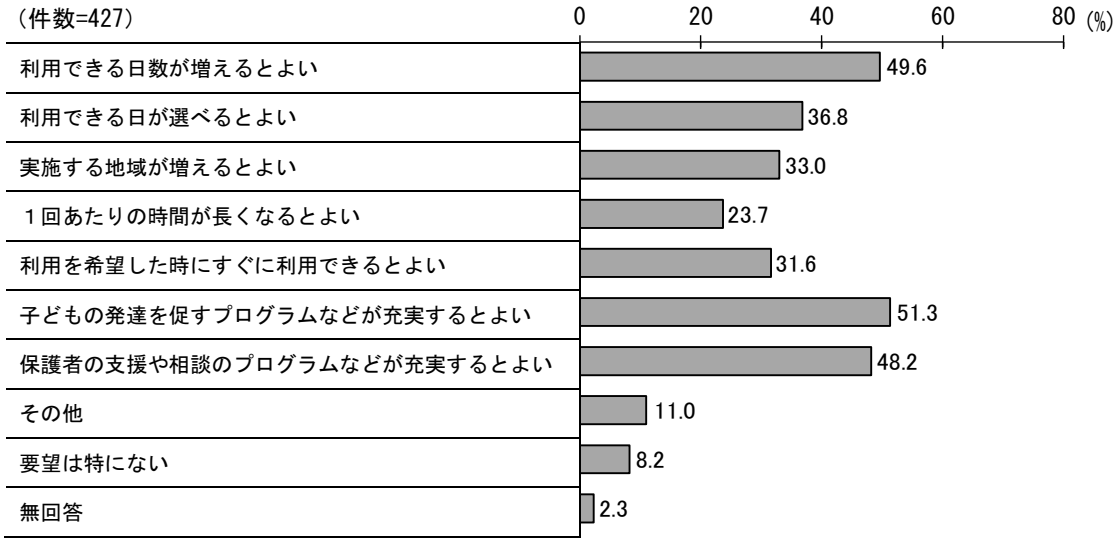
上段：実数 下段：%	件数	現在利用している	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したかったが、希望者が多くて利用できなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
全体	505	85	317	4	10	8	21	25	5	13	17
	100.0	16.8	62.8	0.8	2.0	1.6	4.2	5.0	1.0	2.6	3.4
Ｆ５　子どもの居住区（支所）											
千種区	37	9	18	0	1	0	1	3	1	3	1
	100.0	24.3	48.6	0.0	2.7	0.0	2.7	8.1	2.7	8.1	2.7
東区	13	3	8	0	0	0	0	2	0	0	0
	100.0	23.1	61.5	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0
北区	19	1	13	1	1	0	2	1	0	0	0
	100.0	5.3	68.4	5.3	5.3	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0
西区	22	2	15	0	0	0	0	2	0	0	3
	100.0	9.1	68.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	13.6
中村区	29	4	18	0	1	2	2	1	0	0	1
	100.0	13.8	62.1	0.0	3.4	6.9	6.9	3.4	0.0	0.0	3.4
中区	12	1	8	0	0	0	2	1	0	0	0
	100.0	8.3	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0
昭和区	25	3	15	0	0	2	1	1	1	2	0
	100.0	12.0	60.0	0.0	0.0	8.0	4.0	4.0	4.0	8.0	0.0
瑞穂区	36	12	18	0	0	1	1	1	2	0	1
	100.0	33.3	50.0	0.0	0.0	2.8	2.8	2.8	5.6	0.0	2.8
熱田区	12	1	6	1	1	1	1	0	0	0	1
	100.0	8.3	50.0	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3
中川区	40	7	29	0	1	0	1	2	0	0	0
	100.0	17.5	72.5	0.0	2.5	0.0	2.5	5.0	0.0	0.0	0.0
港区	21	5	11	0	1	0	1	1	0	2	0
	100.0	23.8	52.4	0.0	4.8	0.0	4.8	4.8	0.0	9.5	0.0
南区	25	5	13	0	0	0	1	1	1	0	4
	100.0	20.0	52.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0	0.0	16.0
守山区	31	1	28	0	0	0	1	0	0	0	1
	100.0	3.2	90.3	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2
緑区	58	11	35	1	2	0	1	2	0	1	5
	100.0	19.0	60.3	1.7	3.4	0.0	1.7	3.4	0.0	1.7	8.6
名東区	28	2	22	0	0	0	1	2	0	1	0
	100.0	7.1	78.6	0.0	0.0	0.0	3.6	7.1	0.0	3.6	0.0
天白区	54	10	31	1	2	1	2	4	0	3	0
	100.0	18.5	57.4	1.9	3.7	1.9	3.7	7.4	0.0	5.6	0.0
楠支所（北区）	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
山田支所（西区）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
富田支所（中川区）	8	0	7	0	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
南陽支所（港区）	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	9	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
徳重支所（緑区）	12	1	8	0	0	1	1	0	0	1	0
	100.0	8.3	66.7	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0

※複数選択した方

２－１９　療育グループへの要望

問 10-2　療育グループ事業について要望はありますか。（すべて）
【問 10-1 で１から５までのどれかに○をつけた方（療育グループを利用した方または利用を希望したが利用できなかった方）におたずねしています】

● 療育グループへの要望については、「子どもの発達を促すプログラムなどが充実するとよい」が51.3%と最も高く、次いで「利用できる日数が増えるとよい」(49.6%)、「保護者の支援や相談のプログラムなどが充実するとよい」(48.2%) の順になっている。



● 「実施する地域が増えるとよい」と回答した割合は東区、西区、瑞穂区、港区、名東区で 40%以上となっている（支所は除く）。

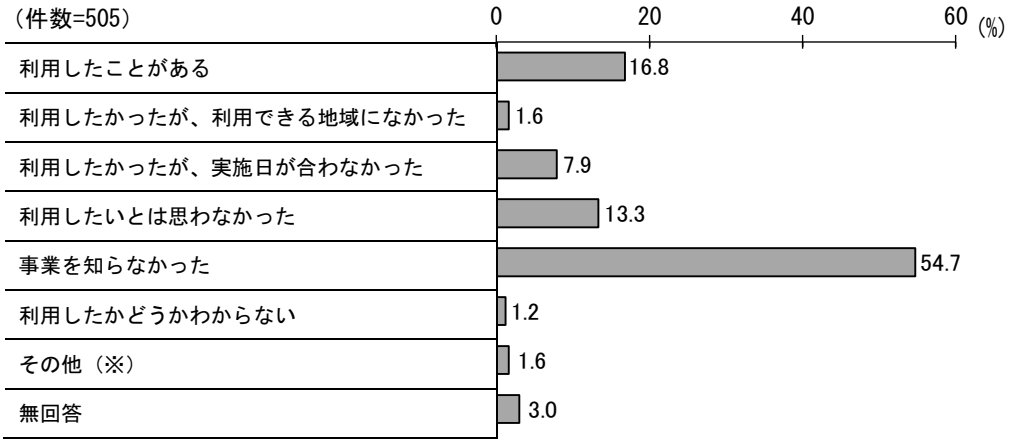
問１０－２　療育グループへの要望

上段：実数 下段：%	件数	利用できる日数が増えるとよい	利用できる日が選べるとよい	実施する地域が増えるとよい	1回あたりの時間が長くなるとよい	利用を希望した時にすぐに利用できるとよい	子どもの発達を促すプログラムなどが充実するとよい	保護者の支援や相談のプログラムなどが充実するとよい	その他	要望は特にない	無回答
全体	427	212	157	141	101	135	219	206	47	35	10
	100.0	49.6	36.8	33.0	23.7	31.6	51.3	48.2	11.0	8.2	2.3
Ｆ５　子どもの居住区（支所）											
千種区	29	15	8	9	5	14	15	13	5	3	2
	100.0	51.7	27.6	31.0	17.2	48.3	51.7	44.8	17.2	10.3	6.9
東区	11	3	3	5	2	4	8	6	2	1	0
	100.0	27.3	27.3	45.5	18.2	36.4	72.7	54.5	18.2	9.1	0.0
北区	16	7	7	5	4	6	11	11	2	0	0
	100.0	43.8	43.8	31.3	25.0	37.5	68.8	68.8	12.5	0.0	0.0
西区	17	8	6	7	5	3	7	5	2	3	1
	100.0	47.1	35.3	41.2	29.4	17.6	41.2	29.4	11.8	17.6	5.9
中村区	25	15	7	6	3	7	11	10	1	2	0
	100.0	60.0	28.0	24.0	12.0	28.0	44.0	40.0	4.0	8.0	0.0
中区	9	3	6	3	4	2	6	5	0	0	0
	100.0	33.3	66.7	33.3	44.4	22.2	66.7	55.6	0.0	0.0	0.0
昭和区	20	11	8	5	3	5	12	12	3	2	0
	100.0	55.0	40.0	25.0	15.0	25.0	60.0	60.0	15.0	10.0	0.0
瑞穂区	31	16	12	13	12	13	21	16	4	2	0
	100.0	51.6	38.7	41.9	38.7	41.9	67.7	51.6	12.9	6.5	0.0
熱田区	10	5	5	3	6	5	5	6	2	0	0
	100.0	50.0	50.0	30.0	60.0	50.0	50.0	60.0	20.0	0.0	0.0
中川区	37	17	13	6	7	11	16	19	4	2	0
	100.0	45.9	35.1	16.2	18.9	29.7	43.2	51.4	10.8	5.4	0.0
港区	17	13	5	7	4	5	9	10	1	1	1
	100.0	76.5	29.4	41.2	23.5	29.4	52.9	58.8	5.9	5.9	5.9
南区	18	11	6	7	7	4	11	9	2	0	0
	100.0	61.1	33.3	38.9	38.9	22.2	61.1	50.0	11.1	0.0	0.0
守山区	29	18	12	10	9	9	15	14	0	3	1
	100.0	62.1	41.4	34.5	31.0	31.0	51.7	48.3	0.0	10.3	3.4
緑区	49	22	12	17	7	14	23	19	4	2	2
	100.0	44.9	24.5	34.7	14.3	28.6	46.9	38.8	8.2	4.1	4.1
名東区	24	12	14	10	6	10	12	11	1	2	0
	100.0	50.0	58.3	41.7	25.0	41.7	50.0	45.8	4.2	8.3	0.0
天白区	46	18	17	15	10	11	22	27	8	2	2
	100.0	39.1	37.0	32.6	21.7	23.9	47.8	58.7	17.4	4.3	4.3
楠支所（北区）	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
山田支所（西区）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
富田支所（中川区）	7	7	5	0	1	1	5	2	0	0	0
	100.0	100.0	71.4	0.0	14.3	14.3	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0
南陽支所（港区）	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	9	4	4	4	3	4	3	3	0	1	1
	100.0	44.4	44.4	44.4	33.3	44.4	33.3	33.3	0.0	11.1	11.1
徳重支所（緑区）	11	4	4	3	1	3	3	3	2	5	0
	100.0	36.4	36.4	27.3	9.1	27.3	27.3	27.3	18.2	45.5	0.0

２－２０　いこいの家の利用

問１１　お子さんはこれまでにいこいの家事業を利用したことはありますか。（１つだけ）また、利用したことがある場合は、年齢を記入してください。（数値記入）

● いこいの家の利用については、「利用したことがある」が 16.8%、「利用したかったが、利用できる地域になかった」「利用したかったが、実施日が合わなかった」を合わせた”利用したいと思った”が 9.5%に対して、「利用したいとは思わなかった」が 13.3%、「事業を知らなかった」が 54.7%となっている。



※複数選択した方

● 居住区別に見ると、利用したことがある割合は区によるばらつきが大きい。

問１１　いこいの家の利用

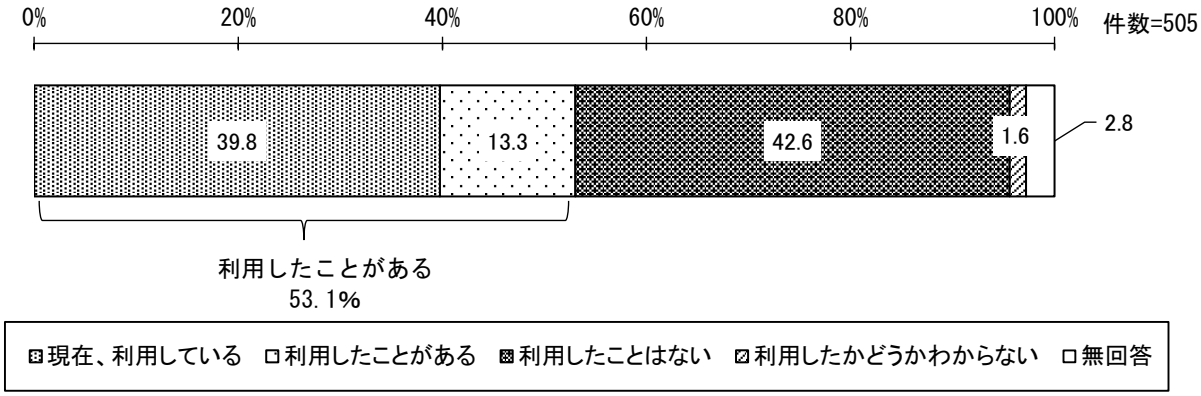
上段：実数 下段：％	件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
全体	505	85	8	40	67	276	6	8	15
	100.0	16.8	1.6	7.9	13.3	54.7	1.2	1.6	3.0
Ｆ５　子どもの居住区（支所）									
千種区	37	7	1	1	5	21	1	1	0
	100.0	18.9	2.7	2.7	13.5	56.8	2.7	2.7	0.0
東区	13	4	0	0	2	7	0	0	0
	100.0	30.8	0.0	0.0	15.4	53.8	0.0	0.0	0.0
北区	19	1	2	2	1	10	1	1	1
	100.0	5.3	10.5	10.5	5.3	52.6	5.3	5.3	5.3
西区	22	4	0	3	3	8	0	0	4
	100.0	18.2	0.0	13.6	13.6	36.4	0.0	0.0	18.2
中村区	29	10	0	2	5	12	0	0	0
	100.0	34.5	0.0	6.9	17.2	41.4	0.0	0.0	0.0
中区	12	5	1	0	1	5	0	0	0
	100.0	41.7	8.3	0.0	8.3	41.7	0.0	0.0	0.0
昭和区	25	7	0	5	3	9	1	0	0
	100.0	28.0	0.0	20.0	12.0	36.0	4.0	0.0	0.0
瑞穂区	36	8	0	7	6	14	1	0	0
	100.0	22.2	0.0	19.4	16.7	38.9	2.8	0.0	0.0
熱田区	12	2	0	2	2	6	0	0	0
	100.0	16.7	0.0	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0
中川区	40	6	1	2	7	22	1	1	0
	100.0	15.0	2.5	5.0	17.5	55.0	2.5	2.5	0.0
港区	21	4	0	2	4	10	0	1	0
	100.0	19.0	0.0	9.5	19.0	47.6	0.0	4.8	0.0
南区	25	0	0	0	2	21	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	8.0	84.0	0.0	0.0	8.0
守山区	31	6	0	1	7	14	0	0	3
	100.0	19.4	0.0	3.2	22.6	45.2	0.0	0.0	9.7
緑区	58	3	1	1	1	48	0	0	4
	100.0	5.2	1.7	1.7	1.7	82.8	0.0	0.0	6.9
名東区	28	2	1	3	6	14	1	0	1
	100.0	7.1	3.6	10.7	21.4	50.0	3.6	0.0	3.6
天白区	54	11	1	5	6	29	0	2	0
	100.0	20.4	1.9	9.3	11.1	53.7	0.0	3.7	0.0
楠支所（北区）	3	0	0	1	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
山田支所（西区）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	－	－	－	－	－	－	－	－	－
富田支所（中川区）	8	1	0	1	0	6	0	0	0
	100.0	12.5	0.0	12.5	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
南陽支所（港区）	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
志段味支所（守山区）	9	3	0	0	2	4	0	0	0
	100.0	33.3	0.0	0.0	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0
徳重支所（緑区）	12	0	0	1	0	10	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	8.3	0.0	83.3	0.0	8.3	0.0

※複数選択した方

２－２１　ハビリテーションの利用

問 12-1　お子さんはこれまでに（リ）ハビリテーションを利用したことはありますか。（１つだけ）

● ハビリテーションの利用については、「現在、利用している」「利用したことがある」を合わせた”利用したことがある”が 53.1%に対して、「利用したことはない」が 42.6%となっている。



● 年齢別でみると、「現在、利用している」割合は年齢が低いほど高い傾向にある。

問１２－１　ハビリテーションの利用

上段：実数 下段：%	件数	現在、利用している	利用したことがある	利用したことはない	利用したかどうかわからない	無回答
全体	505 100.0	201 39.8	67 13.3	215 42.6	8 1.6	14 2.8
Ｆ１　子どもの年齢						
１歳	8 100.0	7 87.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
２歳	36 100.0	20 55.6	2 5.6	12 33.3	1 2.8	1 2.8
３歳	111 100.0	41 36.9	16 14.4	49 44.1	2 1.8	3 2.7
４歳	169 100.0	55 32.5	22 13.0	86 50.9	1 0.6	5 3.0
５歳	172 100.0	73 42.4	27 15.7	63 36.6	4 2.3	5 2.9
６歳	4 100.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0

● 地域療育センターの対象エリア別に見ると、センターによる利用率は最大 20 ポイント近い差がある。

問１２－１　ハビリテーションの利用

上段：実数 下段：％	件数	現在、利用している	利用したことがある	利用したことはない	利用したかどうかわからない	無回答
全体	505 100.0	201 39.8	67 13.3	215 42.6	8 1.6	14 2.8
地域療育センターの対象エリア別						
中央療育センター	139 100.0	58 41.7	12 8.6	65 46.8	1 0.7	3 2.2
東部地域療育センター	105 100.0	48 45.7	14 13.3	36 34.3	1 1.0	6 5.7
西部地域療育センター	99 100.0	31 31.3	17 17.2	49 49.5	2 2.0	0 0.0
南部地域療育センター	95 100.0	34 35.8	11 11.6	47 49.5	1 1.1	2 2.1
北部地域療育センター	57 100.0	25 43.9	13 22.8	15 26.3	1 1.8	3 5.3

● 未就学児と就学児を合わせた就学区分別に見ると、「現在、利用している」割合は年齢が低いほど高い傾向がある。

問１２－１　ハビリテーションの利用

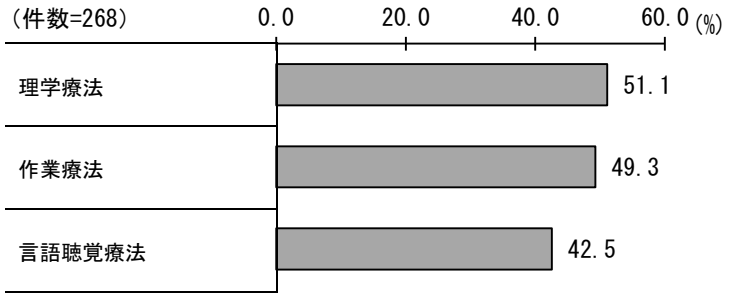
上段：実数 下段：％	件数	現在、利用している	利用したことがある	利用したことはない	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
全体	2014 100.0	484 24.0	656 32.6	757 37.6	45 2.2	9 0.4	63 3.1
未就学児と就学児を合わせた年齢別							
未就学児	505 100.0	201 39.8	67 13.3	215 42.6	8 1.6	0 0.0	14 2.8
小学校	962 100.0	221 23.0	347 36.1	331 34.4	22 2.3	5 0.5	36 3.7
中学校	273 100.0	25 9.2	127 46.5	111 40.7	5 1.8	2 0.7	3 1.1
高校相当	274 100.0	37 13.5	115 42.0	100 36.5	10 3.6	2 0.7	10 3.6

※複数選択した方

２－２２　ハビリテーション利用の詳細

問 12-2　利用しているまたは利用していた（リ）ハビリテーションの種類及び利用施設はどれですか。（いくつでも）また、利用頻度は。（自由記述）
【問 12-1 で１または２に○をつけた方（（リ）ハビリテーションを利用したことがある方）におたずねしています。】

● ハビリテーション利用の種類については、「理学療法」が 51.1％と最も高く、次いで「作業療法」（49.3％）、「言語聴覚療法」（42.5％）の順になっている。



● 年齢別でみると、「理学療法」の割合は年齢が上がるにつれて低くなり、「作業療法」、「言語聴覚療法」の割合は年齢とともに高くなっている。

問１２－２　ハビリテーション利用の詳細

上段：実数 下段：％	件数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	無回答
全体	268 100.0	137 51.1	132 49.3	114 42.5	3 1.1
Ｆ１　子どもの年齢					
１歳	7 100.0	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0
２歳	22 100.0	18 81.8	6 27.3	5 22.7	0 0.0
３歳	57 100.0	43 75.4	22 38.6	20 35.1	1 1.8
４歳	77 100.0	30 39.0	43 55.8	33 42.9	2 2.6
５歳	100 100.0	36 36.0	59 59.0	53 53.0	0 0.0
６歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

● 地域療育センターの対象エリア別で見ると、センターによって種別の割合が大きく異なる。

問１２－２　ハビリテーション利用の詳細

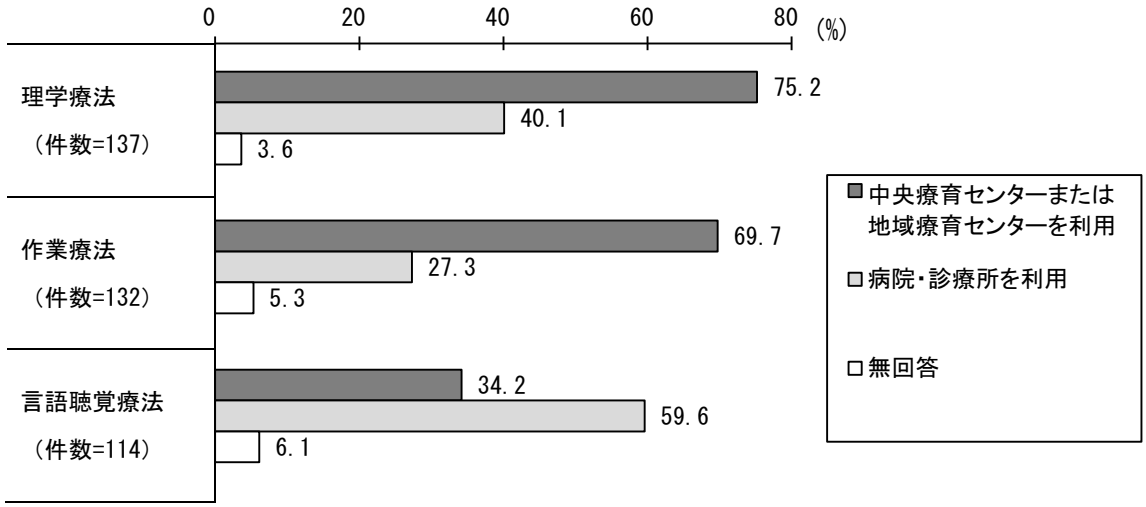
上段：実数 下段：％	件数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	無回答
全体	268 100.0	137 51.1	132 49.3	114 42.5	3 1.1
地域療育センターの対象エリア別					
中央療育センター	70 100.0	38 54.3	33 47.1	28 40.0	1 1.4
東部地域療育センター	62 100.0	25 40.3	45 72.6	29 46.8	0 0.0
西部地域療育センター	48 100.0	29 60.4	25 52.1	17 35.4	1 2.1
南部地域療育センター	45 100.0	20 44.4	16 35.6	22 48.9	0 0.0
北部地域療育センター	38 100.0	21 55.3	10 26.3	17 44.7	1 2.6

● 未就学児と就学児を合わせた就学区分別では、高校相当では、全体と比較して「理学療法」（55.9％）の割合が高く、中学校では「言語聴覚療法」（65.8％）の割合が高くなっている。

問１２－２　ハビリテーション利用の詳細

上段：実数 下段：％	件数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	無回答
全体	1140 100.0	519 45.5	597 52.4	640 56.1	9 0.8
未就学児と就学児を合わせた年齢別					
未就学	268 100.0	137 51.1	132 49.3	114 42.5	3 1.1
小学校	568 100.0	236 41.5	321 56.5	341 60.0	2 0.4
中学校	152 100.0	61 40.1	69 45.4	100 65.8	3 2.0
高校相当	152 100.0	85 55.9	75 49.3	85 55.9	1 0.7

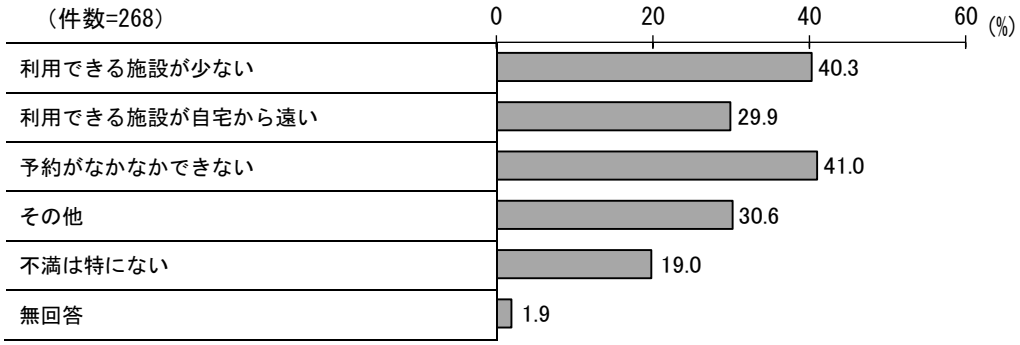
● ハビリテーション利用の施設については、理学療法と作業療法では「中央療育センターまたは地域療育センター」の割合が高いが、言語聴覚療法では「病院・診療所」の割合が高くなっている。



２－２３　ハビリテーションへの要望

問 12-3　（リ）ハビリテーションの利用について不満に感じることはありますか。（すべて）
【問 12-1 で１または２に○をつけた方（（リ）ハビリテーションを利用したことがある方）におたずねしています。】

● ハビリテーションへの要望については、「不満は特にない」が 19.0%に対して、「不満を感じている」が 79.1%（※）となっている。不満の内容は、「予約がなかなかできない」（41.0%）、「利用できる施設が少ない」（40.3%）が４割を超えている。



※全体から「不満は特にない」「無回答」を除いた割合

● 年齢別でみると、年齢が上がるにつれて、「利用できる施設が少ない」の割合が高くなっている。

問１２－３　ハビリテーションへの要望

上段：実数 下段：%	件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
全体	268	108	80	110	82	51	5
	100.0	40.3	29.9	41.0	30.6	19.0	1.9
Ｆ１　子どもの年齢							
１歳	7	1	2	2	2	2	0
	100.0	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0
２歳	22	5	3	4	8	8	0
	100.0	22.7	13.6	18.2	36.4	36.4	0.0
３歳	57	18	19	16	12	16	1
	100.0	31.6	33.3	28.1	21.1	28.1	1.8
４歳	77	34	27	38	25	8	1
	100.0	44.2	35.1	49.4	32.5	10.4	1.3
５歳	100	48	28	48	33	16	3
	100.0	48.0	28.0	48.0	33.0	16.0	3.0
６歳	1	1	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

● 地域療育センターの対象エリア別に見ると、「予約がなかなかできない」がセンターごとの回答率の割合の差が特に大きい。

問１２－３　ハビリテーションへの要望

上段：実数 下段：%	件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
全体	268	108	80	110	81	53	5
	100.0	40.3	29.9	41.0	30.2	19.8	1.9
地域療育センターの対象エリア別							
中央療育センター	70	23	22	19	24	15	5
	100.0	32.9	31.4	27.1	34.3	21.4	7.1
東部地域療育センター	62	25	21	34	11	9	0
	100.0	40.3	33.9	54.8	17.7	14.5	0.0
西部地域療育センター	48	23	12	23	13	9	0
	100.0	47.9	25.0	47.9	27.1	18.8	0.0
南部地域療育センター	45	20	15	20	19	7	0
	100.0	44.4	33.3	44.4	42.2	15.6	0.0
北部地域療育センター	38	16	9	12	12	10	0
	100.0	42.1	23.7	31.6	31.6	26.3	0.0

● 種別でみると、作業療法では、他と比較して「予約がなかなかできない」（47.7%）の割合が高く、言語聴覚療法では「利用できる施設が少ない」（57.9%）の割合が高くなっている。

問１２－３　ハビリテーションへの要望

上段：実数 下段：%	件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
理学療法	137	42	40	45	37	41	1
	100.0	30.7	29.2	32.8	27.0	29.9	0.7
作業療法	132	51	39	63	40	21	2
	100.0	38.6	29.5	47.7	30.3	15.9	1.5
言語聴覚療法	114	66	38	46	41	11	5
	100.0	57.9	33.3	40.4	36.0	9.6	4.4

● 利用施設別でみると、中央療育センター・地域療育センターでは、「予約がなかなかできない」（42.2%）の割合が高く、病院・診療所では「利用できる施設が少ない」（50.0%）、「利用できる施設が自宅から遠い」（39.2%）の割合が高くなっている。

問１２－３　ハビリテーションへの要望

上段：実数 下段：%	件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
中央療育センター 地域療育センター	187 100.0	67 35.8	50 26.7	79 42.2	61 32.6	36 19.3	1 0.5
病院・診療所	120 100.0	60 50.0	47 39.2	46 38.3	38 31.7	24 20.0	3 2.5

● 未就学児と就学児を合わせた就学区分別に見ると、「施設が少ない」、「施設が遠い」、「予約ができない」の割合がいずれも小学生で高い。

問１２－３　ハビリテーションへの要望

上段：実数 下段：%	件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
全体	1140 100.0	568 49.8	386 33.9	568 49.8	277 24.3	182 16.0	51 4.5
未就学児と就学児を合わせた年齢別							
未就学児	268 100.0	108 40.3	80 29.9	110 41.0	81 30.2	53 19.8	5 1.9
小学校	568 100.0	313 55.1	210 37.0	313 55.1	130 22.9	78 13.7	28 4.9
中学校	152 100.0	77 50.7	46 30.3	79 52.0	38 25.0	25 16.4	7 4.6
高校相当	152 100.0	70 46.1	50 32.9	66 43.4	28 18.4	26 17.1	11 7.2

● 未就学児と就学児を合わせた居住区別で見ると、利用できる施設についての不満の割合が低い区の方が、予約ができない不満の割合は高い傾向がみられる。

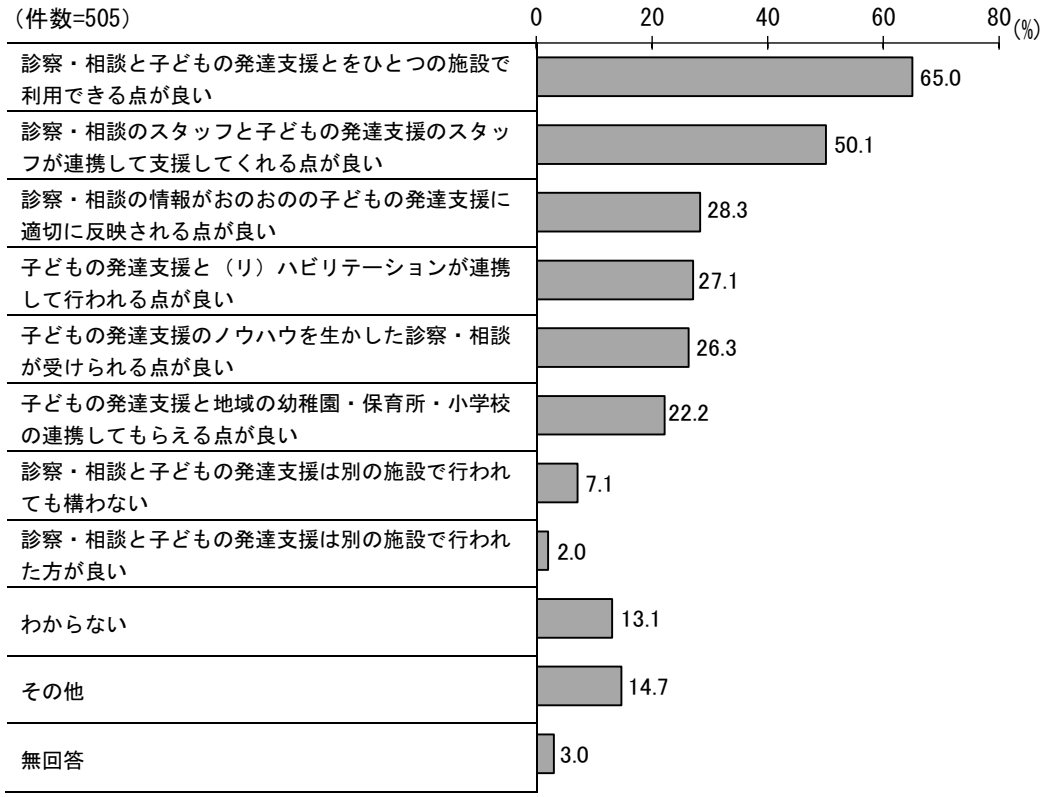
問１２－３　ハビリテーションへの要望

上段：実数 下段：％	件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
全体	1140	568	386	568	277	182	51
	100.0	49.8	33.9	49.8	24.3	16.0	4.5
Ｆ５　子どもの居住区（支所）							
千種区	71	37	21	41	13	9	2
	100.0	52.1	29.6	57.7	18.3	12.7	2.8
東区	30	18	12	14	5	3	1
	100.0	60.0	40.0	46.7	16.7	10.0	3.3
北区	62	25	19	31	19	12	6
	100.0	40.3	30.6	50.0	30.6	19.4	9.7
西区	47	24	9	24	16	7	2
	100.0	51.1	19.1	51.1	34.0	14.9	4.3
中村区	57	28	17	31	8	12	3
	100.0	49.1	29.8	54.4	14.0	21.1	5.3
中区	24	9	4	13	3	5	2
	100.0	37.5	16.7	54.2	12.5	20.8	8.3
昭和区	54	26	9	25	18	11	3
	100.0	48.1	16.7	46.3	33.3	20.4	5.6
瑞穂区	54	32	25	23	14	6	1
	100.0	59.3	46.3	42.6	25.9	11.1	1.9
熱田区	28	13	11	11	14	4	1
	100.0	46.4	39.3	39.3	50.0	14.3	3.6
中川区	92	43	25	41	26	17	4
	100.0	46.7	27.2	44.6	28.3	18.5	4.3
港区	54	22	13	16	4	19	3
	100.0	40.7	24.1	29.6	7.4	35.2	5.6
南区	67	36	17	37	15	10	2
	100.0	53.7	25.4	55.2	22.4	14.9	3.0
守山区	88	48	46	48	16	12	3
	100.0	54.5	52.3	54.5	18.2	13.6	3.4
緑区	120	64	54	68	31	12	3
	100.0	53.3	45.0	56.7	25.8	10.0	2.5
名東区	104	50	33	55	20	19	4
	100.0	48.1	31.7	52.9	19.2	18.3	3.8
天白区	95	42	32	40	24	13	8
	100.0	44.2	33.7	42.1	25.3	13.7	8.4
楠支所（北区）	13	4	5	4	3	5	1
	100.0	30.8	38.5	30.8	23.1	38.5	7.7
山田支所（西区）	4	1	0	2	1	0	1
	100.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0
富田支所（中川区）	16	11	5	9	6	1	0
	100.0	68.8	31.3	56.3	37.5	6.3	0.0
南陽支所（港区）	3	2	1	1	0	0	0
	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	18	10	11	14	5	1	0
	100.0	55.6	61.1	77.8	27.8	5.6	0.0
徳重支所（緑区）	27	16	13	13	9	3	0
	100.0	59.3	48.1	48.1	33.3	11.1	0.0

２－２４　地域療育センターの評価

問 13　名古屋市ではお子さんの発達を支援するために地域療育センター（お子さんの診察・相談や（リ）ハビリテーションを行う診療所がひとつの施設で利用できる）を設置し、地域療育センターごとに対象の区を指定していますが、この仕組みについてどのように思いますか。（すべて）

● 地域療育センターの評価については、「診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い」が 65.0%と最も高く、次いで「診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い」(50.1%)、「診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い」(28.3%) となっている。



● 年齢別に見ると、「診察・相談と子どもの発達支援をひとつの施設で利用できる点がいい」と回答した割合は年齢が高くなるにつれて高くなる傾向がある。

問１３　地域療育センターの評価

上段：実数 下段：％	件数	診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い	診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い	診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い	子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い	子どもの発達支援のノウハウを生かした診察・相談が受けられる点が良い	子どもの発達支援と地域の幼稚園・保育所・小学校の連携してもらえる点が良い	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われても構わない	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われた方が良い	わからない	その他	無回答
全体	505	328	253	143	137	133	112	36	10	66	74	15
	100.0	65.0	50.1	28.3	27.1	26.3	22.2	7.1	2.0	13.1	14.7	3.0
Ｆ１　子どもの年齢												
１歳	8	2	1	1	3	2	2	0	0	1	3	1
	100.0	25.0	12.5	12.5	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5	37.5	12.5
２歳	36	21	17	11	10	10	7	1	1	8	2	2
	100.0	58.3	47.2	30.6	27.8	27.8	19.4	2.8	2.8	22.2	5.6	5.6
３歳	111	73	65	32	33	31	21	8	2	12	16	1
	100.0	65.8	58.6	28.8	29.7	27.9	18.9	7.2	1.8	10.8	14.4	0.9
４歳	169	112	85	46	42	39	39	13	4	18	28	4
	100.0	66.3	50.3	27.2	24.9	23.1	23.1	7.7	2.4	10.7	16.6	2.4
５歳	172	113	79	49	46	48	42	14	3	27	24	6
	100.0	65.7	45.9	28.5	26.7	27.9	24.4	8.1	1.7	15.7	14.0	3.5
６歳	4	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

● 未就学児と就学児を合わせた就学区分別でみると、全体的に未就学児の評価が高い傾向にある。

問１３　地域療育センターの評価

上段：実数 下段：％	件数	診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い	診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い	診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い	子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い	子どもの発達支援のノウハウを生かした診察・相談が受けられる点が良い	子どもの発達支援と地域の幼稚園・保育所・小学校の連携してもらえる点が良い	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われても構わない	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われた方が良い	わからない	その他	無回答
全体	2057	1248	878	513	514	575	429	144	32	394	203	75
	100.0	60.7	42.7	24.9	25.0	28.0	20.9	7.0	1.6	19.2	9.9	3.6
未就学児と就学児を合わせた年齢別												
未就学児	505	328	253	143	133	137	112	36	10	66	74	15
	100.0	65.0	50.1	28.3	26.3	27.1	22.2	7.1	2.0	13.1	14.7	3.0
小学校	962	591	406	232	251	292	213	71	13	178	85	32
	100.0	61.4	42.2	24.1	26.1	30.4	22.1	7.4	1.4	18.5	8.8	3.3
中学校	273	155	97	64	58	63	54	15	5	69	19	9
	100.0	56.8	35.5	23.4	21.2	23.1	19.8	5.5	1.8	25.3	7.0	3.3
高校相当	274	155	106	63	61	73	43	19	3	72	20	9
	100.0	56.6	38.7	23.0	22.3	26.6	15.7	6.9	1.1	26.3	7.3	3.3

● 障害児通所支援等の利用希望でみると、児童発達支援センターの利用を希望する保護者では全体と比較して「診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い」(57.6%)、「子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い」（35.0%）の割合が高くなっている。

問１３　地域療育センターの評価

上段：実数 下段：%	件数	診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い	診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い	診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い	子どもの発達支援のノウハウを生かした診察・相談が受けられる点が良い	子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い	子どもの発達支援と地域の幼稚園・保育所・小学校の連携してもらえる点が良い	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われても構わない	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われた方が良い	わからない	その他	無回答
全体	505	328	253	143	137	133	112	36	10	66	74	15
	100.0	65.0	50.1	28.3	27.1	26.3	22.2	7.1	2.0	13.1	14.7	3.0

問４　障害児通所支援等の利用希望

児童発達支援センター	177	122	102	52	51	62	24	8	3	17	33	5
	100.0	68.9	57.6	29.4	28.8	35.0	13.6	4.5	1.7	9.6	18.6	2.8
児童発達支援指定事業所	342	217	153	91	88	91	74	28	8	45	61	14
	100.0	63.5	44.7	26.6	25.7	26.6	21.6	8.2	2.3	13.2	17.8	4.1
保育所等訪問支援	111	75	59	33	31	39	35	6	3	13	19	3
	100.0	67.6	53.2	29.7	27.9	35.1	31.5	5.4	2.7	11.7	17.1	2.7
障害児相談支援	219	157	114	66	63	73	54	18	3	23	38	6
	100.0	71.7	52.1	30.1	28.8	33.3	24.7	8.2	1.4	10.5	17.4	2.7

● 遅れに気づいたとき困ったことでみると、子どもの発達について相談できる施設などが利用可能な地域になかったでは、全体と比較して「子どもの発達支援と地域の幼稚園・保育所・小学校の連携してもらえる点が良い」（38.9%）、「診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われても構わない」（16.7%）の割合が高く、発達支援が利用できる施設等が利用可能な地域になかったでは、「診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い」（41.2%）の割合が高くなっている。

問１３　地域療育センターの評価

上段：実数 下段：%	件数	診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い	診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い	診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い	子どもの発達支援のノウハウを生かした診察・相談が受けられる点が良い	子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い	子どもの発達支援と地域の幼稚園・保育所・小学校の連携してもらえる点が良い	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われても構わない	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われた方が良い	わからない	その他	無回答
全体	505	328	253	143	137	133	112	36	10	66	74	15
	100.0	65.0	50.1	28.3	27.1	26.3	22.2	7.1	2.0	13.1	14.7	3.0

問７-４　遅れに気づいたとき困ったこと

子どもの発達についてよくわからなかった	177	116	90	51	52	48	45	16	4	32	23	1
	100.0	65.5	50.8	28.8	29.4	27.1	25.4	9	2.3	18.1	13	0.6
子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった	174	113	91	45	37	46	34	16	2	17	31	4
	100.0	64.9	52.3	25.9	21.3	26.4	19.5	9.2	1.1	9.8	17.8	2.3
子どもの発達支援施策についての情報が少なかった	188	126	93	50	41	51	41	15	5	20	30	5
	100.0	67.0	49.5	26.6	21.8	27.1	21.8	8	2.7	10.6	16	2.7
子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった	155	105	83	41	36	37	30	17	2	17	19	4
	100.0	67.7	53.5	26.5	23.2	23.9	19.4	11	1.3	11	12.3	2.6
子どもの発達について診察ができる医療機関がどこにあるか分からなかった	140	98	73	39	29	37	31	13	2	15	16	3
	100.0	70.0	52.1	27.9	20.7	26.4	22.1	9.3	1.4	10.7	11.4	2.1
子どもの発達について相談できる施設などが利用可能な地域になかった	18	12	8	7	4	5	7	3	0	3	0	0
	100.0	66.7	44.4	38.9	22.2	27.8	38.9	16.7	0	16.7	0	0
子どもの発達について診察ができる医療機関が利用可能な地域になかった	15	8	6	5	5	4	5	3	0	1	2	0
	100.0	53.3	40.0	33.3	33.3	26.7	33.3	20	0	6.7	13.3	0
発達支援が利用できる施設等が利用可能な地域になかった	17	9	7	7	3	4	3	1	0	4	0	1
	100.0	52.9	41.2	41.2	17.6	23.5	17.6	5.9	0	23.5	0	5.9
子どもの発達について相談できる施設の利用までに時間がかかった	166	102	77	43	43	40	35	18	7	21	30	3
	100.0	61.4	46.4	25.9	25.9	24.1	21.1	10.8	4.2	12.7	18.1	1.8
子どもの発達についての診察を受けるまでに時間がかかった	199	127	96	53	49	48	44	18	6	24	37	6
	100.0	63.8	48.2	26.6	24.6	24.1	22.1	9	3	12.1	18.6	3
発達支援が利用できる施設等が利用できるまでに時間がかかった	125	79	65	41	41	39	36	14	4	14	23	2
	100.0	63.2	52	32.8	32.8	31.2	28.8	11.2	3.2	11.2	18.4	1.6
その他	57	37	30	20	17	16	15	7	1	4	15	1
	100.0	64.9	52.6	35.1	29.8	28.1	26.3	12.3	1.8	7	26.3	1.8

２－２５　就学前の発達支援事業

問１４　名古屋市の、学校に入学する前のお子さんと保護者の方を対象とした発達支援事業についてご意見はありますか。（自由記述）

●　就学前の発達支援事業のニーズについてお聞きしたところ、296 人（58.6%）から 337 件の回答をいただいた。

大分類	小分類	小分類集計	大分類集計
施設の充実	施設の増設	17	94
	待機時間の短縮	11	
	リハビリ施設の充実	9	
	利用回数の拡充	8	
	利用時間の拡充	8	
	サービスの平準化について	8	
	プログラムの充実	6	
	自宅から遠い	6	
	利用日数の拡充	6	
	受け入れ定員の拡充	5	
	予約が取りづらい	4	
	送迎サービスの充実	3	
	その他	3	
情報提供の充実	周知方法、手段の多様化	20	60
	就学に関する情報提供	8	
	積極的な情報提供	7	
	わかりやすく工夫してほしい	6	
	検診時に提供してほしい	5	
	通所施設（民間含む）の情報提供	3	
	事業内容の情報提供	3	
	幼稚園・保育所、区役所等での情報提供	3	
	その他	5	
相談	進路相談	15	37
	相談窓口の充実	12	
	学校との連携	7	
	カウンセリング・心のケア等の充実	2	
	訪問相談	1	
各種支援	働く親への支援	9	26

大分類	小分類	小分類集計	大分類集計
各種支援	軽度・グレーへの支援	8	26
	就学後の支援継続	6	
	入園時の支援	3	
職員等について	事業に携わる職員の資質の向上について	11	22
	事業に関わる職員のスキルアップ、育成	5	
	専門的スタッフの増員	4	
	職員の待遇改善	2	
制度・負担金等について	出席率での補助金支給について	5	13
	地域要件の撤廃	4	
	負担金についての不満	3	
	その他	1	
講演や説明会について	小学校の体験入学や説明会の開催について	6	10
	休日に説明会を実施して欲しい	2	
	親（保護者）の学習、教育、学びについて	2	
幼稚園・保育所	幼稚園・保育所との併用について	4	9
	障害児の受け入れ体制	3	
	加配制度について	2	
交流について	親同士の交流	5	7
	同じ境遇の子と交流できる場がほしい	2	
事務手続きについて	更新手続きの簡素化等について	3	3
学校	トワイライト等の充実	2	2
診察	土日も行って欲しい	2	2
託児	託児について	2	2
行政への要望・提案	行政への要望・提案	2	2
その他	その他	14	16
	不安しかない	2	
満足している	満足している	14	14
感謝している	感謝している	8	8
特になし・わからない	特になし・わからない	10	10

２－２６　就学に向けての不安

問 15　お子さんの就学に向けて不安に感じることはありますか。（自由記述）

●　就学に向けて不安に感じることをお聞きしたところ、382 人（75.6%）から 530 件の回答をいただいた。

大分類	小分類	小分類集計	大分類集計
学校生活	学校生活についていけるか	36	144
	いじめ	34	
	勉強についていけるか	18	
	送迎の負担	14	
	コミュニケーションが取れるか	13	
	通学	8	
	新たな環境へ対応できるか	6	
	読み書き	6	
	不登校	5	
	席に座っていられるか	4	
進路について	子どもに合った進路選択	23	85
	普通学級か支援学級	15	
	支援級か養護学校	9	
	普通学級に通えるか	8	
	普通級に入れるか	7	
	進路について	3	
	普通学級か特別支援学級	3	
	支援学級と支援学校	5	
	支援学級	4	
	支援級・通級の選択	2	
	進路について	6	
学校の対応	先生の資質・理解	35	76
	学校の受け入れ体制	32	
	先生が代わること	3	
	情報共有	2	
	先生が少ない	2	
	教頭との面接	2	
情報・相談	相談する場がない	33	74
	情報がないことへの不安	21	
	情報の少なさ	20	

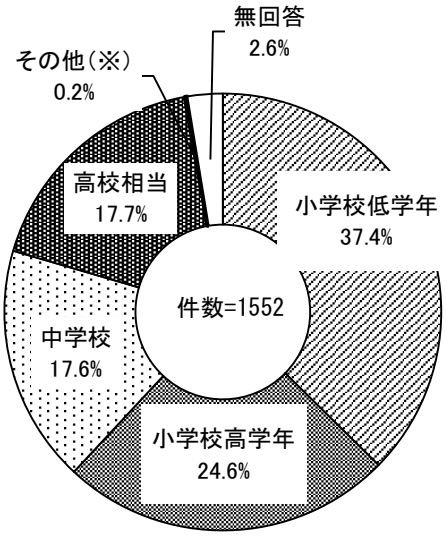
大分類	小分類	小分類集計	大分類集計
子どもについて	子どもの成長	20	39
	子どもの負担	9	
	オムツ	7	
	子どものサポート体制	3	
就学準備について	就学先を選ぶ基準	9	21
	就学活動のこちらからのアプローチ	8	
	就学説明会（年中から）	4	
人間関係	人間関係（子ども）	10	13
	人間関係（先生）	3	
兄弟について	兄弟へのいじめ	7	9
	兄弟への負担	2	
親について	親の負担	5	8
	仕事との両立	3	
環境・支援について	学区に支援級がないこと	4	7
	就学後の支援	3	
医療ケアへの対応	医療ケアへの対応	7	7
支援級等について	支援級での授業内容・質	2	6
	その他	4	
学童・トワイライト	学童でうまくやっていけるか	2	4
	トワイライトの利用	2	
その他	就園について	7	17
	癇癪	2	
	制度の複雑さ	2	
	支援が減ること	2	
	その他	4	
不安	漠然とした不安・多々ある	10	10
特になし	不安なし・特になし	6	6
わからない	わからない	4	4

Ⅲ　調査結果（就学児アンケート）

１　回答者の属性（フェース項目）

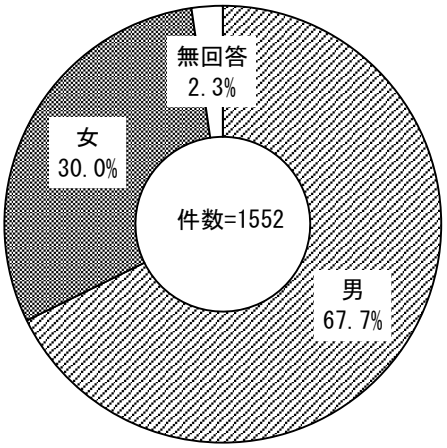
１－１　子どもの年齢

● 子どもの年齢は、「小学校低学年」が 37.4%、「小学校高学年」が 24.6%、「中学校」が 17.6%、「高校相当」が 17.7%となっている。



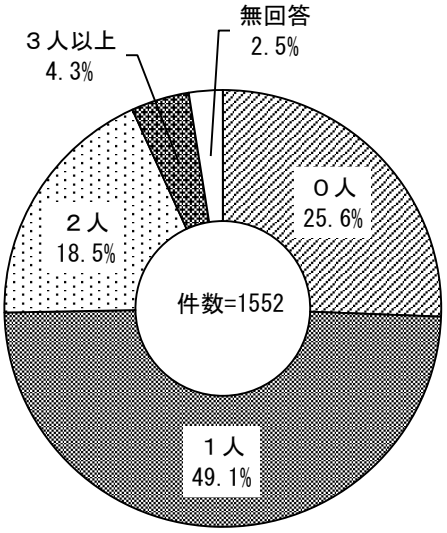
１－２　子どもの性別

● 子どもの性別は、「男」が 67.7%、「女」が 30.0%となっている。



１－３　兄弟・姉妹の状況（平成３０年４月１日現在）

● 兄弟、姉妹の状況は、「兄弟・姉妹がいない」が 25.6%、「兄弟・姉妹がいる」が 71.9%となっている。兄弟・姉妹数は、「１人」が 49.1%、「２人」が 18.5%となっている。



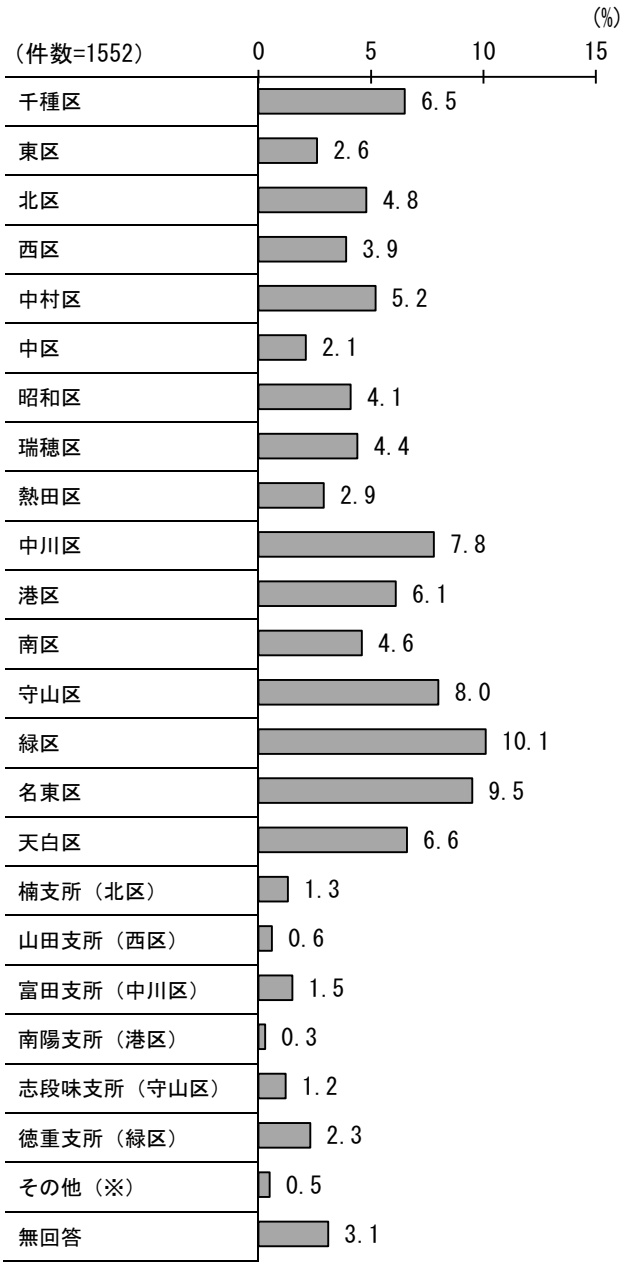
１－４　名古屋市での居住歴

● 名古屋市での居住歴は、「出生時から」が 74.6%で最も高くなっている。

件数	出生時から	転入時の年齢							無回答
		3歳未満	3歳以上6歳未満	6歳以上9歳未満	9歳以上12歳未満	12歳以上15歳未満	15歳以上18歳未満	無回答	
1552	1158	138	120	56	22	10	3	4	41
100.0	74.6	39.1	34.0	15.9	6.2	2.8	0.8	1.1	2.6

１－５　居住区（支所）

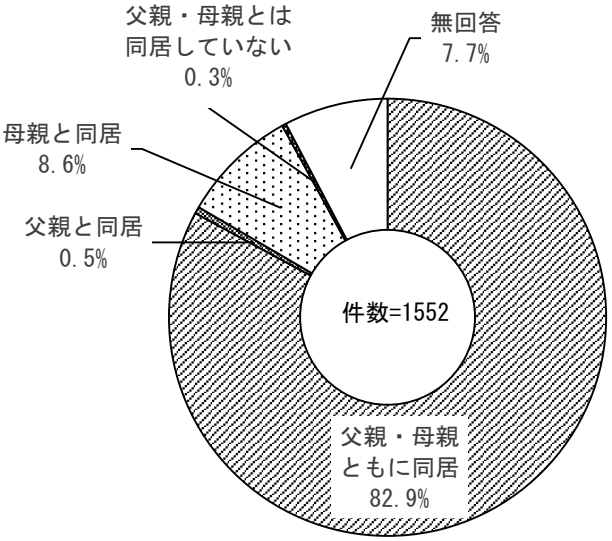
● 居住区については、「緑区」が 10.1%で最も高く、次いで「名東区」が 9.5%「守山区」が 8.0%、「中川区」が 7.8%、となっている。



１－６　父親・母親との同居状況

（入院や単身赴任等で一時的に同居していない方は同居として回答）

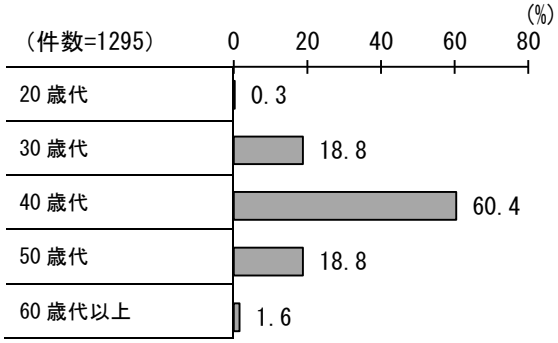
● 父親・母親との同居状況は、「父親・母親ともに同居」が 82.9％と最も高くなっている。



１－７　父親の状況

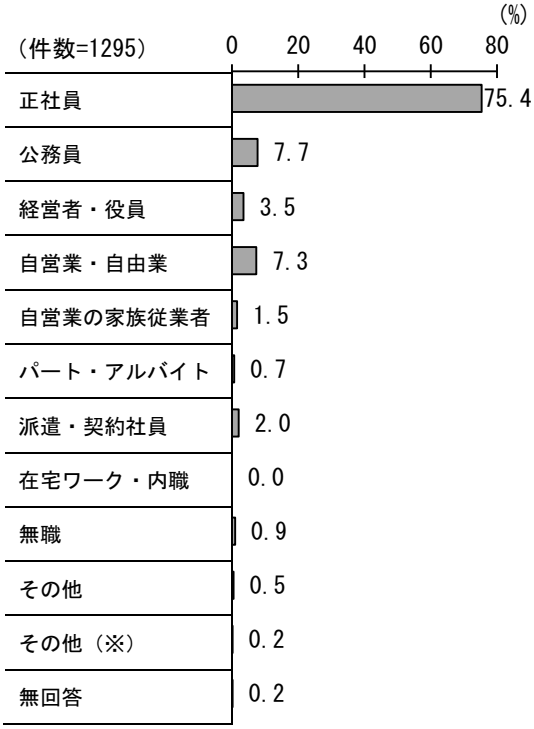
①父親の年齢

● 父親の年齢は、「40 歳代」が 60.4％で最も高く、次いで「30 歳代」と「50 歳代」が 18.8％となっている。平均年齢は、44.7 歳となっている。



②父親の就労形態・時期

● 父親の就労形態は、「正社員」が 75.4％と最も高く、次いで「公務員」が 7.7％、「自営業・自由業」が 7.3％となっている。



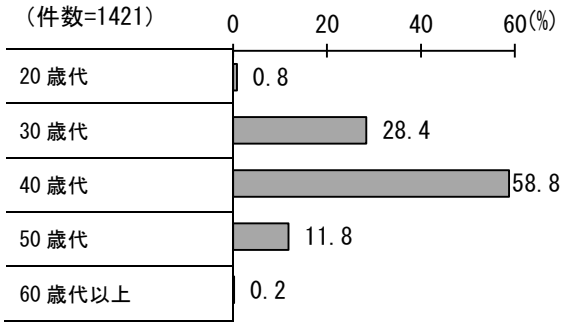
Ｆ６③現在の職業の勤務年数

件数	25年以上	20～24年	15～19年	10～14年	5～9年	4年以下	無回答
1295 100.0	294 22.7	240 18.5	198 15.3	169 13.1	91 7.0	109 8.4	194 15.0

１－８　母親の状況

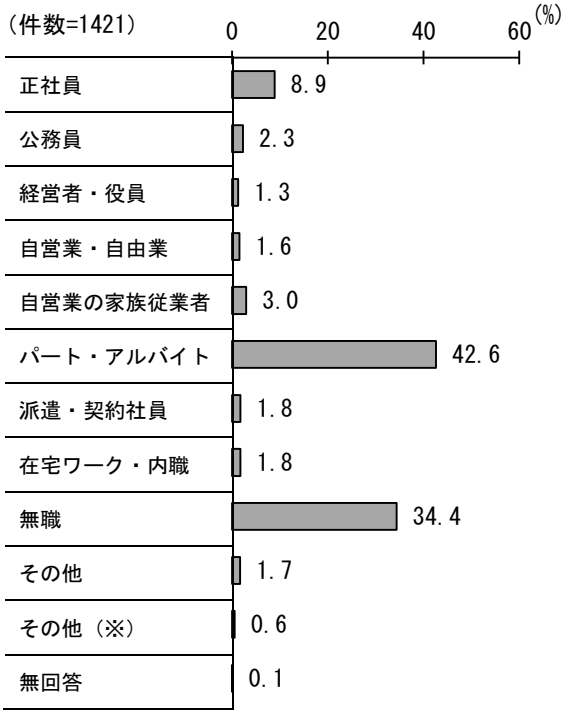
①母親の年齢

● 母親の年齢は、「40 歳代」が 58.8%で最も高く、次いで「30 歳代」が 28.4%となっている。平均年齢は、42.6 歳となっている。



②母親の就労形態・時期

● 母親の就労形態は、「パート・アルバイト」が 42.6%と最も高く、次いで「無職」が 34.4%、「正社員」が 8.9%となっている。

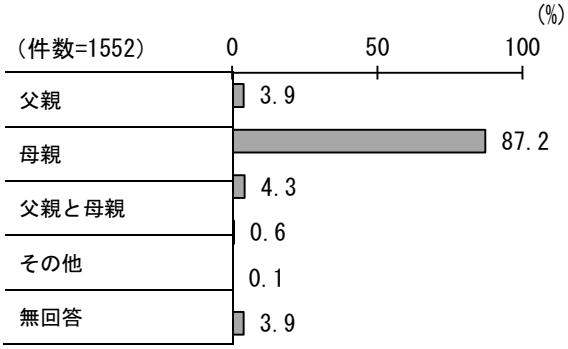


Ｆ７③現在の職業の勤務年数

件数	25年以上	20～24年	15～19年	10～14年	5～9年	4年以下	無回答
1421	35	87	147	244	338	464	106
100.0	2.5	6.1	10.3	17.2	23.8	32.7	7.5

１－９　調査票の記入者

● 調査票の記入者は、「母親」が 87.2%で最も高くなっている。



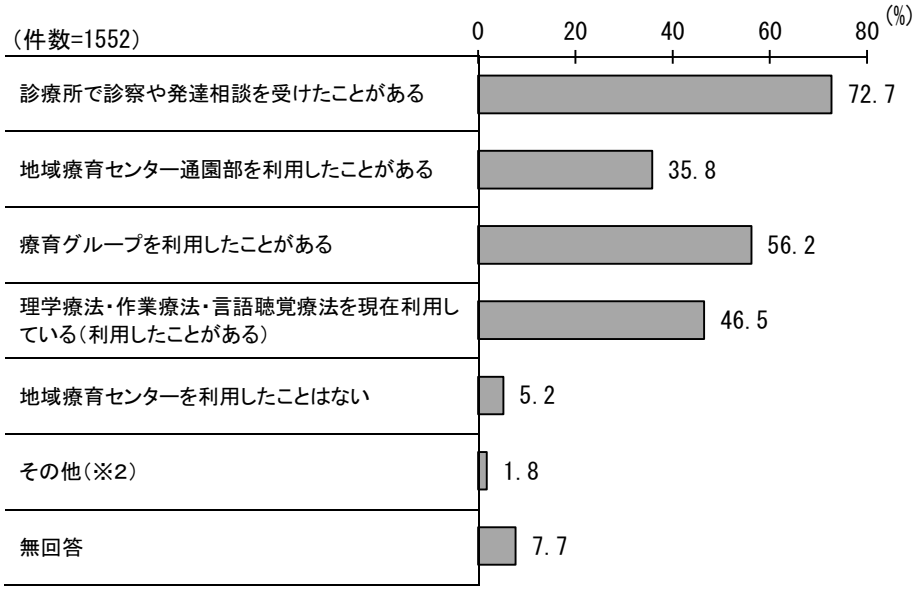
２　調査結果（就学児）

２－１　地域療育センターの利用状況

問 1-1　お子さんはこれまでに地域療育センターを利用したことがありますか。（すべて）

● 子どもがこれまでに地域療育センターを利用したことがあるのは 85.3%（※１）、「利用したことはない」は 5.2%となっている。利用状況については、「診療所で診察や発達相談を受けたことがある」が 72.7%と最も高く、次いで「療育グループを利用したことがある」が 56.2%、「理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）」が 46.5%、「地域療育センター通園部を利用したことがある」（35.8%）となっている。

また、「その他」「無回答」を除いた数に対する各質問の割合は、「診療所で診察や発達相談を受けたことがある」が 80.3%、「療育グループを利用したことがある」が 62.1%、「理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）」が 51.3%、「地域療育センター通園部を利用したことがある」が 39.6%となっている。



※１全体から「地域療育センターを利用したことはない」「その他（※２）」「無回答」を除いた割合

※２利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

● 地域療育センターの対象エリア別で利用状況を見ると、発達相談や通園部利用の項目で割合の高いセンターと低いセンターで 10 ポイント以上の差がある。

問１－１　地域療育センターの利用状況

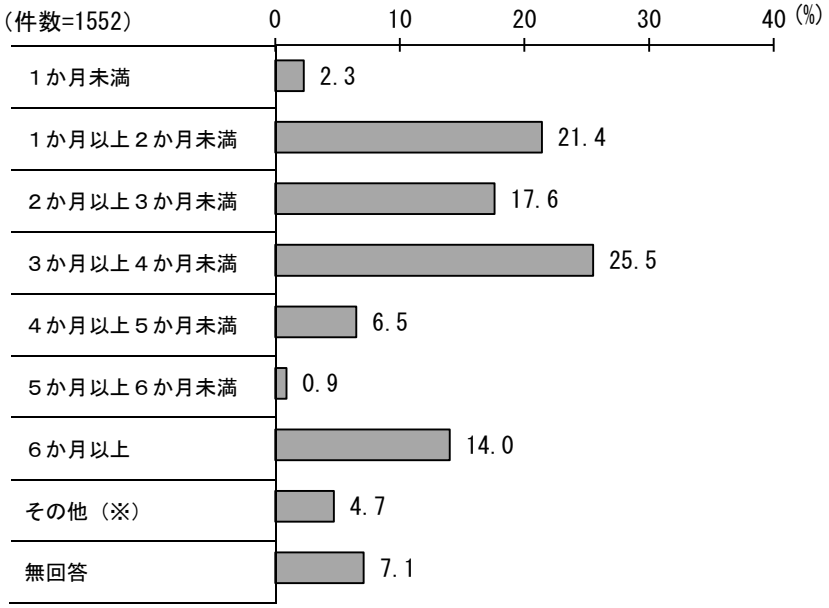
上段：実数 下段：%	件数	診療所で診察や発達相談を受けたことがある	地域療育センター通園部を利用したことがある	療育グループを利用したことがある	理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）	地域療育センターを利用したことはない	その他（※）	無回答
全体	1552	1128	556	872	721	80	28	119
	100.0	72.7	35.8	56.2	46.5	5.2	1.8	7.7
地域療育センターの対象エリア別								
中央療育センター	313	231	109	169	146	16	5	24
	100.0	73.8	34.8	54	46.6	5.1	1.6	7.7
東部地域療育センター	390	289	109	215	187	18	9	30
	100.0	74.1	27.9	55.1	47.9	4.6	2.3	7.7
西部地域療育センター	324	218	96	178	128	22	6	27
	100.0	67.3	29.6	54.9	39.5	6.8	1.9	8.3
南部地域療育センター	264	215	130	167	148	8	2	15
	100.0	81.4	49.2	63.3	56.1	3.0	0.8	5.7
北部地域療育センター	205	136	91	117	91	7	5	20
	100.0	66.3	44.4	57.1	44.4	3.4	2.4	9.8

※利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

２－２　地域療育センター初診待機期間

問 1-2　初めて地域療育センターの診療所で診察や発達相談を受けたとき、申し込んでから利用できるまでの期間はどの程度でしたか。（数値記入）
【問 1-1 で１に○をつけた方（地域療育センターの診療所で診察や発達相談を受けたことがある方）におたずねしています。】

● 地域療育センターを利用できるようになるまでの期間については「3 か月以上 4 か月未満」が 25.5%と最も高く、次いで「1 か月以上 2 か月未満」が 21.4%、「2 か月以上 3 か月未満」が 17.6%となっている。



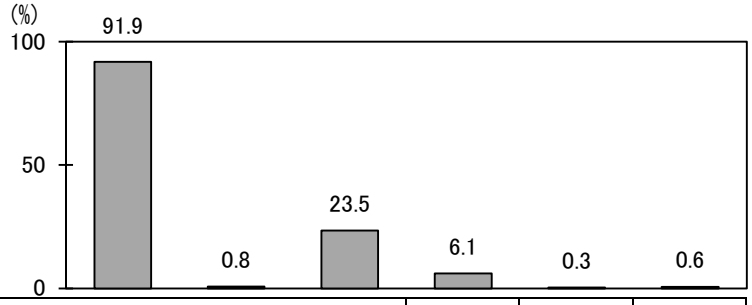
※数値以外を記入した方

２－３　障害児通所支援等の利用

問２　現在、お子さんは障害児通所支援等を利用していますか。（すべて）また、どの程度利用していますか。（数値記入）

● 現在、障害児通所支援等を利用しているのは 92.8%（※１）、「現在は利用していない」は 6.1%となっている。利用状況については、「放課後等デイサービス」が 91.9%と最も高く、次いで「障害児相談支援」が 23.5%となっている。

また、放課後等デイサービス事業所を利用しているうち、障害児相談支援を利用していない割合は、75.6%となっている。



上段：実数 下段：%	件数	利用している	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	現在は利用していない	その他（※２）	無回答
全体	1552 100.0	1442 92.8	1426 91.9	13 0.8	364 23.5	94 6.1	4 0.3	12 0.8
Ｆ１　子どもの年齢								
小学校低学年	580 100.0	533 91.9	522 90.0	5 0.9	146 25.2	43 7.4	1 0.2	3 0.5
小学校高学年	382 100.0	355 92.9	354 92.7	7 1.8	102 26.7	22 5.8	0 0.0	5 1.3
中学校	273 100.0	256 93.8	255 93.4	0 0.0	49 17.9	14 5.1	0 0.0	3 1.1
高校相当	274 100.0	257 93.8	254 92.7	1 0.4	56 20.4	13 4.7	3 1.1	1 0.4

※１全体から「現在は利用していない」「その他（※２）」「無回答」を除いた割合

※２利用していないと利用しているの両方を選択した方

● 居住区別に見ると、放課後等デイサービスは最も利用割合の低い千種区でも 87.1%となっており、すべての区で高い利用率となっている。

問２　障害児通所支援等の利用状況

上段：実数 下段：%	件数	利用している	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	現在は利用していない	その他（※）	無回答
全体	1552 100.0	1442 92.9	1426 91.9	13 0.8	364 23.5	94 6.1	4 0.3	12 0.6
Ｆ５　子どもの居住区（支所）								
千種区	101 100.0	90 89.1	88 87.1	2 2.0	23 22.8	10 9.9	1 1.0	0 0.0
東区	41 100.0	36 87.8	36 87.8	0 0.0	9 22.0	5 12.2	0 0.0	0 0.0
北区	75 100.0	69 92.0	68 90.7	1 1.3	17 22.7	4 5.3	0 0.0	2 2.2
西区	60 100.0	54 90.0	53 88.3	1 1.7	10 16.7	4 6.7	0 0.0	2 2.9
中村区	80 100.0	74 92.5	74 92.5	0 0.0	12 15.0	5 6.3	0 0.0	1 1.1
中区	32 100.0	32 100.0	31 96.9	0 0.0	9 28.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
昭和区	64 100.0	58 90.6	57 89.1	0 0.0	12 18.8	5 7.8	0 0.0	1 1.3
瑞穂区	69 100.0	64 92.8	63 91.3	2 2.9	22 31.9	3 4.3	0 0.0	2 2.2
熱田区	45 100.0	43 95.6	42 93.3	0 0.0	14 31.1	2 4.4	0 0.0	0 0.0
中川区	121 100.0	115 95.0	115 95.0	0 0.0	26 21.5	4 3.3	0 0.0	2 1.4
港区	94 100.0	89 94.7	89 94.7	0 0.0	14 14.9	3 3.2	2 2.1	0 0.0
南区	72 100.0	66 91.7	65 90.3	1 1.4	20 27.8	6 8.3	0 0.0	0 0.0
守山区	124 100.0	113 91.1	111 89.5	1 0.8	35 28.2	11 8.9	0 0.0	0 0.0
緑区	157 100.0	147 93.6	145 92.4	1 0.6	43 27.4	10 6.4	0 0.0	0 0.0
名東区	147 100.0	140 95.2	138 93.9	0 0.0	38 25.9	7 4.8	0 0.0	0 0.0
天白区	103 100.0	98 95.1	98 95.1	0 0.0	19 18.4	5 4.9	0 0.0	0 0.0
楠支所（北区）	20 100.0	19 95.0	19 95.0	1 5.0	7 35.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6
山田支所（西区）	9 100.0	8 88.9	8 88.9	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0
富田支所（中川区）	24 100.0	23 95.8	23 95.8	1 4.2	4 16.7	1 4.2	0 0.0	0 0.0
南陽支所（港区）	5 100.0	5 100.0	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
志段味支所（守山区）	18 100.0	16 88.9	16 88.9	0 0.0	3 16.7	2 11.1	0 0.0	0 0.0
徳重支所（緑区）	35 100.0	33 94.3	32 91.4	2 5.7	13 37.1	1 2.9	0 0.0	1 2.0

※利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

● 児童発達支援事業所と放課後等デイサービスの利用状況指数（※１）を算出し、区別に比較すると、天白区、瑞穂区、熱田区、中川区、中村区の順で児童発達支援事業所の利用指数が上回り、守山区、南区、西区、緑区、東区の順で放課後等デイサービスの利用指数が上回っている。

発達支援事業所の区別利用状況指数

	児童発達支援指定事業所	放課後等デイサービス	差（※２）
全体	100.0	100.0	0.0
千種区	95.7	94.8	-0.9
東区	82.8	95.5	12.7
北区	105.2	98.7	-6.5
西区	76.9	96.1	19.2
中村区	111.4	100.7	-10.7
中区	102.6	105.4	2.8
昭和区	104.6	97.0	-7.6
瑞穂区	119.7	99.3	-20.4
熱田区	115.4	101.5	-13.9
中川区	115.4	103.4	-12.0
港区	102.6	103.0	0.4
南区	73.8	98.3	24.5
守山区	59.5	97.4	37.9
緑区	87.5	100.5	13.0
名東区	109.8	102.2	-7.6
天白区	131.1	103.5	-27.6
楠支所（北区）	102.6	103.4	0.8
山田支所（西区）	-	96.7	-
富田支所（中川区）	57.7	104.2	46.5
南陽支所（港区）	153.8	108.8	-45.0
志段味支所（守山区）	68.3	96.7	28.4
徳重支所（緑区）	89.7	99.5	9.8

※１　全体の利用状況割合を１００とし各区の利用状況指数を算出

※２　放課後等デイサービスの指数から児童発達支援事業所の指数を引いた数値

● 利用頻度をみると、放課後等デイサービスは「月１６～２０回」が 23.4%と最も高く、次いで「月２１～２５回」が 18.4%となっている。また、保育所等訪問支援は「月１回」が 46.2%、障害児相談支援は「年２回」が 57.4%と最も高くなっている。

また、未就学児の保護者に質問した児童発達支援指定事業所の利用では「月６～１０回」(32.0%)、「月１～５回」(28.0%）の割合が高いのに対して、放課後等デイサービスは「月１６～２０回」(23.4%)、「月２１～２５回」(18.4%）が高くなっている。

問２　放課後等デイサービスの利用頻度

件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26～回	その他（※）	無回答
1426	195	240	206	333	262	141	43	6
100.0	13.7	16.8	14.4	23.4	18.4	9.9	3.0	0.4

上段:実数、下段:%

問２　保育所等訪問支援の利用頻度

件数	月1回未満	月1回	月2回	その他（※）	無回答
13	1	6	1	3	2
100.0	7.7	46.2	7.7	23.1	15.4

上段:実数、下段:%

問２　障害児相談支援の利用頻度

件数	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回以上	その他（※）	無回答
364	78	209	18	18	17	12	12
100.0	21.4	57.4	4.9	4.9	4.7	3.3	3.3

上段:実数、下段:%

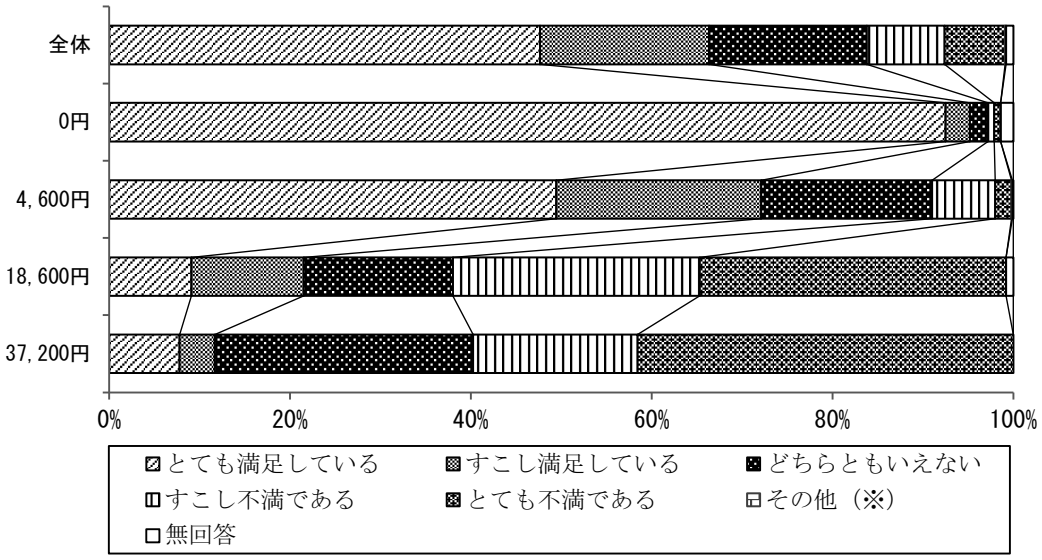
※数値以外で記入した方

２－４　利用負担額について

問３-1　放課後等デイサービスの利用者負担上限月額はいくらですか。（１つだけ）また、その月額に満足していますか。（１つだけ）
【問２で１に○をつけた方（放課後等デイサービスを利用しているお子さんの保護者の方）におたずねしています。】

● 利用負担額については、全体でみると、「とても満足している」と「少し満足している」を合わせた”満足している”が 66.4%に対して、「とても不満である」と「少し不満である」を合わせた”不満である”は 15.3%となっている。負担額別でみると、0 円で”満足している”の割合（95.2%）が最も高く、18,600 円で”不満である”の割合（61.2%）が最も高くなっている。

（件数=1426）

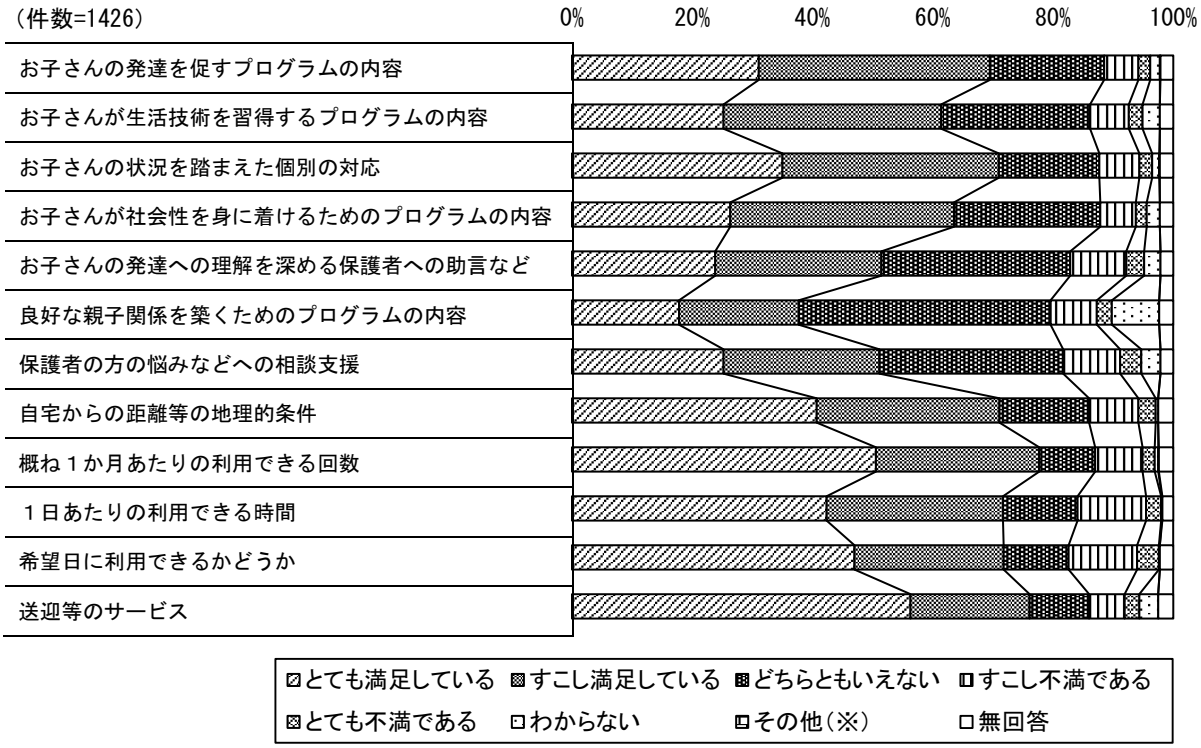


※満足度を複数選択した方

２－５　放課後等デイサービス利用満足度

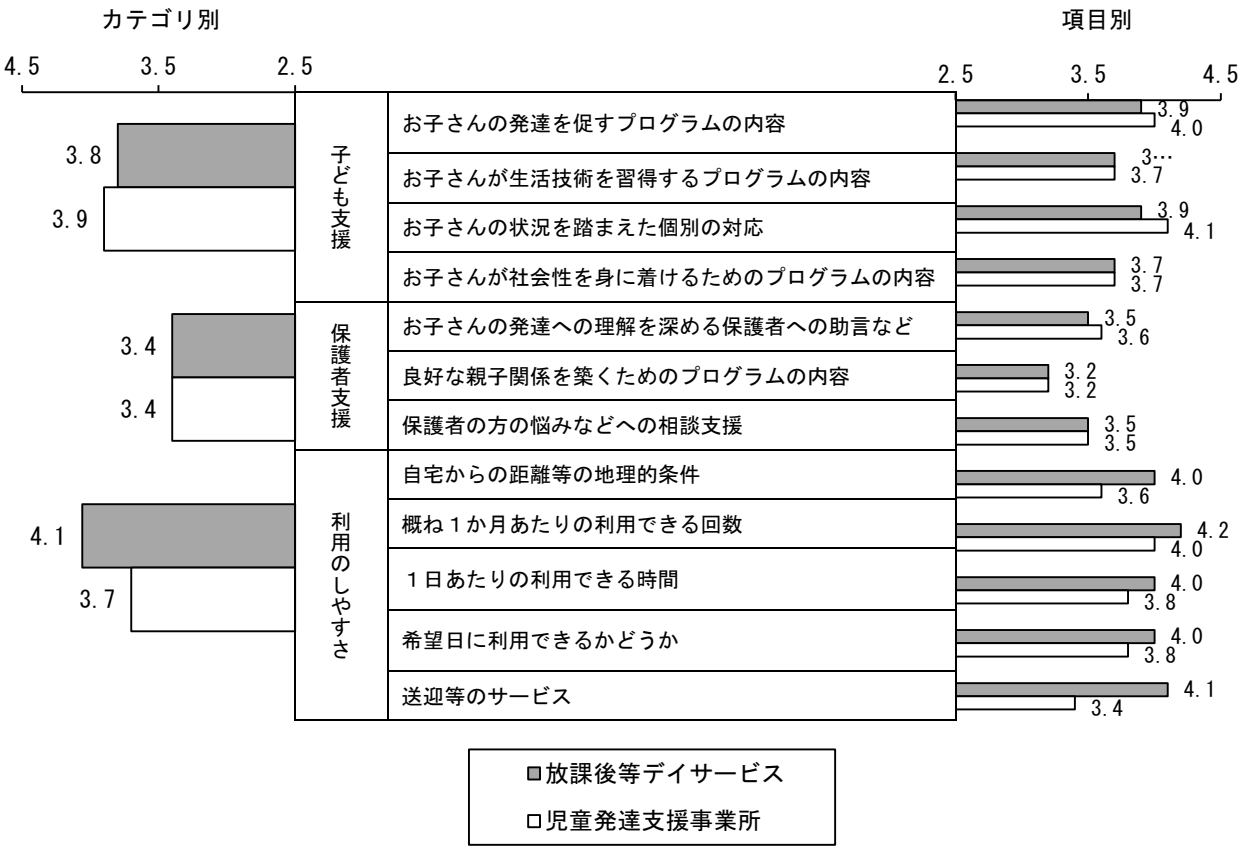
問３-2　放課後等デイサービスの支援に満足していますか。（各問１つずつ）
【問２で１に○をつけた方（放課後等デイサービスを利用しているお子さんの保護者の方）におたずねしています。】

●　放課後デイサービスの利用満足度は、「とても満足している」と「少し満足している」を合わせた”満足している”の割合でみると、「概ね１か月あたりの利用できる回数」が 77.8％と最も高く、次いで「送迎等のサービス」（76.1％）、「希望日に利用できるか」（71.8％）となっており、「良好な親子関係を築くためのプログラムの内容」（37.7％）で４割を下回っている。



※満足度を複数選択した方

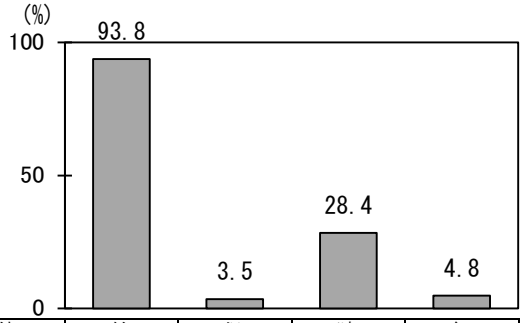
● 未就学アンケート問３－２（児童発達支援事業所の利用満足度）と比較すると、項目別では「送迎等のサービス」（0.7ポイント）、「自宅からの距離等の地理的条件」（0.4ポイント）で利用満足度の差が大きくなっている。また、カテゴリ別では、「子ども支援」は児童発達支援事業所の方が0.1ポイント高いのに対して、「利用のしやすさ」は放課後等デイサービスの方が0.4ポイント高くなっている。



２－６　障害児通所支援等　今後の利用希望

問４　今後、障害児通所支援等の利用を希望しますか。（すべて）また、どの程度利用を希望しますか。（数値記入）

● 障害児通所支援等の今後の利用希望は、「放課後等デイサービス」が 93.8％と最も高く、次いで「障害児相談支援」が 28.4％となっている。



上段：実数 下段：％	件数	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	無回答
全体	1552	1456	55	440	74
	100.0	93.8	3.5	28.4	4.8
Ｆ１　子どもの年齢					
小学校低学年	580	540	29	175	27
	100.0	93.1	5.0	30.2	4.7
小学校高学年	382	361	18	113	20
	100.0	94.5	4.7	29.6	5.2
中学校	273	256	4	66	14
	100.0	93.8	1.5	24.2	5.1
高校相当	274	257	3	72	12
	100.0	93.8	1.1	26.3	4.4

● 利用希望頻度をみると、放課後等デイサービスは「月１６～２０回」が 23.4%と最も高く、次いで「月２１～２５回」が 18.9%となっている。また、保育所等訪問支援は「月１回以内」が 60.0%、障害児相談支援は「年２回」が 48.9%と最も高くなっている。

問４　放課後等デイサービスの利用希望頻度

件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26～回	その他（※）	無回答
1456	139	206	183	341	275	237	66	9
100.0	9.5	14.1	12.6	23.4	18.9	16.3	4.5	0.6

上段:実数、下段:%

問４　保育所等訪問支援の利用希望頻度

件数	月1回以内	月2回	月3回	月4回	月5回	月6回以上	その他（※）	無回答
55	33	12	1	2	0	3	4	0
100.0	60.0	21.8	1.8	3.6	0.0	5.5	7.3	0.0

上段:実数、下段:%

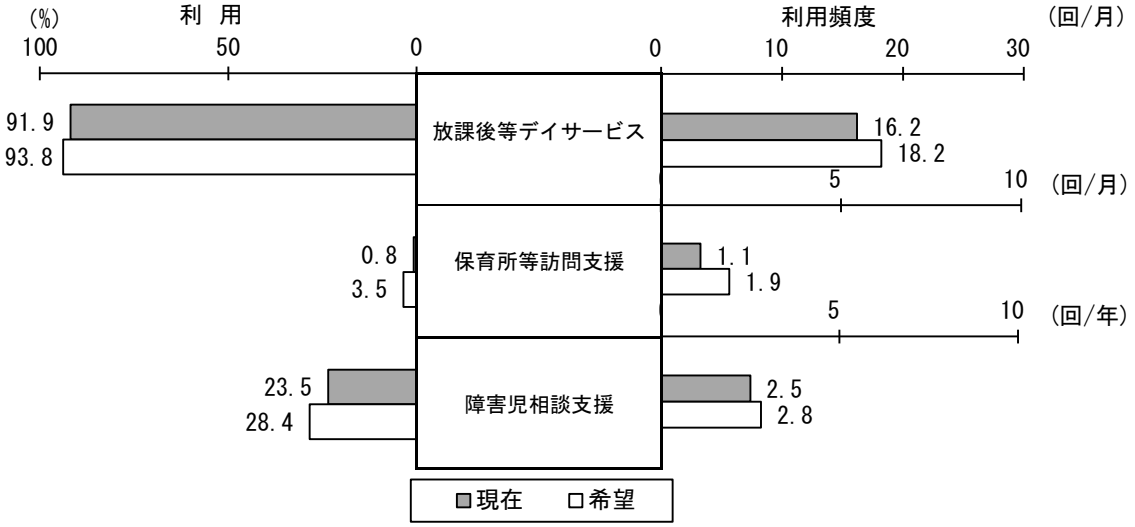
問４　障害児相談支援の利用希望頻度

件数	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回	年6回以上	その他（※）	無回答
440	97	215	30	37	7	20	27	7
100.0	22.0	48.9	6.8	8.4	1.6	4.5	6.1	1.6

上段:実数、下段:%

※数値以外で記入した方

● 現在の利用と頻度（問２）と比較すると、利用については、今後の利用希望が現在の利用をすべて上回り、「障害児相談支援」（4.9%差）で最も大きな差となった。また、利用頻度については、「放課後デイサービス」（2.0 回差）で最も大きな差となった。



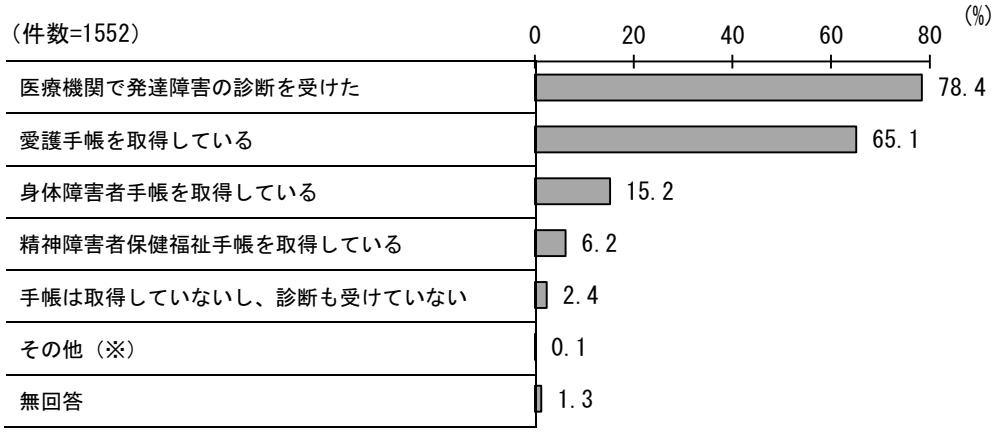
２－７　発達障害の診断

問５-1　お子さんは発達障害に関する診断を受けたことがありますか。（年齢）また、障害に関する手帳を取得していますか。（数値記入）（年齢）

● 発達障害の診断は、「医療機関で発達障害の診断を受けた」は 78.4％となっている。

障害者手帳の取得状況をみると、「愛護手帳」は 65.1％、「身体障害者手帳」は 15.2％、「精神障害者保健福祉手帳」は 6.2％となっている。

また、「手帳は取得していないし、診断も受けていない」は 2.4％となっている。



● 事項別でみると、身体障害者手帳の取得年齢では「０歳以上３歳未満」(48.7％) の割合が高く、精神障害者保健福祉手帳の取得年齢では「６歳以上９歳未満」(47.9％) の割合が高くなっている。

問５－１　発達障害の診断

上段：実数 下段：％	件数	0歳以上3歳未満	3歳以上6歳未満	6歳以上9歳未満	9歳以上12歳未満	12歳以上15歳未満	15歳以上18歳未満	その他（※）	無回答
医療機関で発達障害の診断を受けた	1217 100.0	470 38.6	522 42.9	129 10.6	44 3.6	9 0.7	3 0.2	3 0.3	65 6.4
愛護手帳の取得年齢	1011 100.0	317 31.4	416 41.1	127 12.6	48 4.7	27 2.7	8 0.8	1 0.4	16 6.8
身体障害者手帳の取得年齢	236 100.0	115 48.7	72 30.5	17 7.2	7 3.0	5 2.1	3 1.3	1 0.4	16 6.8
精神障害者保健福祉手帳の取得年齢	96 100.0	0 0.0	14 14.6	46 47.9	20 20.8	8 8.3	6 6.3	0 0.0	2 2.1

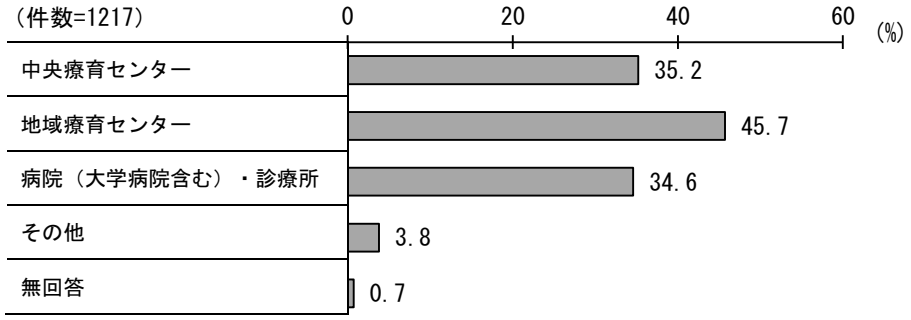
※手帳を取得しているか診断を受けたと手帳は取得していないし診断も受けていないの両方を選択した方

２－８　診断を受けた機関

問５-2　お子さんはどこで診断を受けましたか。（すべて）

【問５-1 で１に○をつけた方（医療機関で発達障害の診断を受けているお子さんの保護者の方）におたずねしています。】

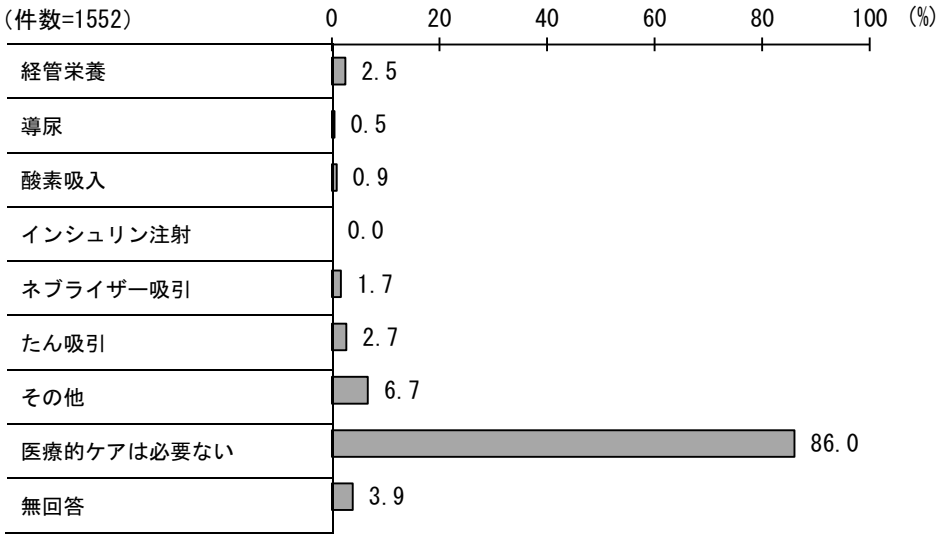
● 診断を受けた機関については、「地域療育センター」が 45.7％と最も高く、次いで「中央療育センター」（35.2％）、「病院（大学病院含む）・診療所」（34.6％）の順となっている。



２－９　医療的ケア

問６－１　お子さんは現在、生活する上で何らかの医療的なケアが必要ですか。（すべて）

● 医療的ケアについては、「医療的ケアは必要ない」が 86.0%、「医療的ケアは必要ある」が 10.1%（※）となっている。



※全体から「医療的ケアは必要ない」「無回答」を除いた割合

● 医療的ケアの有無で地域療育センターの利用状況をみると、医療的ケア有りでは、全体と比較して「地域療育センター通園部を利用したことがある」（52.5%）、「理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）」（61.3%）の割合が高くなっている。

問１－１　地域療育センターの利用状況

上段：実数 下段：%	件数	診療所で診察や発達相談を受けたことがある	地域療育センター通園部を利用したことがある	療育グループを利用したことがある	理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）	地域療育センターを利用したことはない	その他（※）	無回答
全体	1552	1128	556	872	721	80	28	119
	100.0	72.7	35.8	56.2	46.5	5.2	1.8	7.7

問６－１　医療的ケアの有無

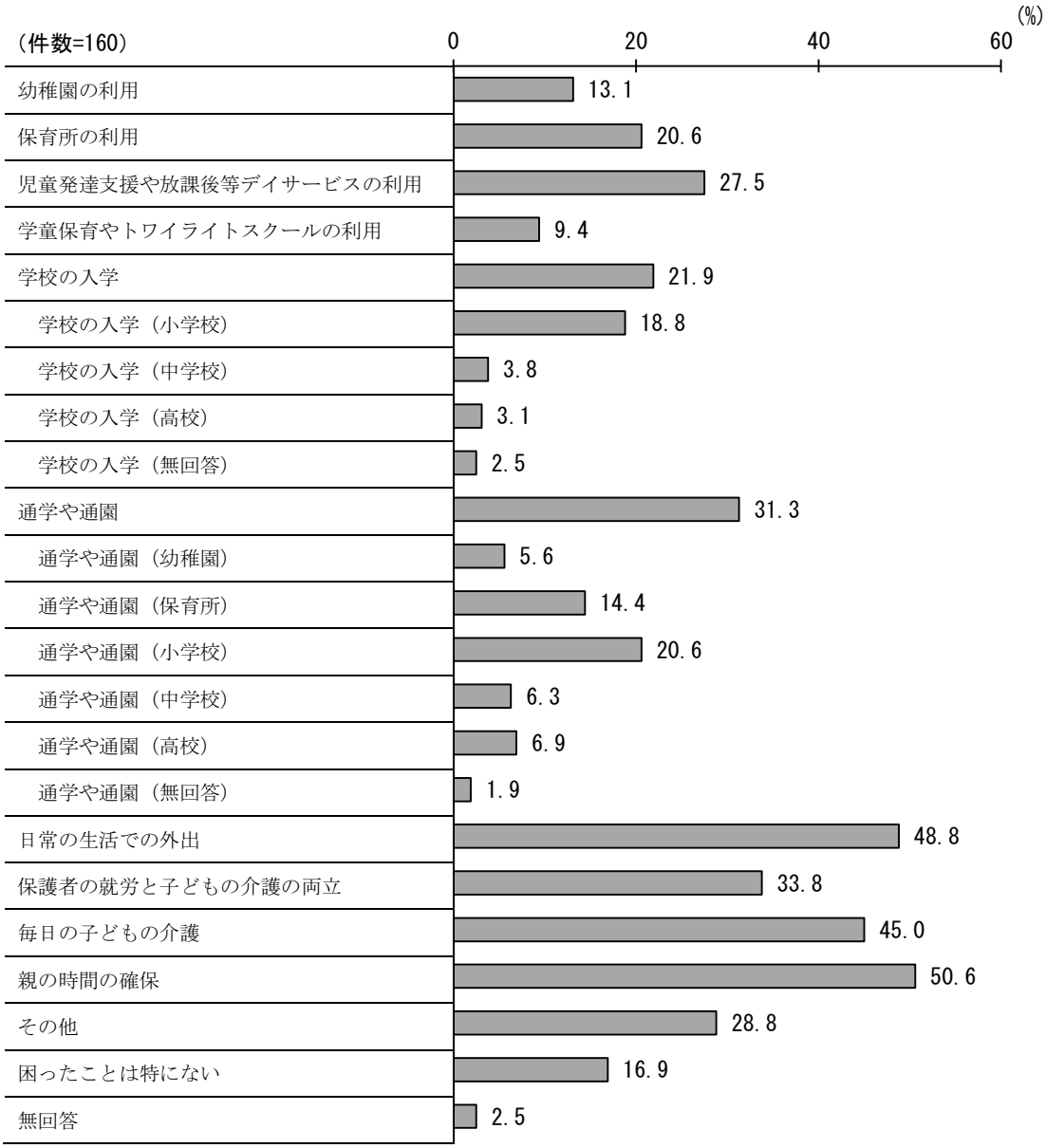
有り	160	115	84	95	98	4	1	14
	100.0	71.9	52.5	59.4	61.3	2.5	0.6	8.8
無し	1332	973	458	750	599	74	26	92
	100.0	73.0	34.4	56.3	45.0	5.6	2.0	6.9

※利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

２－１０　医療的ケアが必要なことによって困ったこと

問６－２　お子さんが医療的ケアを必要とすることが理由で大変だったことや困ったことがありましたか。（すべて）
【問 6-1 で 1～7のどれかに○をつけた方（お子さんが生活する上で医療的ケアが必要な方）におたずねしています。

● 医療的ケアが必要なことによって困ったことは、「親の時間の確保」が 50.6%と最も高く、次いで「日常の生活での外出」（48.8%）、「毎日の子どもの介護」（45.0%）の順になっている。



● 「医療的ケアが必要なことによって困ったこと」を就学年齢区分で見ると、全体を通じて就学年齢区分による偏りはあまり見られないが、「保育所の利用」については小学校低学年で顕著に高くなっている。

問６－２　医療的ケアが必要なことによって困ったこと

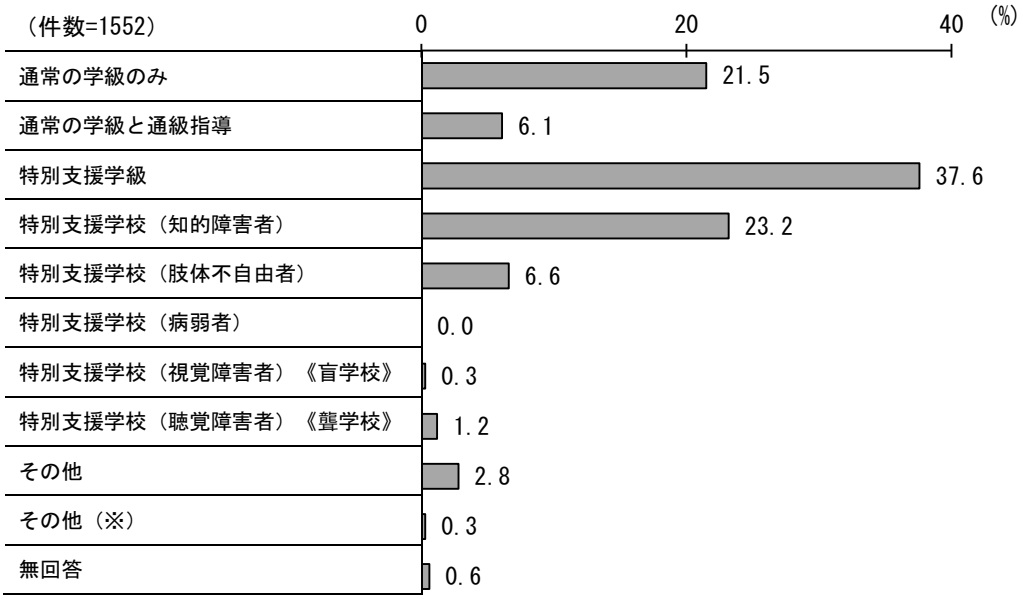
上段：実数 下段：％	件数	幼稚園の利用	保育所の利用	児童発達支援や放課後等デイサービスの利用	学童保育やトワイライトスクールの利用	学校の入学	学校の入学（小学校）	学校の入学（中学校）	学校の入学（高校）	無回答
全体	160	21	33	44	15	35	30	6	5	4
	100.0	13.1	20.6	27.5	9.4	21.9	18.8	3.8	3.1	2.5
Ｆ１　子どもの年齢										
小学校低学年	52	8	16	16	5	12	10	0	0	2
	100.0	15.4	30.8	30.8	9.6	23.1	19.2	0.0	0.0	3.8
小学校高学年	30	4	6	9	2	9	9	1	0	1
	100.0	13.3	20.0	30.0	6.7	30.0	30.0	3.3	0.0	3.3
中学校	31	5	7	8	3	6	6	3	0	0
	100.0	16.1	22.6	25.8	9.7	19.4	19.4	9.7	0.0	0.0
高校相当	40	2	3	8	2	7	4	2	5	1
	100.0	5.0	7.5	20.0	5.0	17.5	10.0	5.0	12.5	2.5

通学や通園	通学や通園（幼稚園）	通学や通園（保育所）	通学や通園（小学校）	通学や通園（中学校）	通学や通園（高校）	無回答	日常の生活での外出	保護者の就労と子どもの介護の両立	毎日の子どもの介護	親の時間の確保	その他	困ったことは特にない	無回答
50	9	23	33	10	11	3	78	54	72	81	46	27	4
31.3	5.6	14.4	20.6	6.3	6.9	1.9	48.8	33.8	45	50.6	28.8	16.9	2.5
13	1	7	8	0	0	1	26	15	21	28	10	9	0
25.0	1.9	13.5	15.4	0.0	0.0	1.9	50.0	28.8	40.4	53.8	19.2	17.3	0.0
12	2	6	12	0	0	0	17	12	13	16	11	5	3
40.0	6.7	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	56.7	40.0	43.3	53.3	36.7	16.7	10.0
9	2	7	6	5	1	1	12	9	16	14	12	6	0
29.0	6.5	22.6	19.4	16.1	3.2	3.2	38.7	29.0	51.6	45.2	38.7	19.4	0.0
13	3	2	5	5	10	1	21	15	21	20	11	6	1
32.5	7.5	5.0	12.5	12.5	25.0	2.5	52.5	37.5	52.5	50.0	27.5	15.0	2.5

２－１１　通っている学校

問７　お子さんが現在通っている学校や学級の種類は何ですか。（１つだけ）

● 子どもが現在通っている学校は、「特別支援学級」が 37.6%と最も高く、次いで「特別支援学校(知的障害者)」(23.2%)、「通常の学級のみ」(21.5%) となっている。



● 年齢別でみると、小学校低学年では「通常の学級のみ」(30.0%) の割合が高く、中学校では「特別支援学級」(51.6%) の割合が高くなっている。

問７　通っている学校

上段：実数 下段：%	件数	通常の学級のみ	通常の学級と通級指導	特別支援学級	特別支援学校（知的障害者）	特別支援学校（肢体不自由者）	特別支援学校（病弱者）	特別支援学校（視覚障害者）《盲学校》	特別支援学校（聴覚障害者）《聾学校》	その他	その他（※）	無回答
全体	1552	333	94	583	360	103	0	5	18	43	4	9
	100.0	21.5	6.1	37.6	23.2	6.6	0.0	0.3	1.2	2.8	0.3	0.6
Ｆ１　子どもの年齢												
小学校低学年	580	174	54	237	70	28	0	0	7	5	2	3
	100.0	30.0	9.3	40.9	12.1	4.8	0.0	0.0	1.2	0.9	0.3	0.5
小学校高学年	382	97	37	173	43	21	0	0	5	6	0	0
	100.0	25.4	9.7	45.3	11.3	5.5	0.0	0.0	1.3	1.6	0.0	0.0
中学校	273	32	2	141	66	20	0	0	2	8	1	1
	100.0	11.7	0.7	51.6	24.2	7.3	0.0	0.0	0.7	2.9	0.4	0.4
高校相当	274	21	0	15	171	31	0	4	4	23	1	4
	100.0	7.7	0.0	5.5	62.4	11.3	0.0	1.5	1.5	8.4	0.4	1.5

※複数選択した方

● 障害児通所支援等の利用状況でみると、現在は利用していないでは、全体と比較して「通常の学級のみ」（40.8%）の割合が高くなっている。

問７　現在通っている学校や学級の種類

上段：実数 下段：%	件数	通常の学級のみ	通常の学級と通級指導	特別支援学級	特別支援学校（知的障害者）	特別支援学校（肢体不自由者）	特別支援学校（病弱者）	特別支援学校（視覚障害者）《盲学校》	特別支援学校（聴覚障害者）《聾学校》	その他	その他（※）	無回答
全体	1552	333	94	583	360	103	0	5	18	43	4	9
	100.0	21.5	6.1	37.6	23.2	6.6	0.0	0.3	1.2	2.8	0.3	0.6

問２　障害児通所支援等の利用状況

放課後等デイサービス	1430	284	85	551	348	95	0	5	17	33	3	9
	100.0	19.9	5.9	38.5	24.3	6.6	0	0.3	1.2	2.3	0.2	0.6
保育所等訪問支援	13	3	2	4	2	2	0	0	0	0	0	0
	100.0	23.1	15.4	30.8	15.4	15.4	0	0	0	0	0	0
障害児相談支援	365	54	20	144	93	39	0	1	4	8	1	1
	100.0	14.8	5.5	39.5	25.5	10.7	0	0.3	1.1	2.2	0.3	0.3
現在は利用していない	98	40	9	25	10	6	0	0	0	7	1	0
	100.0	40.8	9.2	25.5	10.2	6.1	0	0	0	7.1	1	0

● 発達障害の診断でみると、手帳は取得していないし、診断も受けていないでは、全体と比較して「通常の学級のみ」（80.0%）の割合が高くなっている。

問７　現在通っている学校や学級の種類

上段：実数 下段：%	件数	通常の学級のみ	通常の学級と通級指導	特別支援学級	特別支援学校（知的障害者）	特別支援学校（肢体不自由者）	特別支援学校（病弱者）	特別支援学校（視覚障害者）《盲学校》	特別支援学校（聴覚障害者）《聾学校》	その他	その他（※）	無回答
全体	1552	333	94	583	360	103	0	5	18	43	4	9
	100.0	21.5	6.1	37.6	23.2	6.6	0.0	0.3	1.2	2.8	0.3	0.6

問５－１　発達障害の診断

医療機関で発達障害の診断を受けた	1218	282	78	477	269	58	0	3	8	34	2	7
	100.0	23.2	6.4	39.2	22.1	4.8	0.0	0.2	0.7	2.8	0.2	0.6
愛護手帳を取得している	1011	32	14	485	344	92	0	3	12	21	4	4
	100.0	3.2	1.4	48.0	34.0	9.1	0.0	0.3	1.2	2.1	0.4	0.4
身体障害者手帳を取得している	237	12	8	45	39	101	0	5	16	7	2	2
	100.0	5.1	3.4	19.0	16.5	42.6	0.0	2.1	6.8	3	0.8	0.8
精神障害者保健福祉手帳を取得している	96	31	10	37	6	1	0	1	0	9	0	1
	100.0	32.3	10.4	38.5	6.3	1.0	0.0	1.0	0.0	9.4	0.0	1.0
手帳は取得していないし、診断も受けていない	40	32	3	0	1	0	0	0	3	1	0	0
	100.0	80.0	7.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	7.5	2.5	0.0	0.0

※複数選択した方

● 放課後事業の利用状況でみると、学校のトワイライトスクールと学校のトワイライトルームでは、全体と比較して「通常の学級のみ」の割合が高い。

問７　現在通っている学校や学級の種類

上段：実数 下段：％	件数	通常の学級のみ	通常の学級と通級指導	特別支援学級	特別支援学校（知的障害者）	特別支援学校（肢体不自由者）	特別支援学校（病弱者）	特別支援学校（視覚障害者）《盲学校》	特別支援学校（聴覚障害者）《聾学校》	その他	その他（※）	無回答
全体	1552 100.0	333 21.5	94 6.1	583 37.6	360 23.2	103 6.6	0 0.0	5 0.3	18 1.2	43 2.8	4 0.3	9 0.6

問８　放課後事業の利用状況

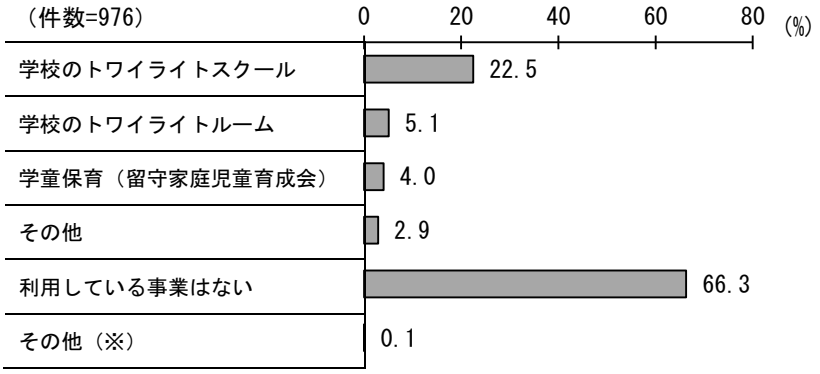
学校のトワイライトスクール	221 100.0	110 49.8	35 15.8	70 31.7	3 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.9	0 0.0	1 0.5
学校のトワイライトルーム	50 100.0	34 68.0	7 14.0	7 14.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0
学童保育（留守家庭児童育成会）	39 100.0	14 35.9	7 17.9	13 33.3	3 7.7	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0
その他	28 100.0	6 21.4	0 0.0	12 42.9	4 14.3	2 7.1	0 0.0	0 0.0	1 3.6	1 3.6	1 3.6	1 3.6
利用している事業はない	648 100.0	119 18.4	41 6.3	316 48.8	103 15.9	44 6.8	0 0.0	1 0.2	11 1.7	9 1.4	2 0.3	2 0.3

※複数選択した方

２－１２　放課後事業利用状況

問８　現在、お子さんが放課後等に利用する事業を利用していますか（放課後等デイサービスは除きます）。（すべて）
【お子さんが小学生の方におたずねしています。】

● 放課後事業の利用状況は、「利用している事業はない」が 66.3%と最も高く、次いで「学校のトワイライトスクール」が 22.5%となっている。



● 放課後等デイサービスの利用状況別でみると、利用していないでは「学校のトワイライトスクール」「学校のトワイライトルーム」、「学童保育（留守家庭自動育成会）」の割合が高くなっている。

問８　放課後事業利用状況

上段：実数 下段：%	件数	学校のトワイライトスクール	学校のトワイライトルーム	学童保育（留守家庭児童育成会）	その他	利用している事業はない	その他（※）
全体	976	220	50	39	28	647	1
	100.0	22.5	5.1	4.0	2.9	66.3	0.1

問２　放課後等デイサービスの利用状況

利用している	896	198	42	31	26	605	1
	100.0	22.1	4.7	3.5	2.9	67.5	0.1
利用していない	80	22	8	8	2	42	0
	100.0	27.5	10.0	10.0	2.5	52.5	0.0

※利用しているのいずれかを選択し、利用している事業はないを選択した方

● 通っている学校の種類でみると、特別支援学校では、「利用している事業はない」の割合がいずれも９割を超えている。

問８　放課後事業利用状況

上段：実数 下段：％	件数	学校のトワイライトスクール	学校のトワイライトルーム	学童保育（留守家庭児童育成会）	その他	利用している事業はない	その他（※）
全体	976 100.0	220 22.5	50 5.1	39 4.0	28 2.9	647 66.3	1 0.1

問７　通っている学校の種類

通常の学級のみ	275 100.0	110 40.0	34 12.4	14 5.1	6 2.2	119 43.3	0 0.0
通常の学級と通級指導	89 100.0	35 39.3	7 7.9	7 7.9	0 0.0	41 46.1	0 0.0
特別支援学級	417 100.0	69 16.5	7 1.7	13 3.1	12 2.9	315 75.5	1 0.2
特別支援学校（知的障害者）	114 100.0	3 2.6	1 0.9	3 2.6	4 3.5	103 90.4	0 0.0
特別支援学校（肢体不自由者）	47 100.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1	2 4.3	44 93.6	0 0.0
特別支援学校（病弱者）	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －
特別支援学校（視覚障害者）《盲学校》	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
特別支援学校（聴覚障害者）《聾学校》	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	11 91.7	0 0.0
その他	13 100.0	2 15.4	0 0.0	1 7.7	1 7.7	9 69.2	0 0.0

※利用しているのいずれかを選択し、利用している事業はないを選択した方

● 居住区別に見ると、学校のトワイライトスクールの利用は、最も利用している割合の高い名東区で35.5%、最も少ない港区で11.8%と23.7ポイントの差がある。

問８　放課後事業の利用状況

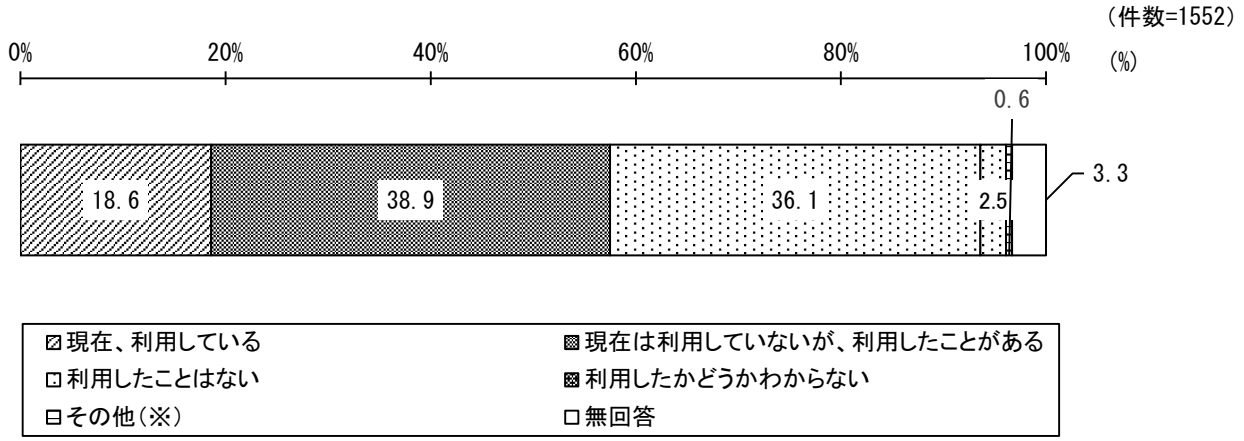
上段：実数 下段：%	件数	学校のトワイライトスクール	学校のトワイライトルーム	学童保育（留守家庭児童育成会）	その他	利用している事業はない	その他（※）
全体	976 100.0	220 22.5	50 5.1	39 4.0	28 2.9	647 66.3	1 0.1
Ｆ５　子どもの居住区（支所）							
千種区	71 100.0	17 23.9	4 5.6	4 5.6	4 5.6	43 60.6	0 0.0
東区	29 100.0	9 31.0	2 6.9	0 0.0	0 0.0	18 62.1	0 0.0
北区	39 100.0	6 15.4	0 0.0	0 0.0	2 5.1	31 79.5	0 0.0
西区	34 100.0	8 23.5	1 2.9	3 8.8	2 5.9	20 58.8	0 0.0
中村区	54 100.0	11 20.4	9 16.7	0 0.0	2 3.7	33 61.1	0 0.0
中区	27 100.0	7 25.9	1 3.7	0 0.0	0 0.0	20 74.1	0 0.0
昭和区	42 100.0	12 28.6	2 4.8	2 4.8	0 0.0	26 61.9	0 0.0
瑞穂区	44 100.0	11 25.0	3 6.8	5 11.4	0 0.0	25 56.8	0 0.0
熱田区	27 100.0	5 18.5	4 14.8	3 11.1	4 14.8	11 40.7	0 0.0
中川区	58 100.0	9 15.5	2 3.4	3 5.2	0 0.0	44 75.9	0 0.0
港区	51 100.0	6 11.8	0 0.0	0 0.0	1 2.0	44 86.3	0 0.0
南区	46 100.0	11 23.9	1 2.2	5 10.9	3 6.5	28 60.9	0 0.0
守山区	81 100.0	15 18.5	5 6.2	2 2.5	1 1.2	58 71.6	1 1.2
緑区	92 100.0	21 22.8	2 2.2	5 5.4	1 1.1	63 68.5	0 0.0
名東区	107 100.0	38 35.5	8 7.5	3 2.8	3 2.8	57 53.3	0 0.0
天白区	62 100.0	14 22.6	3 4.8	1 1.6	0 0.0	45 72.6	0 0.0
楠支所（北区）	8 100.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	6 75.0	0 0.0
山田支所（西区）	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	0 0.0
富田支所（中川区）	20 100.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	15 75.0	0 0.0
南陽支所（港区）	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
志段味支所（守山区）	14 100.0	2 14.3	0 0.0	0 0.0	1 7.1	11 78.6	0 0.0
徳重支所（緑区）	25 100.0	8 32.0	1 4.0	0 0.0	1 4.0	15 60.0	0 0.0

※利用しているのいずれかを選択し、利用している事業はないを選択した方

２－１３　ハビリテーションの利用

問９－１　お子さんはこれまでに（リ）ハビリテーションを利用したことはありますか。（１つだけ）

● ハビリテーションの利用については、「現在、利用している」、「利用したことがある」を合わせた”利用したことがある”が 57.5%に対して、「利用したことはない」が 36.1%となっている。

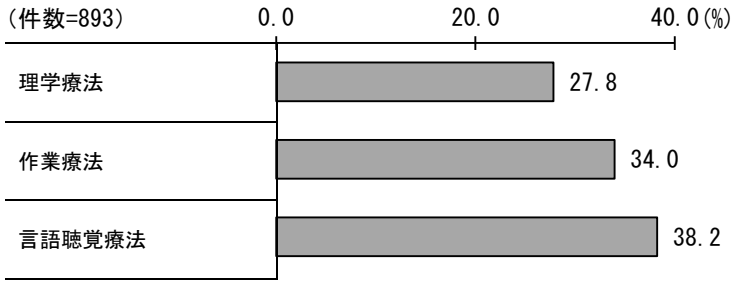


※複数選択した方

２－１４　ハビリテーション利用の詳細

問９－２　利用しているまたは利用していた（リ）ハビリテーションの種類及び利用施設はどれですか。（いくつでも）また、利用頻度は。（自由記述）
【問 9-1 で１または２に○をつけた方（(リ）ハビリテーションを利用したことがある方）におたずねしています。】

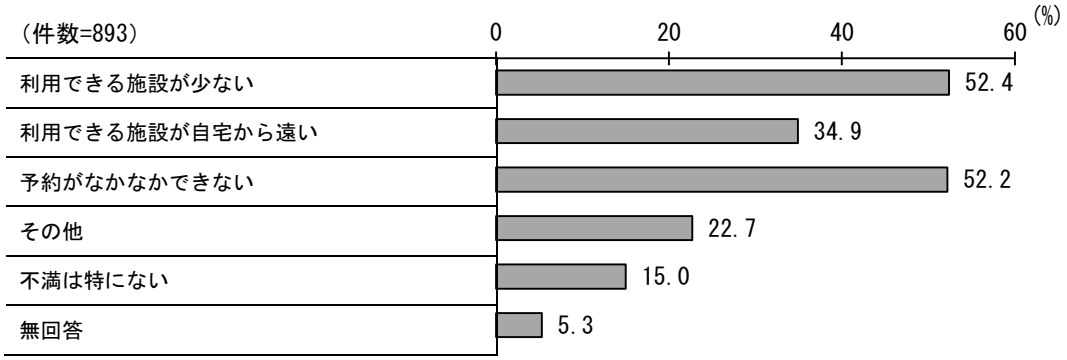
● ハビリテーション利用の種類については、「言語聴覚療法」が 38.2%と最も高く、次いで「作業療法」（34.0%）、「理学療法」（27.8%）の順になっている。



２－１５　ハビリテーションへの要望

問９-３　（リ）ハビリテーションの利用について不満に感じることはありますか。（すべて）
【問９-１で１または２に○をつけた方（（リ）ハビリテーションを利用したことがある方）におたずねしています。】

● ハビリテーションへの要望については、「不満は特にない」が 15.0%に対して、「不満を感じている」が 79.7%（※）となっている。不満の内容は、「利用できる施設が少ない」(52.4%)、「予約がなかなかできない」(52.2%）の割合が高くなっている。



※全体から「不満は特にない」「無回答」を除いた割合

● 居住区別でみると、瑞穂区、守山区、緑区では、全体と比較して「利用できる施設が自宅から遠い」の割合が高く、中区では「予約がなかなかできない」（66.7%）の割合が高くなっている。

問９－３　ハビリテーションへの要望

上段：実数 下段：%	件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
全体	893	468	312	466	203	134	47
	100.0	52.4	34.9	52.2	22.7	15.0	5.3
Ｆ５　子どもの居住区（支所）							
千種区	52	27	16	28	8	7	2
	100.0	51.9	30.8	53.8	15.4	13.5	3.8
東区	20	11	7	10	2	3	1
	100.0	55.0	35.0	50.0	10.0	15.0	5.0
北区	50	21	17	27	16	8	6
	100.0	42.0	34.0	54.0	32.0	16.0	12.0
西区	33	19	7	20	10	3	2
	100.0	57.6	21.2	60.6	30.3	9.1	6.1
中村区	40	19	11	19	7	10	3
	100.0	47.5	27.5	47.5	17.5	25.0	7.5
中区	18	8	4	12	2	3	1
	100.0	44.4	22.2	66.7	11.1	16.7	5.6
昭和区	39	23	6	20	15	5	2
	100.0	59	15.4	51.3	38.5	12.8	5.1
瑞穂区	39	26	21	17	9	4	1
	100.0	66.7	53.8	43.6	23.1	10.3	2.6
熱田区	23	11	8	9	11	3	1
	100.0	47.8	34.8	39.1	47.8	13.0	4.3
中川区	71	34	20	32	17	14	4
	100.0	47.9	28.2	45.1	23.9	19.7	5.6
港区	49	21	13	15	4	16	3
	100.0	42.9	26.5	30.6	8.2	32.7	6.1
南区	54	29	12	31	8	10	2
	100.0	53.7	22.2	57.4	14.8	18.5	3.7
守山区	68	40	38	38	15	8	3
	100.0	58.8	55.9	55.9	22.1	11.8	4.4
緑区	91	52	45	55	21	6	3
	100.0	57.1	49.5	60.4	23.1	6.6	3.3
名東区	86	44	28	47	15	16	4
	100.0	51.2	32.6	54.7	17.4	18.6	4.7
天白区	66	31	20	35	13	8	5
	100.0	47.0	30.3	53.0	19.7	12.1	7.6
楠支所（北区）	11	4	5	4	3	3	1
	100.0	36.4	45.5	36.4	27.3	27.3	9.1
山田支所（西区）	4	1	0	2	1	0	1
	100.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0
富田支所（中川区）	11	7	4	8	3	0	0
	100.0	63.6	36.4	72.7	27.3	0.0	0.0
南陽支所（港区）	3	2	1	1	0	0	0
	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	13	9	8	11	5	0	0
	100.0	69.2	61.5	84.6	38.5	0.0	0.0
徳重支所（緑区）	24	15	12	12	7	2	0
	100.0	62.5	50.0	50.0	29.2	8.3	0.0

● ハビリテーションの利用の不満について種別による顕著な差はない。

問９－３　ハビリテーションへの要望

上段：実数 下段：％	件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
理学療法	390	200	136	199	86	70	11
	100.0	51.3	34.9	51.0	22.1	17.9	2.8
作業療法	476	261	168	274	118	64	12
	100.0	54.8	35.3	57.6	24.8	13.4	2.5
言語聴覚療法	536	318	210	302	131	62	31
	100.0	59.3	39.2	56.3	24.4	11.6	5.8

● 利用施設別でみると、中央療育センター・地域療育センターでは、「予約がなかなかできない」（58.4％）の割合が高く、病院・診療所では「利用できる施設が自宅から遠い」（40.7％）の割合が高くなっている。

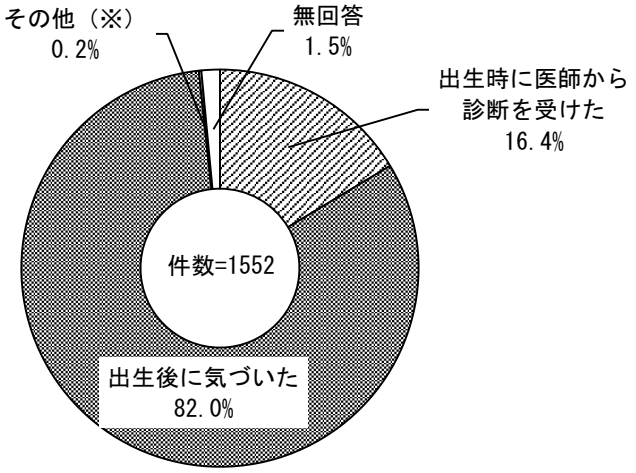
問９－３　ハビリテーションへの要望

上段：実数 下段：％	件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
中央療育センター 地域療育センター	586	312	191	342	141	78	24
	100.0	53.2	32.6	58.4	24.1	13.3	4.1
病院・診療所	482	277	196	252	112	67	26
	100.0	57.5	40.7	52.3	23.2	13.9	5.4

２－１６　発達の遅れに気づいた時期

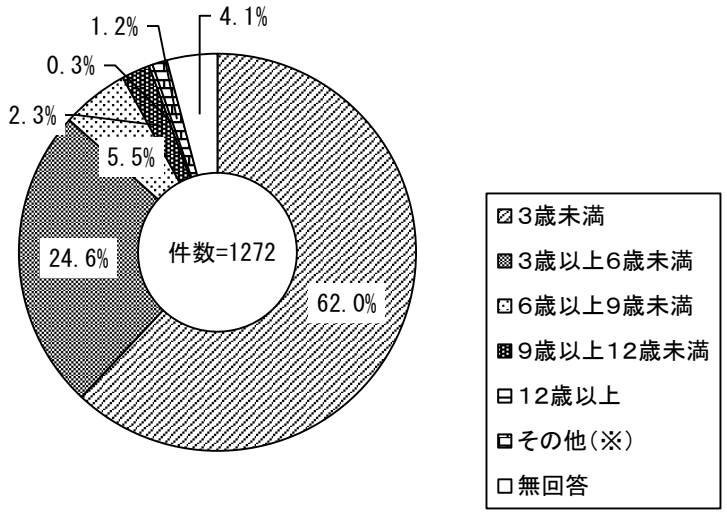
問 10-1　お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたのはいつですか。（１つだけ）（数値記入）

●　発達の遅れに気づいた時期については、「出生時に医師から診断を受けた」が 16.4%、「出生後に気づいた」が 81.9%となっている。



※複数選択した方

●　出生後に気づいた時期は、「３歳未満」が 62.0%と最も高く、次いで「３歳以上６歳未満」(24.6%)、となっており、就学前に気づいた割合が８割を超えている。

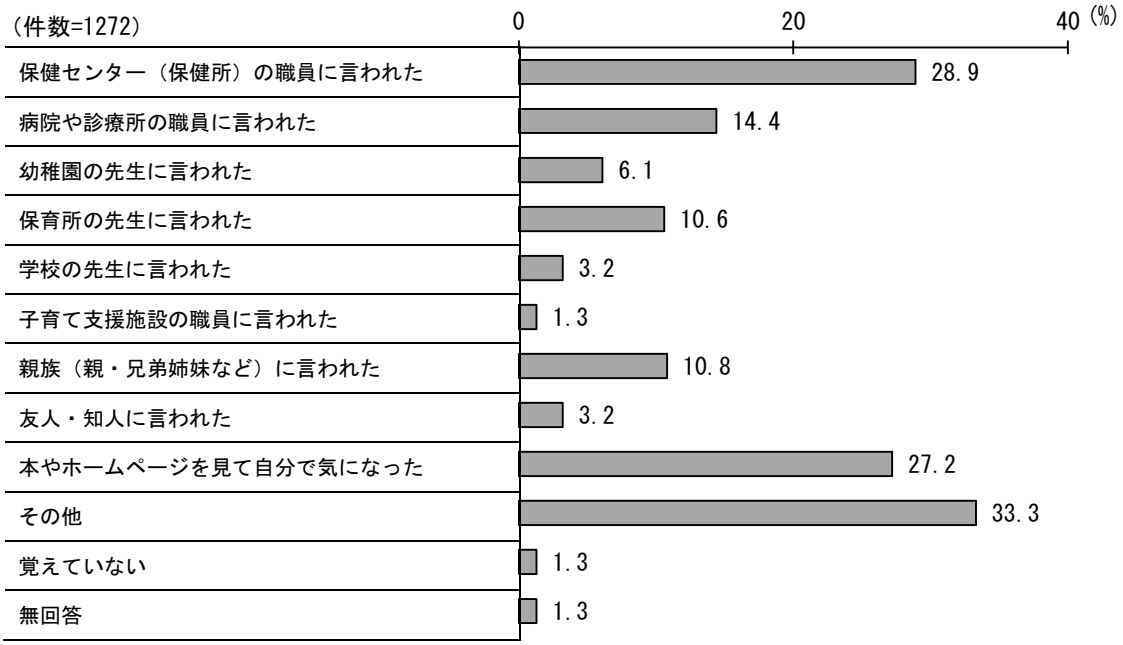


※数値以外を記入した方

２－１７　発達の遅れに気づいたきっかけ

問 10-2　お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づくきっかけはどのようなことでしたか。（すべて）
【問 10-1 で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねしています。

● 発達の遅れに気づいたきっかけは、「保健センター（保健所）の職員に言われた」が 28.9%と最も高く、次いで「本やホームページを見て自分で気になった」が 27.2%となっている。「その他」は、他の子どもまたは兄弟姉妹と比べて自分で気になった、言葉の遅れなどと回答した保護者が多くなっている。



● 気づいた年齢別に発達の遅れに気づいたきっかけを見ると、９歳以上では「学校の先生に言われた」、「本やホームページで見て自分で気になった」の割合が高くなっている。

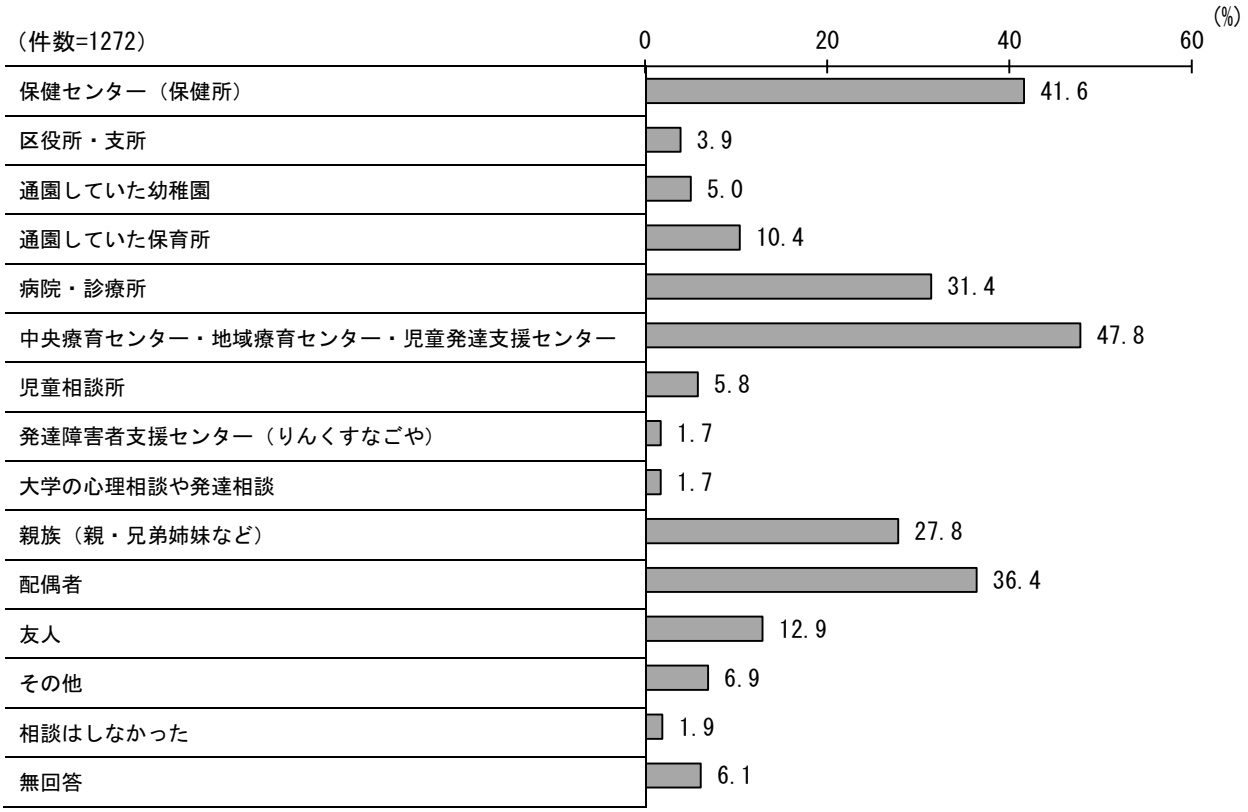
問１０－２　発達の遅れに気づいたきっかけ

上段：実数 下段：％	件数	保健センター（保健所）の職員に言われた	病院や診療所の職員に言われた	幼稚園の先生に言われた	保育所の先生に言われた	学校の先生に言われた	子育て支援施設の職員に言われた	親族（親・兄弟姉妹など）に言われた	友人・知人に言われた	本やホームページを見て自分で気になった	その他	覚えていない	無回答
全体	1272	368	183	78	135	41	16	138	41	346	423	16	17
	100.0	28.9	14.4	6.1	10.6	3.2	1.3	10.8	3.2	27.2	33.3	1.3	1.3
問１０－１　気づいた年齢													
３歳未満	789	271	122	23	57	3	9	85	24	249	281	4	7
	100.0	34.3	15.5	2.9	7.2	0.4	1.1	10.8	3.0	31.6	35.6	0.5	0.9
３歳以上 ６歳未満	313	80	38	51	70	4	3	37	11	61	75	5	6
	100.0	25.6	12.1	16.3	22.4	1.3	1.0	11.8	3.5	19.5	24.0	1.6	1.9
６歳以上 ９歳未満	70	0	2	2	5	22	2	10	4	15	25	3	1
	100.0	0.0	2.9	2.9	7.1	31.4	2.9	14.3	5.7	21.4	35.7	4.3	1.4
９歳以上 １２歳未満	29	0	2	0	1	9	2	1	1	12	8	2	1
	100.0	0.0	6.9	0.0	3.4	31.0	6.9	3.4	3.4	41.4	27.6	6.9	3.4
１２歳以上	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0

２-１８　発達の遅れに気づいたときの相談相手

問 10-3　お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、誰（どこ）に相談しましたか。（すべて）
【問 10-1 で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねしています。

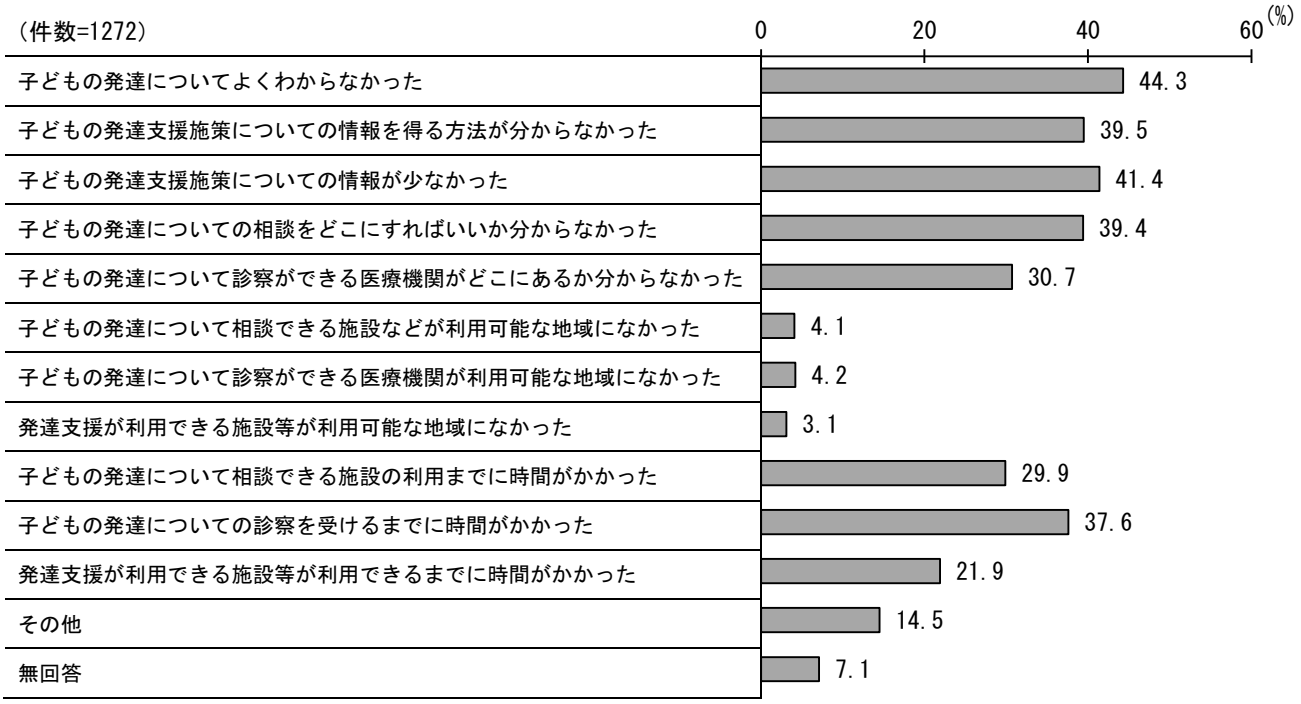
● 発達の遅れに気づいたときの相談相手は、「中央療育センター・地域療育センター・児童発達支援センター」が 47.8%と最も高く、次いで「保健センター（保健所）」（41.6%）、「配偶者」（36.4%）の順となっている。



２-１９　発達の遅れに気づいたときに困ったこと

問 10-4　お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、どのようなことに困りましたか。（すべて）
【問 10-1 で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねしています。

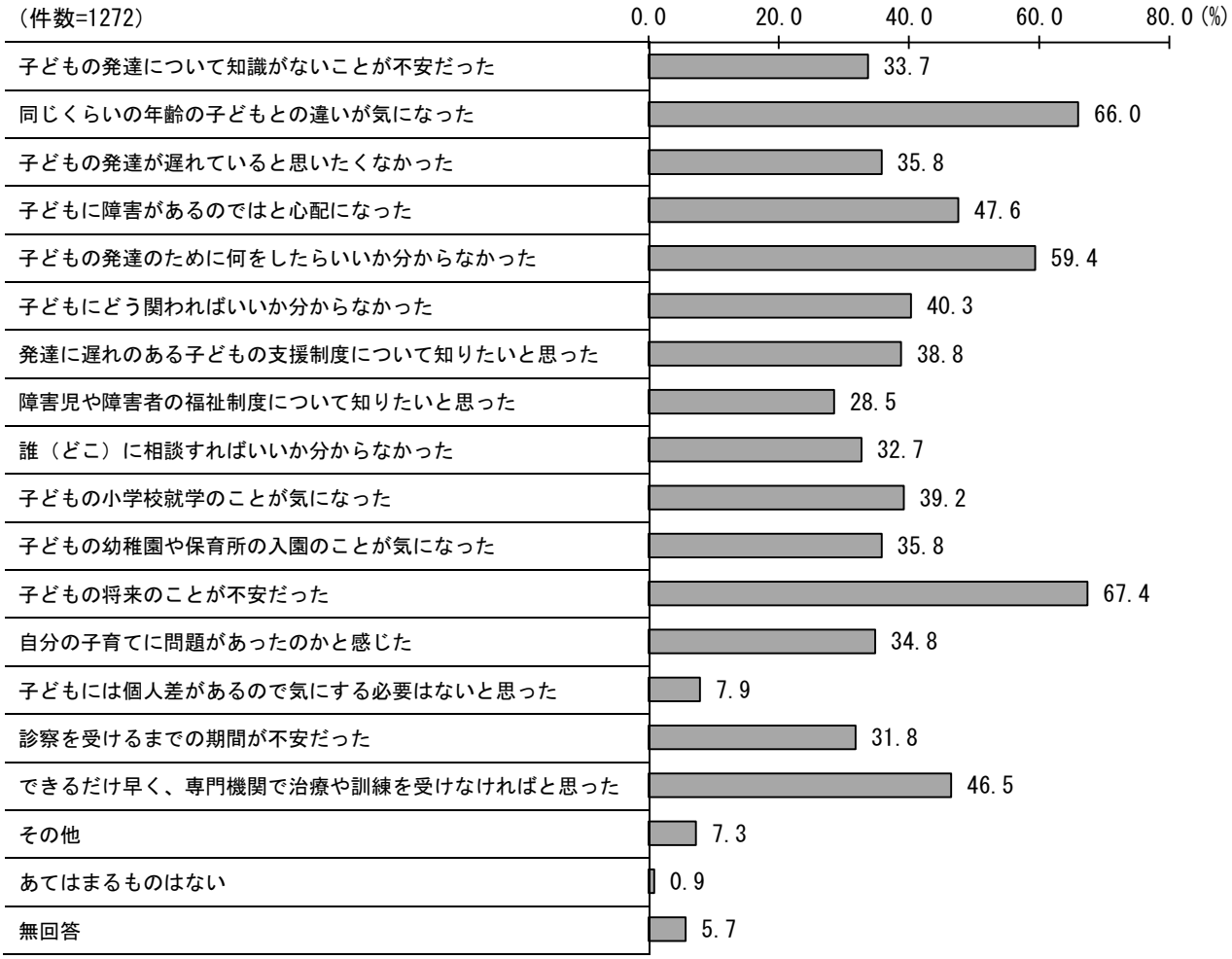
● 発達の遅れに気づいたときに困ったことは、「子どもの発達についてよくわからなかった」が44.3%と最も高く、「子どもの発達支援施策についての情報が少なかった」(41.4%)、「子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった」(39.5%)、「子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった」(39.4%) の順になっている。



２－２０　発達の遅れに気づいたときに感じたこと

問 10-5　お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、どのようなことを感じましたか。（すべて）
【問 10-1 で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねしています。

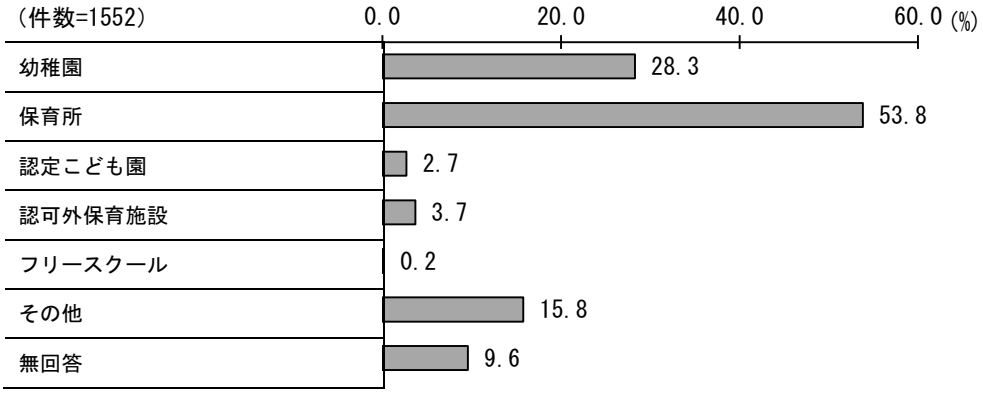
● 発達の遅れに気づいたときに感じたことは、「子どもの将来のことが不安だった」が 67.4%と最も高く、次いで「同じくらいの年齢の子どもとの違いが気になった」(66.0%)、「子どもの発達のために何をしたらいいか分からなかった」(59.4%）の順になっている。



２－２１　就学前に利用していた教育・保育施設

問１１　お子さんが小学校に入学するまでに通ったことがある教育・保育施設はありますか。（すべて）また、通い始めた時期を記入してください。（数値記入）

● 就学前に利用していた教育・保育施設については、「保育所」が 53.8%と最も高く、次いで「幼稚園」が 28.3%などとなっている。



● 現在通っている学校別でみると、幼稚園に通っていた子どもは通常の学級のみ（43.8%）の割合が高なっている。

問１１　就学前に利用していた教育・保育施設

上段：実数 下段：%	件数	幼稚園	保育所	認定こども園	認可外保育施設	フリースクール	その他	無回答
全体	1552 100.0	439 28.3	835 53.8	42 2.7	57 3.7	3 0.2	245 15.8	149 9.6

問７　通っている学校の種類

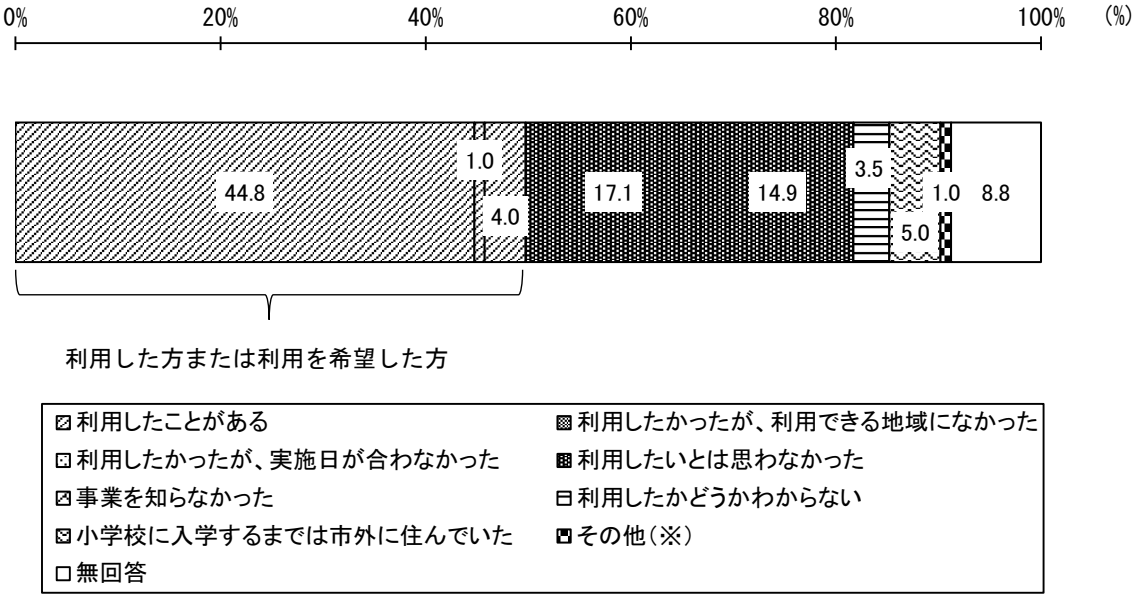
通常の学級のみ	333 100.0	146 43.8	170 51.1	16 4.8	19 5.7	1 0.3	18 5.4	17 5.1
通常の学級と通級指導	94 100.0	26 27.7	57 60.6	1 1.1	5 5.3	0 0.0	8 8.5	7 7.4
特別支援学級	583 100.0	168 28.8	366 62.8	13 2.2	19 3.3	1 0.2	80 13.7	26 4.5
特別支援学校（知的障害者）	360 100.0	70 19.4	187 51.9	7 1.9	10 2.8	1 0.3	82 22.8	50 13.9
特別支援学校（肢体不自由者）	103 100.0	6 5.8	17 16.5	4 3.9	3 2.9	0 0.0	42 40.8	37 35.9
特別支援学校（病弱者）	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －
特別支援学校（視覚障害者）《盲学校》	5 100.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
特別支援学校（聴覚障害者）《聾学校》	18 100.0	5 27.8	5 27.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 38.9	3 16.7
その他	43 100.0	16 37.2	22 51.2	1 2.3	1 2.3	0 0.0	6 14.0	5 11.6

２－２２　児童発達支援センターの利用経験

問 12-1　お子さんは小学校に入学するまでに児童発達支援センター（地域療育センター通園部）を利用したことがありますか。（１つだけ）また、利用したことがある場合は年齢を記入してください。（数値記入）

● 児童発達支援センターの利用経験は、「利用したことがある」と「利用したかったが、利用できる地域になかった」「利用したかったが、実施日が合わなかった」を合わせた”利用したいと思った”の割合が 49.8%に対して、「利用したいとは思わなかった」は 17.1%となっている。

（件数=1552）



※複数選択した方

● 年齢別にみると、「利用したかったが実施日が合わなかった」、「利用したいとは思わなかった」と回答した割合は子どもの年齢が低いほど高い傾向がある。

問１２－１　児童発達支援センターの利用経験

上段：実数 下段：％	件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	小学校に入学するまでは市外に住んでいた	その他（※）	無回答
全体	1552	696	15	62	265	231	55	77	15	136
	100.0	44.8	1.0	4.0	17.1	14.9	3.5	5.0	1.0	8.8
Ｆ１　子どもの年齢										
小学校低学年	580	257	7	37	115	82	22	13	6	41
	100.0	44.3	1.2	6.4	19.8	14.1	3.8	2.2	1.0	7.1
小学校高学年	382	155	6	12	74	63	10	17	2	43
	100.0	40.6	1.6	3.1	19.4	16.5	2.6	4.5	0.5	11.3
中学校	273	125	2	7	31	49	11	20	3	25
	100.0	45.8	0.7	2.6	11.4	17.9	4.0	7.3	1.1	9.2
高校相当	274	141	0	6	37	29	12	22	4	23
	100.0	51.5	0.0	2.2	13.5	10.6	4.4	8.0	1.5	8.4

※複数選択した方

● 居住区別でみると、「利用できる地域になかった」と回答した割合は東区、中区、守山区、冨田支所、志段味支所、徳重支所で高い。

問１２－１　児童発達支援センターの利用経験

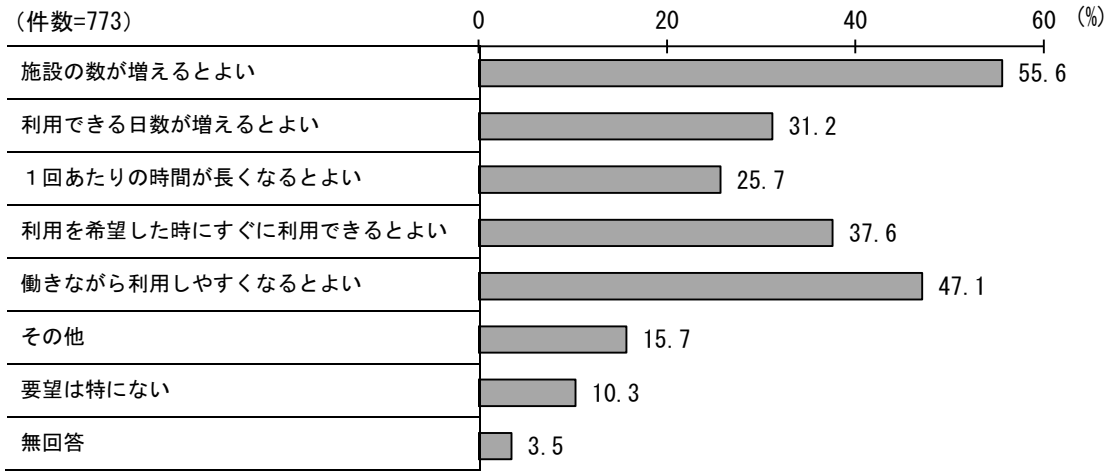
上段：実数 下段：％	件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	小学校に入学するまでは市外に住んでいた	その他（※）	無回答
全体	1552	696	15	62	265	231	55	77	15	136
	100.0	44.8	1.0	4.0	17.1	14.9	3.5	5.0	1.0	8.8
Ｆ５　子どもの居住区（支所）										
千種区	101	47	0	2	14	13	5	11	1	8
	100.0	46.5	0.0	2.0	13.9	12.9	5.0	10.9	1.0	7.9
東区	41	12	1	2	8	7	0	4	1	6
	100.0	29.3	2.4	4.9	19.5	17.1	0.0	9.8	2.4	14.6
北区	75	42	1	3	14	7	1	2	0	5
	100.0	56.0	1.3	4.0	18.7	9.3	1.3	2.7	0.0	6.7
西区	60	36	0	0	8	8	3	1	2	2
	100.0	60.0	0.0	0.0	13.3	13.3	5.0	1.7	3.3	3.3
中村区	80	23	1	6	19	13	5	3	0	10
	100.0	28.8	1.3	7.5	23.8	16.3	6.3	3.8	0.0	12.5
中区	32	9	1	4	9	6	1	0	1	1
	100.0	28.1	3.1	12.5	28.1	18.8	3.1	0.0	3.1	3.1
昭和区	64	25	0	1	14	10	4	4	1	5
	100.0	39.1	0.0	1.6	21.9	15.6	6.3	6.3	1.6	7.8
瑞穂区	69	31	0	3	13	10	1	4	0	7
	100.0	44.9	0.0	4.3	18.8	14.5	1.4	5.8	0.0	10.1
熱田区	45	23	0	0	3	11	1	2	0	5
	100.0	51.1	0.0	0.0	6.7	24.4	2.2	4.4	0.0	11.1
中川区	121	40	1	7	23	22	5	4	2	17
	100.0	33.1	0.8	5.8	19.0	18.2	4.1	3.3	1.7	14.0
港区	94	35	0	4	17	15	6	2	1	14
	100.0	37.2	0.0	4.3	18.1	16.0	6.4	2.1	1.1	14.9
南区	72	40	1	5	11	4	3	2	1	5
	100.0	55.6	1.4	6.9	15.3	5.6	4.2	2.8	1.4	6.9
守山区	124	55	3	8	19	19	3	4	1	12
	100.0	44.4	2.4	6.5	15.3	15.3	2.4	3.2	0.8	9.7
緑区	157	92	0	4	14	22	4	6	2	13
	100.0	58.6	0.0	2.5	8.9	14.0	2.5	3.8	1.3	8.3
名東区	147	68	0	3	27	23	10	6	0	10
	100.0	46.3	0.0	2	18.4	15.6	6.8	4.1	0.0	6.8
天白区	103	47	0	6	16	14	2	8	1	8
	100.0	45.6	0.0	5.8	15.5	13.6	1.9	7.8	1.0	7.8
楠支所（北区）	20	11	0	0	2	3	0	2	0	2
	100.0	55.0	0.0	0.0	10.0	15.0	0.0	10.0	0.0	10.0
山田支所（西区）	9	4	0	0	0	2	0	1	0	2
	100.0	44.4	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2
富田支所（中川区）	24	6	1	1	10	4	0	1	0	1
	100.0	25.0	4.2	4.2	41.7	16.7	0.0	4.2	0.0	4.2
南陽支所（港区）	5	3	0	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	18	7	1	1	4	1	0	3	0	1
	100.0	38.9	5.6	5.6	22.2	5.6	0.0	16.7	0.0	5.6
徳重支所（緑区）	35	17	3	0	10	4	0	1	0	0
	100.0	48.6	8.6	0.0	28.6	11.4	0.0	2.9	0.0	0.0

※複数選択した方

２－２３　児童発達支援センターへの要望

問 12-2　児童発達支援センター（地域療育センター通園部）について要望はありますか。（すべて）
【問 12-1 で１から３までのどれかに○をつけた方（児童発達支援センター（地域療育センター通園部）を利用した方または利用を希望したが利用できなかった方）におたずねしています】

● 児童発達支援センターへの要望は、「施設の数が増えるとよい」が 55.6%と最も高く、次いで「働きながら利用しやすくなるとよい」(47.1%)、「利用を希望した時にすぐに利用できるとよい」(37.6%) となっている。



● 年齢別にみると、「働きながら利用しやすくなるとよい」と回答した割合は小学校低学年で高くなっている。

問１２－２　児童発達支援センターへの要望

上段：実数 下段：%	件数	施設の数が増えるとよい	利用できる日数が増えるとよい	1回あたりの時間が長くなるとよい	利用を希望した時にすぐに利用できるとよい	働きながら利用しやすくなるとよい	その他	要望は特にない	無回答
全体	773	430	241	199	291	364	121	80	27
	100.0	55.6	31.2	25.7	37.6	47.1	15.7	10.3	3.5
Ｆ１　子どもの年齢									
小学校低学年	301	169	90	81	118	157	47	20	12
	100.0	56.1	29.9	26.9	39.2	52.2	15.6	6.6	4.0
小学校高学年	173	103	52	44	75	78	40	14	7
	100.0	59.5	30.1	25.4	43.4	45.1	23.1	8.1	4.0
中学校	134	73	42	39	47	61	16	16	1
	100.0	54.5	31.3	29.1	35.1	45.5	11.9	11.9	0.7
高校相当	147	76	50	29	43	58	17	27	6
	100.0	51.7	34.0	19.7	29.3	39.5	11.6	18.4	4.1

● 居住区別にみると、「施設の数が増えるとよい」と回答した割合は、最も少ない昭和区では 26.9%、最も高い瑞穂区（支所を除く）では 70.6%となっており、区によるばらつきが大きい。

問１２－２　児童発達支援センターへの要望

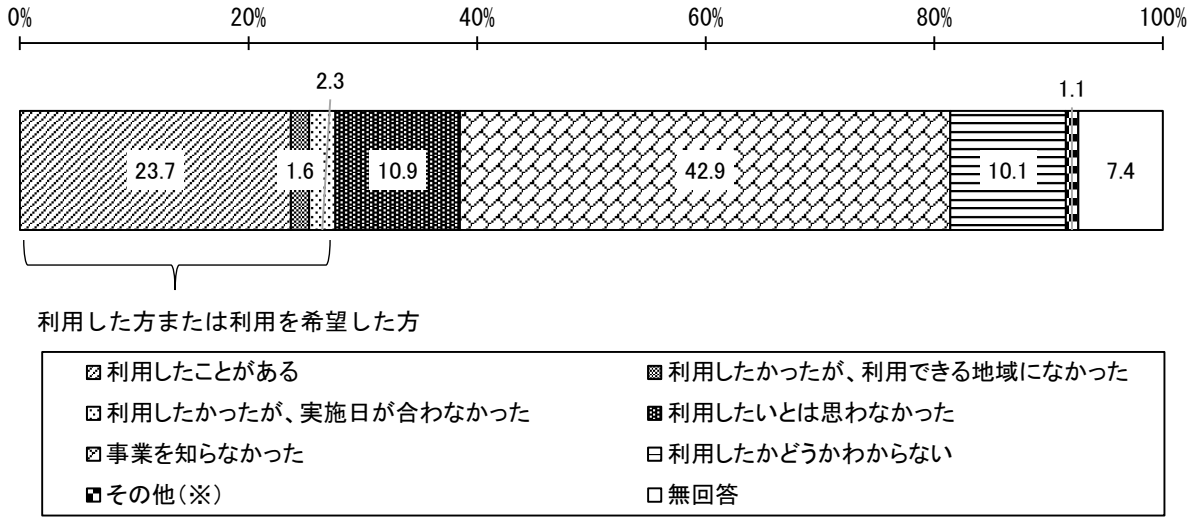
上段：実数 下段：%	件数	施設の数が増えるとよい	利用できる日数が増えるとよい	1回あたりの時間が長くなるとよい	利用を希望した時にすぐに利用できるとよい	働きながら利用しやすくなるとよい	その他	要望は特にない	無回答
全体	773	430	241	199	291	364	121	80	27
	100.0	55.6	31.2	25.7	37.6	47.1	15.7	10.3	3.5
Ｆ５　子どもの居住区（支所）									
千種区	49	27	16	8	19	21	7	7	3
	100.0	55.1	32.7	16.3	38.8	42.9	14.3	14.3	6.1
東区	15	9	2	5	6	7	2	2	0
	100.0	60.0	13.3	33.3	40.0	46.7	13.3	13.3	0.0
北区	46	23	16	11	17	19	11	6	2
	100.0	50.0	34.8	23.9	37	41.3	23.9	13.0	4.3
西区	36	14	13	9	9	14	7	5	2
	100.0	38.9	36.1	25.0	25.0	38.9	19.4	13.9	5.6
中村区	30	14	5	6	9	11	2	5	2
	100.0	46.7	16.7	20.0	30.0	36.7	6.7	16.7	6.7
中区	14	8	3	5	6	8	3	0	2
	100.0	57.1	21.4	35.7	42.9	57.1	21.4	0.0	14.3
昭和区	26	7	6	6	8	8	3	6	3
	100.0	26.9	23.1	23.1	30.8	30.8	11.5	23.1	11.5
瑞穂区	34	24	13	5	14	19	5	2	0
	100.0	70.6	38.2	14.7	41.2	55.9	14.7	5.9	0.0
熱田区	23	12	11	7	7	13	4	1	1
	100.0	52.2	47.8	30.4	30.4	56.5	17.4	4.3	4.3
中川区	48	30	8	6	17	22	7	5	1
	100.0	62.5	16.7	12.5	35.4	45.8	14.6	10.4	2.1
港区	39	20	13	11	11	17	7	4	0
	100.0	51.3	33.3	28.2	28.2	43.6	17.9	10.3	0.0
南区	46	30	13	16	17	23	4	5	2
	100.0	65.2	28.3	34.8	37.0	50.0	8.7	10.9	4.3
守山区	66	38	26	21	33	34	14	5	0
	100.0	57.6	39.4	31.8	50.0	51.5	21.2	7.6	0
緑区	96	62	32	30	39	48	15	6	3
	100.0	64.6	33.3	31.3	40.6	50.0	15.6	6.3	3.1
名東区	71	40	26	20	18	34	8	8	2
	100.0	56.3	36.6	28.2	25.4	47.9	11.3	11.3	2.8
天白区	54	26	14	9	23	25	10	8	2
	100.0	48.1	25.9	16.7	42.6	46.3	18.5	14.8	3.7
楠支所（北区）	11	5	1	1	7	5	3	0	0
	100.0	45.5	9.1	9.1	63.6	45.5	27.3	0.0	0.0
山田支所（西区）	4	2	2	1	1	0	0	1	0
	100.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
富田支所（中川区）	8	6	4	3	1	5	0	0	0
	100.0	75.0	50.0	37.5	12.5	62.5	0.0	0.0	0.0
南陽支所（港区）	3	2	1	0	1	3	0	0	0
	100.0	66.7	33.3	0.0	33.3	100	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	9	5	2	4	7	4	1	0	1
	100.0	55.6	22.2	44.4	77.8	44.4	11.1	0.0	11.1
徳重支所（緑区）	20	14	5	6	9	10	6	2	0
	100.0	70.0	25.0	30.0	45.0	50.0	30.0	10.0	0.0

２－２４　児童発達支援指定事業所の利用経験

問 13　お子さんは小学校に入学するまでに児童発達支援指定事業所を利用したことがありますか。（１つだけ）また、利用したことがある場合は年齢を記入してください。（数値記入）

● 児童発達支援指定事業所の利用経験は、「利用したことがある」と「利用したかったが、利用できる地域になかった」「利用したかったが、実施日があわなかった」を合わせた”利用したいと思った”の割合が 27.6%に対して、「利用したいとは思わなかった」は 10.9%「事業を知らなかった」は 42.9%となっている。

（件数=1552）



※複数選択した方

● 居住区別にみると、「利用したことがある」と回答した割合は、最も少ない東区では14.6%、最も高い中区（支所を除く）では46.9%となっており、区によるばらつきが大きい。

問１３　児童発達支援指定事業所の利用経験

上段：実数 下段：%	件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
全体	1552	368	25	35	169	666	157	17	115
	100.0	23.7	1.6	2.3	10.9	42.9	10.1	1.1	7.4
Ｆ５　子どもの居住区（支所）									
千種区	101	21	0	3	20	37	9	2	9
	100.0	20.8	0.0	3.0	19.8	36.6	8.9	2.0	8.9
東区	41	6	0	0	8	20	3	1	3
	100.0	14.6	0.0	0.0	19.5	48.8	7.3	2.4	7.3
北区	75	17	2	2	9	35	5	0	5
	100.0	22.7	2.7	2.7	12.0	46.7	6.7	0.0	6.7
西区	60	10	1	2	11	29	3	2	2
	100.0	16.7	1.7	3.3	18.3	48.3	5.0	3.3	3.3
中村区	80	14	0	3	8	38	8	1	8
	100.0	17.5	0.0	3.8	10.0	47.5	10.0	1.3	10.0
中区	32	15	1	2	1	10	3	0	0
	100.0	46.9	3.1	6.3	3.1	31.3	9.4	0.0	0.0
昭和区	64	17	1	1	9	25	10	0	1
	100.0	26.6	1.6	1.6	14.1	39.1	15.6	0.0	1.6
瑞穂区	69	15	0	4	10	24	8	1	7
	100.0	21.7	0.0	5.8	14.5	34.8	11.6	1.4	10.1
熱田区	45	10	0	3	4	20	3	0	5
	100.0	22.2	0.0	6.7	8.9	44.4	6.7	0.0	11.1
中川区	121	23	2	1	10	62	13	0	10
	100.0	19.0	1.7	0.8	8.3	51.2	10.7	0.0	8.3
港区	94	15	2	2	8	46	12	0	9
	100.0	16.0	2.1	2.1	8.5	48.9	12.8	0.0	9.6
南区	72	21	2	1	9	25	9	2	3
	100.0	29.2	2.8	1.4	12.5	34.7	12.5	2.8	4.2
守山区	124	29	3	3	15	52	10	1	11
	100.0	23.4	2.4	2.4	12.1	41.9	8.1	0.8	8.9
緑区	157	37	4	1	10	75	18	1	11
	100.0	23.6	2.5	0.6	6.4	47.8	11.5	0.6	7
名東区	147	44	1	2	14	60	15	1	10
	100.0	29.9	0.7	1.4	9.5	40.8	10.2	0.7	6.8
天白区	103	28	4	1	12	42	11	1	4
	100.0	27.2	3.9	1.0	11.7	40.8	10.7	1.0	3.9
楠支所（北区）	20	3	1	1	1	8	1	1	4
	100.0	15.0	5.0	5.0	5.0	40.0	5.0	5.0	20.0
山田支所（西区）	9	3	0	0	1	4	0	0	1
	100.0	33.3	0.0	0.0	11.1	44.4	0.0	0.0	11.1
富田支所（中川区）	24	8	1	1	3	9	2	0	0
	100.0	33.3	4.2	4.2	12.5	37.5	8.3	0.0	0.0
南陽支所（港区）	5	3	0	0	0	2	0	0	0
	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	18	2	0	2	2	8	1	0	3
	100.0	11.1	0.0	11.1	11.1	44.4	5.6	0.0	16.7
徳重支所（緑区）	35	14	0	0	3	14	3	0	1
	100.0	40.0	0.0	0.0	8.6	40.0	8.6	0.0	2.9

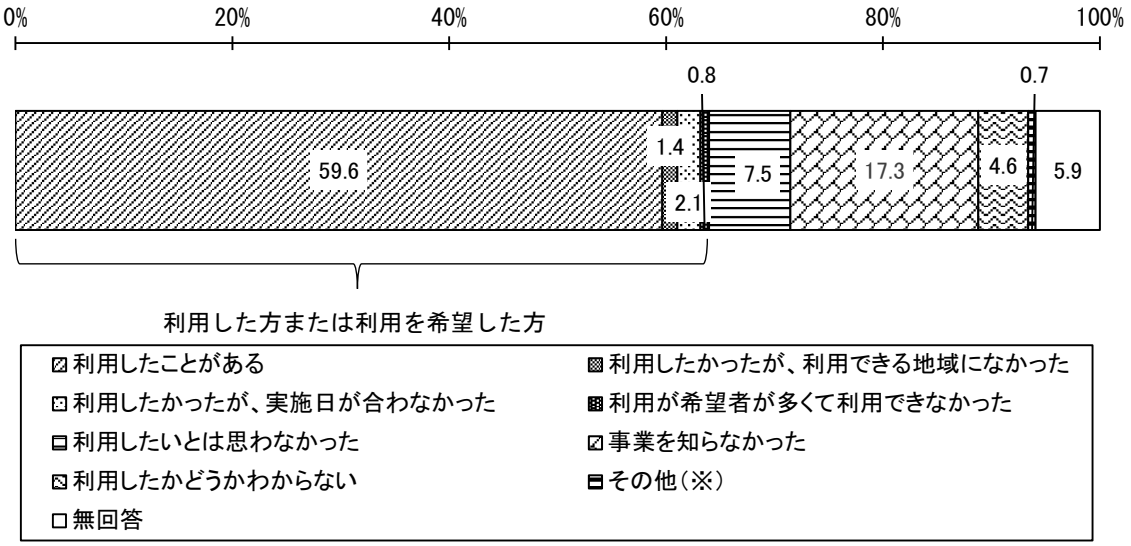
※複数選択した方

２－２５　療育グループの利用経験

問 14-1　お子さんは小学校に入学するまでに療育グループ事業を利用したことはありますか。（1つだけ）また、利用したことがある場合は年齢を記入してください。（数値記入）

● 療育グループの利用経験は、「利用したことがある」と「利用したかったが、利用できる地域になかった」「利用したかったが、実施日が合わなかった」「利用希望者が多くて利用できなかった」を合わせた”利用したいと思った”の割合が 63.9%に対して、「利用したいとは思わなかった」は 7.5%、「事業を知らなかった」は 17.3%となっている。

（件数=1552）



※複数選択した方

● 居住区別にみると、志段味支所を除いて「利用したことがある」と回答した割合は 50%以上となっている。

問１４－１　療育グループの利用経験

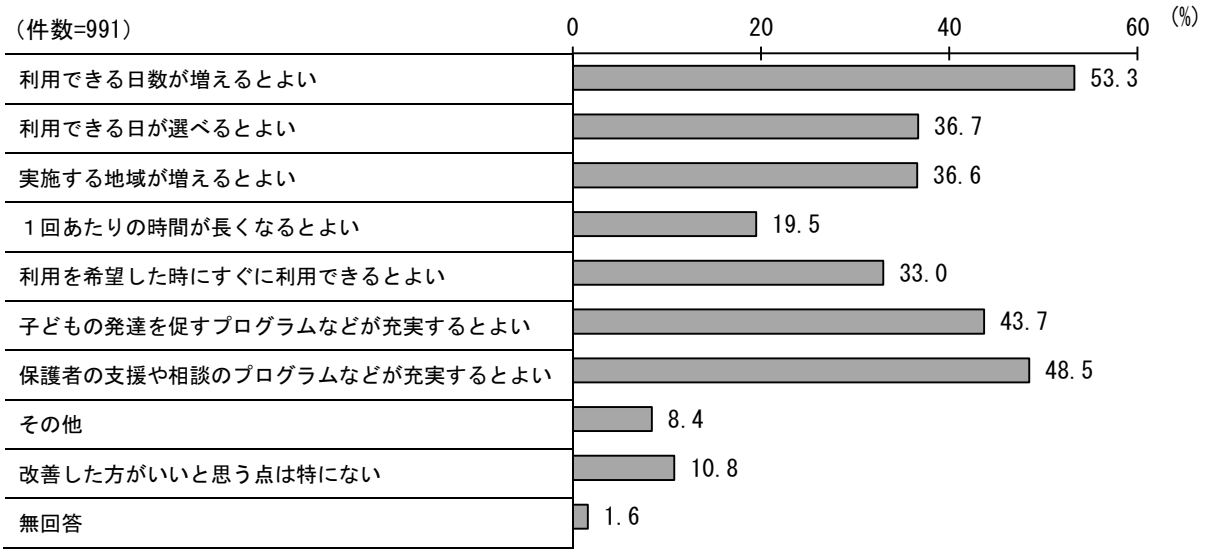
上段：実数 下段：%	件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用希望者が多くて利用できなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
全体	1552	925	22	32	12	117	269	72	11	92
	100.0	59.6	1.4	2.1	0.8	7.5	17.3	4.6	0.7	5.9
Ｆ５　子どもの居住区（支所）										
千種区	101	53	3	2	1	12	19	5	1	5
	100.0	52.5	3.0	2.0	1.0	11.9	18.8	5.0	1.0	5.0
東区	41	24	1	0	0	4	8	0	1	3
	100.0	58.5	2.4	0.0	0.0	9.8	19.5	0.0	2.4	7.3
北区	75	50	0	2	0	8	7	5	0	3
	100.0	66.7	0.0	2.7	0.0	10.7	9.3	6.7	0.0	4.0
西区	60	42	1	1	0	5	8	1	0	2
	100.0	70.0	1.7	1.7	0.0	8.3	13.3	1.7	0.0	3.3
中村区	80	42	0	5	2	5	13	3	1	9
	100.0	52.5	0.0	6.3	2.5	6.3	16.3	3.8	1.3	11.3
中区	32	19	0	2	0	3	7	1	0	0
	100.0	59.4	0.0	6.3	0.0	9.4	21.9	3.1	0.0	0.0
昭和区	64	39	0	1	1	8	11	3	0	1
	100.0	60.9	0.0	1.6	1.6	12.5	17.2	4.7	0.0	1.6
瑞穂区	69	43	0	2	0	3	9	5	2	5
	100.0	62.3	0.0	2.9	0.0	4.3	13	7.2	2.9	7.2
熱田区	45	27	0	3	0	2	10	1	0	2
	100.0	60.0	0.0	6.7	0.0	4.4	22.2	2.2	0.0	4.4
中川区	121	71	3	2	0	10	24	6	0	5
	100.0	58.7	2.5	1.7	0.0	8.3	19.8	5.0	0.0	4.1
港区	94	57	1	0	1	5	15	7	0	8
	100.0	60.6	1.1	0.0	1.1	5.3	16	7.4	0.0	8.5
南区	72	44	4	3	1	8	4	3	0	5
	100.0	61.1	5.6	4.2	1.4	11.1	5.6	4.2	0.0	6.9
守山区	124	73	2	2	1	10	19	4	1	12
	100.0	58.9	1.6	1.6	0.8	8.1	15.3	3.2	0.8	9.7
緑区	157	107	2	2	1	6	26	2	1	10
	100.0	68.2	1.3	1.3	0.6	3.8	16.6	1.3	0.6	6.4
名東区	147	81	0	4	1	11	32	10	2	6
	100.0	55.1	0.0	2.7	0.7	7.5	21.8	6.8	1.4	4.1
天白区	103	61	2	1	2	7	18	7	0	5
	100.0	59.2	1.9	1.0	1.9	6.8	17.5	6.8	0.0	4.9
楠支所（北区）	20	13	1	0	0	0	5	0	0	1
	100.0	65.0	5.0	0.0	0.0	0	25	0.0	0.0	5.0
山田支所（西区）	9	6	0	0	0	1	1	0	0	1
	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1
富田支所（中川区）	24	16	1	0	0	1	5	1	0	0
	100.0	66.7	4.2	0.0	0.0	4.2	20.8	4.2	0.0	0.0
南陽支所（港区）	5	3	0	0	0	0	2	0	0	0
	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	18	8	1	0	0	2	5	0	0	2
	100.0	44.4	5.6	0.0	0.0	11.1	27.8	0.0	0.0	11.1
徳重支所（緑区）	35	18	0	0	0	3	8	4	0	2
	100.0	51.4	0.0	0.0	0.0	8.6	22.9	11.4	0.0	5.7

※複数選択した方

２－２６　療育グループへの要望

問 14-2　療育グループ事業について要望はありますか。（すべて）
【問 14-1 で１から４までのどれかに○をつけた方（療育グループを利用した方または利用を希望したが利用できなかった方）におたずねしています】

● 療育グループへの要望は、「利用できる日数が増えるとよい」が 53.3%と最も高くなっており、次いで「保護者の支援や相談のプログラムなどが充実するとよい」(48.5%)、「子どもの発達を促すプログラムなどが充実するとよい」(43.7%) となっている。



● 居住区にみると、「実施する地域が増えるとよい」と回答した割合は、最も少ない中村区では20.4%、最も高い東区（支所を除く）では52.0%となっており、区によるばらつきが大きい。

問１４－２　療育グループへの要望

上段：実数 下段：%	件数	利用できる日数が増えるとよい	利用できる日が選べるとよい	実施する地域が増えるとよい	1回あたりの時間が長くなるとよい	利用を希望した時にすぐに利用できるとよい	子どもの発達を促すプログラムなどが充実するとよい	保護者の支援や相談のプログラムなどが充実するとよい	その他	改善した方がいいと思う点は特にない	無回答
全体	991	528	364	363	193	327	433	481	83	107	16
	100.0	53.3	36.7	36.6	19.5	33.0	43.7	48.5	8.4	10.8	1.6
Ｆ５　子どもの居住区（支所）											
千種区	59	24	19	22	8	21	20	26	8	10	0
	100.0	40.7	32.2	37.3	13.6	35.6	33.9	44.1	13.6	16.9	0.0
東区	25	15	9	13	4	9	12	9	2	4	0
	100.0	60.0	36.0	52.0	16.0	36.0	48.0	36.0	8.0	16.0	0.0
北区	52	29	25	21	12	15	29	31	3	3	0
	100.0	55.8	48.1	40.4	23.1	28.8	55.8	59.6	5.8	5.8	0.0
西区	44	24	15	9	9	15	17	16	5	9	0
	100.0	54.5	34.1	20.5	20.5	34.1	38.6	36.4	11.4	20.5	0.0
中村区	49	24	19	10	9	16	19	18	2	5	1
	100.0	49.0	38.8	20.4	18.4	32.7	38.8	36.7	4.1	10.2	2.0
中区	21	9	5	6	7	7	8	11	2	2	0
	100.0	42.9	23.8	28.6	33.3	33.3	38.1	52.4	9.5	9.5	0.0
昭和区	41	21	13	12	10	15	23	23	8	3	1
	100.0	51.2	31.7	29.3	24.4	36.6	56.1	56.1	19.5	7.3	2.4
瑞穂区	45	29	21	19	8	20	20	21	4	4	0
	100.0	64.4	46.7	42.2	17.8	44.4	44.4	46.7	8.9	8.9	0.0
熱田区	30	18	14	12	7	12	10	13	4	3	1
	100.0	60.0	46.7	40.0	23.3	40.0	33.3	43.3	13.3	10.0	3.3
中川区	76	37	27	22	7	22	36	35	8	4	1
	100.0	48.7	35.5	28.9	9.2	28.9	47.4	46.1	10.5	5.3	1.3
港区	59	27	13	17	11	18	19	28	3	13	1
	100.0	45.8	22.0	28.8	18.6	30.5	32.2	47.5	5.1	22.0	1.7
南区	52	30	18	22	14	17	17	21	2	5	1
	100.0	57.7	34.6	42.3	26.9	32.7	32.7	40.4	3.8	9.6	1.9
守山区	78	49	32	39	22	28	37	50	4	6	3
	100.0	62.8	41.0	50.0	28.2	35.9	47.4	64.1	5.1	7.7	3.8
緑区	112	61	50	52	24	37	54	46	11	11	2
	100.0	54.5	44.6	46.4	21.4	33.0	48.2	41.1	9.8	9.8	1.8
名東区	86	51	31	37	17	23	36	46	9	5	0
	100.0	59.3	36.0	43.0	19.8	26.7	41.9	53.5	10.5	5.8	0.0
天白区	66	37	18	21	7	22	27	35	3	7	0
	100.0	56.1	27.3	31.8	10.6	33.3	40.9	53	4.5	10.6	0.0
楠支所（北区）	14	8	6	4	2	4	6	5	0	1	1
	100.0	57.1	42.9	28.6	14.3	28.6	42.9	35.7	0.0	7.1	7.1
山田支所（西区）	6	2	2	1	0	2	2	2	0	0	1
	100.0	33.3	33.3	16.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7
富田支所（中川区）	17	9	4	4	3	2	7	9	0	4	1
	100.0	52.9	23.5	23.5	17.6	11.8	41.2	52.9	0.0	23.5	5.9
南陽支所（港区）	3	2	1	1	0	3	2	2	0	0	0
	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0	100.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	9	5	5	3	2	2	6	7	0	0	0
	100.0	55.6	55.6	33.3	22.2	22.2	66.7	77.8	0.0	0.0	0.0
徳重支所（緑区）	18	7	5	8	1	4	8	10	2	4	0
	100.0	38.9	27.8	44.4	5.6	22.2	44.4	55.6	11.1	22.2	0.0

● 地域療育センターの対象エリア別でみると「実施する地域が増えるとよい」と回答した割合は東部と南部で 40%以上となっている。

問１４－２　療育グループへの要望

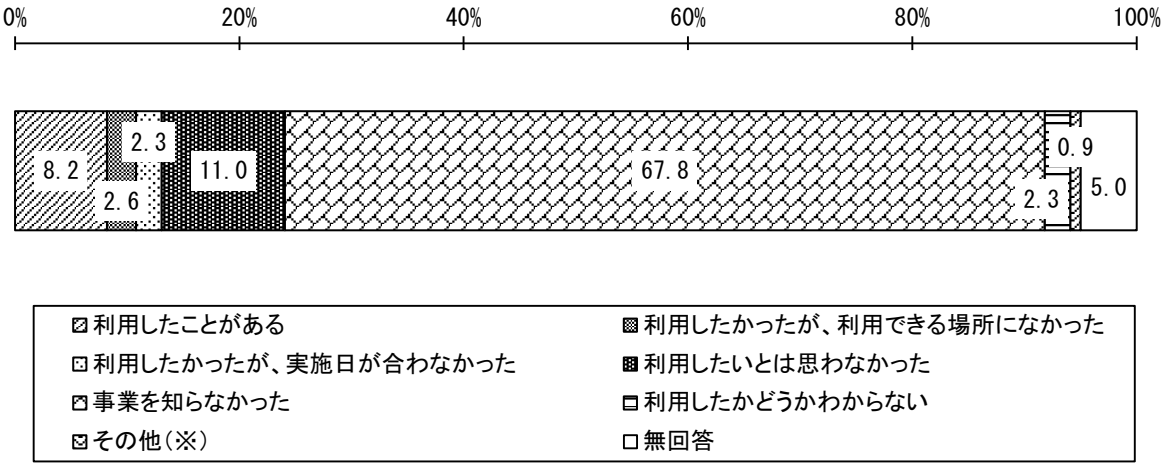
上段：実数 下段：%	件数	利用できる日数が増えるとよい	利用できる日が選べるとよい	実施する地域が増えるとよい	1回あたりの時間が長くなるとよい	利用を希望した時にすぐに利用できるとよい	子どもの発達を促すプログラムなどが充実するとよい	保護者の支援や相談のプログラムなどが充実するとよい	その他	改善した方がいいと思う点は特にない	無回答
全体	991	528	364	363	193	327	433	481	83	107	16
	100.0	53.3	36.7	36.6	19.5	33.0	43.7	48.5	8.4	10.8	1.6
地域療育センターの対象エリア別											
中央療育センター	203	114	71	70	39	76	88	103	21	19	2
	100.0	56.2	35.0	34.5	19.2	37.4	43.3	50.7	10.3	9.4	1.0
東部地域療育センター	232	129	87	101	49	74	99	129	21	21	3
	100.0	55.6	37.5	43.5	21.1	31.9	42.7	55.6	9.1	9.1	1.3
西部地域療育センター	204	99	64	54	30	61	83	92	13	26	4
	100.0	48.5	31.4	26.5	14.7	29.9	40.7	45.1	6.4	12.7	2.0
南部地域療育センター	182	98	73	82	39	58	79	77	15	20	3
	100.0	53.8	40.1	45.1	21.4	31.9	43.4	42.3	8.2	11.0	1.6
北部地域療育センター	141	78	57	48	27	45	66	63	10	17	2
	100.0	55.3	40.4	34.0	19.1	31.9	46.8	44.7	7.1	12.1	1.4

２－２７　いこいの家の利用経験

問 15　お子さんは小学校に入学するまでにいこいの家事業を利用したことはありますか。（１つだけ）また、利用したことがある場合は年齢を記入してください。（数値記入）

● いこいの家の利用経験は、「利用したことがある」と「利用したかったが、利用できる場所になかった」「利用したかったが、実施日があわなかった」を合わせた”利用したいと思った”の割合が 13.1%に対して、「利用したいとは思わなかった」は 11.0%、「事業を知らなかった」は 67.8%となっている。

（件数=1552）



※複数選択した方

● 居住区別にみると、「利用したことがある」は昭和区と中区では 20%を超えているが、緑区では 0%となっている。また、「事業を知らなかった」と回答した割合は、すべての区で 50%以上となっている。

問１５　いこいの家の利用経験

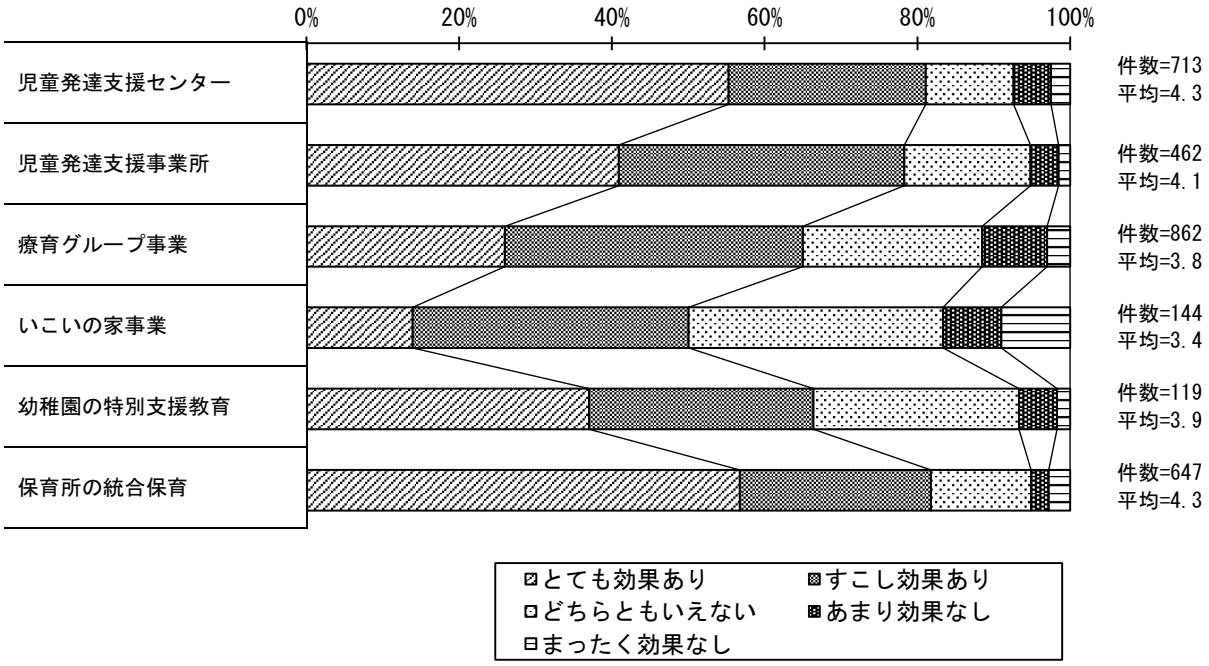
上段：実数 下段：%	件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる場所になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
全体	1552	127	40	35	171	1052	36	14	77
	100.0	8.2	2.6	2.3	11.0	67.8	2.3	0.9	5.0
Ｆ５　子どもの居住区（支所）									
千種区	101	8	2	3	19	62	2	1	4
	100.0	7.9	2.0	3.0	18.8	61.4	2.0	1.0	4.0
東区	41	4	0	0	5	29	0	1	2
	100.0	9.8	0.0	0.0	12.2	70.7	0.0	2.4	4.9
北区	75	8	7	3	8	45	2	1	1
	100.0	10.7	9.3	4.0	10.7	60.0	2.7	1.3	1.3
西区	60	6	0	1	14	35	0	1	3
	100.0	10.0	0.0	1.7	23.3	58.3	0.0	1.7	5.0
中村区	80	8	0	2	13	47	1	2	7
	100.0	10.0	0.0	2.5	16.3	58.8	1.3	2.5	8.8
中区	32	7	4	1	1	19	0	0	0
	100.0	21.9	12.5	3.1	3.1	59.4	0.0	0.0	0.0
昭和区	64	16	1	3	7	33	3	0	1
	100.0	25.0	1.6	4.7	10.9	51.6	4.7	0.0	1.6
瑞穂区	69	7	3	3	9	41	3	0	3
	100.0	10.1	4.3	4.3	13.0	59.4	4.3	0.0	4.3
熱田区	45	5	0	0	6	31	0	1	2
	100.0	11.1	0.0	0.0	13.3	68.9	0.0	2.2	4.4
中川区	121	13	0	6	9	82	1	2	8
	100.0	10.7	0.0	5.0	7.4	67.8	0.8	1.7	6.6
港区	94	4	2	3	6	70	1	1	7
	100.0	4.3	2.1	3.2	6.4	74.5	1.1	1.1	7.4
南区	72	1	3	0	11	51	1	0	5
	100.0	1.4	4.2	0.0	15.3	70.8	1.4	0.0	6.9
守山区	124	10	2	1	14	83	4	0	10
	100.0	8.1	1.6	0.8	11.3	66.9	3.2	0.0	8.1
緑区	157	0	2	1	13	128	4	4	5
	100.0	0.0	1.3	0.6	8.3	81.5	2.5	2.5	3.2
名東区	147	17	5	3	11	105	4	0	2
	100.0	11.6	3.4	2.0	7.5	71.4	2.7	0.0	1.4
天白区	103	9	5	2	11	69	1	0	6
	100.0	8.7	4.9	1.9	10.7	67.0	1.0	0.0	5.8
楠支所（北区）	20	2	0	0	2	14	1	0	1
	100.0	10.0	0.0	0.0	10.0	70.0	5.0	0.0	5.0
山田支所（西区）	9	1	0	0	1	6	0	0	1
	100.0	11.1	0.0	0.0	11.1	66.7	0.0	0.0	11.1
富田支所（中川区）	24	0	3	0	3	15	2	0	1
	100.0	0.0	12.5	0.0	12.5	62.5	8.3	0.0	4.2
南陽支所（港区）	5	0	0	1	0	4	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	20	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
志段味支所（守山区）	18	0	0	0	1	15	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	5.6	83.3	0.0	0.0	11.1
徳重支所（緑区）	35	0	0	0	1	33	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.9	94.3	2.9	0.0	0.0

※複数選択した方

２－２８　子どもの発達促進に効果のあった事業

問 16　お子さんは小学校に入学するまでに利用した「子ども発達支援」の事業や教育・保育施設で、お子さんの発達を促す効果があったと思う事業はありますか。（各問１つ）

● 子どもの発達促進に効果のあった事業については、「とても効果有り」「すこし効果あり」を合わせた”効果有り”の割合は、保育所の統合保育が 81.7%と最も高く、次いで「児童発達支援センター」（81.1%）、「児童発達支援事業所」（78.3%）の順となっている。



※平均値は、とても効果あり＝５点、すこし効果あり＝４点、どちらともいえない＝３点、あまり効果なし＝２点、効果なし＝１点として算出。

● 利用満足度を通っている学校の種類別でみると、「通常の学級のみ」は児童発達支援事業所の満足度が相対的に高く、特別支援学級や特別支援学校では、相対的に児童発達支援センターの満足度が高くなっている。

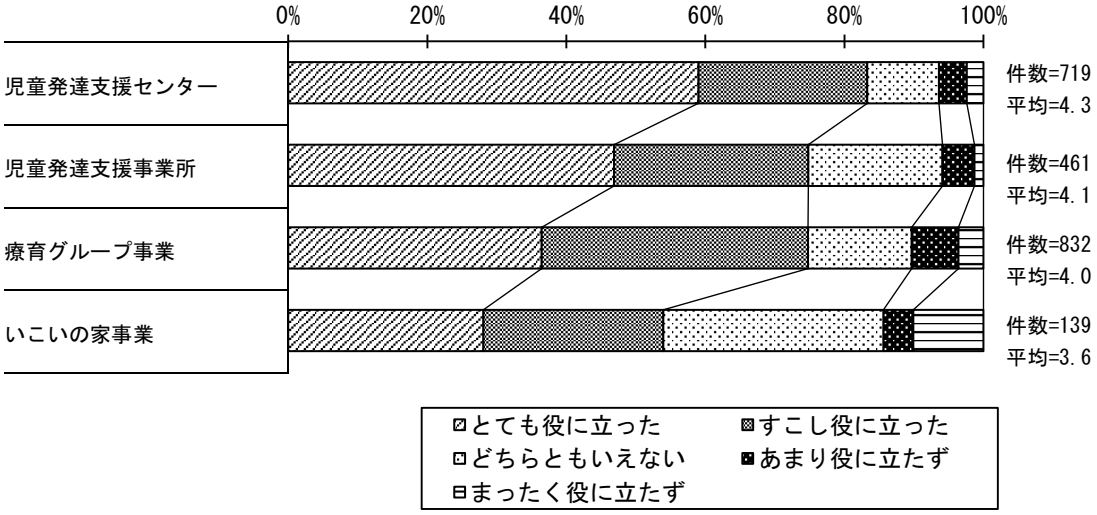
問１６　子どもの発達促進に効果のあった事業

上段：実数 下段：満足度	児童発達支援センター	児童発達支援事業所	療育グループ事業	いこいの家事業	幼稚園の特別支援教育	保育所の統合保育
全体	713 4.3	462 4.1	862 3.8	144 3.4	119 3.9	647 4.3
問７　通っている学校の種類						
通常の学級のみ	86 4.0	112 4.3	137 3.9	33 3.5	20 3.5	115 4.2
通常の学級と通級指導	25 4.1	26 4.1	43 3.7	15 3.3	6 4.0	46 4.2
特別支援学級	263 4.2	183 4.1	365 3.7	57 3.4	54 4.0	298 4.4
特別支援学校 （知的障害者）	223 4.4	102 4.0	230 3.7	33 3.4	27 4.1	149 4.4
特別支援学校 （肢体不自由者）	81 4.6	27 4.0	61 4.0	4 3.5	4 3.5	17 4.2
特別支援学校 （病弱者）	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －
特別支援学校（視覚障害者）《盲学校》	4 3.8	2 3.5	2 4.0	0 －	1 4.0	3 3.7
特別支援学校（聴覚障害者）《聾学校》	11 3.8	3 4.0	7 3.1	0 －	4 4.5	3 5.0
その他	16 3.9	6 3.8	11 3.6	1 3.0	3 4.3	11 4.0

２－２９　保護者の支援に役立った事業

問１７　お子さんは小学校に入学するまでに利用した「子ども発達支援」の事業で、保護者の方の支援に役立ったと思う事業はありますか。（各問１つ）

● 保護者の支援に役立った事業については、「とても役に立った」「すこし役に立った」を合わせた”役に立った”の割合は、「児童発達支援センター」が 83.3%と最も高く、次いで「児童発達支援事業所」（74.9%）、「療育グループ事業」（74.7%）の順となっている。

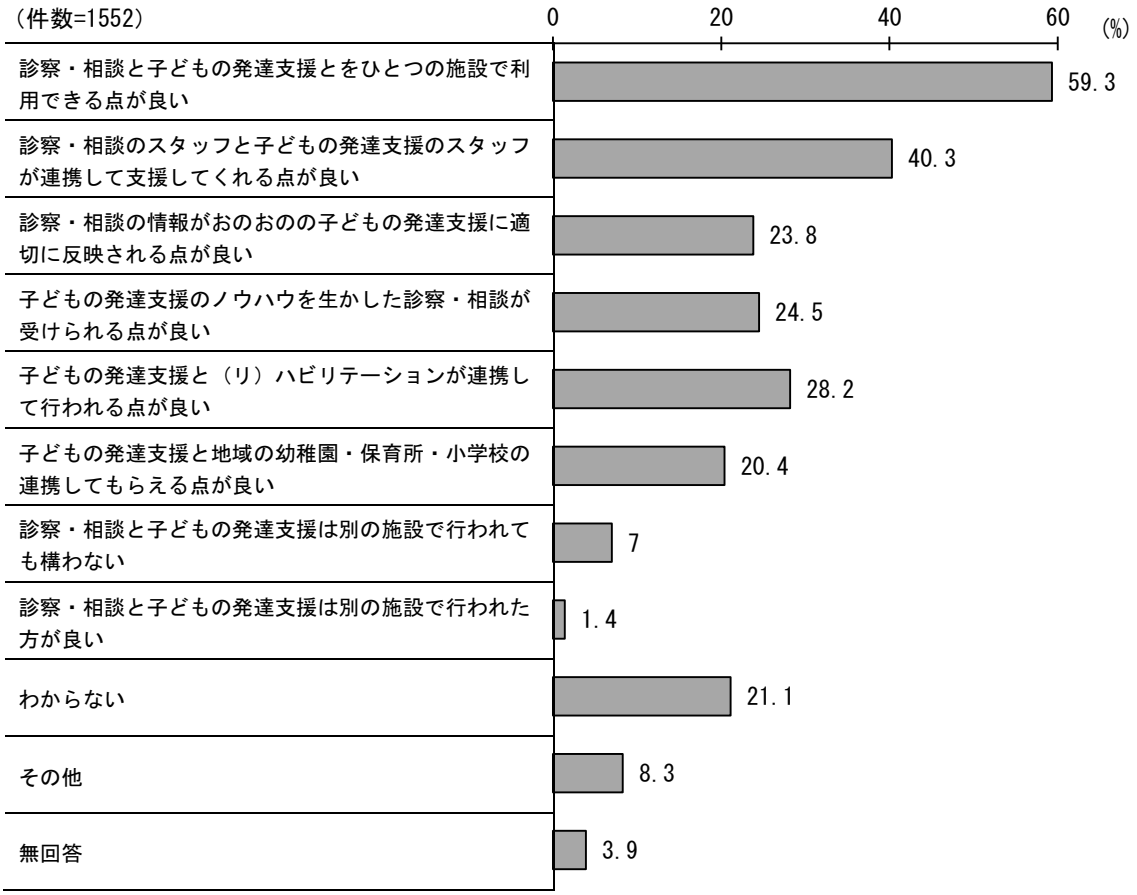


※平均値は、とても役に立った＝５点、すこし役に立った＝４点、どちらともいえない＝３点、あまり役に立たず＝２点、まったく役に立たず＝１点として算出。

２－３０　地域療育センターの評価

問 18　名古屋市ではお子さんの発達を支援するために地域療育センター（お子さんの診察・相談や（リ）ハビリテーションを行う診療所がひとつの施設で利用できる）を設置し、地域療育センターごとに対象の区を指定していますが、この仕組みについてどのように思いますか。（すべて）

● 地域療育センターの評価は、「診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い」が 59.3%と最も高く、次いで「診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い」（40.3%）、「子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い」（28.2%）となっている。



● 児童発達支援センターの利用経験でみると、利用したことがあるでは、全体と比較して評価が高い傾向にある。

問１８　地域療育センターの評価

上段：実数 下段：％	件数	診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い	診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い	診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い	子どもの発達支援のノウハウを生かした診察・相談が受けられる点が良い	子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い	子どもの発達支援と地域の幼稚園・保育所・小学校の連携してもらえる点が良い	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われても構わない	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われた方が良い	わからない	その他	無回答
全体	1552	920	625	370	381	438	317	108	22	328	129	60
	100.0	59.3	40.3	23.8	24.5	28.2	20.4	7.0	1.4	21.1	8.3	3.9

問１２－１　児童発達支援センターの利用経験

利用したことがある	696	481	350	227	211	262	152	48	5	91	60	12
	100.0	69.1	50.3	32.6	30.3	37.6	21.8	6.9	0.7	13.1	8.6	1.7
利用したかったが、利用できる地域になかった	15	5	2	2	1	4	3	1	1	6	1	1
	100.0	33.3	13.3	13.3	6.7	26.7	20	6.7	6.7	40.0	6.7	6.7
利用したかったが、実施日が合わなかった	62	39	26	13	17	26	17	4	1	11	6	1
	100.0	62.9	41.9	21.0	27.4	41.9	27.4	6.5	1.6	17.7	9.7	1.6
利用したいとは思わなかった	265	155	104	56	62	60	55	25	5	54	19	8
	100.0	58.5	39.2	21.1	23.4	22.6	20.8	9.4	1.9	20.4	7.2	3.0
事業を知らなかった	231	111	62	29	40	35	39	15	6	81	21	11
	100.0	48.1	26.8	12.6	17.3	15.2	16.9	6.5	2.6	35.1	9.1	4.8
利用したかどうかわからない	55	22	11	6	10	5	10	1	1	16	6	5
	100.0	40.0	20.0	10.9	18.2	9.1	18.2	1.8	1.8	29.1	10.9	9.1
小学校に入学するまでは市外に住んでいた	77	36	24	15	14	17	19	6	1	31	5	1
	100.0	46.8	31.2	19.5	18.2	22.1	24.7	7.8	1.3	40.3	6.5	1.3

２－３１　就学前の発達支援事業

問 19　名古屋市の、小学校に入学する前のお子さんと保護者の方を対象とした発達支援事業についてご意見はありますか。（自由記述）

● 就学前の発達支援事業のニーズについてお聞きしたところ、638 人（41.1%）から 682 件の回答をいただいた。

大分類	小分類	小分類集計	大分類集計
施設の充実	施設の増設	42	159
	予約が取りづらい	32	
	事業に関わる職員の資質の向上について	23	
	リハビリ施設の充実	19	
	職員の増員、育成	15	
	自宅近くにあるとよい	10	
	専門性の高い職員の育成、増員	7	
	柔軟に対応できる施設の充実	4	
	早期発見・早期療育について	4	
	利用頻度を増やしたい	3	
	その他	6	
情報提供	周知方法、手段の多様化	43	153
	積極的に提供してほしい	27	
	個別に提供してほしい	14	
	具体的な事業内容を提供してほしい	12	
	知る機会、場がない	11	
	診断時に提供してほしい	10	
	専門的アドバイスがほしい	10	
	出産時、検診時に提供してほしい	8	
	わかりやすく工夫してほしい	5	
	区役所で提供してほしい	5	
	転入者へ提供してほしい	4	
	幼稚園、保育所で提供してほしい	2	
	その他	2	
相談や心のケアについて	相談窓口の充実	44	97
	就学前の進路相談	29	
	親のカウンセリング・心のケア等の充実	16	
	相談する場所の提供	3	
	訪問による子育て相談について	3	
	電話やインターネットによる相談（夜中、24 時間含む）	2	
各種支援・事業	軽度、疑いのある子どもへの支援	20	84
	就学後の支援の充実	17	
	発達障害に関する知識の普及について	16	
	共働き世帯でも利用しやすい仕組み	12	
	医療的ケアが必要な子どもへの支援	8	
	障がい児・発達障害のある子への支援について	5	
	兄弟・姉妹がいる家庭への支援	4	

大分類	小分類	小分類集計	大分類集計
	その他	2	
サービスの提供	利用までの期間の短縮	13	66
	プログラムの充実	10	
	送迎サービスの充実	9	
	利用回数の拡充	7	
	託児サービスの充実	6	
	診察を受けるまでの時間	5	
	希望者が必ず利用できる体制	5	
	利用時間の拡大	4	
	土日も利用できるようにしてほしい	4	
	兄弟姉妹も一緒に参加して楽しめる場の提供	2	
	その他	1	
交流・講演について	親同士の交流会について	15	33
	親の学習、教育、学びの機会	12	
	親子で参加できる講座やイベント等について	6	
学校	学校との連携	9	24
	小学校との交流会	8	
	教員の対応・理解	6	
	その他	1	
制度・負担金について	利用可能日数の拡充	7	19
	利用者負担上限額の引き下げ	4	
	加配制度の充実	3	
	利用人数の拡充	3	
	手続きの簡素化	2	
	その他	5	
他機関との連携	他機関との連携	9	16
	他機関との情報共有	7	
保育所	統合保育の充実	7	12
	保育所に発達障害等の支援・指導をしてほしい	5	
現行事業の継続・充実	現行事業の継続・充実	6	6
行政への要望・提案	行政への要望・提案	5	5
その他	その他	6	6
満足している	満足している	2	2

２－３２　希望する就学後の支援事業

問 20　名古屋市の、小学校に入学する前のお子さんと保護者の方を対象とした発達支援事業についてご意見はありますか。（自由記述）

●　就学後の支援事業のニーズについてお聞きしたところ、790 人（50.9%）から 1,015 件の回答をいただいた。

大分類	小分類	小分類集計	大分類集計
施設の充実	就学後の継続支援	72	369
	支援員等の配置・増員	56	
	事業内容の充実	34	
	施設の増設	29	
	就学後の支援の充実	26	
	言語・作業療法等の支援	19	
	専門的なスタッフの増員	18	
	障害レベル別の教室設置	17	
	通学支援（送迎サービス）の充実	17	
	ショートステイができる施設の充実	16	
	リハビリ施設の充実	16	
	医療的ケアを受けられる施設の増設	15	
	長期休暇に利用できる施設	12	
	中学・高校卒業まで一貫してフォローする施設	7	
	支援学級の設置	6	
	預り先の提供	5	
	ヘルパーの増員	4	
交流・講演について	親同士が交流できる場の提供	36	111
	障害者向けの習い事・学習する場の提供	36	
	障害者向けのスポーツ・音楽をする場の提供	15	
	親の学習の場の提供	11	
	小学生との交流の場の提供	10	
	専門家の講演	3	
サービスの提供	移動支援の充実	23	97
	プログラム内容の充実	19	
	利用時間・日数の拡充	15	
	夜間・日曜預かり	9	
	スタッフの知識・質の向上	8	
	入浴サービス	8	
	見守りサービス	6	
	希望した日に利用できる施設	5	
	事業内容の充実（重度向け）	4	
各種支援・事業	個別サポートする事業	23	87
	軽度・グレーゾーンの子に対する支援	13	
	日常生活を支援する事業	14	
	共働き世帯・母子家庭への支援	13	
	訪問支援の充実	6	
	介助アシスタント事業の充実	4	

大分類	小分類	小分類集計	大分類集計
各種支援・事業	放課後を有意義に過ごす事業	3	87
	子供の体への影響も考えた事業	3	
	兄弟の負担への支援	2	
	女子専用の事業所の提供	2	
	自立へのサポート	2	
	病院への付き添い支援	2	
相談や心のケアについて	相談窓口の充実	42	77
	親の相談・心理的ケア	18	
	進路相談	8	
	就職の相談窓口の設置	5	
	相談支援の充実	4	
学校	通級学級の設置	31	71
	先生の資質、理解の向上	26	
	学校の対応と理解の向上	9	
	学校　支援の平準化	3	
	学校に医療スタッフの配置	2	
情報提供	事業内容の周知・情報提供	17	55
	積極的な情報提供	15	
	専門的アドバイスの提供	14	
	事業内容の情報提供	7	
	転入時の情報提供	2	
制度・負担金について	負担金について	10	23
	定員制の廃止	4	
	発達検査について	4	
	手帳更新手続きの簡素化	3	
	育休制度	2	
他機関との連携	他機関の連携・情報共有する事業	31	31
学童やトワイライトスクール	学童やトワイライトスクールの充実	22	22
発達障害について	発達障害への理解・周知	11	11
現事業の継続・改善	現事業の継続・改善	8	8
その他	その他	19	21
	入学前その他	2	
満足している	満足している	21	21
特になし・わからない	特になし・わからない	11	11

Ⅳ　資料編

１　資料（未就学児アンケート）

１－１　単純集計結果

上段：実数、下段：％

問１－１　地域療育センターの利用状況

件数	診療所で診察や発達相談を受けたことがある	地域療育センター通園部を利用したことがある	療育グループを利用したことがある	理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）	地域療育センターを利用したことはない	その他（※）	無回答
505	403	191	323	236	5	3	45
100.0	79.8	37.8	64	46.7	1.0	0.6	8.9

※利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

問１-２　地域療育センターへの初診待機期間

件数	1か月未満	1か月以上2か月未満	2か月以上3か月未満	3か月以上4か月未満	4か月以上5か月未満	5か月以上6か月未満	6か月以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
403	6	95	76	113	27	18	45	6	17	335	3.0	2.7	0	27	3
100.0	1.5	23.6	18.9	28	6.7	4.5	11.2	1.5	4.2						

※数値以外で記入した方

問２　障害児通所支援等の利用

件数	児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	児童発達支援指定事業所	保育所等訪問支援	障害児相談支援	現在は利用していない	その他（※）	無回答
505	154	328	26	151	57	2	11
100.0	30.5	65	5.1	29.9	11.3	0.4	2.2

※利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

問２　児童発達支援センターの利用頻度

件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26回～	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
154	33	12	23	60	18	2	6	148	14.4	7.6	1	30	18
100.0	21.4	7.8	14.9	39	11.7	1.3	3.9						

問２　児童発達支援指定事業所の利用頻度

件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26回～	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
328	92	105	39	44	32	8	5	3	236	11.2	7.3	1	31	9
100.0	28	32	11.9	13.4	9.8	2.4	1.5	0.9						

※数値以外で記入した方

問２　保育所等訪問支援の利用頻度

件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26回～	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
26	11	1	0	5	3	0	1	5	20	9.7	9.4	1	25	3.5
100.0	42.3	3.8	0	19.2	11.5	0	3.8	19.2						

※数値以外で記入した方

問２　障害児相談支援の利用頻度

件数	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
151	41	71	12	10	8	4	5	142	5.0	23.8	1	276	2
100.0	27.2	47	7.9	6.6	5.3	2.6	3.3						

※数値以外で記入した方

問３－１　利用負担額について

	件数	とても満足している	すこし満足している	どちらともいえない	すこし不満である	とても不満である	無回答
全体	412	209	74	59	41	23	6
	100.0	50.7	18.0	14.3	10.0	5.6	1.5
０円	22	22	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
４，６００円	323	180	68	44	23	7	1
	100.0	55.7	21.1	13.6	7.1	2.2	0.3
１８，６００円	35	3	6	6	14	6	0
	100.0	8.6	17.1	17.1	40	17.1	0.0
３７，２００円	21	2	0	6	3	10	0
	100.0	9.5	0.0	28.6	14.3	47.6	0.0
無回答	11	2	0	3	1	0	5
	100.0	18.2	0.0	27.3	9.1	0.0	45.5

問３－２　児童発達支援センター利用満足度

	件数	とても満足している	すこし満足している	どちらともいえない	すこし不満である	とても不満である	わからない	無回答
お子さんの発達を促すプログラムの内容	154 100.0	51 33.1	53 34.4	29 18.8	9 5.8	5 3.2	3 1.9	4 2.6
お子さんが生活技術を習得するプログラムの内容	154 100.0	52 33.8	45 29.2	32 20.8	9 5.8	5 3.2	7 4.5	4 2.6
お子さんの状況を踏まえた個別の対応	154 100.0	63 40.9	36 23.4	27 17.5	14 9.1	8 5.2	2 1.3	4 2.6
お子さんが社会性を身に着けるためのプログラムの内容	154 100.0	42 27.3	49 31.8	33 21.4	13 8.4	3 1.9	9 5.8	5 3.2
お子さんの発達への理解を深める保護者への助言など	154 100.0	62 40.3	48 31.2	27 17.5	6 3.9	4 2.6	3 1.9	4 2.6
良好な親子関係を築くためのプログラムの内容	154 100.0	60 39.0	51 33.1	24 15.6	5 3.2	4 2.6	5 3.2	5 3.2
保護者の方の悩みなどへの相談支援	154 100.0	57 37.0	45 29.2	34 22.1	7 4.5	6 3.9	1 0.6	4 2.6
自宅からの距離等の地理的条件	154 100.0	39 25.3	35 22.7	24 15.6	29 18.8	23 14.9	1 0.6	3 1.9
概ね１か月あたりの利用できる回数	154 100.0	77 50.0	36 23.4	19 12.3	7 4.5	8 5.2	3 1.9	4 2.6
１日あたりの利用できる時間	154 100.0	50 32.5	47 30.5	23 14.9	19 12.3	10 6.5	2 1.3	3 1.9
希望日に利用できるかどうか	154 100.0	67 43.5	31 20.1	29 18.8	16 10.4	6 3.9	2 1.3	3 1.9
送迎等のサービス	154 100.0	28 18.2	25 16.2	30 19.5	24 15.6	19 12.3	22 14.3	6 3.9

問３－３　児童発達支援指定事業所利用満足度

	件数	とても満足している	すこし満足している	どちらともいえない	すこし不満である	とても不満である	わからない	無回答
お子さんの発達を促すプログラムの内容	328 100.0	120 36.6	122 37.2	59 18	11 3.4	5 1.5	5 1.5	6 1.8
お子さんが生活技術を習得するプログラムの内容	328 100.0	88 26.8	116 35.4	80 24.4	13 4.0	11 3.4	12 3.7	8 2.4
お子さんの状況を踏まえた個別の対応	328 100.0	133 40.5	107 32.6	63 19.2	10 3.0	6 1.8	4 1.2	5 1.5
お子さんが社会性を身に着けるためのプログラムの内容	328 100.0	93 28.4	100 30.5	95 29	17 5.2	5 1.5	10 3.0	8 2.4
お子さんの発達への理解を深める保護者への助言など	328 100.0	84 25.6	100 30.5	84 25.6	37 11.3	12 3.7	5 1.5	6 1.8
良好な親子関係を築くためのプログラムの内容	328 100.0	57 17.4	71 21.6	118 36	37 11.3	14 4.3	25 7.6	6 1.8
保護者の方の悩みなどへの相談支援	328 100.0	77 23.5	94 28.7	89 27.1	37 11.3	14 4.3	9 2.7	8 2.4
自宅からの距離等の地理的条件	328 100.0	108 32.9	81 24.7	62 18.9	53 16.2	18 5.5	0 0.0	6 1.8
概ね１か月あたりの利用できる回数	328 100.0	154 47	78 23.8	42 12.8	26 7.9	19 5.8	2 0.6	7 2.1
１日あたりの利用できる時間	328 100.0	123 37.5	86 26.2	48 14.6	49 14.9	15 4.6	1 0.3	6 1.8
希望日に利用できるかどうか	328 100.0	135 41.2	78 23.8	45 13.7	46 14.0	17 5.2	2 0.6	5 1.5
送迎等のサービス	328 100.0	139 42.4	40 12.2	42 12.8	22 6.7	21 6.4	50 15.2	14 4.3

問４　障害児通所支援等　今後の利用希望

件数	児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	児童発達支援指定事業所	保育所等訪問支援	障害児相談支援	無回答
505	177	342	111	219	56
100.0	35.0	67.7	22.0	43.4	11.1

問４　児童発達支援センターの利用を希望する頻度

件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26回～	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
177	50	13	17	67	27	2	1	176	14.1	8.3	1	30	20
100.0	28.2	7.3	9.6	37.9	15.3	1.1	0.6						

問４　児童発達支援指定事業所の利用を希望する頻度

件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26回～	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
342	100	97	40	42	39	18	5	1	336	12.0	7.9	1	31	10
100.0	29.2	28.4	11.7	12.3	11.4	5.3	1.5	0.3						

※数値以外で記入した方

問４　保育所等訪問支援の利用を希望する頻度

件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26回～	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
111	96	2	1	5	1	0	2	4	105	2.9	4.7	0.3	22	1
100.0	86.5	1.8	0.9	4.5	0.9	0.0	1.8	3.6						

※数値以外で記入した方

問４　障害児相談支援の利用を希望する頻度

件数	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回	年6回以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
219	65	90	22	19	3	13	3	4	212	3.9	14.2	1	180	2
100.0	29.7	41.1	10.0	8.7	1.4	5.9	1.4	1.8						

※数値以外で記入した方

問５－１　発達障害の診断

件数	医療機関で発達障害の診断を受けた	愛護手帳を取得している	身体障害者手帳を取得している	精神障害者保健福祉手帳を取得している	手帳は取得していないし、診断も受けていない	無回答
505	369	278	71	5	42	5
100.0	73.1	55.0	14.1	1.0	8.3	1.0

問５－１　愛護手帳の程度

件数	1度	2度	3度	4度	その他(※)	無回答
278	34	42	92	99	2	9
100.0	12.2	15.1	33.1	35.6	0.7	3.2

※数値以外で記入した方

問５－１　精神障害者保健福祉手帳の等級

件数	1級	2級	3級	4級	無回答
5	1	0	4	0	0
100.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0

問５－１　身体障害者手帳の等級

件数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	その他(※)	無回答
71	40	17	8	1	1	2	1	1
100.0	56.3	23.9	11.3	1.4	1.4	2.8	1.4	1.4

※数値以外で記入した方

問５－１　発達障害の診断年齢

件数	1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
369	34	47	123	118	26	9	12	357	2.2	1.1	0	5	2
100.0	9.2	12.7	33.3	32.0	7.0	2.4	3.3						

問５－１　愛護手帳の取得年齢

件数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
278	0	59	84	80	37	11	0	7	271	2.5	1.1	1	5	2
100.0	0.0	21.2	30.2	28.8	13.3	4.0	0.0	2.5						

問５－１　身体障害者手帳の取得年齢

件数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
71	5	20	24	14	3	1	0	4	67	1.9	1.1	0	5	2
100.0	7.0	28.2	33.8	19.7	4.2	1.4	0.0	5.6						

問５－１　精神障害者保健福祉手帳の取得年齢

件数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
5	0	1	0	2	2	0	0	0	5	3.0	1.1	1	4	3
100.0	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0						

問５－２　診断を受けた機関

件数	中央療育センター	地域療育センター	病院（大学病院含む）・診療所	その他	無回答
369	88	229	91	10	3
100.0	23.8	62.1	24.7	2.7	0.8

問６　医療的ケア

件数	経管栄養	導尿	酸素吸入	インシュリン注射	ネブライザー吸引	たん吸引	その他	医療的ケアは必要ない	無回答
505	16	4	12	0	15	15	24	437	18
100.0	3.2	0.8	2.4	0.0	3.0	3.0	4.8	86.5	3.6

問７－１　発達の遅れに気づいた時期

件数	出生時に医師から診断を受けた	出生後に気づいた	無回答
505	97	400	8
100.0	19.2	79.2	1.6

問７－１　発達の遅れに気づいた時期

出生後に気づいた	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
400	70	176	111	38	2	0	3	397	1.4	0.9	0	4	1
100.0	17.5	44.0	27.8	9.5	0.5	0.0	0.8						

問７－２　発達の遅れに気づいたきっかけ

件数	保健センター（保健所）の職員に言われた	病院や診療所の職員に言われた	幼稚園の先生に言われた	保育所の先生に言われた	子育て支援施設の職員に言われた	親族（親・兄弟姉妹など）に言われた	友人・知人に言われた	本やホームページを見て自分で気になった	その他	覚えていない	無回答
400	121	48	13	43	13	50	12	170	143	6	5
100.0	30.3	12.0	3.3	10.8	3.3	12.5	3.0	42.5	35.8	1.5	1.3

問７－３　発達の遅れに気づいたときの相談相手

件数	保健センター（保健所）	区役所・支所	通園していた幼稚園	通園していた保育所	病院・診療所	中央療育センター・地域療育センター・児童発達支援センター	児童相談所	発達障害者支援センター（りんくすなごや）	大学の心理相談や発達相談	親族（親・兄弟姉妹など）	配偶者	友人	その他	相談はしなかった	無回答
400	245	18	7	40	110	199	8	5	3	148	211	77	27	9	5
100.0	61.3	4.5	1.8	10.0	27.5	49.8	2.0	1.3	0.8	37.0	52.8	19.3	6.8	2.3	1.3

問７－４　発達の遅れに気づいたときに困ったこと

件数	子どもの発達についてよくわからなかった	子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった	子どもの発達支援施策についての情報が少なかった	子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった	子どもの発達について診察ができる医療機関がどこにあるか分からなかった	子どもの発達について相談できる施設などが利用可能な地域になかった	子どもの発達について診察ができる医療機関が利用可能な地域になかった	発達支援が利用できる施設等が利用可能な地域になかった	子どもの発達について相談できる施設の利用までに時間がかかった	子どもの発達についての診察を受けるまでに時間がかかった	発達支援が利用できる施設等が利用できるまでに時間がかかった	その他	無回答
400	172	168	183	151	138	17	14	15	162	197	123	56	20
100.0	43.0	42.0	45.8	37.8	34.5	4.3	3.5	3.8	40.5	49.3	30.8	14.0	5.0

問７－５　発達の遅れに気づいたとき感じたこと

件数	子どもの発達について知識がないことが不安だった	同じくらいの年齢の子どもとの違いが気になった	子どもの発達が遅れていると思いたくなかった	子どもに障害があるのではと心配になった	子どもの発達のために何をしたらいいか分からなかった	子どもにどう関わればいいか分からなかった	発達に遅れのある子どもの支援制度について知りたいと思った	障害児や障害者の福祉制度について知りたいと思った	誰（どこ）に相談すればいいか分からなかった	子どもの小学校就学のことが気になった	子どもの幼稚園や保育所の入園のことが気になった
400	124	322	165	263	271	180	216	144	137	198	229
100.0	31.0	80.5	41.3	65.8	67.8	45.0	54.0	36.0	34.3	49.5	57.3

子どもの将来のことが不安だった	自分の子育てに問題があったのかと感じた	子どもには個人差があるので気にする必要はないと思った	診察を受けるまでの期間が不安だった	できるだけ早く、専門機関で治療や訓練を受けなければと思った	その他	あてはまるものはない	無回答
298	185	27	189	247	36	2	15
74.5	46.3	6.8	47.3	61.8	9.0	0.5	3.8

問８　利用している教育・保育施設

件数	幼稚園	保育所	認定こども園	認可外保育施設	フリースクール	その他	現在教育・保育施設には通っていない	その他（※）	無回答
505 100.0	110 21.8	215 42.6	27 5.3	7 1.4	0 0.0	48 9.5	99 19.6	1 0.2	16 3.2

※利用していると利用していないの両方を選択した方

問８　教育・保育施設に通い始めた時期（年別）

	件数	平成25年以前	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
幼稚園	110 100.0	1 0.9	2 1.8	3 2.7	32 29.1	48 43.6	24 21.8	0 0.0	110	28.8	0.9	25	30	29
保育所	215 100.0	13 6.0	19 8.8	26 12.1	42 19.5	53 24.7	60 27.9	2 0.9	213	28.3	1.5	24	30	29
認定こども園	27 100.0	0 0.0	1 3.7	2 7.4	9 33.3	7 25.9	8 29.6	0 0.0	27	28.7	1.1	26	30	29
認可外保育施設	7 100.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	2 28.6	2 28.6	0 0	0 0.0	7	27.3	1.5	25	29	28
フリースクール	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0	－	－	－	－	－
その他	48 100.0	0 0.0	2 4.2	6 12.5	11 22.9	15 31.3	13 27.1	1 2.1	47	28.6	1.2	26	30	29

問８　教育・保育施設に通い始めた時期（月別）

	件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	無回答
幼稚園	110 100.0	93 84.5	3 2.7	2 1.8	0 0.0	0 0.0	3 2.7	0 0.0	3 2.7	1 0.9	2 1.8	1 0.9	2 1.8	0 0.0
保育所	215 100.0	194 90.2	2 0.9	1 0.5	4 1.9	3 1.4	1 0.5	4 1.9	1 0.5	0 0.0	0 0	1 0.5	2 0.9	2 0.9
認定こども園	27 100.0	26 96.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
認可外保育施設	7 100.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
フリースクール	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －
その他	48 100.0	34 70.8	0 0.0	1 2.1	0 0.0	1 2.1	0 0.0	3 6.3	2 4.2	3 6.3	1 2.1	1 2.1	1 2.1	1 2.1

問９　過去に利用した教育・保育施設

件数	幼稚園	保育所	認定こども園	認可外保育施設	フリースクール	その他	現在通っている教育・保育施設以外に通ったことはない	教育・保育施設に通ったことはない	無回答
505	22	61	6	26	3	67	173	126	36
100.0	4.4	12.1	1.2	5.1	0.6	13.3	34.3	25.0	7.1

問９　過去に利用した教育・保育施設の利用を開始した時期

	件数	0歳以上1歳未満	1以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
幼稚園	22	0	0	5	14	2	0	1	21	2.9	0.5	2	4	3
	100.0	0.0	0.0	22.7	63.6	9.1	0.0	4.5						
保育所	61	11	21	13	13	2	0	1	60	1.6	1.1	0	4	1.1
	100.0	18.0	34.4	21.3	21.3	3.3	0.0	1.6						
認定こども園	6	0	3	2	0	1	0	0	6	2.0	1.1	1	4	1.5
	100.0	0.0	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0						
認可外保育施設	26	4	11	9	1	0	0	1	25	1.3	0.8	0	3	1
	100.0	15.4	42.3	34.6	3.8	0.0	0.0	3.8						
フリースクール	3	0	1	2	0	0	0	0	3	1.8	0.2	1.5	2	2
	100.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0						
その他	67	2	12	26	24	1	0	2	65	2.2	0.8	0	4	2
	100.0	3.0	17.9	38.8	35.8	1.5	0.0	3.0						

問９　過去に利用した教育・保育施設の利用を終了した時期

	件数	0歳以上1歳未満	1以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	6歳以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
幼稚園	22	0	0	1	7	3	3	0	8	14	3.6	0.8	2.5	5	3
	100.0	0.0	0.0	4.5	31.8	13.6	13.6	0.0	36.4						
保育所	61	0	6	9	15	10	7	4	10	47	3.3	1.4	1	6	3
	100.0	0.0	9.8	14.8	24.6	16.4	11.5	6.6	16.4						
認定こども園	6	0	0	1	2	1	1	0	1	5	2.0	1.1	1	4	1.5
	100.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7						
認可外保育施設	26	0	3	7	14	1	0	0	1	25	2.5	0.7	1	4	3
	100.0	0.0	11.5	26.9	53.8	3.8	0.0	0.0	3.8						
フリースクール	3	0	0	0	3	0	0	0	0	3	3.2	0.2	3	3.5	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
その他	67	0	0	13	20	22	4	2	6	59	3.4	1.0	2	6	3
	100.0	0.0	0.0	19.4	29.9	32.8	6.0	3.0	9.0						

問９　過去に利用した教育・保育施設を利用した期間

	件数	0歳以上1歳未満	1以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	6歳以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
幼稚園	22 100.0	5 22.7	7 31.8	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 36.4	14	0.9	0.6	0	2	1
保育所	61 100.0	8 13.1	20 32.8	10 16.4	3 4.9	6 9.8	3 4.9	1 1.6	10 16.4	50	1.9	1.5	0	6	1
認定こども園	6 100.0	0 0.0	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	5	2.0	1.1	1	4	1.5
認可外保育施設	26 100.0	4 15.4	14 53.8	5 19.2	2 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8	25	1.2	0.8	0	3	1
フリースクール	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3	1.3	0.5	1	2	1
その他	67 100.0	3 4.5	42 62.7	12 17.9	1 1.5	2 3.0	0 0.0	0 0.0	7 10.4	60	1.3	0.7	0	4	1

問１０－１　療育グループの利用

件数	現在利用している	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したかったが、希望者が多くて利用できなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
505 100.0	85 16.8	317 62.8	4 0.8	10 2.0	8 1.6	21 4.2	25 5.0	5 1.0	13 2.6	17 3.4

※複数選択した方

問１０－１　療育グループの利用を開始した年齢（現在利用中）

件数	1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
85 100.0	13 15.3	18 21.2	16 18.8	28 32.9	9 10.6	1 1.2	0 0.0	85	2.5	1.2	1	5	3

問１０－１　療育グループの利用を開始した年齢（過去に利用）

件数	1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
317 100.0	32 10.1	71 22.4	153 48.3	48 15.1	10 3.2	3 0.9	0 0.0	317	2.2	0.9	0	5	2

問１０－１　療育グループの利用を終了した年齢

件数	1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
317 100.0	0 0.0	8 2.5	76 24.0	182 57.4	33 10.4	9 2.8	9 2.8	317	3.3	0.8	1	6	3

問１０－１　療育グループを利用した期間

件数	6ヶ月未満	6ヶ月以上1年未満	1年以上1年6ヶ月未満	1年6ヶ月以上2年未満	2年以上2年6ヶ月未満	2年6ヶ月以上3年未満	3年以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
317 100.0	53 16.7	115 36.3	68 21.5	39 12.3	16 5.0	9 2.8	8 2.5	9 2.8	317	1.1	0.7	0	4	1

問１０－２　療育グループへの要望

件数	利用できる日数が増えるとよい	利用できる日が選べるとよい	実施する地域が増えるとよい	1回あたりの時間が長くなるとよい	利用を希望した時にすぐに利用できるとよい	子どもの発達を促すプログラムなどが充実するとよい	保護者の支援や相談のプログラムなどが充実するとよい	その他	要望は特にない	無回答
427 100.0	212 49.6	157 36.8	141 33.0	101 23.7	135 31.6	219 51.3	206 48.2	47 11.0	35 8.2	10 2.3

問１１　いこいの家の利用

件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
505 100.0	85 16.8	8 1.6	40 7.9	67 13.3	276 54.7	6 1.2	8 1.6	15 3.0

※複数選択した方

問１１　いこいの家の利用を開始した年齢

件数	1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
85 100.0	3 3.5	10 11.8	42 49.4	19 22.4	0 0.0	0 0.0	11 12.9	85	2.4	0.7	0	4	3

問１１　いこいの家の利用を終了した年齢

件数	1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
85 100.0	0 0.0	1 1.2	17 20.0	43 50.6	3 3.5	2 2.4	19 22.4	85	3.2	0.7	2	5	3

問１１　いこいの家を利用した期間

件数	6ヶ月未満	6ヶ月以上1年未満	1年以上1年6ヶ月未満	1年6ヶ月以上2年未満	2年以上2年6ヶ月未満	2年6ヶ月以上3年未満	3年以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
85 100.0	23 27.1	21 24.7	13 15.3	6 7.1	2 2.4	0 0.0	1 1.2	19 22.4	85	0.8	0.7	0	4	1

問１２－１　ハビリテーションの利用

件数	現在、利用している	利用したことがある	利用したことはない	利用したかどうかわからない	無回答
505 100.0	201 39.8	67 13.3	215 42.6	8 1.6	14 2.8

問１２－２　ハビリテーション利用の詳細

	件数	中央療育センターまたは地域療育センターを利用	病院・診療所を利用	無回答
理学療法	137 100.0	103 75.2	55 40.1	5 3.6
作業療法	132 100.0	92 69.7	36 27.3	7 5.3
言語聴覚療法	114 100.0	39 34.2	68 59.6	7 6.1

問１２－２　理学療法の利用頻度

	件数	月1回未満	月1回以上2回未満	月2回以上3回未満	月3回以上4回未満	月4回以上5回未満	月5回以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
中央療育センターまたは地域療育センター	103 100.0	1 1.0	11 10.7	36 35.0	4 3.9	40 38.8	4 3.9	7 6.8	96	3.0	1.6	1	10	3
病院・診療所	55 100.0	1 1.8	15 27.3	15 27.3	3 5.5	14 25.5	2 3.6	5 9.1	50	2.6	1.8	0	10	2

問１２－２　作業療法の利用頻度

	件数	月1回未満	月1回以上2回未満	月2回以上3回未満	月3回以上4回未満	月4回以上5回未満	月5回以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
中央療育センターまたは地域療育センター	92 100.0	5 5.4	41 44.6	29 31.5	1 1.1	7 7.6	1 1.1	8 8.7	84	1.7	1.2	0	8	1
病院・診療所を利用	36 100.0	0 0.0	17 47.2	10 27.8	1 2.8	5 13.9	1 2.8	2 5.6	34	2.3	3.2	1	20	1

問１２－２　言語聴覚療法の利用頻度

	件数	月1回未満	月1回以上2回未満	月2回以上3回未満	月3回以上4回未満	月4回以上5回未満	月5回以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
中央療育センターまたは地域療育センター	39 100.0	2 5.1	16 41.0	16 41.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	4 10.3	35	1.5	0.7	1	4	1
病院・診療所	68 100.0	3 4.4	14 20.6	29 42.6	1 1.5	17 25.0	0 0.0	4 5.9	64	2.2	1.2	0	4	2

問１２－３　ハビリテーションへの要望

件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
268 100.0	108 40.3	80 29.9	110 41.0	82 30.6	51 19.0	5 1.9

問１３　地域療育センターの評価

件数	診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い	診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い	診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い	子どもの発達支援のノウハウを生かした診察・相談が受けられる点が良い	子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い	子どもの発達支援と地域の幼稚園・保育所・小学校の連携してもらえる点が良い	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われても構わない	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われた方が良い	わからない	その他	無回答
505	328	253	143	133	137	112	36	10	66	74	15
100.0	65.0	50.1	28.3	26.3	27.1	22.2	7.1	2.0	13.1	14.7	3.0

Ｆ１　子どもの年齢

件数	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
505	8	36	111	169	172	4	5	500	3.9	1.0	1	6	4
100.0	1.6	7.1	22.0	33.5	34.1	0.8	1.0						

Ｆ２　子どもの性別

件数	男	女	無回答
505	370	130	5
100.0	73.3	25.7	1.0

Ｆ３　子どもの兄弟・姉妹の現在の年齢

件数（※）	0～3歳	4～7歳	8～12歳	13～15歳	16歳以上	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
381	152	124	80	12	13	381	5.6	4.5	0	30	5
100.0	39.9	32.5	21.0	3.1	3.4						

※記入のあった数を件数とした

Ｆ４　子どもの名古屋市の居住歴

件数	出生時から	出生後転入	無回答
505	415	84	6
100.0	82.2	16.6	1.2

Ｆ４　子どもの名古屋市への転入時の年齢

件数	1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	無回答
84	16	22	25	17	4	0	0
100.0	19.0	26.2	29.8	20.2	4.8	0.0	0.0

Ｆ５　子どもの居住区（支所）

件数	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
505	37	13	19	22	29	12	25	36	12	40	21	25
100.0	7.3	2.6	3.8	4.4	5.7	2.4	5.0	7.1	2.4	7.9	4.2	5.0

守山区	緑区	名東区	天白区	楠支所（北区）	山田支所（西区）	富田支所（中川区）	南陽支所（港区）	志段味支所（守山区）	徳重支所（緑区）	その他（※）	無回答
31	58	28	54	3	0	8	1	9	12	1	9
6.1	11.5	5.5	10.7	0.6	0.0	1.6	0.2	1.8	2.4	0.2	1.8

※複数選択した方

父親・母親との同居状況

件数	父親・母親とも同居	父親と同居	母親と同居	父親・母親とは同居していない	無回答
505	473	0	13	1	18
100.0	93.7	0.0	2.6	0.2	3.6

Ｆ６　父親の年齢

件数	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
473	16	231	200	26	－	473	39.4	6.0	25	61	39
100.0	3.4	48.8	42.3	5.5	－						

Ｆ６　父親の就労形態

件数	正社員	公務員	経営者・役員	自営業・自由業	自営業の家族従業者	パート・アルバイト	派遣・契約社員	在宅ワーク・内職	無職	その他	無回答
473	372	35	26	24	5	0	5	0	3	3	0
100.0	78.6	7.4	5.5	5.1	1.1	0.0	1.1	0.0	0.6	0.6	0.0

Ｆ６　父親の就労形態開始年

件数	平成５年以前	平成６～１０年	平成１１～１５年	平成１６～２０年	平成２１～２５年	平成２６年以降	無回答
473	34	58	75	117	75	42	72
100.0	7.2	12.3	15.9	24.7	15.9	8.9	15.2

Ｆ７　母親の年齢

件数	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
486	31	267	188	0	－	486	37.7	5.1	22	49	38
100.0	6.4	54.9	38.7	0.0	－						

Ｆ７　母親の就労形態

件数	正社員	公務員	経営者・役員	自営業・自由業	自営業の家族従業者	パート・アルバイト	派遣・契約社員	在宅ワーク・内職	無職	その他	その他（※）	無回答
486	65	7	3	7	18	123	9	16	234	2	1	1
100.0	13.4	1.4	0.6	1.4	3.7	25.3	1.9	3.3	48.1	0.4	0.2	0.2

※複数選択した方

Ｆ７　母親の就労形態開始年

件数	平成５年以前	平成６～１０年	平成１１～１５年	平成１６～２０年	平成２１～２５年	平成２６年以降	無回答
486	3	6	28	42	164	202	41
100.0	0.6	1.2	5.8	8.6	33.7	41.6	8.4

記入者

件数	父親	母親	両親	その他（※）	無回答
505	15	446	27	1	16
100.0	3.0	88.3	5.3	0.2	3.2

※複数選択した方

１－２　調査票

「名古屋市よりアンケート調査」へのご協力のお願い

この調査票は平成３０年度に小学校に入る前のお子さんの保護者の方に送付させていただきました。お忙しいところ申し訳ありませんがご協力をお願いします。調査の詳細については裏面をご覧ください。

質問にお答えいただいた上で、

平成３０年５月１８日までにポストに投函をお願いします。

切手を貼っていただく必要はありません。

☆★☆調査についてのお問い合せ先☆★☆
名古屋市役所　子ども青少年局子育て支援部子ども福祉課
電話（０５２）９７２-２５２０　ファクシミリ（０５２）９７２-４４３８
担当：守屋、東

名古屋市ではこのたび「子どもの発達支援に関する調査」を実施させていただきます。この調査票は平成 30 年３月１日の時点で障害児通所支援の給付認定をうけてみえて、現在、未就学のお子さんの保護者の方にあてて送付させていただきました。お子さんの発達支援事業利用の状況などをおたずねするもので、**本市の子ども発達支援施策に関する将来的な方針を検討する上での基礎資料の収集**を目的としています。お答えいただきにくい調査項目もあり、ご負担をおかけするかとは存じますが、本市の子ども発達支援施策をよりよくするためにたいへん重要な調査ですので、ぜひともご協力くださいますようお願いいたします。

この調査は　**無記名**　ですので、お答えいただいた方の**個人の情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。ご回答いただいた調査内容は、統計データとしてのみ処理します。**つきましては、ぜひ、この調査の主旨をご理解いただき、調査票にご回答の上、同封の返信用封筒に入れて、平成 30 年５月１８日までにご返送いただきますようお願いします。

★調査票にご回答いただくにあたって★

◎　質問番号の順に回答してください。ただし、質問によっては選んだ回答によって次に進む質問が異なる場合があります。質問の冒頭に**【この質問に回答した後、回答によって２－１、３のいずれかに進んでください。】**といった指示がある場合は、指示（例　次に３に回答してください、　⇒　５－２へ　など）に従って進んでください。特に指示のない場合は、次の番号の質問に進んでください。

質問番号の例　１　７－２　など

◎　すべての方におたずねする質問と前の質問に特定の回答をした方に限定しておたずねする質問がありますので、質問番号に続く**「●●におたずねします」の文章を確認いただき、あてはまる質問に回答してください。**

◎　回答は選択肢から選ぶ方法が主ですが、『その他』を選んだ場合は（具体的に　　）の括弧内に具体的な内容を記入してください。また、質問によっては自由に記述していただくものもありますので、質問文の指示に従ってください。

◎　選択肢は１つだけ選ぶ場合とあてはまるものをすべて選ぶ場合がありますので、質問の指示をよく読んで回答してください。

◎　調査の目的を達成するため、できるだけおたずねをするすべての質問に回答していただきたいですが、どうしても答えにくい質問があれば、飛ばしてご回答いただいても構いません。

◎　質問の中で「お子さん」と言った場合、調査をお願いするお子さん（封筒のあて名のお子さん）についておたずねしています。

※　封筒のあて名のお子さんについて回答してください。

1－1　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答によって1－2、2のいずれかの質問へ進んでください。】

お子さんはこれまでに地域療育センターを利用したことがありますか。次の選択肢のうち利用したことのあるものについて、すべての番号に○をつけてください。

1　診療所で診察や発達相談を受けたことがある
⇒次に1－2の質問に回答してください

2　地域療育センター通園部を現在利用している（利用したことがある）。
⇒次に2の質問に回答してください

3　療育グループを現在利用している（利用したことがある）
⇒次に2の質問に回答してください

4　理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）
⇒次に2の質問に回答してください

5　地域療育センターを利用したことはない　⇒次に2の質問に回答してください

※1に○をつけた方は2～4に○をつけた場合も、まず1－2の質問に回答してください。

《事業の説明》

◎地域療育センター	発達に遅れや障害のある子どもが日々通園し、日常生活の基本技能や集団適応等を学ぶ児童発達支援センター（地域療育センター通園部）と診察・相談・理学療法などの機能訓練を行う診療所を一体的に運営し子どもの発達や保護者の方を支援する名古屋市の子ども発達支援の中核施設です。市内には以下の5か所があります。 「中央療育センター」、「北部地域療育センター」、「西部地域療育センター」 「南部地域療育センターそよ風」、「東部地域療育センターぽけっと」
◎療育グループ	発達に遅れや発達に気になるところがある子どもが親子で通園し、早期療育を受ける場です。市内の地域療育センターや児童発達支援センターで●●グループ、●●教室などの名称で実施しています。また、保育所や幼稚園に通いながら利用するグループ（並行グループ）もあります。
◎理学療法・作業療法・言語聴覚療法	生まれつきまたは低年齢の時から発達に遅れやアンバランスのあるお子さんを対象とするリハビリテーション（機能訓練）で、医師の指示で行います

1－2　1－1の質問で1に○をつけた方（地域療育センターの診療所で診察や発達相談を受けたことがある方）におたずねします。

【この質問に回答した後、2の質問へ進んでください。】

初めて地域療育センターの診療所で診察や発達相談を受けたとき、申し込んでから利用できるまでの期間はどの程度でしたか。数字で記入してください。

おおよそ（　　）か月

※　この後の質問に地域療育センターの利用などについて重複した質問がありますが、各事業について統計的に集計するためのものですので、お手数ですが重複して各質問にお答えください。

2　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答によって３－1、４のいずれかの質問へ進んでください。】

現在、お子さんは障害児通所支援等をどの程度利用していますか。次の選択肢のうち利用している事業の番号にすべてに○をつけ、○をつけた事業の利用の程度を数字で記入してください。

１　児童発達支援センター（地域療育センター通園部）１か月に（　　）回程度利用している

２　児童発達支援指定事業所　１か月に（　　）回程度利用している

３　保育所等訪問支援　１か月に（　　）回程度利用している

４　障害児相談支援　１年に（　　）回程度利用している

５　現在は利用していない

※１に○をつけた方は３－1と３－２の質問に回答してください
※２に○をつけた方は３－1と３－３の質問に回答してください
※１と２の両方に○をつけた方は３－1、３－２、３－３の質問に回答してください。
※１と２のどちらにも○をつけなかった方は、次に４の質問に進んでください。

≪用語の説明≫

◎障害児通所支援	発達に遅れやアンバランスのあるお子さんを支援する制度で、児童発達支援センター（地域療育センター通園部）、児童発達支援指定事業所、保育所等訪問支援があります。
◎児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	発達に遅れや障害のある子どもが日々通園し、日常生活の基本技能や集団適応等を学ぶ場。『児童福祉施設』であり、地域療育センターの通園部と児童発達支援センター単独の施設があります。市内には以下の 11 か所があります。 「中央療育センター通園部（みどり学園）、（すぎのこ学園）、（わかくさ学園）」 「北部地域療育センター通園部」、「西部地域療育センター通園部」 「南部地域療育センターそよ風通園部」、「東部地域療育センターぽけっと通園部」、 「発達支援センターあつた」、「発達支援センターちよだ」 「さわらび園」、「青い鳥医療福祉センター」
◎児童発達支援指定事業所	発達に遅れや障害のある子どもが日々通園し、日常生活の基本技能や集団適応等を学ぶ場。『民間事業者のサービス』であり、市内には平成３０年３月現在２１３か所あります。
◎保育所等訪問支援	保育所等を利用中または今後利用する予定の発達に遅れのあるお子さんが集団生活に適応するために専門的な支援が必要な場合に、保育所等訪問支援実施事業所が保育所等を訪問し助言します。
◎障害児相談支援	指定障害児相談支援事業者が発達に遅れなどのあるお子さんが児童発達支援給付や放課後等デイサービス給付を利用するためのサービス利用計画を作成する事業です。 ※　児童発達支援センター（地域療育センター通園部）、児童発達支援指定事業所を利用するためにはサービス利用計画が必要です。（自分で利用計画を策定するセルフプランの仕組みもあります）

３－１　２の質問で１または２あるいは両方に○をつけた方（児童発達支援センター《地域療育センター通園部》、児童発達支援指定事業所を利用しているお子さんの保護者の方）におたずねします。

【この質問に回答した後、児童発達支援センター（地域療育センター通園部）を利用しているお子さんの保護者の方は３－２の質問へ、児童発達支援指定事業所を利用している方は３－３の質問へ進んでください。両方とも利用している方は３－２と３－３の質問両方に回答してください。】

児童発達支援センター（地域療育センター通園部）、児童発達支援指定事業所の利用者負担上限月額に満足していますか。「現在の負担上限月額」を下の表のＡ欄のあてはまる番号をひとつ選んで○をつけ、「その金額に満足しているかどうか」を下の表のＢ欄のあてはまる番号をひとつ選んで○をつけてください。

Ａ　現在の負担上限月額	Ｂ　満足しているかどうか
１　　０円 ２　４，６００円 ３　１８，６００円 ４　３７，２００円	１　とても満足している ２　すこし満足している ３　どちらともいえない ４　すこし不満である ５　とても不満である

３－２　２の質問で１に○をつけた方（児童発達支援センター《地域療育センター通園部》を利用しているお子さんの保護者の方）におたずねします。

【この質問に回答した後、児童発達支援指定事業所も利用している方は３－３の質問へ、利用していない方は４の質問へ進んでください。】

児童発達支援センター（地域療育センター通園部）の支援に満足していますか。以下のア～シについて５～０のあてはまる番号を選んで○をつけてください。

	とても満足	すこし満足	どちらともいえない	すこし不満足	とても不満足	わからない
ア　お子さんの発達を促すプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
イ　お子さんが生活技術を習得するプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
ウ　お子さんの状況を踏まえた個別の対応	５	４	３	２	１	０
エ　お子さんが社会性を身に着けるためのプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
オ　お子さんの発達への理解を深める保護者への助言など	５	４	３	２	１	０
カ　良好な親子関係を築くためのプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
キ　保護者の方の悩みなどへの相談支援	５	４	３	２	１	０
ク　自宅からの距離等の地理的条件	５	４	３	２	１	０
ケ　概ね１か月あたりの利用できる回数	５	４	３	２	１	０
コ　１日あたりの利用できる時間	５	４	３	２	１	０
サ　希望日に利用できるかどうか	５	４	３	２	１	０
シ　送迎等のサービス	５	４	３	２	１	０

3－3　2の質問で２に○をつけた方（児童発達支援指定事業所を利用しているお子さんの保護者の方）におたずねします。

【この質問に回答した後、4の質問へ進んでください。】

児童発達支援指定事業所の支援に満足していますか。以下のア～シについて５～０のあてはまる番号を選んで○をつけてください。

	とても満足	すこし満足	どちらともいえない	すこし不満足	とても不満足	わからない
ア　お子さんの発達を促すプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
イ　お子さんが生活技術を習得するプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
ウ　お子さんの状況を踏まえた個別の対応	５	４	３	２	１	０
エ　お子さんが社会性を身に着けるためのプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
オ　お子さんの発達への理解を深める保護者への助言など	５	４	３	２	１	０
カ　良好な親子関係を築くためのプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
キ　保護者の方の悩みなどへの相談支援	５	４	３	２	１	０
ク　自宅からの距離等の地理的条件	５	４	３	２	１	０
ケ　概ね１か月あたりの利用できる回数	５	４	３	２	１	０
コ　１日あたりの利用できる時間	５	４	３	２	１	０
サ　希望日に利用できるかどうか	５	４	３	２	１	０
シ　送迎等のサービス	５	４	３	２	１	０

※　2の質問に１と２の両方に○をつけた方（児童発達支援センター《地域療育センター通園部》と児童発達支援指定事業所を両方とも利用しているお子さんの保護者の方）は3－1、3－2、3－3の質問に回答をお願いしておりますので、再度ご確認ください。

4　すべての方におたずねします。

今後、「障害児通所支援等」をどの程度利用することを希望しますか。１～４の事業についてア、イのあてはまる記号に○をつけ、アに○をつけた場合、事業の利用を希望する程度を数字で記入してください。

１　児童発達支援センター（地域療育センター通園部）
ア　１か月に（　　）回程度の利用を希望する　　イ　利用を希望しない

２　児童発達支援指定事業所
ア　１か月に（　　）回程度の利用を希望する　　イ　利用を希望しない

３　保育所等訪問支援
ア　１か月に（　　）回程度の利用を希望する　　イ　利用を希望しない

４　障害児相談支援
ア　１年に（　　）回程度の利用を希望する　　イ　利用を希望しない

5―1　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答によって5－2または6の質問へ進んでください。】

お子さんは発達障害に関する診断を受けたことがありますか。また、お子さんは現在、障害に関する手帳を取得していますか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけ、診断を受けている場合は初めて診断を受けた年齢を数字で、手帳を取得している場合は具体的な程度と取得した年齢を、記入してください。

1	医療機関で発達障害の診断を受けた		（　　）才に診断	⇒5-2へ
2	愛護手帳を取得している	（　　）度	（　　）才に取得	⇒6へ
3	身体障害者手帳を取得している	（　　）級	（　　）才に取得	⇒6へ
4	精神障害者保健福祉手帳を取得している	（　　）級	（　　）才に取得	⇒6へ
5	手帳は取得していないし、診断も受けていない			⇒6へ

※１に○をつけた方は２～４に○をつけた場合も、まず5－2の質問に回答してください。

5－2　5－1の質問で１に○をつけた方（医療機関で発達障害の診断を受けているお子さんの保護者の方）におたずねします。

【この質問に回答した後、6の質問へ進んでください。】

お子さんはどこで診断を受けましたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　中央療育センター（➡　説明は３ページです）
2　地域療育センター（➡　説明は３ページです）
3　病院（大学病院を含む）・診療所
4　その他（具体的に　　）

6　すべての方におたずねします。

お子さんは現在、生活をする上で何らかの医療的なケアが必要ですか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　経管栄養
2　導尿
3　酸素吸入
4　インシュリン注射
5　ネブライザー吸引
6　たん吸引
7　その他（具体的に　　）
8　医療的なケアは必要ない

7－1　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答に応じて7－2または8の質問へ進んでください。】

あなたがお子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたのはいつですか。次の選択肢のうちあてはまる番号に○をつけ、２に○をつけた場合は、お子さんのおおよその年齢を記入してください。

１	出生時に医師から診断を受けた	⇒次に8に回答してください。
２	おおよそ（　　）歳（　　）か月頃に気づいた	⇒次に7－2～7－5に回答してください

7－2　7－1の質問で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねします。

【この質問に回答した後、7－3の質問へ進んでください。】

お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づくきっかけはどのようなことでしたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　保健センター（保健所）の職員に言われたことがきっかけ
２　病院や診療所の職員に言われたことがきっかけ
３　幼稚園の先生に言われたことがきっかけ
４　保育所の先生に言われたことがきっかけ
５　子育て支援施設の職員に言われたことがきっかけ
６　親族（親・兄弟姉妹など）に言われたことがきっかけ
７　友人・知人に言われたことがきっかけ
８　本やホームページを見て自分で気になったことがきっかけ
９　その他（具体的に　　）
10　おぼえていない

7－3　7－1の質問で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねします。

【この質問に回答した後、7－4の質問へ進んでください。】

あなたがお子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、誰（どこ）に相談しましたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　保健センター（保健所）
2　区役所・支所
3　通園していた幼稚園
4　通園していた保育所
5　病院・診療所
6　中央療育センター・地域療育センター・児童発達支援センター（➡ 説明は３ページ）
7　児童相談所
8　発達障害者支援センター（りんくすなごや）
9　大学の心理相談や発達相談
10　親族（親・兄弟姉妹など）
11　配偶者
12　友人
13　その他（具体的に　　）
14　相談はしなかった

7－4　7－1の質問で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねします。

【この質問に回答した後、7－5の質問へ進んでください。】

お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、どのようなことに困りましたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　子どもの発達についてよくわからなかった
2　子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった
3　子どもの発達支援施策についての情報が少なかった
4　子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった
5　子どもの発達について診察ができる医療機関がどこにあるか分からなかった
6　子どもの発達について相談できる施設などが利用可能な地域になかった
7　子どもの発達について診察ができる医療機関が利用可能な地域になかった
8　発達支援が利用できる施設等が利用できる地域になかった
9　子どもの発達について相談できる施設の利用までに時間がかかった
10　子どもの発達について診察を受けるまでに時間がかかった
11　発達支援が利用できる施設等が利用できるまでに時間がかかった
12　その他（具体的に　　）

7－5　7－1の質問で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねします。

【この質問に回答した後、8の質問へ進んでください。】

お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、どのようなことを感じましたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	子どもの発達について知識がないことが不安だった
2	同じくらいの年齢の子どもとの違いが気になった
3	子どもの発達が遅れていると思いたくなかった
4	子どもに障害があるのではと心配になった
5	子どもの発達のために何をしたらいいか分からなかった
6	子どもにどう関わればいいか分からなかった
7	発達に遅れのある子どもの支援制度について知りたいと思った
8	障害児や障害者の福祉制度について知りたいと思った
9	誰（どこ）に相談すればいいか分からなかった
10	子どもの小学校就学のことが気になった
11	子どもの幼稚園や保育所の入園のことが気になった
12	子どもの将来のことが不安だった
13	自分の子育てに問題があったのかと感じた
14	子どもには個人差があるので気にする必要はないと思った
15	診察を受けるまでの期間が不安だった。
16	できるだけ早く、専門機関で治療や訓練を受けなければと思った
17	その他（具体的に　　）
18	あてはまるものはない

8　すべての方におたずねします。

お子さんが現在教育・保育施設に通っていますか。次の選択肢のうちあてはまる番号を選んで○をつけ、通いはじめた時期について数字を記入してください。

1	幼稚園	平成（　　）	年（　　）	月に通い始めた
2	保育所	平成（　　）	年（　　）	月に通い始めた
3	認定こども園	平成（　　）	年（　　）	月に通い始めた
4	認可外保育施設	平成（　　）	年（　　）	月に通い始めた
5	フリースクール	平成（　　）	年（　　）	月に通い始めた
6	その他	平成（　　）	年（　　）	月に通い始めた
7	現在教育・保育施設には通っていない			

9　すべての方におたずねします。

現在通っている施設のほかに、お子さんがこれまで通ったことのある教育・保育施設がありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその通った年齢を記入してください。

1	幼稚園	おおよそ（　　）歳から（　　）歳まで通った	
2	保育所	おおよそ（　　）歳から（　　）歳まで通った	
3	認定こども園	おおよそ（　　）歳から（　　）歳まで通った	
4	認可外保育施設	おおよそ（　　）歳から（　　）歳まで通った	
5	フリースクール	おおよそ（　　）歳から（　　）歳まで通った	
6	その他	おおよそ（　　）歳から（　　）歳まで通った	
7	現在通っている教育・保育施設以外に通ったことはない		
8	教育・保育施設に通ったことはない		

１０－１　すべての方におたずねします。

【この質問に回答したあと、質問の回答によって１０－２または１１の質問へ進んでください。】

お子さんはこれまでに『療育グループ事業』を利用したことはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号を選んで○をつけ、利用したことがある場合は、利用した期間について数字を記入してください。

《事業の説明》

◎療育グループ事業	発達に遅れや発達に気になるところがある子どもが親子で通園し、早期療育を受ける場です。市内の地域療育センターや児童発達支援センター（具体的には地域療育センター、児童発達支援センターの欄《３ページ、４ページ》を参照してください）で●●グループ、●●教室などの名称で実施しています。一部、地域療育センター以外で実施する出張療育グループもあります。また、保育所や幼稚園に通いながら利用するグループ（並行グループ）もあります。

1	現在利用している おおよそ（　　）歳（　　）か月から	⇒１０－２へ
2	利用したことがある おおよそ（　　）歳（　　）か月から（　　）歳（　　）か月まで	⇒１０－２へ
3	利用したかったが、利用できる地域になかった	⇒１０－２へ
4	利用したかったが、実施日が合わなかった	⇒１０－２へ
5	利用したかったが希望者が多くて利用できなかった	⇒１０－２へ
6	利用したいとは思わなかった	⇒１１へ
7	事業を知らなかった	⇒１１へ
8	利用したかどうかわからない	⇒１１へ

１０－２　１０－１の質問に１から５までのどれかに○をつけた方（療育グループを利用した方または利用を希望したが利用できなかった方）におたずねします。

【この質問に回答した後、１１の質問へ進んでください。】

療育グループ事業について要望はありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　利用できる日数が増えるとよい
２　利用できる日が選べるとよい
３　実施する地域が増えるとよい
４　１回あたりの時間が長くなるとよい
５　利用を希望した時にすぐに利用できるとよい
６　子どもの発達を促すプログラムなどが充実するとよい
７　保護者の支援や相談のプログラムなどが充実するとよい
８　その他（具体的に　　）
９　要望は特にない

１１　すべての方におたずねします。

お子さんはこれまでに『いこいの家事業』を利用したことはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号を選んで○をつけ、利用したことがある場合は、利用した期間について数字を記入してください。

≪事業の説明≫

◎いこいの家事業	発達に遅れや発達に気になるところが見られる子どもと保護者の交流や情報交換の場 市内のいこいの家は平成３０年４月現在は以下の１１か所です。 「桜山いこいの家」「あつたいこいの家」「天神山いこいの家」 「千種児童館いこいの家」「守山児童館いこいの家」「colorful カラフル」 「マイハウスどんぐり広場」「葡萄の木」「てんぱくにじいろ」「みずほにじいろ」 「すまいる」

１　利用したことがある　おおよそ（　　）歳（　　）か月から（　　）歳（　　）か月まで
２　利用したかったが、利用できる地域になかった
３　利用したかったが、実施日が合わなかった
４　利用したいとは思わなかった
５　事業を知らなかった
６　利用したかどうかわからない

１２－１　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、質問の回答によって１２－２または１３の質問へ進んでください。】

お子さんはこれまでに『(リ）ハビリテーション』を利用したことはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号を選んで○をつけてください。

《事業の説明》

◎（リ）ハビリテーション	生まれつきまたは低年齢の時から発達に遅れやアンバランスのあるお子さんを対象とするリハビリテーション（機能訓練）を指し、理学療法、作業療法、言語聴覚療法の３種類があります。

１　現在、利用している	⇒次に１２－２と１２－３に回答してください
２　現在は利用していないが、利用したことがある	⇒次に１２－２と１２－３に回答してください
３　利用したことはない	⇒次に１３に回答してください
４　利用したかどうかわからない	⇒次に１３に回答してください

１２－２　１２－１の質問で１または２に○をつけた方（(リ）ハビリテーションを利用したことがある方)におたずねします。

【この質問に回答した後、１２－３の質問へ進んでください。】

利用しているまたは利用していた『(リ)ハビリテーション』の種類及び利用施設についてあてはまる番号に○をつけ、利用しているまたは利用していた頻度を記入してください。（例：１か月に２回、３か月に１回など）

(リ)ハビリテーションの種類	利用施設	利用の頻度
１　理学療法を利用	１　中央療育センターまたは地域療育センターを利用	
	２　病院・診療所を利用	
２　作業療法を利用	１　中央療育センターまたは地域療育センターを利用	
	２　病院・診療所を利用	
３　言語聴覚療法を利用	１　中央療育センターまたは地域療育センターを利用	
	２　病院・診療所を利用	

１２－３　１２－１の質問で１または２に○をつけた方（(リ)ハビリテーションを利用したことがある方）におたずねします。

【この質問に回答した後、１３の質問へ進んでください。】

『(リ)ハビリテーション』の利用について不満に感じることはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　利用できる施設が少ない
２　利用できる施設が自宅から遠い
３　予約がなかなかできない
４　その他（具体的に　　）
５　不満は特にない

１３　すべての方におたずねします。

名古屋市ではお子さんの発達を支援する児童発達支援センターとお子さんの発達についての診察・相談や（リ）ハビリテーションを行う診療所がひとつの施設で利用できる地域療育センターを子ども発達支援の中核施設として５か所設置し、地域療育センターごとに対象の区を指定していますが、この仕組みについてどのように思いますか。次の選択肢のうちあなたがあてはまると思うものの番号すべてに○をつけてください。

１　診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い
２　診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い
３　診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い
４　子どもの発達支援のノウハウを生かした診察・相談が受けられる点が良い
５　子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い
６　子どもの発達支援と地域の幼稚園・保育所・小学校の連携がしてもらえる点が良い
７　診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われても構わない
８　診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われた方が良い
９　わからない
10 その他（具体的に　　）

１４　すべての方におたずねします。

名古屋市の、学校に入学する前のお子さんと保護者の方を対象とした発達支援事業についてご意見があれば自由にご記入ください。

１５　すべての方におたずねします。

お子さんの就学に向けて不安に感じることはありますか。自由にご記入ください。

※すべての方が回答してください。

F1　お子さんの平成３０年４月１日現在の年齢を記入してください。

（　　）歳

F2　お子さんの性別についてあてはまるものに○をつけてください。

１　男　　２　女

F3　お子さんのご兄弟・姉妹の平成３０年４月１日現在の年齢について数字で記入してください。兄弟・姉妹がいない場合は空欄としてください。

（　　）才	（　　）才	（　　）才	（　　）才	（　　）才

F4　お子さんが名古屋市に住み始めたのはいつからですか。あてはまる番号に○をつけ、２を選んだ場合は具体的な数字を記入してください。

１　出生時から名古屋市在住	２（　　）才のときに転入

F5　お子さんの居住区（支所）についてあてはまる番号に○をつけてください。

１　千種区	６　中区	１１　港区	１６　天白区	２１　志段味支所（守山区）
２　東区	７　昭和区	１２　南区	１７　楠支所（北区）	２２　徳重支所（緑区）
３　北区	８　瑞穂区	１３　守山区	１８　山田支所（西区）	
４　西区	９　熱田区	１４　緑区	１９　富田支所（中川区）	
５　中村区	１０　中川区	１５　名東区	２０　南陽支所（港区）	

F6　お子さんの父親の方の状況について数字で記入または選択肢から選んでください。

母子家庭の方は「父親は同居していない」に○をつけてください（入院や単身赴任等で一時的に同居していない方は同居として回答してください）。

①　平成３０年４月１日現在の年齢　（　　）才　　・父親は同居していない

②　現在の就労形態

１　正社員	５　自営業の家族従業者	９　無職
２　公務員	６　パート・アルバイト	１０その他（　　）
３　経営者・役員	７　派遣・契約社員	
４　自営業・自由業	８　在宅ワーク・内職	

③　②の状態が開始した年

昭和・平成　（　　）年

F7　お子さんの母親の方の状況について数字で記入または選択肢から選んでください。

父子家庭の方は「母親は同居していない」に○をつけてください（入院や単身赴任等で一時的に同居していない方は同居として回答してください）。

①　平成３０年４月１日現在の年齢　（　　）才　　・母親は同居していない

②　現在の就労形態

１　正社員	５　自営業の家族従業者	９　無職
２　公務員	６　パート・アルバイト	10 その他（　　）
３　経営者・役員	７　派遣・契約社員	
４　自営業・自由業	８　在宅ワーク・内職	

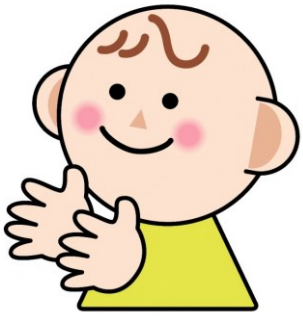
③　②の状態が開始した年

昭和・平成　（　　）年

質問は以上です。調査票を記入いただいた方について、あてはまる番号に○をつけてください。

１　父親が記入	２　母親が記入	３　父親と母親が話し合って記入
４　その他（具体的に　　）		

たくさんの質問にお答えいただき、本当にありがとうございました。
以上で終わりですので、調査票をお送りした封筒に同封した返信用封筒に入れて５月１８日までにポストに入れてください。
切手は貼らなくて大丈夫です！



なごや子ども条例　マスコットキャラクター
なごっち

２　資料（就学児アンケート）

２－１　単純集計結果

上段：実数、下段：％

問１－１　地域療育センターの利用状況

件数	診療所で診察や発達相談を受けたことがある	地域療育センター通園部を利用したことがある	療育グループを利用したことがある	理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）	地域療育センターを利用したことはない	その他（※）	無回答
1552	1128	556	872	721	80	28	119
100.0	72.7	35.8	56.2	46.5	5.2	1.8	7.7

※利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

問１-２　地域療育センター初診待機期間

件数	1か月未満	1か月以上2か月未満	2か月以上3か月未満	3か月以上4か月未満	4か月以上5か月未満	5か月以上6か月未満	6か月以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1128	26	241	199	288	73	10	158	53	80	995	3.2	3.9	0	72	3
100.0	2.3	21.4	17.6	25.5	6.5	0.9	14.0	4.7	7.1						

※数値以外で記入した方

問２　障害児通所支援等の利用

件数	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	現在は利用していない	その他（※）	無回答
1552	1426	13	364	94	4	12
100.0	91.9	0.8	23.5	6.1	0.3	0.6

※利用していると利用していないの両方を選択した方

問２　放課後等デイサービスの利用頻度

件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26～回	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1426	195	240	206	333	262	141	43	6	1377	16.2	8	1	31	18
100.0	13.7	16.8	14.4	23.4	18.4	9.9	3.0	0.4						

※数値以外で記入した方

問２　保育所等訪問支援の利用頻度

件数	月1回未満	月1回	月2回	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
13	1	6	1	3	2	8	1.1	0.4	0.5	2	1
100.0	7.7	46.2	7.7	23.1	15.4						

※数値以外で記入した方

問２　障害児相談支援の利用頻度

件数	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
364 100.0	78 21.4	209 57.4	18 4.9	18 4.9	17 4.7	12 3.3	12 3.3	340	2.5	5.6	1	100	2

※数値以外で記入した方

問３－１　放課後等デイサービスの利用負担額について

	件数	とても満足	すこし満足	どちらともいえない	すこし不満	とても不満	その他（※）	無回答
全体	1426 100.0	680 47.7	266 18.7	249 17.5	123 8.6	95 6.7	2 0.1	11 0.8
０円	147 100.0	136 92.5	4 2.7	3 2.0	1 0.7	1 0.7	0 0.0	2 1.4
４，６００円	1049 100.0	519 49.5	238 22.7	198 18.9	73 7.0	19 1.8	1 0.1	1 0.1
１８，６００円	121 100.0	11 9.1	15 12.4	20 16.5	33 27.3	41 33.9	0 0.0	1 0.8
３７，２００円	77 100.0	6 7.8	3 3.9	22 28.6	14 18.2	32 41.6	0 0.0	0 0.0
無回答	32 100.0	8 25.0	6 18.8	6 18.8	2 6.3	2 6.3	1 3.1	7 21.9

※複数選択した方

問３－２　放課後等デイサービス利用満足度

	件数	とても満足	すこし満足	どちらともいえない	すこし不満	とても不満	わからない	その他（※）	無回答
お子さんの発達を促すプログラムの内容	1426 100.0	443 31.1	549 38.5	271 19.0	81 5.7	28 2.0	23 1.6	1 0.1	30 2.1
お子さんが生活技術を習得するプログラムの内容	1426 100.0	360 25.2	516 36.2	353 24.8	91 6.4	33 2.3	41 2.9	0 0.0	32 2.2
お子さんの状況を踏まえた個別の対応	1426 100.0	499 35.0	514 36.0	238 16.7	95 6.7	30 2.1	17 1.2	2 0.1	31 2.2
お子さんが社会性を身に着けるためのプログラムの内容	1426 100.0	375 26.3	531 37.2	346 24.3	84 5.9	26 1.8	32 2.2	0 0.0	32 2.2
お子さんの発達への理解を深める保護者への助言など	1426 100.0	339 23.8	394 27.6	448 31.4	133 9.3	43 3.0	39 2.7	0 0.0	30 2.1
良好な親子関係を築くためのプログラムの内容	1426 100.0	254 17.8	284 19.9	597 41.9	110 7.7	36 2.5	112 7.9	0 0.0	33 2.3
保護者の方の悩みなどへの相談支援	1426 100.0	360 25.2	370 25.9	435 30.5	135 9.5	50 3.5	46 3.2	0 0.0	30 2.1
自宅からの距離等の地理的条件	1426 100.0	581 40.7	434 30.4	212 14.9	117 8.2	42 2.9	5 0.4	0 0.0	35 2.5
概ね１か月あたりの利用できる回数	1426 100.0	722 50.6	388 27.2	132 9.3	112 7.9	29 2.0	8 0.6	1 0.1	34 2.4
１日あたりの利用できる時間	1426 100.0	603 42.3	418 29.3	177 12.4	163 11.4	36 2.5	2 0.1	1 0.1	26 1.8
希望日に利用できるかどうか	1426 100.0	670 47.0	354 24.8	154 10.8	162 11.4	51 3.6	3 0.2	0 0.0	32 2.2
送迎等のサービス	1426 100.0	803 56.3	282 19.8	141 9.9	84 5.9	36 2.5	44 3.1	0 0.0	36 2.5

※複数選択した方

問４　障害児通所支援等　今後の利用希望

件数	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	無回答
1552	1456	55	440	74
100.0	93.8	3.5	28.4	4.8

問４　放課後等デイサービスの利用を希望する頻度

件数	月1～5回	月6～10回	月11～15回	月16～20回	月21～25回	月26～回	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1456	139	206	183	341	275	237	66	9	1381	18.2	8.0	1	31	20
100.0	9.5	14.1	12.6	23.4	18.9	16.3	4.5	0.6						

※数値以外で記入した方

問４　保育所等訪問支援の利用を希望する頻度

件数	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回	年6回以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
55	33	12	1	2	0	3	4	0	51	1.9	2.3	0.25	12	1
100.0	60.0	21.8	1.8	3.6	0.0	5.5	7.3	0.0						

※数値以外で記入した方

問４　障害児相談支援の利用を希望する頻度

件数	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回	年6回以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
440	97	215	30	37	7	20	27	7	406	2.8	7.6	1	150	2
100.0	22.0	48.9	6.8	8.4	1.6	4.5	6.1	1.6						

※数値以外で記入した方

問５－１　発達障害の診断

件数	医療機関で発達障害の診断を受けた	愛護手帳を取得している	身体障害者手帳を取得している	精神障害者保健福祉手帳を取得している	手帳は取得していないし、診断も受けていない	その他（※）	無回答
1552	1217	1011	236	96	38	2	20
100.0	78.4	65.1	15.2	6.2	2.4	0.1	1.3

※手帳を取得しているか診断を受けたと手帳は取得していないし診断も受けていないの両方を選択した方

問５－１　発達障害の診断年齢

件数	0歳以上3歳未満	3歳以上6歳未満	6歳以上9歳未満	9歳以上12歳未満	12歳以上15歳未満	15歳以上18歳未満	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1217	470	522	129	44	9	3	5	35	1177	3.4	2.5	0	16	3
100.0	38.6	42.9	10.6	3.6	0.7	0.2	0.4	2.9						

※数値以外で記入した方

問５－１　愛護手帳の程度

件数	1度	2度	3度	4度	その他（※）	無回答
1011	177	222	228	338	17	29
100.0	17.5	22.0	22.6	33.4	1.7	2.9

※数値以外で記入した方

問５－１　愛護手帳の取得年齢

件数	0歳以上3歳未満	3歳以上6歳未満	6歳以上9歳未満	9歳以上12歳未満	12歳以上15歳未満	15歳以上18歳未満	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1011	317	416	127	48	27	8	3	65	943	4	3.0	0	17	3
100.0	31.4	41.1	12.6	4.7	2.7	0.8	0.3	6.4						

※数値以外で記入した方

問５－１　身体障害者手帳の等級

件数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
236	99	46	47	10	18	8	8
100.0	41.9	19.5	19.9	4.2	7.6	3.4	3.4

問５－１　身体障害者手帳の取得年齢

件数	0歳以上3歳未満	3歳以上6歳未満	6歳以上9歳未満	9歳以上12歳未満	12歳以上15歳未満	15歳以上18歳未満	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
236	115	72	17	7	5	3	1	16	220	3.2	3.0	0	16	2
100.0	48.7	30.5	7.2	3.0	2.1	1.3	0.4	6.8						

※数値以外で記入した方

問５－１　精神障害者保健福祉手帳の等級

件数	1級	2級	3級	4級	無回答
96	4	17	72	3	0
100.0	4.2	17.7	75.0	3.1	0.0

問５－１　精神障害者保健福祉手帳の取得年齢

件数	0歳以上3歳未満	3歳以上6歳未満	6歳以上9歳未満	9歳以上12歳未満	12歳以上15歳未満	15歳以上18歳未満	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
96 100.0	0 0.0	14 14.6	46 47.9	20 20.8	8 8.3	6 6.3	2 2.1	94	8.2	3.1	3	17	7

問５－２　診断を受けた機関

件数	中央療育センター	地域療育センター	病院（大学病院含む）・診療所	その他	無回答
1217 100.0	428 35.2	556 45.7	421 34.6	46 3.8	9 0.7

問６－１　医療的ケア

件数	経管栄養	導尿	酸素吸入	インシュリン注射	ネブライザー吸引	たん吸引	その他	医療的ケアは必要ない	無回答
1552 100.0	39 2.5	7 0.5	14 0.9	0 0.0	27 1.7	42 2.7	104 6.7	1335 86	60 3.9

問６－２　医療的ケアによって困ったこと

件数	幼稚園の利用	保育所の利用	児童発達支援や放課後等デイサービスの利用	学童保育やトワイライトスクールの利用	学校の入学	学校の入学（小学校）	学校の入学（中学校）	学校の入学（高校）	無回答
160 100.0	21 13.1	33 20.6	44 27.5	15 9.4	35 21.9	30 18.8	6 3.8	5 3.1	4 2.5

通学や通園	通学や通園（幼稚園）	通学や通園（保育所）	通学や通園（小学校）	通学や通園（中学校）	通学や通園（高校）	無回答	日常の生活での外出	保護者の就労と子どもの介護の両立	毎日の子どもの介護	親の時間の確保	その他	困ったことは特にない	無回答
50 31.3	9 5.6	23 14.4	33 20.6	10 6.3	11 6.9	3 1.9	78 48.8	54 33.8	72 45	81 50.6	46 28.8	27 16.9	4 2.5

問７　通っている学校

件数	通常の学級のみ	通常の学級と通級指導	特別支援学級	特別支援学校（知的障害者）	特別支援学校（肢体不自由者）	特別支援学校（病弱者）	特別支援学校（視覚障害者）《盲学校》	特別支援学校（聴覚障害者）《聾学校》	その他	その他（※）	無回答
1552	333	94	583	360	103	0	5	18	43	4	9
100.0	21.5	6.1	37.6	23.2	6.6	0.0	0.3	1.2	2.8	0.3	0.6

※複数選択した方

問８　放課後事業利用状況

件数（※1）	学校のトワイライトスクール	学校のトワイライトルーム	学童保育（留守家庭児童育成会）	その他	利用している事業はない	その他（※2）
976	220	50	39	28	647	1
100.0	22.5	5.1	4.0	2.9	66.3	0.1

※利用したことがあると利用したことがないの両方を選択した方

問９－１　ハビリテーションの利用

件数	現在、利用している	現在は利用していないが、利用したことがある	利用したことはない	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
1552	289	604	560	39	9	51
100.0	18.6	38.9	36.1	2.5	0.6	3.3

※複数選択した方

問９－２　ハビリテーション利用の詳細

	件数	中央療育センターまたは地域療育センターを利用	病院・診療所を利用	無回答
理学療法	390	264	157	13
	100.0	67.7	40.3	3.3
作業療法	476	337	153	10
	100.0	70.8	32.1	2.1
言語聴覚療法	536	214	342	16
	100.0	39.9	63.8	3.0

問９－２　理学療法の利用頻度

	件数	月1回未満	月1回以上2回未満	月2回以上3回未満	月3回以上4回未満	月4回以上5回未満	月5回以上	無回答（※）	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
中央療育センターまたは地域療育センターを利用	264 100.0	8 3.0	79 29.9	66 25.0	25 9.5	43 16.3	5 1.9	38 14.4	226	2.3	1.5	0	12	2
病院・診療所を利用	157 100.0	5 3.2	59 37.6	35 22.3	10 6.4	22 14.0	6 3.8	20 12.7	137	2.2	1.6	0	10	2

※期間がなく回数だけのもの等を含む

問９－２　作業療法の利用頻度

	件数	月1回未満	月1回以上2回未満	月2回以上3回未満	月3回以上4回未満	月4回以上5回未満	月5回以上	無回答（※）	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
中央療育センターまたは地域療育センターを利用	337 100.0	34 10.1	151 44.8	62 18.4	7 2.1	19 5.6	2 0.6	62 18.4	275	1.5	1.1	0	12	1
病院・診療所を利用	153 100.0	14 9.2	78 51	19 12.4	2 1.3	15 9.8	4 2.6	21 13.7	132	1.8	2.8	0	30	1

※期間がなく回数だけのものを含む

問９－２　言語聴覚療法の利用頻度

	件数	月1回未満	月1回	月2回	月3回	月4回	月5回以上	無回答（※）	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
中央療育センターまたは地域療育センターを利用	214 100.0	22 10.3	110 51.4	41 19.2	1 0.5	7 3.3	3 1.4	30 14.0	184	1.5	1.3	0	10	1
病院・診療所を利用	342 100.0	21 6.1	110 32.2	99 28.9	12 3.5	54 15.8	2 0.6	44 12.9	298	2.1	2.1	0	30	2

※期間がなく回数だけのものを含む

問９－３　ハビリテーションへの要望

件数	利用できる施設が少ない	利用できる施設が自宅から遠い	予約がなかなかできない	その他	不満は特にない	無回答
893 100.0	468 52.4	312 34.9	466 52.2	203 22.7	134 15.0	47 5.3

問１０－１　発達の遅れに気づいた時期

件数	出生時に医師から診断を受けた	出生後に気づいた	その他（※）	無回答
1552	254	1272	3	23
100.0	16.4	82.0	0.2	1.5

※複数選択した方

問１０－１　発達の遅れに気づいた時期

件数	3歳未満	3歳以上6歳未満	6歳以上9歳未満	9歳以上12歳未満	12歳以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1272	789	313	70	29	4	15	52	1205	2.6	2.1	0	15	2
100.0	62.0	24.6	5.5	2.3	0.3	1.2	4.1						

※数値以外を記入した方

問１０－２　発達の遅れに気づいたきっかけ

件数	保健センター（保健所）の職員に言われた	病院や診療所の職員に言われた	幼稚園の先生に言われた	保育所の先生に言われた	学校の先生に言われた	子育て支援施設の職員に言われた	親族（親・兄弟姉妹など）に言われた	友人・知人に言われた	本やホームページを見て自分で気になった	その他	覚えていない	無回答
1272	368	183	78	135	41	16	138	41	346	423	16	17
100.0	28.9	14.4	6.1	10.6	3.2	1.3	10.8	3.2	27.2	33.3	1.3	1.3

問１０－３　発達の遅れに気づいたときの相談相手

件数	保健センター（保健所）	区役所・支所	通園していた幼稚園	通園していた保育所	病院・診療所	中央療育センター・地域療育センター・児童発達支援センター	児童相談所	発達障害者支援センター（りんくすなごや）	大学の心理相談や発達相談	親族（親・兄弟姉妹など）	配偶者	友人	その他	相談はしなかった	無回答
1272	529	50	63	132	399	608	74	22	21	354	463	164	88	24	78
100.0	41.6	3.9	5.0	10.4	31.4	47.8	5.8	1.7	1.7	27.8	36.4	12.9	6.9	1.9	6.1

問１０－４　発達の遅れに気づいたときに困ったこと

件数	子どもの発達についてよくわからなかった	子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった	子どもの発達支援施策についての情報が少なかった	子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった	子どもの発達について診察ができる医療機関がどこにあるか分からなかった	子どもの発達について相談できる施設などが利用可能な地域になかった	子どもの発達について診察ができる医療機関が利用可能な地域になかった	発達支援が利用できる施設等が利用可能な地域になかった	子どもの発達について相談できる施設の利用までに時間がかかった	子どもの発達についての診察を受けるまでに時間がかかった	発達支援が利用できる施設等が利用できるまでに時間がかかった	その他	無回答
1272	563	502	527	501	390	52	54	40	380	478	279	184	90
100.0	44.3	39.5	41.4	39.4	30.7	4.1	4.2	3.1	29.9	37.6	21.9	14.5	7.1

問１０－５　発達の遅れに気づいたときに感じたこと

件数	子どもの発達について知識がないことが不安だった	同じくらいの年齢の子どもとの違いが気になった	子どもの発達が遅れていると思いたくなかった	子どもに障害があるのではと心配になった	子どもの発達のために何をしたらいいか分からなかった	子どもにどう関わればいいか分からなかった	発達に遅れのある子どもの支援制度について知りたいと思った	障害児や障害者の福祉制度について知りたいと思った	誰（どこ）に相談すればいいか分からなかった	子どもの小学校就学のことが気になった
1272	429	840	456	606	756	512	494	363	416	498
100.0	33.7	66.0	35.8	47.6	59.4	40.3	38.8	28.5	32.7	39.2

子どもの幼稚園や保育所の入園のことが気になった	子どもの将来のことが不安だった	自分の子育てに問題があったのかと感じた	子どもには個人差があるので気にする必要はないと思った	診察を受けるまでの期間が不安だった	できるだけ早く、専門機関で治療や訓練を受けなければと思った	その他	あてはまるものはない	無回答
455	857	443	101	404	591	93	12	72
35.8	67.4	34.8	7.9	31.8	46.5	7.3	0.9	5.7

問１１　就学前に利用していた教育・保育施設

件数	幼稚園	保育所	認定こども園	認可外保育施設	フリースクール	その他	無回答
1552	439	835	42	57	3	245	149
100.0	28.3	53.8	2.7	3.7	0.2	15.8	9.6

問１１　教育・保育施設に通い始めた時期（年別）

	件数	平成15年以前	平成16～20年	平成21～25年	平成26～30年	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
幼稚園	439	9	106	198	98	9	19	411	22.5	3.4	13	29	23
	100.0	2.1	24.1	45.1	22.3	2.1	4.3						
保育所	835	43	234	327	169	22	40	773	22	3.8	10	30	23
	100.0	5.1	28.0	39.2	20.2	2.6	4.8						
認定こども園	42	1	6	18	12	0	5	37	23.7	3.3	15	30	24
	100.0	2.4	14.3	42.9	28.6	0.0	11.9						
認可外保育施設	57	4	7	31	8	4	3	50	22.1	3.5	14	27	22
	100.0	7.0	12.3	54.4	14.0	7.0	5.3						
フリースクール	3	0	1	1	1	0	0	3	22.3	4.9	16	28	23
	100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0						
その他	245	19	66	101	41	3	15	227	21.6	3.9	13	28	22
	100.0	7.8	26.9	41.2	16.7	1.2	6.1						

※Ｆ１子どもの年齢より、生まれた年より前の年を記入した方

問１１　教育・保育施設に通い始めた時期（月別）

	件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	無回答
幼稚園	439	373	8	5	1	2	9	7	6	2	2	3	6	15
	100.0	85.0	1.8	1.1	0.2	0.5	2.1	1.6	1.4	0.5	0.5	0.7	1.4	3.4
保育所	835	681	10	16	16	7	20	22	3	3	7	5	7	38
	100.0	81.6	1.2	1.9	1.9	0.8	2.4	2.6	0.4	0.4	0.8	0.6	0.8	4.6
認定こども園	42	31	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	6
	100.0	73.8	0.0	2.4	0	2.4	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	14.3
認可外保育施設	57	20	4	3	0	1	4	7	3	2	4	2	2	5
	100.0	35.1	7.0	5.3	0	1.8	7.0	12.3	5.3	3.5	7.0	3.5	3.5	8.8
フリースクール	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	245	146	8	5	7	2	10	12	11	4	8	5	3	24
	100.0	59.6	3.3	2.0	2.9	0.8	4.1	4.9	4.5	1.6	3.3	2.0	1.2	9.8

問１２-１　児童発達支援センターの利用経験

件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	小学校に入学するまでは市外に住んでいた	その他（※）	無回答
1552	696	15	62	265	231	55	77	15	136
100.0	44.8	1.0	4.0	17.1	14.9	3.5	5.0	1.0	8.8

※複数選択した方

問１２-１　児童発達支援センターの利用を開始した時期

件数	0歳以上1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	6歳以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
696	24	51	235	257	69	28	9	3	20	673	3	1.2	0	12	3
100.0	3.4	7.3	33.8	36.9	9.9	4.0	1.3	0.4	2.9						

※数値以外を記入した方

問１２-１　児童発達支援センターの利用を終了した時期

件数	3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	6歳以上7歳未満	7歳以上8歳未満	9歳以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
696	17	116	147	88	265	7	4	2	50	644	5.1	1.3	1	15	5
100.0	2.4	16.7	21.1	12.6	38.1	1.0	0.6	0.3	7.2						

※数値以外を記入した方

問１２-１　児童発達支援センターを利用した期間

件数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上	その他（※）	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
696	110	189	144	117	62	13	6	55	641	2.2	1.3	0	7	2
100.0	15.8	27.2	20.7	16.8	8.9	1.9	0.9	7.9						

※数値以外を記入した方と開始か終了のどちらかのみ記入した方

問１２-２　児童発達支援センターへの要望

件数	施設の数が増えるとよい	利用できる日数が増えるとよい	1回あたりの時間が長くなるとよい	利用を希望した時にすぐに利用できるとよい	働きながら利用しやすくなるとよい	その他	要望は特にない	無回答
773	430	241	199	291	364	121	80	27
100.0	55.6	31.2	25.7	37.6	47.1	15.7	10.3	3.5

問１３　児童発達支援指定事業所の利用経験

件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
1552	368	25	35	169	666	157	17	115
100.0	23.7	1.6	2.3	10.9	42.9	10.1	1.1	7.4

※複数選択した方

問１３　児童発達支援指定事業所の利用を開始した時期

件数	0歳以上1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	6歳以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
368	2	15	42	93	63	90	37	2	24	342	4.2	1.5	1	10	4
100.0	0.5	4.1	11.4	25.3	17.1	24.5	10.1	0.5	6.5						

※数値以外を記入した方

問１３　児童発達支援指定事業所の利用を終了した時期

件数	3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	6歳以上7歳未満	7歳以上8歳未満	9歳以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
368	4	18	17	29	218	12	18	1	51	316	6.2	1.5	2	15	6
100.0	1.1	4.9	4.6	7.9	59.2	3.3	4.9	0.3	13.9						

※数値以外を記入した方

問１３　児童発達支援指定事業所を利用した期間

件数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上	その他（※）	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
368	79	82	71	50	11	15	6	54	314	2.1	1.6	0	12	2
100.0	21.5	22.3	19.3	13.6	3.0	4.1	1.6	14.7						

※数値以外を記入した方と開始か終了のどちらかのみ記入した方

問１４-１　療育グループの利用経験

件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる地域になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用希望者が多くて利用できなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
1552	925	22	32	12	117	269	72	11	92
100.0	59.6	1.4	2.1	0.8	7.5	17.3	4.6	0.7	5.9

※複数選択した方

問１４-１　療育グループの利用を開始した時期

件数	0歳以上1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	6歳以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
925	71	179	333	163	72	50	13	5	39	881	2.6	1.3	0	8	2
100.0	7.7	19.4	36.0	17.6	7.8	5.4	1.4	0.5	4.2						

※数値以外を記入した方

問１４-１　療育グループの利用を終了した時期

件数	3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	6歳以上7歳未満	7歳以上8歳未満	9歳以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
925	198	348	92	73	133	7	6	3	65	857	3.9	1.6	1	18	4
100.0	21.4	37.6	9.9	7.9	14.4	0.8	0.6	0.3	7.0						

※数値以外を記入した方

問１４-１　療育グループを利用した期間

件数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上	その他（※）	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
925	317	344	102	53	21	9	7	72	853	1.4	1.2	0	12	1
100.0	34.3	37.2	11.0	5.7	2.3	1.0	0.8	7.8						

※数値以外を記入した方と開始か終了のどちらかのみ記入した方

問１４-２　療育グループへの要望

件数	利用できる日数が増えるとよい	利用できる日が選べるとよい	実施する地域が増えるとよい	1回あたりの時間が長くなるとよい	利用を希望した時にすぐに利用できるとよい	子どもの発達を促すプログラムなどが充実するとよい	保護者の支援や相談のプログラムなどが充実するとよい	その他	改善した方がいいと思う点は特にない	無回答
991	528	364	363	193	327	433	481	83	107	16
100.0	53.3	36.7	36.6	19.5	33.0	43.7	48.5	8.4	10.8	1.6

問１５　いこいの家の利用経験

件数	利用したことがある	利用したかったが、利用できる場所になかった	利用したかったが、実施日が合わなかった	利用したいとは思わなかった	事業を知らなかった	利用したかどうかわからない	その他（※）	無回答
1552	127	40	35	171	1052	36	14	77
100.0	8.2	2.6	2.3	11.0	67.8	2.3	0.9	5.0

※複数選択した方

問１５　いこいの家の利用を開始した時期

件数	0歳以上1歳未満	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	6歳以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
127	2	19	56	27	3	2	0	0	18	109	2.5	0.8	1	5	3
100.0	1.6	15.0	44.1	21.3	2.4	1.6	0.0	0.0	14.2						

※数値以外を記入した方

問１５　いこいの家の利用を終了した時期

件数	3歳未満	3歳以上4歳未満	4歳以上5歳未満	5歳以上6歳未満	6歳以上7歳未満	7歳以上8歳未満	9歳以上	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
127	23	51	15	2	9	0	0	0	27	100	3.6	1.1	2	7	3
100.0	18.1	40.2	11.8	1.6	7.1	0.0	0.0	0.0	21.3						

※数値以外を記入した方

問１５　いこいの家を利用した期間

件数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上	その他（※）	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
127 100.0	47 37.0	37 29.1	7 5.5	7 5.5	2 1.6	0 0.0	0 0.0	27 21.3	100	1.1	0.8	0	4	1

※数値以外を記入した方と開始か終了のどちらかのみ記入した方

問１６　子どもの発達促進に効果のあった事業

	件数	とても効果あり	すこし効果あり	どちらともいえない	あまり効果なし	まったく効果なし	利用していない	その他（※）	無回答
児童発達支援センター	1552 100.0	394 25.4	184 11.9	82 5.3	35 2.3	18 1.2	584 37.6	1 0.1	254 16.4
児童発達支援事業所	1552 100.0	189 12.2	173 11.1	76 4.9	17 1.1	7 0.5	712 45.9	0 0.0	378 24.4
療育グループ事業	1552 100.0	224 14.4	336 21.6	203 13.1	73 4.7	26 1.7	464 29.9	0 0.0	226 14.6
いこいの家事業	1552 100.0	20 1.3	52 3.4	48 3.1	11 0.7	13 0.8	970 62.5	0 0.0	438 28.2
幼稚園の特別支援教育	1552 100.0	44 2.8	35 2.3	32 2.1	6 0.4	2 0.1	969 62.4	0 0.0	464 29.9
保育所の統合保育	1552 100.0	367 23.6	162 10.4	85 5.5	15 1.0	18 1.2	593 38.2	1 0.1	311 20.0

※複数選択した方

問１７　保護者の支援に役立った事業

	件数	とても役に立った	すこし役に立った	どちらともいえない	あまり役に立たず	まったく役に立たず	利用していない	無回答
児童発達支援センター	1552 100.0	424 27.3	175 11.3	74 4.8	29 1.9	17 1.1	589 38	244 15.7
児童発達支援事業所	1552 100.0	216 13.9	129 8.3	89 5.7	21 1.4	6 0.4	714 46	377 24.3
療育グループ事業	1552 100.0	303 19.5	319 20.6	124 8.0	56 3.6	30 1.9	490 31.6	230 14.8
いこいの家事業	1552 100.0	39 2.5	36 2.3	44 2.8	6 0.4	14 0.9	972 62.6	441 28.4

問１８　地域療育センターの評価

件数	診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い	診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い	診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い	子どもの発達支援のノウハウを生かした診察・相談が受けられる点が良い	子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い	子どもの発達支援と地域の幼稚園・保育所・小学校の連携してもらえる点が良い	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われても構わない	診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われた方が良い	わからない	その他	無回答
1552	920	625	370	381	438	317	108	22	328	129	60
100.0	59.3	40.3	23.8	24.5	28.2	20.4	7.0	1.4	21.1	8.3	3.9

Ｆ１　子どもの年齢

件数	小学校低学年	小学校高学年	中学校	高校相当	その他（※）	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1552	580	382	273	274	3	40	1509	10.4	3.5	4	17	10
100.0	37.4	24.6	17.6	17.7	0.2	2.6						

※区分けに該当しない年齢を記入した方

Ｆ２　子どもの性別

件数	男	女	無回答
1552	1052	465	35
100.0	67.8	30.0	2.3

Ｆ３　子どもの兄弟・姉妹の現在の年齢

件数（※）	０～３歳	４～７歳	８～12歳	１３～１５歳	１６歳以上	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1547	171	316	448	247	365	1547	11.1	6.3	0	40	10
100.0	11.1	20.4	29.0	16.0	23.6						

※記入のあった数を件数とした

Ｆ４　子どもの名古屋市の居住歴

件数	出生時から	出生後転入	無回答
1552	1158	353	41
100.0	74.6	22.7	2.6

Ｆ４　子どもの名古屋市への転入時の年齢

件数	３歳未満	３歳以上６歳未満	６歳以上９歳未満	９歳以上１２歳未満	１２歳以上１５歳未満	１５歳以上１８歳未満	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
353	138	120	56	22	10	3	4	349	3.9	3.3	0	16	3
100.0	39.1	34.0	15.9	6.2	2.8	0.8	1.1						

Ｆ５　子どもの居住区（支所）

件数	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区	守山区
1552	101	41	75	60	80	32	64	69	45	121	94	72	124
100.0	6.5	2.6	4.8	3.9	5.2	2.1	4.1	4.4	2.9	7.8	6.1	4.6	8.0

緑区	名東区	天白区	楠支所（北区）	山田支所（西区）	富田支所（中川区）	南陽支所（港区）	志段味支所（守山区）	徳重支所（緑区）	その他（※）	無回答
157	147	103	20	9	24	5	18	35	8	48
10.1	9.5	6.6	1.3	0.6	1.5	0.3	1.2	2.3	0.5	3.1

※複数選択した方

父親・母親との同居状況

件数	父親・母親ともに同居	父親と同居	母親と同居	父親・母親とは同居していない	無回答
1552	1287	8	134	4	119
100.0	82.9	0.5	8.6	0.3	7.7

Ｆ６　父親の年齢

件数	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1295	4	244	782	244	21	－	1274	44.7	6.4	26	77	45
100.0	0.3	18.8	60.4	18.8	1.6	－						

Ｆ６　父親の就労形態

件数	正社員	公務員	経営者・役員	自営業・自由業	自営業の家族従業者	パート・アルバイト	派遣・契約社員	在宅ワーク・内職	無職	その他	その他（※）	無回答
1295	977	100	45	94	19	9	26	0	12	7	3	3
100.0	75.4	7.7	3.5	7.3	1.5	0.7	2.0	0.0	0.9	0.5	0.2	0.2

※複数選択した方

Ｆ６　父親の就労形態開始年

件数	平成５年以前	平成６～１０年	平成１１～１５年	平成１６～２０年	平成２１～２５年	平成２６年以降	無回答
1295	294	240	198	169	91	109	194
100.0	22.7	18.5	15.3	13.1	7.0	8.4	15.0

Ｆ７　母親の年齢

件数	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳以上	無回答	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1421	12	403	835	168	3	－	1418	42.6	5.8	17	76	43
100.0	0.8	28.4	58.8	11.8	0.2	－						

Ｆ７　母親の就労形態

件数	正社員	公務員	経営者・役員	自営業・自由業	自営業の家族従業者	パート・アルバイト	派遣・契約社員	在宅ワーク・内職	無職	その他	その他（※）	無回答
1421	126	32	19	23	42	605	25	26	489	24	8	2
100.0	8.9	2.3	1.3	1.6	3.0	42.6	1.8	1.8	34.4	1.7	0.6	0.1

※複数選択した方

Ｆ７　母親の就労形態開始年

件数	平成５年以前	平成６～１０年	平成１１～１５年	平成１６～２０年	平成２１～２５年	平成２６年以降	無回答
1421	35	87	147	244	338	464	106
100.0	2.5	6.1	10.3	17.2	23.8	32.7	7.5

記入者

件数	父親	母親	両親	その他	その他（※）	無回答
1552	61	1353	67	9	2	60
100.0	3.9	87.2	4.3	0.6	0.1	3.9

※複数選択した方

２－２　調査票

「名古屋市よりアンケート調査」へのご協力のお願い

この調査票は平成３０年度に小学生以上の年齢のお子さんの保護者の方に送付させていただきました。お忙しいところ申し訳ありませんがご協力をお願いします。調査の詳細については裏面をご覧ください。

質問にお答えいただいた上で、

平成３０年５月１８日までにポストに投函をお願いします。

切手を貼っていただく必要はありません。

☆★☆調査についてのお問い合せ先☆★☆
名古屋市役所　子ども青少年局子育て支援部子ども福祉課
電話（０５２）９７２-２５２０　ファクシミリ（０５２）９７２-４４３８
担当：守屋、東

名古屋市ではこのたび「子どもの発達支援に関する調査」を実施させていただきます。この調査票は平成 30 年３月１日の時点で障害児通所支援の給付認定をうけてみえ、現在、小学生以上のお子さんの保護者の方にあてて送付させていただきました。お子さんの発達支援事業の利用状況などをおたずねするもので、**本市の子ども発達支援施策に関する将来的な方針を検討する上での基礎資料の収集**を目的としています。お答えいただきにくい調査項目もあり、ご負担をおかけするかとは存じますが、本市の子ども発達支援施策をよりよくするためにたいへん重要な調査ですので、ぜひともご協力くださいますようお願いいたします。

この調査は　**無記名**　ですので、お答えいただいた方の**個人の情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。ご回答いただいた調査内容は、統計データとしてのみ処理します。**つきましては、ぜひ、この調査の主旨をご理解いただき、調査票にご回答の上、同封の返信用封筒に入れて、平成 30 年５月１８日までにご返送いただきますようお願いします。

★調査票にご回答いただくにあたって★

◎　質問番号の順に回答してください。ただし、質問によっては選んだ回答によって次に進む質問が異なる場合があります。質問の冒頭に**【この質問に回答した後、回答によって２－１、３のいずれかに進んでください。】**といった指示がある場合は、指示（例　次に３に回答してください、　⇒　５－２へ　など）に従って進んでください。
　特に指示のない場合は、次の番号の質問に進んでください。
　質問番号の例　　１　７－２など

◎　すべての方におたずねする質問と前の質問に特定の回答をした方に限定しておたずねする質問がありますので、質問番号に続く**「●●におたずねします」の文章を確認いただき、あてはまる質問に回答してください。**

◎　回答は選択肢から選ぶ方法が主ですが、『その他』を選んだ場合は（具体的に　　）の括弧内に具体的な内容を記入してください。また、質問によっては自由に記述していただくものもありますので、質問文の指示に従ってください。

◎　選択肢は１つだけ選ぶ場合とあてはまるものをすべて選ぶ場合がありますので、質問の指示をよく読んで回答してください。

◎　調査の目的を達成するため、できるだけおたずねをするすべての質問に回答していただきたいですが、どうしても答えにくい質問があれば、飛ばしてご回答いただいても構いません。

◎　質問の中で「お子さん」と言った場合、調査をお願いするお子さん（封筒のあて名のお子さん）についておたずねしています。

※　封筒のあて名のお子さんについて回答をしてください。

1－1　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答によって1－2、2のいずれかの質問へ進んでください。】

お子さんはこれまでに地域療育センターを利用したことがありますか。次の選択肢のうち利用したことのあるものについて、すべての番号に○をつけてください。

1　診療所で診察や発達相談を受けたことがある
⇒次に1－2の質問に回答してください
2　地域療育センター通園部を利用したことがある
⇒次に2の質問に回答してください
3　療育グループを利用したことがある
⇒次に2の質問に回答してください
4　理学療法・作業療法・言語聴覚療法を現在利用している（利用したことがある）
⇒次に2の質問に回答してください
5　地域療育センターを利用したことはない　⇒次に2の質問に回答してください

※1に○をつけた方は2～4に○をつけた場合も、まず1－2の質問に回答してください。

《事業の説明》

◎地域療育センター	発達に遅れや障害のある子どもが日々通園し、日常生活の基本技能や集団適応等を学ぶ児童発達支援センター（地域療育センター通園部）と診察・相談・理学療法などの機能訓練を行う診療所を一体的に運営し子どもの発達や保護者の方を支援する名古屋市の子ども発達支援の中核施設です。市内には以下の5か所があります。 「中央療育センター」、「北部地域療育センター」、「西部地域療育センター」 「南部地域療育センターそよ風」、「東部地域療育センターぽけっと」
◎療育グループ	発達に遅れや発達に気になるところがある子どもが親子で通園し、早期療育を受ける場です。市内の地域療育センターや児童発達支援センターで●●グループ、●●教室などの名称で実施しています。また、保育所や幼稚園に通いながら利用するグループ（並行グループ）もあります。
◎理学療法・作業療法・言語聴覚療法	生まれつきまたは低年齢の時から発達に遅れやアンバランスのあるお子さんを対象とするリハビリテーション（機能訓練）で、医師の指示で行います

1－2　1－1の質問で1に○をつけた方（地域療育センターの診療所で診察や発達相談を受けたことがある方）におたずねします。

【この質問に回答した後、2の質問へ進んでください。】

初めて地域療育センターの診療所で診察や発達相談を受けたとき、申し込んでから利用できるまでの期間はどの程度でしたか。数字で記入してください。

おおよそ（　　）か月

※　この後の質問に地域療育センターの利用などについて重複した質問がありますが、各事業について統計的に集計するためのものですので、お手数ですが重複して各質問にお答えください。

2　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答によって3－1または4の質問へ進んでください。】

現在、お子さんは障害児通所支援等をどの程度利用していますか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけ、○をつけた事業の利用の程度を数字で記入してください。

1	放課後等デイサービス	月に（　　）回程度利用している	⇒次に3－1に回答してください
2	保育所等訪問支援	月に（　　）回程度利用している	⇒次に4に回答してください
3	障害児相談支援	年に（　　）回程度利用している	⇒次に4に回答してください
4	現在は利用していない		⇒次に4に回答してください

※１に○をつけた方は２～３に○をつけた場合も、まず3－1の質問に回答してください。

≪事業の説明≫

◎障害児通所支援	発達に遅れやアンバランスのあるお子さんを支援する制度で、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援があります。
◎放課後等デイサービス	発達に遅れなどのある就学中のお子さんに授業の終了後または休業の日に生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進などの支援を行う事業です。
◎保育所等訪問支援	保育所や学校を利用中または今後利用する予定の発達に遅れのあるお子さんが集団生活に適応するために専門的な支援が必要な場合に、保育所等訪問支援実施事業所が保育所や学校を訪問し助言する事業です。
◎障害児相談支援	指定障害児相談支援事業者が発達に遅れなどのあるお子さんが放課後等デイサービス給付を利用するためのサービス利用計画を作成する事業です。 ※　放課後等デイサービス給付を利用するためにはサービス利用計画が必要です。（自分で利用計画を策定するセルフプランの仕組みもあります）

3－1　2の質問で１に○をつけた方（放課後等デイサービスを利用しているお子さんの保護者の方）におたずねします。

【この質問に回答した後、3－2の質問へ進んでください。】

放課後等デイサービスの利用者負担上限月額に満足していますか。「現在の負担上限月額」を下の表のＡ欄のあてはまる番号をひとつ選んで○をつけ、「その金額に満足しているかどうか」を下の表のＢ欄のあてはまる番号をひとつ選んで○をつけてください。

Ａ　現在の負担上限月額	Ｂ　満足しているかどうか
１　　０円 ２　４，６００円 ３　１８，６００円 ４　３７，２００円	１　とても満足している ２　すこし満足している ３　どちらともいえない ４　すこし不満である ５　とても不満である

3－2　2の質問で、1に○をつけた方（放課後等デイサービスを利用しているお子さんの保護者の方）におたずねします。

【この質問に回答した後、4の質問へ進んでください。】

放課後等デイサービスの支援に満足していますか。以下のア～シについて５～０のあてはまる番号を選んで○をつけてください。

	とても満足	すこし満足	どちらともいえない	すこし不満足	とても不満足	わからない
ア　お子さんの発達を促すプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
イ　お子さんが生活技術を習得するプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
ウ　お子さんの状況を踏まえた個別の対応	５	４	３	２	１	０
エ　お子さんが社会性を身に着けるためのプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
オ　お子さんの発達への理解を深める保護者への助言など	５	４	３	２	１	０
カ　良好な親子関係を築くためのプログラムの内容	５	４	３	２	１	０
キ　保護者の方の悩みなどへの相談支援	５	４	３	２	１	０
ク　自宅からの距離等の地理的条件	５	４	３	２	１	０
ケ　概ね１か月あたりの利用できる回数	５	４	３	２	１	０
コ　１日あたりの利用できる時間	５	４	３	２	１	０
サ　希望日に利用できるかどうか	５	４	３	２	１	０
シ　送迎等のサービス	５	４	３	２	１	０

4　すべての方におたずねします。

今後、障害児通所支援等をどの程度利用することを希望しますか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけ、○をつけた事業の利用を希望する程度を数字で記入してください。

１	放課後等デイサービス	月に（　　）回程度の利用を希望する
２	保育所等訪問支援	月に（　　）回程度の利用を希望する
３	障害児相談支援	年に（　　）回程度の利用を希望する

5－1　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答によって5－2または6－1の質問へ進んでください。】

お子さんは発達障害に関する診断を受けたことがありますか。また、お子さんは現在、障害に関する手帳を取得していますか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけ、診断を受けている場合は初めて診断を受けた年齢を数字で、手帳を取得している場合は具体的な程度と取得した年齢を、記入してください。

1	医療機関で発達障害の診断を受けた		（　　）才に診断	⇒5－2へ
2	愛護手帳を取得している	（　　）度	（　　）才に取得	⇒6－1へ
3	身体障害者手帳を取得している	（　　）級	（　　）才に取得	⇒6－1へ
4	精神障害者保健福祉手帳を取得している	（　　）級	（　　）才に取得	⇒6－1へ
5	手帳は取得していないし、診断も受けていない			⇒6－1へ

※1に○をつけた方は2～4に○をつけた場合も、まず5－2の質問に回答してください。

5－2　5－1の質問で1に○をつけた方（診断を受けているお子さんの保護者の方）におたずねします。

【この質問に回答した後、6－1に進んでください。】

お子さんはどこで診断を受けましたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　中央療育センター（⇒ 説明は3ページ）
2　地域療育センター（⇒ 説明は3ページ）
3　病院（大学病院含む）・診療所
4　その他（具体的に　　）

6－1　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答によって6－2または7の質問へ進んでください。】

お子さんは現在、生活をする上で何らかの医療的なケアが必要ですか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	経管栄養	⇒次に6－2に回答してください
2	導尿	⇒次に6－2に回答してください
3	酸素吸入	⇒次に6－2に回答してください
4	インシュリン注射	⇒次に6－2に回答してください
5	ネブライザー吸引	⇒次に6－2に回答してください
6	たん吸引	⇒次に6－2に回答してください
7	その他	⇒次に6－2に回答してください
	（具体的に　　）	
8	医療的ケアは必要ない	⇒次に7に回答してください

6－2　6－1の質問で１～７のどれかに○をつけた方（お子さんが生活する上で医療的ケアが必要な方）におたずねします。

【この質問に回答した後、7の質問へ進んでください。】

これまでにお子さんが医療的ケアを必要とすることが理由で大変だったことや困ったことがありましたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　幼稚園の利用	利用できる施設が少なかった、利用の条件が厳しかったなど
２　保育所の利用	
３　児童発達支援や放課後等デイサービスの利用	
４　学童保育やトワイライトスクールの利用	
５　学校の入学（あてはまるものすべてに○　⇒　（　小学校　・　中学校　・高校　）	
６　通学や通園（あてはまるものすべてに○　⇒（ 幼稚園　・　保育所　・　小学校　・　中学校　・高校　）	
７　日常の生活での外出	
８　保護者の就労と子どもの介護の両立	
９　毎日の子どもの介護	
10　保護者の時間の確保	
11　その他（具体的に　）	
12　困ったことは特にない	

7　すべての方におたずねします。

お子さんが現在通っている学校や学級の種類は何ですか。次の選択肢から１つ選んで番号に○をつけてください。

１　通常の学級のみ	「通級指導」とは、比較的軽度な障害がある児童に各教科の指導は通常の学級で行いつつ、障害に応じた特別の指導をするもの。
２　通常の学級と通級指導	
３　特別支援学級	
４　特別支援学校（知的障害者）	
５　特別支援学校（肢体不自由者）	
６　特別支援学校（病弱者）	
７　特別支援学校（視覚障害者）《盲学校》	
８　特別支援学校（聴覚障害者）《聾学校》	
９　その他（具体的に　）	

8　お子さんが小学生の方におたずねします。

【お子さんが中学生以上の方は９－１の質問へ進んでください。】

現在、お子さんが『放課後等に利用する事業』を利用していますか（放課後等デイサービスは除きます）。利用している事業があれば、次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１	学校のトワイライトスクール
２	学校のトワイライトルーム
３	学童保育（留守家庭児童育成会）
４	その他（具体的に　　）
５	利用している事業はない

９－１　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答に応じて９－２または１０－１の質問へ進んでください。】

お子さんはこれまでに『(リ）ハビリテーション』を利用したことはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号を選んで○をつけてください。

《サービスの説明》

◎(リ)ハビリテーション	生まれつきまたは低年齢の時から発達に遅れやアンバランスのあるお子さんを対象とするリハビリテーション（機能訓練）を指し、理学療法、作業療法、言語聴覚療法の３種類があります。

１	現在、利用している	⇒次に９－２に回答してください
２	現在は利用していないが、利用したことがある	⇒次に９－２に回答してください
３	利用したことはない	⇒次に１０-1に回答してください
４	利用したかどうかわからない	⇒次に１０-1に回答してください

９－２　９－１の質問で１または２に○をつけた方（『(リ）ハビリテーション』を利用したことがある方)におたずねします。

【この質問に回答した後、９－３の質問へ進んでください。】

利用しているまたは利用していた『(リ)ハビリテーション』の種類及び利用施設についてあてはまる番号すべてに○をつけ、利用しているまたは利用していたおおむねの頻度を記入してください。（例：１か月に２回、３か月に１回など）

(リ)ハビリテーションの種類	利用施設	利用の頻度
１　理学療法を利用	１　中央療育センターまたは地域療育センターを利用	
	２　病院・診療所を利用	
２　作業療法を利用	１　中央療育センターまたは地域療育センターを利用	
	２　病院・診療所を利用	
３　言語聴覚療法を利用	１　中央療育センターまたは地域療育センターを利用	
	２　病院・診療所を利用	

９－３　９－１の質問で１または２に○をつけた方(『(リ)ハビリテーション』を利用したことがある方)におたずねします。

【この質問に回答した後、１０－１の質問へ進んでください。】

『(リ)ハビリテーション』の利用について不満に感じることはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　利用できる施設が少ない
２　利用できる施設が自宅から遠い
３　予約がなかなかできない
４　その他（具体的に　　）
５　不満は特にない

１０－１　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答に応じて１０－２または１１の質問へ進んでください。】

あなたがお子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたのはいつですか。次の選択肢のうちあてはまる番号に○をつけ、２に○をつけた場合は、お子さんのおおよその年齢を記入してください。

１　出生時に医師から診断を受けた　　⇒次に１１に回答してください
２　おおよそ（　　）歳（　　）か月頃に気づいた　　⇒次に１０－２～１０－５に回答してください

１０－２　１０－１の質問で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねします。

【この質問に回答した後、１０－３の質問へ進んでください。】

お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づくきっかけはどのようなことでしたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　保健センター（保健所）の職員に言われたことがきっかけ
２　病院や診療所の職員に言われたことがきっかけ
３　幼稚園の先生に言われたことがきっかけ
４　保育所の先生に言われたことがきっかけ
５　学校の先生に言われたことがきっかけ
６　子育て支援施設の職員に言われたことがきっかけ
７　親族（親・兄弟姉妹など）に言われたことがきっかけ
８　友人・知人に言われたことがきっかけ
９　本やホームページを見て自分で気になったことがきっかけ
10　その他（具体的に　　）
11　おぼえていない

１０－３　１０－１の質問で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねします。

【この質問に回答した後、１０－４の質問へ進んでください。】

あなたがお子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、誰（どこ）に相談しましたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　保健センター（保健所）
２　区役所・支所
３　通園していた幼稚園
４　通園していた保育所
５　病院・診療所
６　中央療育センター・地域療育センター・児童発達支援センター（➡ 説明は３ページ）
７　児童相談所
８　発達障害者支援センター（りんくすなごや）
９　大学の心理相談や発達相談
10　親族（親・兄弟姉妹など）
11　配偶者
12　友人
13　その他（具体的に　　）
14　相談はしなかった

１０－４　１０－１の質問で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねします。

【この質問に回答した後、１０－５の質問へ進んでください。】

お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、どのようなことに困りましたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　子どもの発達についてよくわからなかった
２　子どもの発達支援施策についての情報を得る方法が分からなかった
３　子どもの発達支援施策についての情報が少なかった
４　子どもの発達についての相談をどこにすればいいか分からなかった
５　子どもの発達について診察ができる医療機関がどこにあるか分からなかった
６　子どもの発達について相談できる施設などが利用可能な地域になかった
７　子どもの発達について診察ができる医療機関が利用可能な地域になかった
８　発達支援が利用できる施設等が利用可能な地域になかった
９　子どもの発達について相談できる施設の利用までに時間がかかった
10　子どもの発達についての診察を受けるまでに時間がかかった
11　発達支援が利用できる施設等が利用できるまでに時間がかかった
12　その他（具体的に　　）

１０－５　１０－１の質問で２に○をつけた方（お子さんの発達の遅れやアンバランスにお子さんの成長の段階で気づいた方）におたずねします。

【この質問に回答した後、１１の質問へ進んでください。】

お子さんの発達の遅れやアンバランスに気づいたとき、どのようなことを感じましたか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１	子どもの発達について知識がないことが不安だった
２	同じくらいの年齢の子どもとの違いが気になった
３	子どもの発達が遅れていると思いたくなかった
４	子どもに障害があるのではと心配になった
５	子どもの発達のために何をしたらいいか分からなかった
６	子どもにどう関わればいいか分からなかった
７	発達に遅れのある子どもの支援制度について知りたいと思った
８	障害児や障害者の福祉制度について知りたいと思った
９	誰（どこ）に相談すればいいか分からなかった
10	子どもの小学校就学のことが気になった
11	子どもの幼稚園や保育所の入園のことが気になった
12	子どもの将来のことが不安だった
13	自分の子育てに問題があったのかと感じた
14	子どもには個人差があるので気にする必要はないと思った
15	診察を受けるまでの期間が不安だった。
16	できるだけ早く、専門機関で治療や訓練を受けなければと思った
17	その他（具体的に　　）
18	あてはまるものはない

１１　すべての方におたずねします。

お子さんが小学校に入学するまでに通ったことがある教育・保育施設について、次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけ、通いはじめた時期について数字を記入してください。

１	幼稚園	平成（　　）年	（　　）月に通い始めた
２	保育所	平成（　　）年	（　　）月に通い始めた
３	認定こども園	平成（　　）年	（　　）月に通い始めた
４	認可外保育施設	平成（　　）年	（　　）月に通い始めた
５	フリースクール	平成（　　）年	（　　）月に通い始めた
６	その他	平成（　　）年	（　　）月に通い始めた

１２－１　すべての方におたずねします。

【この質問に回答した後、回答によって１２－２または１３の質問へ進んでください。】

お子さんは小学校に入学するまでに『児童発達支援センター（地域療育センター通園部）』を利用したことはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号を選んで○をつけ、１に○をつけた場合は、おおよその年齢を記入してください。

≪事業の説明≫

◎児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	発達に遅れや障害のある子どもが日々通園し、日常生活の基本技能や集団適応等を学ぶ場。『児童福祉施設』であり、市内には以下の 11 か所があります。地域療育センターの通園部と児童発達支援センター単独の施設があります。 「中央療育センター通園部（みどり学園）、（すぎのこ学園）、（わかくさ学園）」 「北部地域療育センター通園部」、「西部地域療育センター通園部」 「南部地域療育センターそよ風通園部」、「東部地域療育センターぽけっと通園部」、「発達支援センターあつた」、「発達支援センターちよだ」「さわらび園」、 「青い鳥医療福祉センター」

１	利用したことがある	⇒次に１２－２に回答してください
	おおよそ（　　）歳（　　）か月から（　　）歳（　　）か月まで	
２	利用したかったが、利用できる地域になかった	⇒次に１２－２に回答してください
３	利用したかったが、実施日が合わなかった	⇒次に１２－２に回答してください
４	利用したいとは思わなかった	⇒次に１３に回答してください
５	事業を知らなかった	⇒次に１３に回答してください
６	利用したかどうかわからない	⇒次に１３に回答してください
７	小学校に入学するまでは市外に住んでいた	⇒次に１３に回答してください

１２－２　１２－１の質問に１から３までのどれかに○をつけた方（児童発達支援センター《地域療育センター通園部》を利用したことがある方または利用を希望したが利用できなかった方）におたずねします。

【この質問に回答した後、１３の質問へ進んでください。】

『児童発達支援センター《地域療育センター通園部》』について要望はありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　施設の数が増えるとよい
２　利用できる日数が増えるとよい
３　１回あたりの時間が長くなるとよい
４　利用を希望した時にすぐに利用できるとよい
５　働きながら利用しやすくなるとよい
６　その他（具体的に　　）
７　要望は特にない

１３　すべての方におたずねします。

お子さんは小学校に入学するまでに『児童発達支援指定事業所』を利用したことはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号を選んで○をつけ、１ に○をつけた場合は、おおよその年齢を記入してください。

≪事業の説明≫

◎児童発達支援指定事業所	発達に遅れや障害のある子どもが日々通園し、日常生活の基本技能や集団適応等を学ぶ場。『民間事業者のサービス』であり、市内には平成３０年３月現在２１３か所あります。

１　利用したことがある　おおよそ（　　）歳（　　）か月から（　　）歳（　　）か月まで
２　利用したかったが、利用できる地域になかった
３　利用したいと思う事業所がなかった
４　利用したいとは思わなかった
５　事業を知らなかった
６　利用したかどうかわからない

１４－１　すべての方におたずねします。

この質問に回答した後、【回答によって１４－２または１５の質問へ進んでください。】

お子さんは小学校に入学するまでに『療育グループ事業』を利用したことはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号を選んで○をつけ、１ に○をつけた場合は、おおよその年齢を記入してください。

《事業の説明》

◎療育グループ事業	発達に遅れや発達に気になるところがある子どもが親子で通園し、早期療育を受ける場市内の地域療育センターや児童発達支援センター（具体的には地域療育センター、児童発達支援センターの欄を参照のこと）で●●グループ、●●教室などの名称で実施しています。一部、地域療育センター以外で実施する出張療育グループもあります。

１　利用したことがある　⇒１４－２へ
　　おおよそ（　　）歳（　　）か月から（　　）歳（　　）か月まで
２　利用したかったが、利用できる地域になかった　⇒１４－２へ
３　利用したかったが、実施日が合わなかった　⇒１４－２へ
４　利用したかったが希望者が多くて利用できなかった　⇒１４－２へ
５　利用したいとは思わなかった　⇒１５へ
６　事業を知らなかった　⇒１５へ
７　利用したかどうかわからない　⇒１５へ

１４－２　１４－１の質問に１から４までのどれかに○をつけた方（療育グループ事業を利用したことがある方または利用を希望したができなかった方）におたずねします。

【この質問に回答した後、１５の質問に進んでください。】

療育グループ事業について改善した方がいいと思うことはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　利用できる日数が増えるとよい
２　利用できる日が選べるとよい
３　実施する地域が増えるとよい
４　１回あたりの時間が長くなるとよい
５　利用を希望した時にすぐに利用できるとよい
６　子どもの発達を促すプログラムなどが充実するとよい
７　保護者の支援や相談のプログラムなどが充実するとよい
８　その他（具体的に　　）
９　改善した方がいいと思う点は特にない

１５　すべての方におたずねします。

お子さんは小学校に入学するまでに『いこいの家事業』を利用したことはありますか。次の選択肢のうちあてはまる番号を選んで○をつけ、１に○をつけた場合は、おおよその年齢を記入してください。

≪事業の説明≫

◎いこいの家事業	発達に遅れや発達に気になるところが見られる子どもと保護者の交流や情報交換の場 市内のいこいの家は平成３０年４月現在以下の１１か所です。 「桜山いこいの家」「あつたいこいの家」「天神山いこいの家」 「千種児童館いこいの家」「守山児童館いこいの家」「colorful カラフル」 「マイハウスどんぐり広場」「葡萄の木」「てんぱくにじいろ」「みずほにじいろ」 「すまいる」

１　利用したことがある　おおよそ（　　）歳（　　）か月から（　　）歳（　　）か月まで
２　利用したかったが、利用できる場所になかった
３　利用したかったが、実施日が合わなかった
４　利用したいとは思わなかった
５　事業を知らなかった
６　利用したかどうかわからない

１６　すべての方におたずねします。

お子さんが小学校に入学するまでに利用した「子ども発達支援」の事業や教育・保育の施設で、お子さんの発達を促す効果があったとあなたが思う事業はありますか。以下のア～カについて５～０のあてはまる番号を選んで○をつけてください。

	とても効果あり	すこし効果あり	どちらともいえない	あまり効果なし	まったく効果なし	利用していない
ア　児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	５	４	３	２	１	０
イ　児童発達支援事業所	５	４	３	２	１	０
ウ　療育グループ事業	５	４	３	２	１	０
エ　いこいの家事業	５	４	３	２	１	０
オ　幼稚園の特別支援教育	５	４	３	２	１	０
カ　保育所の統合保育	５	４	３	２	１	０

１７　すべての方におたずねします。

お子さんが小学校に入学するまでに利用した「子ども発達支援」の事業で、保護者の方の支援に役に立ったと思う事業はありますか。以下のア～エについて５～０のあてはまる番号を選んで○をつけてください。

	とても役に立った	すこし役に立った	どちらともいえない	あまり役に立たず	まったく役に立たず	利用していない
ア　児童発達支援センター（地域療育センター通園部）	５	４	３	２	１	０
イ　児童発達支援事業所	５	４	３	２	１	０
ウ　療育グループ事業	５	４	３	２	１	０
ェ　いこいの家事業	５	４	３	２	１	０

１８　すべての方におたずねします。

名古屋市ではお子さんの発達を支援する児童発達支援センターとお子さんの発達についての診察・相談や（リ）ハビリテーションを行う診療所がひとつの施設で利用できる地域療育センターを子ども発達支援の中核施設として５か所設置し、地域療育センターごとに対象の区を指定していますが、この仕組みについてどのように思いますか。次の選択肢のうちあなたがあてはまると思うものの番号すべてに○をつけてください。

１　診察・相談と子どもの発達支援とをひとつの施設で利用できる点が良い
２　診察・相談のスタッフと子どもの発達支援のスタッフが連携して支援してくれる点が良い
３　診察・相談の情報がおのおのの子どもの発達支援に適切に反映される点が良い
４　子どもの発達支援のノウハウを生かした診察・相談が受けられる点が良い
５　子どもの発達支援と（リ）ハビリテーションが連携して行われる点が良い
６　子どもの発達支援と地域の幼稚園・保育所・小学校の連携してもらえる点が良い
７　診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われても構わない
８　診察・相談と子どもの発達支援は別の施設で行われた方が良い
９　わからない
10 その他（具体的に　　）

１９　すべての方におたずねします。

名古屋市の、小学校に入学する前のお子さんと保護者の方を対象とした発達支援事業についてご意見があれば自由にご記入ください。

２０　すべての方におたずねします。

お子さんの小学校入学後の支援の事業としてどのような事業があると良いと思いますか。自由にご記入ください。

※すべての方が回答してください。

F1　お子さんの平成３０年４月１日現在の年齢を記入してください。

（　　）歳

F2　お子さんの性別についてあてはまるものに○をつけてください。

１　男　　２　女

F3　お子さんのご兄弟・姉妹の平成３０年４月１日現在の年齢について数字で記入してください。兄弟・姉妹がいない場合は空欄としてください。

（　　）才	（　　）才	（　　）才	（　　）才	（　　）才

F4　お子さんが名古屋市に住み始めたのはいつからですか。あてはまる番号に○をつけ、２を選んだ場合は具体的な数字を記入してください。

１　出生時から名古屋市在住	２（　　）才のときに転入

F5　お子さんの居住区（支所）についてあてはまる番号に○をつけてください。

１　千種区	６　中区	１１　港区	１６　天白区	２１　志段味支所（守山区）
２　東区	７　昭和区	１２　南区	１７　楠支所（北区）	２２　徳重支所（緑区）
３　北区	８　瑞穂区	１３　守山区	１８　山田支所（西区）	
４　西区	９　熱田区	１４　緑区	１９　富田支所（中川区）	
５　中村区	１０　中川区	１５　名東区	２０　南陽支所（港区）	

F6　お子さんの父親の状況について数字で記入または選択肢から選んでください。

母子家庭の方は「父親は同居していない」に○をつけてください（入院や単身赴任等で一時的に同居していない方は同居として回答してください）。

①　平成３０年４月１日現在の年齢　（　　）才　　・父親は同居していない

②　現在の就労形態

１　正社員	５　自営業の家族従業者	９　無職
２　公務員	６　パート・アルバイト	１０ その他（　　）
３　経営者・役員	７　派遣・契約社員	
４　自営業・自由業	８　在宅ワーク・内職	

③　②の状態が開始した年

昭和・平成　（　　）年

F7　お子さんの母親の状況について数字で記入または選択肢から選んでください。

父子家庭の方は「母親は同居していない」に〇をつけてください（入院や単身赴任等で一時的に同居していない方は同居として回答してください）。

①　平成３０年４月１日現在の年齢　　（　　）才　　・母親は同居していない

②　現在の就労形態

１　正社員	５　自営業の家族従業者	９　無職
２　公務員	６　パート・アルバイト	10 その他（　　）
３　経営者・役員	７　派遣・契約社員	
４　自営業・自由業	８　在宅ワーク・内職	

③　②の状態が開始した年

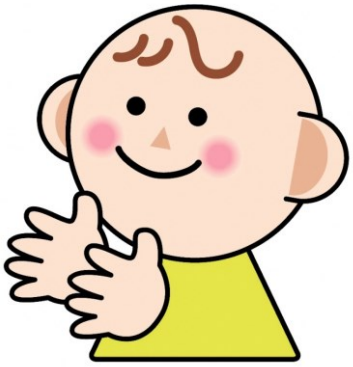
昭和・平成　（　　）年

質問は以上です。調査票を記入いただいた方について、あてはまる番号に〇をつけてください。

１　父親が記入　　２　母親が記入　　３　父親と母親が話し合って記入

４　その他（具体的に　　）

たくさんの質問にお答えいただき、本当にありがとうございました。
以上で終わりですので、調査票をお送りした封筒に同封した返信用封筒に入れて５月１８日までにポストに入れてください。
切手は貼らなくて大丈夫です！



なごや子ども条例　マスコットキャラクター
なごっち

名古屋市　子ども発達支援に関する調査　報告書

発　　行　名古屋市子ども青少年局
発行年月　平成３０年１０月
発行部数　２００冊